

技術基準適合認証品

取付工事説明書別添付

保証書別添付  
(主装置に添付)



漢字表示付電話機  
品番 VB-F611K

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に安全上のご注意(10ページ~13ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

#### 【取付けされる方へ】

以下を記入し、お客様にご説明ください。

指定電話機	◆お客様の設定は次のとおりです。(⇒18ページ)	
	番と	番の電話機
バッテリーアップ	バッテリー(専用電池、外付けバッテリー)は、主装置周囲の環境温度が25℃以下の場合、約3年に1度、40℃以下の場合、約2年に1度の交換が目安です。(有償)	次回交換時期
	<input type="checkbox"/> 専用電池 <input type="checkbox"/> 外付けバッテリー	年 月 日 年 月 日

- システムの各オプション機器に添付の説明書をお読みになる前に、この説明書をお読みください。
- この取扱説明書では、電話機の操作について説明しています。
- システム全体の、安全にお使いいただくための警告表示事項(内容)などは、この説明書で説明しています。

はじめに	はじめに	1
	お使いになる前に	2
基本的な使い方	かける/受ける/保留転送する	3
	電話帳や個人短縮ダイヤルの登録・編集をする	4
	FFボタンに機能を設定する	5
	電話に出られないとき	6
	オフィス留守番機能(マルチボイス)を利用する	7
より便利に使う	便利な機能を利用する	8
	外線への転送などをする	9
	回線のサービスを利用する	10
	他の電話機の使い方	11
	ファクスを接続する	12
	オプションや他の機能を使う	13
	パソコンから各種登録をする	14
システムの管理	システムを管理する方が行う保守・運用・登録について	15
必要なときに	参考	16
	困ったときは	17
	必要なときに	18

# デジタルビジネスホン La Relier(ラ・ルリエ)の特長

## ISDN回線、電話（アナログ）回線、IP回線に接続可能

外線はINSネット64で最大2回線（4チャンネル）、電話（アナログ）回線で最大4回線、IP回線で最大4チャンネルまで対応。  
内線（デジタル多機能電話機）は最大16台の電話機を接続することができます。

## 便利な電話帳機能

### 外線電話帳 P.259 （共通短縮ダイヤル）

よくかける電話番号や名前などを、共通短縮ダイヤルごとに登録して、システム全体の電話帳を最大1500件まで作成できます。

### 個人電話帳 P.84、201 （個人短縮ダイヤル）

よくかける電話番号や名前などを、個人短縮ダイヤルごとに登録して、個人の電話帳を最大20件まで作成できます。

### 内線電話帳 P.274

システムに収容しているすべての内線電話機に、名前などを登録して内線の電話帳を作成できます。

## 多彩な着信機能

### メロディー着信 P.48

外線から着信があった場合、着信音としてメロディーを流すことができます。また、保留音としてもメロディーを流すこともできます。



### ネームトーク着信 P.48

外線から着信があった場合、着信音の代わりに相手の名前を音声で読み上げて着信をお知らせすることができます。また、外線転送した転送先に、発信者の名前を音声で読み上げて着信をお知らせすることもできます。



### 発信者付加情報表示 P.159

外線電話帳に登録した付加情報（会社コードなどの情報）を、着信中または通話中に液晶表示部に表示することができます。

### 2色の着信ランプで識別 P.145

電話をかけてきた相手によって鳴る電話機や着信音を指定したり、2色の着信ランプを使い分けることもできます。

## オフィス留守番機能（マルチボイス）

オフィス留守番機能（マルチボイス）を初実装していますので、お買い上げ時から、録音機能およびガイダンス送出機能を利用することができます。

### 留守録機能 P.105

- 留守録モード：  
電話をかけてきた相手に用件の録音を促し、メッセージを録音します。
- 留守専用モード：  
留守であることを相手に伝えます。

### 通話録音機能 P.121

通話中に話の内容を録音することができます。

### リモート機能 P.113、117

外出先から、留守録のセットをしたり、留守録音したメッセージを聞くことができます。

## オフィス留守番機能（マルチボイス）

（続き）

### 自動転送中ガイダンス機能 P.185

外線への自動転送時に、かけてきた相手や転送先に、転送である旨を音声ガイダンスで伝えることができます。

### 応答ガイダンス録音機能 P.134

固定のガイダンス以外に、オリジナルの応答ガイダンスの録音／再生ができます。

### 迷惑電話拒否機能 P.147

着信を受け付けたくない相手に対して、3通りのメッセージを流すことができます。

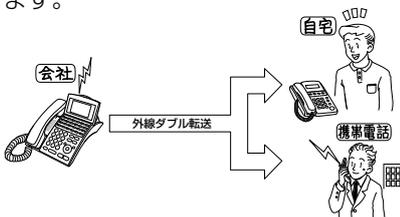
### お待たせ応答機能 P.118

かかってきた電話にすぐに出られないとき、代理で応答してしばらく待っていただく旨のガイダンスを送ることができます。また、かかってきた電話に出られない場合、かけてきた相手の用件を録音することもできます。

## 多彩な外線転送機能

### 外線ダブル転送 P.184

外線からかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先2か所へ同時に転送することができます。



### スライド転送 P.177

一定時間内に応答しない場合のみ転送します。社内で誰も応答しないときだけ外出先に転送したい場合などに使います。



### デュアル着信 P.183

電話がかかってきた内線電話機と転送先の両方で着信音を鳴らすことができます。

できるだけお待たせしないで電話を受けたいときなどに使います。



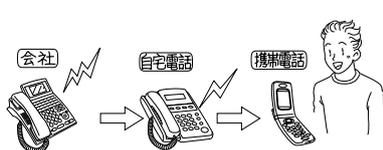
### セレクト転送 P.184

特定の相手からの電話だけを転送します。または、特定の相手からの電話だけを転送しないようにすることもできます。



### ネクスト転送 P.179

最初の転送先が一定時間応答しないか通話中のとき、別の転送先に転送します。



### お助け転送 P.166

外線から電話がかかってきたときに通話中で応答できないなどの場合には、あらかじめ設定しておいた外線に簡単な操作で転送することができます。

### 転送リモート P.175

外から転送設定の変更ができます。

## 必要に応じた各種のオプション

### メロディトークユニット P.48

着信音としてメロディーを流したり（メロディー着信）、相手の名前を音声で読み上げて着信をお知らせしたり（ネームトーク機能）することができます。

### マルチボイス拡張ユニット P.103

オフィス留守番機能（マルチボイス）を拡張し、テナント（グループ）数の追加やセキュリティガイダンス機能（センサー発報）を利用することができます。

### IP外線ユニット P.189

IP回線を経由した電話の発信、着信やEメールの着信をチェックして電話機のランプで表示確認※1することができます。

※1：IP電話サービス契約内容によります。

# もくじ 項目から探す場合、「50音順さくいん」(⇒339ページ)をご覧ください。

デジタルビジネスホン	
La Relier(ラ・ルリエ)の特長 .....	2
付属品／添付品 .....	9

## はじめに

### 1 はじめに

安全上のご注意 .....	10
ご使用にあたってのお願いとお知らせ .....	14
知っておいていただきたいこと .....	16
・ 本システムに接続できる機器と お読みになる取扱説明書について .....	16
・ 指定電話機について .....	18
・ 回線について .....	19
・ マルチラインとフローティング保留について .....	19
この取扱説明書について .....	20
・ この取扱説明書の見かた .....	20

### 2 お使いになる前に

各部のなまえとはたらき .....	22
・ 漢字表示付電話機 .....	22
・ ランプ類／電話機底面／主装置 .....	23
・ 数字表示付電話機 .....	24
・ ランプ類／電話機底面 .....	25
コマンドナビキーについて .....	26
・ コマンドナビキーの基本的な動作について .....	26
・ 主な画面の表示のしかた .....	28
液晶表示について .....	36
・ ボタンを押したときの表示 .....	36
・ 電話をかけるときの表示 (ダイヤル表示) .....	36
・ 電話がかかってきたときの表示 (発信者の電話番号の表示) .....	37

・ 通話時間と通話料金の表示 .....	38
・ NTT以外の通信事業者回線を使って 電話をかけているときの表示 .....	38
・ 待ち受け中の表示 (日付・時刻表示) .....	39
・ 使用している主装置の情報を表示 (商品名／Ver表示) .....	40
液晶表示部の調節と設定について .....	41
・ 角度を調節する .....	41
・ コントラストを調節する .....	41
・ バックライトの設定をする .....	42
電話機の音量を調節する .....	43
・ 通話中に受話音量を調節する .....	43
・ 待ち受け中にモニター音量 (スピーカーからの音量)を調節する .....	44
・ 着信音量を調節する .....	45
・ コマンドナビキーの確認音を 鳴らなくする .....	46
電話機の内線番号を確認する .....	47
着信音(メロディー着信)／ネームトーク について .....	48
・ 着信音 (メロディー着信) について .....	48
・ ネームトークについて .....	48
電話機の角度を調節する／記入シートの 使いかた .....	49
・ 電話機の角度を調節する .....	49
・ 記入シートの使いかた .....	49

## 基本的な使い方

### 3 かける／受ける／保留転送する

外線へ電話をかける .....	50
・ 受話器を取ってかける .....	50
・ 受話器を取らずにかける .....	50
・ 電話番号を確認してから電話をかける （プリセットダイヤル） .....	51
・ 外線を指定して電話をかける .....	52
・ 再ダイヤルする （ラストナンバーリダイヤル） .....	53
内線へ電話をかける .....	54
・ 電話をかける .....	54
・ 内線番号を確認してから電話をかける （プリセットダイヤル） .....	54
・ 音声で一斉（またはグループ別）に 内線呼び出す .....	55
電話帳や履歴を使って電話をかける .....	56
・ 電話帳を検索して電話をかける .....	56
・ 発信履歴を使って電話をかける .....	64
・ 着信履歴／システム着信履歴を使って 電話をかける .....	65
・ 発信履歴／着信履歴を削除する .....	67
・ 短縮ダイヤルでかける （個人短縮ダイヤル・共通短縮ダイヤル） .....	69
・ 発信ボタンを押さずに電話をかける （発信プリファレンス） .....	70
外線からの電話を受ける .....	71
・ 電話を受ける .....	71
・ 2つ以上の外線が着信している場合 .....	71
内線からの電話を受ける .....	72
・ 電話を受ける .....	72
・ 他の電話機で内線を受ける （内線代理応答） .....	72
・ 内線音声呼出に受話器を取らずに 応答する（内線トークバック） .....	73
マルチライン着信／発信 .....	74
・ 複数の内線に電話をかける （マルチライン着信） .....	74
・ マルチライン発信について .....	74
電話を保留・転送する .....	75
・ 外線を保留・転送する .....	75
・ 外線を特定のグループへ転送する .....	78
・ 内線を保留・転送する .....	79

### 4 電話帳や個人短縮ダイヤルの登録・編集をする

電話帳などの登録時の文字入力方法 .....	80
・ 文字の入力方法 .....	80
個人電話帳（個人短縮ダイヤル）に登録する ...	84
・ 個人電話帳（個人短縮ダイヤル）へ 新規に登録する .....	84
・ 発信履歴／着信履歴から登録する .....	88
個人電話帳を編集する .....	89
・ 個人電話帳のデータを修正する .....	89
・ 個人電話帳データを削除する .....	92
・ 個人電話帳の登録件数を確認する .....	94
個人短縮ダイヤルに登録する .....	95
・ 個人短縮ダイヤルに電話番号を登録する ...	95

### 5 FF ボタンに機能を設定する

FFボタンに機能を設定する .....	96
FFボタンに設定できる機能 .....	97

### 6 電話に出られないとき

電話に出られないときの設定をする （不在設定） .....	99
・ 不在設定／解除する .....	99
電話に出られないとき、他の電話機に 転送設定をする（不在転送） .....	101
・ 不在転送を設定／解除する .....	101

## 7 オフィス留守番機能（マルチボイス）を利用する

オフィス留守番機能(マルチボイス)とは? ...	103
・ オフィス留守番機能（マルチボイス）で できること .....	103
・ チャネルとボックスについて .....	104
・ パスワードについて .....	104
・ 数字表示付電話機での表示について .....	104
<b>留守録を設定する</b> .....	<b>105</b>
・ 留守録機能について .....	105
・ 手動で留守録を設定／解除する .....	105
・ 自動で留守録を設定／解除する .....	106
<b>留守録設定時の応答動作の各種設定をする</b> ...	<b>107</b>
・ 留守録応答するまでの時間（スライド時間） を設定する .....	107
・ 録音の有無を設定する .....	109
・ 留守録の応答メッセージを設定する .....	110
・ 留守録モニターの有無を設定する .....	111
<b>留守録モニターを設定する</b> .....	<b>112</b>
<b>外出先から留守録を設定する</b> (外線リモート) .....	<b>113</b>
<b>留守録の内容(用件)を再生する</b> .....	<b>114</b>
<b>外出先から留守録の内容(用件)を再生する</b> (外線リモート) .....	<b>117</b>
<b>お待たせ応答を設定する</b> .....	<b>118</b>
・ お待たせ応答（自動）を設定する .....	118
・ お待たせ応答（手動）をする .....	119
<b>通話を録音する</b> .....	<b>121</b>
・ 手動で通話を録音する .....	121
<b>メッセージを再生する</b> .....	<b>122</b>
・ 録音したメッセージを再生する .....	122
・ メッセージを聞き取り中に電話をかける （折り返し自動発信） .....	125
<b>メッセージを録音する（メッセージ録音）</b> ....	<b>126</b>
・ メッセージ録音をするには .....	126
<b>指定した電話機を呼び出してメッセージがある ことを通知する（携帯電話などの呼び出し）</b> .	<b>127</b>
・ 呼出先の携帯電話などの電話番号を 設定する .....	127
・ 通話録音後に指定した電話機を呼び出す ...	128
・ メッセージを録音したあとに 指定した電話機を呼び出す .....	130
・ 携帯電話などが呼び出されたら .....	132
<b>表示について</b> .....	<b>133</b>
・ 指定電話呼び出し設定時の表示について ...	133
・ 数字表示付電話機を使ったときの 表示について .....	133
<b>留守録やメッセージ録音時の応答ガイダンスを 録音する</b> .....	<b>134</b>
・ 応答ガイダンスの種類について .....	134
・ 応答ガイダンス（応答メッセージ）を 録音する .....	136
<b>ボックスのパスワードを設定する</b> .....	<b>137</b>
<b>ボックスに名称を設定する</b> .....	<b>138</b>

## 8 便利な機能を利用する

その他の便利な機能一覧 .....	139
<b>設定した時刻にアラームを鳴らす</b> .....	<b>140</b>
・ アラームを設定／解除する .....	140
<b>プッシュ信号を送る</b> .....	<b>142</b>
<b>外線通話中に割り込む</b> .....	<b>143</b>
・ 他の人を割り込ませる （プライバシー・リリース） .....	143
・ 外線通話に割り込む(オーバー・ライド) ...	143
<b>3人で会議通話をする</b> .....	<b>144</b>
<b>発信者番号により、着信先や着信音を 指定する(セレクト着信)</b> .....	<b>145</b>
・ セレクト着信とは .....	145
・ セレクト着信を使うためには .....	145
<b>着信数を制限する(回線数コントロール)</b> ....	<b>146</b>
・ 回線数コントロールの設定 .....	146
<b>迷惑電話を着信拒否する</b> .....	<b>147</b>
・ 着信を受け付けられない外線相手の 電話番号を登録（拒否登録）する .....	147
・ 迷惑電話拒否を設定／解除する .....	151
・ 非通知着信拒否を設定／解除する .....	153
・ 拒否登録した電話番号を確認／削除する ...	155
・ FFボタンに着信拒否機能を設定する .....	157
・ 迷惑電話拒否ガイダンスを送出する .....	157
<b>ACRについて</b> .....	<b>158</b>
<b>外線電話帳に登録した付加情報を表示する</b> ...	<b>159</b>
<b>電話機から主装置の障害などの内容(カレント アラーム)を確認する</b> .....	<b>160</b>
・ 電話機の液晶表示部で確認する .....	160

## 9 外線への転送などをする

<b>外線着信の転送機能について</b> .....	<b>161</b>
・ 手動による転送について .....	161
・ 自動転送について .....	162
・ さらに便利に転送できる .....	163
・ 自動転送設定中の表示について .....	164
・ 自動転送時の発信者番号通知について .....	164
<b>手動で転送する</b> .....	<b>165</b>
・ 通話中に手動で転送する .....	165
・ 着信中に手動で転送する （お助け転送／着信中ワンタッチ転送） .	166
<b>自動で転送する</b> .....	<b>167</b>
・ 一般着信を自動転送 .....	167
・ 個別着信を自動転送 .....	170
・ 自動転送を設定／解除する .....	175
・ 一定時間応答しない場合に外線に転送する （スライド転送） .....	177
・ 2か所の転送先へ順番に転送する （ネクスト転送） .....	179
・ 外線へ転送中に内線電話機も同時に鳴らす （デュアル着信・転送中内線鳴動） .....	183
・ 特定の発信者からの電話だけを転送する （セレクト転送） .....	184

- ・ 2か所の転送先へ同時に転送する  
（外線ダブル転送） ..... 184
- 自動で転送中にガイダンスを流す ..... 185**
- ・ 転送中のガイダンスを転送元と  
転送先に流す ..... 185
- フレックスホン 着信転送(付加サービス) .... 186**
- ・ 自動転送（着信転送） ..... 186
- ・ フレックスホンの通信中転送 ..... 187

## 10 回線のサービスを利用する

- 本システムでご利用になれる回線サービス .... 188**
- ・ ISDN回線と電話（アナログ）回線で  
お使いになれるサービス ..... 188
- ・ 電話（アナログ）回線でお使いになれる  
サービス ..... 188
- ・ ISDN回線でお使いになれるサービス ..... 189
- ・ IP回線でお使いになれるサービス ..... 189
- キャッチホン(付加サービス) ..... 190**
- ダイヤルイン(付加サービス) ..... 191**
- i-ナンバー(付加サービス) ..... 192**
- 発信者番号通知(基本サービス) ..... 193**
- ・ 電話をかけたとき ..... 193
- ナンバー・ディスプレイ(付加サービス) ..... 194**
- ・ 電話がかかってきたとき ..... 194
- ネーム・ディスプレイ(付加サービス) ..... 195**
- ・ 電話がかかってきたとき ..... 195
- 迷惑電話おことわり(付加サービス) ..... 196**
- ・ 電話番号を登録する ..... 196
- ・ 登録した電話番号を解除する ..... 196
- ・ 迷惑電話おことわりの効果を確認する ..... 196
- サブアドレス通知(基本サービス) ..... 197**
- ・ 外線から特定の内線電話機を呼び出す ..... 197
- ・ ISDNクローズドナンバリング ..... 198
- フレックスホン INSキャッチホン  
(付加サービス) ..... 199**
- ・ 通話を切り替える ..... 199

## 11 他の電話機の使い方

- 数字表示付電話機の独自の機能を使う ..... 200**
- ・ 最後に応答した電話番号にかけ直す ..... 200
- ・ 個人短縮ダイヤルを登録する ..... 201
- ・ ワンタッチボタンでかける(個人短縮) .... 202
- ・ 数字表示付電話機での機能一覧(まとめ) .... 203
- 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う .... 210**
- ・ お使いになる前に ..... 210
- ・ デジタル多機能電話機との違いについて ... 211
- ・ 外線へ電話をかける ..... 213
- ・ 電話番号を確認してから外線へ電話をかける  
（プリセットダイヤル） ..... 214
- ・ 内線へ電話をかける ..... 215
- ・ 電話番号を確認してから内線へ電話をかける  
（プリセットダイヤル） ..... 216

- ・ 音声で一斉（またはグループ別）に内線を  
呼び出す ..... 217
- ・ 外線の電話を受ける ..... 218
- ・ 内線の電話を受ける ..... 219
- ・ 外線通話を保留する  
（通話中、待ってもらう） ..... 220
- ・ 内線通話を保留する  
（通話中、待ってもらう） ..... 221
- ・ 外線／内線通話を他の内線に転送する .... 221
- ・ 外線／内線通話中にドアホンからの  
呼び出しがあったとき ..... 222
- ・ その他の操作一覧 ..... 224
- ・ FFキーに機能を設定する ..... 228
- 単独電話機を使う ..... 229**
- ・ ダイヤル式回線で使うときの操作 ..... 229
- ・ プッシュ式回線で使うときの操作 ..... 231
- ・ 外線を保留する ..... 232
- ・ 短縮ダイヤルを使う ..... 232

## 12 ファクスを接続する

- 内線に収容しているファクスを使う ..... 233**
- ・ ファクスを受ける（手動転送） ..... 233
- ・ ファクスを受ける（自動転送） ..... 234
- ・ ファクスを送る ..... 235
- 複合機と連動する ..... 236**
- ・ 複合機の状態を表示させる ..... 236

## 13 オプションや他の機能を使う

- オプションや他の機器と接続して利用できる  
機能について ..... 238**
- ・ オプションや他の機器と接続して利用できる  
機能一覧 ..... 238
- 構内放送をする ..... 239**
- 玄関子機からの呼び出しに応答する ..... 240**
- ・ 玄関子機の着信音が鳴らない電話機で  
応答するには ..... 240
- 電気錠を解錠する ..... 241**
- 外部スイッチ(多目的リレー)を制御する .... 242**
- センサーを使う ..... 243**
- ・ センサー着信を外線に転送し、  
ルームモニターする ..... 243
- ヘッドセットを使う ..... 245**
- 24キー増設ユニット ..... 245**
- ・ 記入シートの使いかた ..... 245
- 状態表示盤を外線表示盤として使う ..... 246**
- 番号早見表の使い方 ..... 247**
- ・ 番号早見表の作り方 ..... 247
- ・ 番号表ホルダー（オプション）の取り付け方 .... 248
- その他のオプション接続 ..... 249**

## より便利に使う

### 14 パソコンから各種登録をする

パソコンから各種設定をする(一般用) .....	250
・パソコンの動作条件 .....	250
・設定の流れ .....	250

・パソコンから設定できる項目一覧 .....	250
・WWW ブラウザーを起動してログインする .....	251
・メインメニュー画面 .....	252
・各種設定を行う .....	254
・ログアウトする .....	255

## システムの管理

### 15 システムを管理する方が行う 保守・運用・登録について

指定電話機から登録・設定できる内容について .....	256
・電話帳と短縮ダイヤルについて .....	257
電話帳と短縮ダイヤルの登録について .....	258
・短縮ダイヤルの電話番号に登録できる内容 .....	258
外線電話帳(共通短縮ダイヤル)を登録する .....	259
・電話帳に登録できる内容について .....	259
・入力項目の内容と選択について .....	260
・外線電話帳(共通短縮ダイヤル)を登録する .....	261
・共通短縮ダイヤルを登録する .....	266
外線電話帳を編集する .....	267
・外線電話帳のデータを修正する .....	267
・外線電話帳データを削除する .....	270
・外線電話帳のグループ名を編集する .....	272
・外線電話帳の登録件数を確認する .....	273
内線電話帳を登録する .....	274
内線電話帳を編集する .....	276
・内線電話帳のデータを修正する .....	276
・内線電話帳のグループ名を登録する .....	278
特殊内線を登録する .....	279
特殊内線のデータを編集する .....	282
・特殊内線データを削除する .....	282
・特殊内線のグループ名を登録する .....	283
・特殊内線の登録件数を確認する .....	284
日付・時刻を変更する .....	285
・年月日と時刻を変更する .....	285

手動で夜間切替を設定する .....	287
・手動で昼間/夜間切替する .....	287
自動夜間切替を設定する .....	289
・自動切替時刻を設定する .....	289
・自動切替時刻の設定操作例 .....	293
・自動夜間切替の例外日時を設定する .....	294
・自動夜間切替をしない期間を設定する .....	298
・動作モードの名称を変更する .....	301
着信音(メロディー着信)を設定する .....	302
センサー着信の外線転送先を設定する .....	304
非通知着信の着信先を設定する .....	305
電話回線に名称を設定する .....	306
通話料金を集計する .....	307
・各電話機の合計通話料金を確認する .....	307
・すべての電話機の合計通話料金を確認する .....	307
指定電話機から主装置の障害などの内容 (カレントアラーム)を確認する .....	308
・電話機の液晶表示部で確認する .....	308
パソコンから各種設定をする (システム管理者用) .....	309
・パソコンの動作条件 .....	309
・設定の流れ .....	309
・パソコンから設定できる項目一覧 .....	310
・WWW ブラウザーを起動してログインする .....	311
・メインメニュー画面 .....	312
・各種設定を行う .....	314
・ログアウトする .....	325

## 必要なときに

### 16 参考

取付け時に設定する事項 .....	326
音とランプ表示 .....	330
・デジタル多機能電話機の場合 .....	330
・単独電話機の場合 .....	333

### 17 困ったときは

停電のときは .....	334
困ったときの確認事項 .....	336

### 18 必要なときに

仕様 .....	338
50音順さくいん .....	339
保証とアフターサービス .....	343
・番号早見表(コピー用) .....	345

# 付属品／添付品

添付品名		数 量
取扱説明書（本書）		1
操作早見表	漢字表示付電話機	2

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	<b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 危険

■充電式電池（2.4G カラーデジタルコードレス電話機）の取り扱いについて

<p>2.4G カラーデジタルコードレス電話機には、専用の電池パック以外は使用しない</p>  <p>発熱・発火・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>2.4G カラーデジタルコードレス電話機用の電池パックを他の機器に使用しない</p>  <p>発熱・発火・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>専用充電台を使用する</p>  <p>発熱・発火・破裂の原因となります。</p>
<p>クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・加工・改造しない</p>  <p>発熱・発火・破裂の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>(+)と(-)を金属などで接触させない ネックレス、クリップなどと一緒に持ち運んだり保管しない</p>  <p>発熱・発火・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない</p>  <p>発熱・発火・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>火への投入、加熱をしない</p>  <p>発熱・発火・破裂の原因となります。</p> <p>禁止</p>		

# ⚠ 警告

■共通 (主装置・電話機・2.4Gカラーデジタルコードレス電話機・接続装置・状態表示盤)  
主装置のACアダプターを2個使用している場合、2個とも同じ対応をしてください。

<p><b>付属品または専用品以外を使用しない</b></p>  <p>指定以外の機器を使用すると、火災や感電の原因となります。</p> <p><b>禁止</b></p>	<p><b>通風孔をふさがない・機器の周りに物を置かない</b></p>  <p>内部に熱がこもり、発熱や火災の原因となります。</p> <p><b>禁止</b></p>	<p><b>水などをかけない・水などに浸さない</b></p>  <p>発熱や発火の原因となります。</p> <p><b>水ぬれ禁止</b></p>
<p><b>ぬれた手で電源プラグ・ACアダプターの抜き差しはしない</b></p>  <p>感電の原因となります。</p> <p><b>ぬれ手禁止</b></p>	<p><b>雷のときは電源プラグ・電源コード・ACアダプターに触らない</b></p>  <p>感電の原因となります。</p> <p><b>接触禁止</b></p>	<p><b>2.4Gカラーデジタルコードレス電話機の充電端子をショートさせない</b></p>  <p>発熱や発火の原因となります。</p> <p><b>禁止</b></p>
<p><b>コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外での使用をしない</b></p>  <p>たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。</p> <p><b>禁止</b></p>	<p><b>異物を入れない</b></p>  <p>隙間などから、金属類や紙類を入れると火災や感電の原因となります。</p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、異物が入ったら、電源プラグやACアダプターを電源コンセントから抜いて、販売店へご相談ください。</li> </ul>	<p><b>機器をあけたり、分解・改造しない</b></p>  <p>感電の原因となります。</p> <p><b>分解禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部の点検や修理などは販売店へご相談ください。</li> </ul>
<p><b>電源プラグ・ACアダプターのほこり等は定期的にとる</b></p>  <p>差し込み部分にゴミやほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグやACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。</li> </ul>	<p><b>電源プラグ・電源コード・ACアダプターを破損するようなことはしない</b></p> <p>(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねることをしない)</p>  <p>傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p><b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 損傷した場合は使用を中止し、販売店へ交換を依頼してください。</li> </ul>	<p><b>煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは電源プラグやACアダプターを抜く*</b></p>  <p>そのまま使用すると火災や感電の原因となります。</p> <p><b>電源プラグを抜く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用を中止し、販売店へ相談してください。</li> </ul>
<p><b>電源プラグ・ACアダプターは、根元まで確実に差し込む</b></p>  <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 傷んだり、ゆるんでいる電源プラグ、ACアダプターやコンセントは、使用しないでください。</li> </ul>		<p>※：電源プラグやACアダプターの抜き差しの妨げにならないよう、コンセントの近くには物を置かないでください。</p>



## 警告

### ■ 2.4G カラーデジタルコードレス電話機の取り扱いについて

医用電気機器の近くでの設置や使用をしない  
(手術室、集中治療室、CCU\*等には持ち込まない)



禁止

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

\* : CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くには設置しない、および近くでは使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

航空機内では電源を切る



運航の安全に支障をきたす恐れがあります。アラームやオートパワーONの設定は解除してください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がありますので、電源を切る



電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

### ■ 充電式電池 (2.4G カラーデジタルコードレス電話機) の取り扱いについて

所定の時間充電しても充電が完了しない場合は充電をやめる



発熱・破裂の原因となります。

液もれしたり、異臭がするときには、すぐに火気より遠ざける



発熱・破裂の原因となります。

電池のカバーをはがしたり、傷をつけない



禁止

液もれ・発熱・破裂の原因となります。

液もれした電池は使わない



禁止

液が目に入ると目に障害を与えます。

- こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

電池のコネクター線を正しく接続する



液もれ・発熱・破裂の恐れがあります。

## 警告

- SDメモリーカードの取り扱いについて  
※SDメモリーカードは設置工事で使用されます。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込む恐れがあります。

禁止

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

## 注意

- 共通（主装置・電話機・2.4Gカラーデジタルコードレス電話機・接続装置・状態表示盤）  
主装置のACアダプターを2個使用している場合、2個とも同じ対応をしてください。

浴室や加湿器のそばなど、湿気が多い場所や塩水などのかかる場所、ほこりの多いところで使用しない



火災や感電の原因となります。

禁止

2.4Gカラーデジタルコードレス電話機の充電台に物を載せない、充電端子に触らない



充電端子のショートや発熱、感電の原因となります。

禁止

電源コードを抜くときは必ず電源プラグ・ACアダプターを持って抜く



コードを引っ張ると、コードが破損し火災や感電、ショートの原因となります。

電源プラグ  
を抜く

- 充電式電池（2.4Gカラーデジタルコードレス電話機）の取り扱いについて

電池を、水や塩水などに濡らさない



発熱やさび、液もれの原因となります。

水ぬれ禁止

# ご使用にあたってのお願いとお知らせ

## ■お願い

1 ご使用にあたってのお願いとお知らせ

<p>設置・増設・修理は、お買い上げの販売店または販売会社に相談してください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話工事担任者の資格が必要です。</li> </ul>	<p>主装置は、通常の使用時は操作しないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障の原因となります。</li> <li>● 電話帳の登録中や発信／着信の直後に電源を切ると、登録／記録したデータが消える場合があります。</li> </ul>
<p>機器に、強い衝撃や振動を与えないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 落としたりぶつかけたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因となります。</li> </ul>	<p>冷凍倉庫など特に温度の下がる場所に置かないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障や動作不良の原因となります。</li> </ul>
<p>ラジオ、テレビ、コンピューター、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから2m以上離してお使いください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器からのノイズにより雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因となります。</li> </ul>	<p>直射日光、暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機器表面や部分に変形・劣化するほか、故障の原因となります。</li> </ul>
<p>硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、有毒ガス等の発生する場所に置かないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障や機器の寿命が短くなる原因となります。</li> </ul>	<p>殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などに長時間付着させたままにしないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 変質したり、塗料がはげる原因となります。</li> </ul>
<p>キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気カード類を充電台に近づけないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● カード類が使えなくなることがあります。</li> </ul>	<p>電磁波発生源や磁気を帯びたもの（高周波マシン・電気溶接機・磁石など）に近づけないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑音の発生や故障の原因となります。</li> </ul>
<p>長期間使用されないときには、万一の事故防止のため、必ず2.4Gカラーデジタルコードレス電話機のACアダプターを持ってコンセントから抜いておいてください</p>	<p>2.4Gカラーデジタルコードレス電話機の充電端子には、直接手を触れないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 充電不良の原因となります。</li> </ul>
<p>2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を濡れたまま0℃以下のところに置かないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障や動作不良の原因となります。</li> </ul>	<p>主装置の周囲30cm四方には、物を置かないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 放熱効果が妨げられ故障の原因となります。</li> </ul>
<p>相手に無断でオフィス留守番機能（マルチボイス）を使い、通話録音すると、個人のプライバシーの侵害にあたる可能性があります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 相手にお断りのうえ、通話録音してください。</li> </ul>	<p>オフィス留守番機能（マルチボイス）に録音された内容を、第3者が無断で聞くことは法律上問題がありますのでご注意ください</p>
<p>防水仕様ではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2.4G カラーデジタルコードレス電話機、電池パック、ACアダプター、充電台、接続装置は防水仕様にはなっておりません。湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることは避けてください。</li> </ul>	<p>2.4Gカラーデジタルコードレス電話機をデジタル多機能電話機に近づけると、デジタル多機能電話機の通話にノイズが入る場合があります。その場合は、離してお使いください。</p>
<p>2.4Gカラーデジタルコードレス電話機は、デジタル方式の電波を使います。もし、第3者が市販の受信機を用いて電波を受信したとしても、無意味な雑音としか聞こえません。しかし、特殊手段を講じた場合は傍受される可能性がありますので、ご注意ください。</p>	
<p>電波を使う機器から離してお使いください。</p> <p>電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からは2.4Gカラーデジタルコードレス電話機・接続装置とも約3m以上離してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子レンジ ● 無線 LAN 機器（ルーター・AV 機器・防犯機器など）</li> <li>● ワイヤレス AV 機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）</li> </ul> <p>その他、下記の機器も影響が出る場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 万引き防止システム（書店やCD ショップなど）</li> <li>・ 工場や倉庫などの物流管理システム</li> <li>・ マイクロ波治療器</li> <li>・ その他、Bluetooth™ 対応機器や VICS（道路交通情報通信システム）など</li> <li>・ アマチュア無線局</li> <li>・ 鉄道車両や緊急車両の識別システム</li> <li>・ デジタルコードレス電話機（ファクス）</li> </ul>	

## ■お知らせ

<p>2.4G カラーデジタルコードレス電話機は、障害物・条件により電波が届く範囲が狭くなることもあります</p> <p>●電波の届く場所を確認して通話してください。</p>	<p>2.4Gカラーデジタルコードレス電話機のアンテナおよびアンテナ周辺に振動を与えると、通話中にノイズが入ることがあります</p>
<p>デジタル多機能電話機にワイヤレス機器を近づけると、デジタル多機能電話機の通話にノイズが入ることがあります</p>	

## ■廃棄（または譲渡、返却）される場合のお願い事項

本製品は、お客様固有のデータ（電話帳や短縮ダイヤルなど）を登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出等の不測の損害等を回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを必ず消去してください。

## ■お手入れについて

<p><b>掃除するときは電源を切った状態で行ってください</b></p> <p>誤動作の原因となります。</p>
<p><b>機器は、乾いた柔らかい布でふいてください</b></p> <p>汚れがひどい場合、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。</p>
<p><b>お手入れには次のものは使わないでください</b> （石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん）</p> <p>化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。</p>
<p><b>充電端子は月に一度乾いた布でふいてください</b></p> <p>充電端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できない場合があります。</p>

## ■本書における商標の表記について

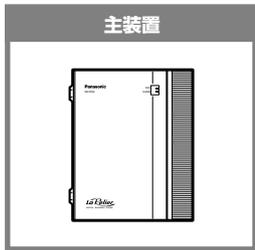
- ・ Microsoft、Windows およびWindows NT は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・  SD ロゴは商標です。
- ・ その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

Microsoft® Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating systemです。  
Microsoft® Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。

Microsoft® Windows® 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Server Network operating system、またはMicrosoft® Windows® 2000 Professional operating system です。  
Microsoft® Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。

## 本システムに接続できる機器とお読みになる取扱説明書について

本システム（主装置）には、以下の機器を接続することができます。この他にも各種オプションを接続することもできます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。各種オプションをご利用の場合、お使いの機器・機能にあったページ、別冊の説明書をお読みください。



- 本システム（主装置）に接続している機器は、お客様によって異なります。
- 現在ご利用いただいている各種機能を追加・変更する場合、またはオプションを追加される場合、お買い上げの販売店までご相談ください。

### 取扱説明書（本書）

#### デジタル多機能電話機



数字表示タイプの場合、一部機能がご利用になれないものもあります。  
(→203ページ)

#### 別冊

- 漢字表示付電話機の「操作早見表」

#### ■単独電話機

…… 本書の229ページ～232ページに説明が記載されています。

#### ■ファクス、複合機

…… 本書の233ページ～237ページに説明が記載されています。

#### ■玄関子機、オプション、その他の機器

…… 本書の238ページ～249ページに説明が記載されています。

#### ■2.4Gカラーデジタルコードレス電話機、接続装置（オプション）

…… 本システムの内線電話機として使用する場合の説明が記載されています。(→210ページ～228ページ)

#### 別冊

- 2.4GカラーデジタルコードレスセットVB-W400Bの「取扱説明書」

#### ■IP外線ユニット（オプション）

…… 電話機能：  
本書の **IP** 部分 (→19ページ)

#### 別冊

- IP外線ユニットの「操作説明書」



## 指定電話機について

指定

指定電話機とは、システム全体に関わる設定や登録などを行うことができる電話機です。指定電話機の操作は操作ミスによる誤動作や故障などを防ぐため、システムを管理する方が行うようにしてください。

本書では、指定電話機のみ可能な操作は **指定** のマークを付けて説明しています。また、ページ外側に帯線をつけてあります。

### お知らせ

- 指定電話機で行うことができる登録・設定については、「指定電話機から登録・設定できる内容について」(→256 ページ) を参照してください。

## 指定電話機の確認方法

どの電話機が指定電話機かわからない場合は、以下の方法で確認することができます。

- 指定電話機の内線番号は、本書の表紙に記載されています。記載された内線番号に電話をかけて呼び出された内線電話機が指定電話機です。(表紙に指定電話機の内線番号が記載されていない場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。)
- 指定電話機が漢字表示付電話機の場合、液晶表示部に「指定」と常時表示されます。



### お知らせ

- お買い上げ時の指定電話機の内線番号は以下のようになっています。

内線番号設定	内線番号
1ケタの場合	1と2
2ケタの場合	10と11
3ケタの場合	100と101

他の内線番号の電話機を指定電話機にすることも可能です。 取付け時設定

- 数字表示付電話機には、液晶表示部に「指定」の表示はされません。

## 回線について

この取扱説明書では、ISDN回線を接続している場合を基本に操作説明しています。

本システム（主装置）では、外線にISDN回線、電話（アナログ）回線、またはIP回線（オプションのIP外線ユニットVB-F223N/K/F/Mが必要）を接続することができますが、この取扱説明書ではISDN回線を接続している場合を基本として説明しています。

各回線ごとに使える機能には **ISDN**、**アナログ**、**IP** とマークを付けて説明しています。

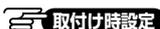
電話（アナログ）回線で外線へ電話をかけるときは、相手電話番号のあとにダイヤルする **Ⓜ** は必要ありません。

IP回線とは、インターネット網などの通信回線を電話（音声）として利用するものです。サービスの詳細は、各IP電話事業者により異なります。接続可能なIP電話事業者については、販売店にお問い合わせください。本書でIP回線で使う説明をしている部分は、各IP電話事業者によりサービス内容が異なる場合がありますので、詳細は各IP電話事業者にお問い合わせください。

また、本書でIP回線を使う場合の説明は、VoIPアダプター（IPネットワーク経由で音声情報を送受信する機器）を接続しての通話を含みません。

## マルチラインとフローティング保留について

### マルチライン

- マルチラインとは、FF ボタンにマルチライン（仮想内線）を収容できる機能です。  **取付け時設定**  
FF ボタンにマルチラインを設定（  ）すると、内線に電話がかかってきたとき、マルチラインを設定した複数の電話機に着信し、マルチラインを設定した任意の電話機からFF ボタン操作で内線の着信応答（➔74ページ）や保留（➔77ページ）などをすることができます。
- マルチラインには、外線からのマルチライン着信の場合、点灯モードと消灯モードがあります。  **取付け時設定**  
内線からのマルチライン着信の場合、消灯モードのみです。  
  - <点灯モード>  
かかってきた電話に応答すると、  は点灯表示のままとなります。着信応答した電話機は使用中となり、次の電話の着信表示はされません。  
電話の着信、通話、保留状況を確認できます。
  - <消灯モード>  
かかってきた電話に応答すると、  は消灯し、次の電話の着信表示になります。  
必要な電話の着信のみをお知らせするので、FFボタンを効率よく運用することができます。
- FF ボタンにマルチラインを設定（➔97ページ）し、  とした場合、設定によりフローティング保留ボタンとしても使えます。
- 個別着信（ダイヤルイン、i・ナンバー、ダイレクトインラインなど）の着信先にマルチラインの内線を設定することもできます。  **取付け時設定**
- マルチライン着信は、漢字表示付電話機、数字表示付電話機、2.4Gカラーデジタルコードレス電話機、単独電話機で利用できます。

### フローティング保留

 **取付け時設定**

- フローティング保留とはFFボタンにフローティング保留機能を設定し（➔97ページ）、フローティング保留ボタン（  ）として、外線、内線、特殊内線（➔279ページ）とも  を押すことにより、FFボタンに設定されていない複数の外線、内線の保留を1台の電話機で保留することができます。また、  を設定してある他の電話機から保留応答することができます。
-  は、FF ボタンにマルチラインを設定したとき、  を  としても使えるよう設定した場合のみ利用できます。  
FF ボタンへの設定内容は、  と同じです。

## この取扱説明書の見かた

### マーク

下の表示マークの電話機、回線で使える機能であることを示しています。

<b>指定</b>	指定電話機 (➡18ページ) で操作する機能です。
<b>漢字</b>	漢字表示付電話機 (➡22ページ) で操作する機能です。
<b>数字</b>	数字表示付電話機 (➡24ページ) で操作する機能です。
<b>ISDN</b>	本システム (主装置) をISDN回線でお使いの場合にのみご利用になれる機能です。
<b>アナログ</b>	電話 (アナログ) 回線でお使いの場合の機能です。
<b>IP</b>	オプションの「IP外線ユニット」をお使いの場合に、IP電話回線でご利用になれる機能です。
<b>取付け時設定</b>	このマークがついている機能をご利用になる場合、取付け時の設定が必要です。設定および設定を変更する際には、お買い上げの販売店にご相談ください。

### タイトル

操作目的ごとにタイトル、サブタイトルなどが付けられています。

### 章番号

### サブタイトル

◀ナビ操作▶ は、漢字表示付電話機のみ操作できます。コマンドナビキーで操作をします。

### 操作手順

操作の順番を表しています。

### 画面表示

液晶表示画面の例を説明しています。

### さくいんタグ

各章を引きやすいようにタグがついています。

### 指定電話機ページ

帯線が付いているページは指定電話機での操作について説明しています。

**9 自動で転送する**

ISDN IP

一般着信を自動転送 [取付け時設定]

外線にかかってきた電話を自動的にあらかじめ設定しておいた外線の転送先に転送することができます。また、2か所の転送先へ同時に転送することもできます (外線ダブル転送)。 (➡184ページ)

自動転送先の電話番号を設定する [指定]

転送先の設定は、指定電話機 (➡18ページ) から行います。本システムの昼間/夜間/夜間1/夜間2モードごとに転送先を1か所 (または2か所) 設定することができます。自動転送する/しないは、モード (昼間/夜間/夜間1/夜間2) によります。 (➡287ページ)

◀ナビ操作▶

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5: システム設定」→「2: 指定電話機」→「4: 転送設定」を選択して「転送設定画面」を表示する (➡31ページ)
- 2 (▲▼) で「1: 外線転送」を選択し (決定) を押す
- 3 (▲▼) で「1: 一般着信転送先設定」を選択し (決定) を押す
- 4 (▲▼) でモード (昼間、夜間、夜間1、夜間2) を選択し (決定) を押す
- 5 (▲▼) で「1: 転送先1」を選択し (決定) を押す
- 6 外線捕捉指定特番を入力する
- 7 転送先の電話番号を入力する

### お知らせ

- 本文中に表記する製品および表示部に表示される文字の書体、文字の大きさ、表示位置、文字間のスペースは実際とは異なります。また、具体的な設定内容 (名前、電話番号など) は操作説明のための表示例であり、実際とは異なります。

**操作のヒント**  
操作のアドバイスを説明しています。

**お願い**  
本システムを使う上での注意点を説明しています。

**お知らせ**  
知っておくと便利な事項や知っておいていただきたい事項を説明しています。

線へ電話をかける

**4 相手が出たら受話器を取る**

- 相手が電話に出ない場合、**モーター**を押すと電話を切った状態に戻ります。

**操作のヒント**

- 通話が終わったあとに続けて電話をかけるには、受話器を戻さずに**フック**を押します。「ツー」という音が聞こえたら、再度電話番号を押してください。
- かけた電話番号は発信履歴から電話帳（漢字表示付電話機）に登録することができます。（▶88ページ）
- 本システムを構内交換機に接続している場合、電話番号の前に外線発信番号（例：⑨）を押してください。

**お願い**

- 電話番号を押すときは、間違いない電話を防ぐため、「ツー」という音を確認してから正確にダイヤルしてください。

**お知らせ**

- 発信**を押してから、約15秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。
- 電話（アナログ）回線でお使いの場合、電話番号のあとの**+**を押す操作は不要です。（▶19ページ）このページ以降の外線へ電話をかける操作でも同様です。
- 複数の回線をお使いの場合、どの回線を優先して使うかを設定することもできます。**取付け確認**
- IP回線をお使いの場合、IP回線につながるまでの間、接続中音を出すこともできます。**取付け確認**

**ボタン操作**

1 **モーター** → 2 **9 0** → 3 **+** •不在ランプが点灯します。→ 4 **モーター**

**ボタン操作のヒント**

- 手順2は **9 0** とすることもできます。**取付け確認**

**ボタン操作のヒント**  
ボタン操作のアドバイスを説明しています。

**ボタン操作** は、漢字表示付電話機／数字表示付電話機ともに操作できます。ボタンは、漢字表示付電話機のボタンを表記しています。

**ボタン操作のみ記述されている場合**

漢字表示付電話機および数字表示付電話機の場合、ボタンを使って操作できます。

**3 外線へ電話をかける**

**受話器を取ってかける**

- 受話器を取る
- 発信**を押す
  - 「ツー」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯（2秒に1回一瞬点滅）します。
- 電話番号を押す
- +**を押す
  - ISDN回線またはIP回線の場合、**+**を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は6秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。**取付け確認**

**受話器を取らずにかける**

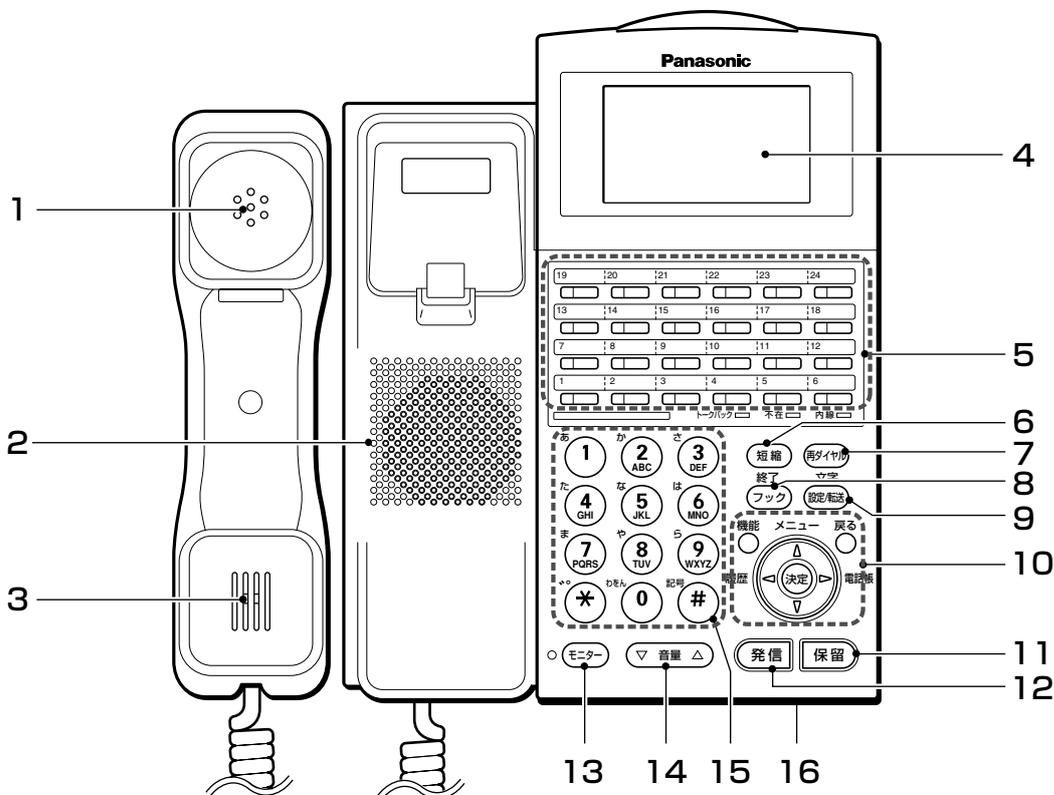
- 発信**を押す
  - 「ツー」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯（2秒に1回一瞬点滅）します。
- 電話番号を押す
- +**を押す
  - ISDN回線またはIP回線の場合、**+**を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は6秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。**取付け確認**
- 相手が出たら受話器を取る
  - 相手が電話に出ない場合、**モーター**を押すと電話を切った状態に戻ります。

**用語について**

外線	「外線」を「局線」「回線」と表記する場合があります。
待ち受け中	受話器を置いた状態で、通話していない状態です。
話中音	相手の電話機が通話中の状態のときに聞こえる「ツー、ツー」という音です。
個別着信	サブアドレス、ダイヤルイン、i・ナンバーなどの他、セレクト着信で個別着信するよう設定（▶145ページ）されたときの着信も含まれます。
通信事業者	NTTなどの加入電話事業者と、IP電話事業者があります。

主装置やデジタル多機能電話機の各部のなまえとはたらきについて説明しています。

## 漢字表示付電話機

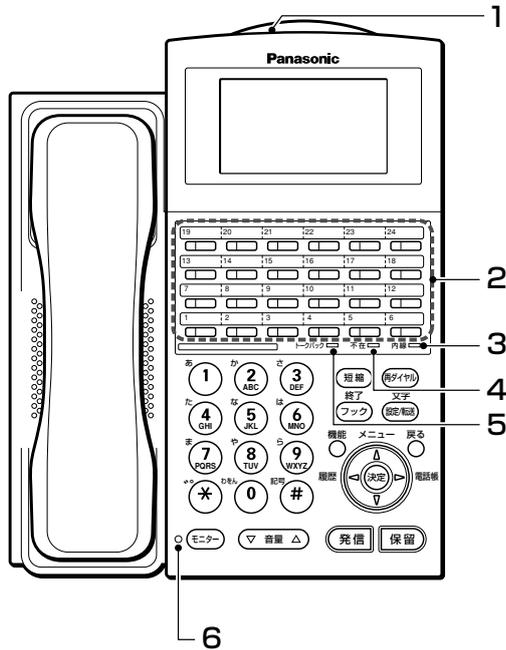


<例：24キー電話機K (VB-F611K) >

- 1 受話口
  - 2 スピーカー  
 モニター を押して受話器をとらないとき、相手の声が聞こえる
  - 3 送話口
  - 4 液晶表示部 (→36 ページ)
  - 5 FF ボタン (→96 ページ)  
 ・外線を設定して 外線 ボタンとして使う (→52 ページ)
- 外線 ボタンについて  
 どの外線がどの外線ボタンに設定されているかは、取付け時の設定により異なります。特定の外線でかける場合や、外線を口頭で転送するときは、必ずどの外線がどの外線ボタンに設定されているか確認してからお使いください。
- 6 短縮 ボタン (→69 ページ)  
 個人短縮、共通短縮で電話をかける
  - 7 再ダイヤル ボタン (→53 ページ)  
 最後にかけた相手にかけ直す
  - 8 フック ボタン  
 ・受話器を戻さずに、続けて電話をかける (→50 ページ)  
 ・各種設定を終了する
  - 9 設定/転送 ボタン  
 ・通話を転送する (→76、78 ページ)  
 ・機能を設定する (→96 ページ)  
 ・文字入力モードを変更する (→80 ページ)
  - 10 コマンドナビキー (→26 ページ)
  - 11 保留 ボタン  
 ・通話を保留する (→75 ページ)  
 ・各種設定を確定する (→95 ページ)
  - 12 発信 ボタン (→50 ページ)  
 外線へ電話をかける
  - 13 モニター ボタン  
 受話器を取らずに電話をかける
  - 14 音量 ボタン (→43 ページ)  
 着信音量や受話音量を調節する
  - 15 ダイヤルボタン
  - 16 マイク (→73 ページ)

ランプ類／電話機底面／主装置

ランプ類



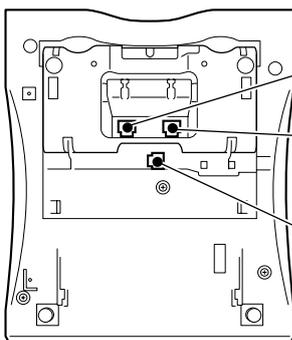
<例：24キー電話機K（VB-F611K）>

各ランプの音と表示パターンの詳細は、  
330ページ～331ページをご覧ください。

- 1 着信ランプ (⇒71 ページ)  
外線や内線から電話がかかってきたとき赤色に点滅(外線から電話がかかってきたときのみ、着信ランプの点滅色を緑色にすることもできます。) 取付け時設定  
外線を保留中(保留操作者のみ)に赤色に点滅
- 2 FFランプ (⇒71 ページ)  
[外線として使用している場合：外線ランプ]  
自分が通話中のとき：緑色に点灯  
自分が保留中のとき：緑色に点滅  
他の人が通話中のとき：赤色に点灯  
他の人が保留中のとき：赤色に点滅
- 3 内線ランプ (⇒54、72 ページ)  
内線通話中、赤色に点灯
- 4 不在ランプ (⇒99 ページ～102 ページ)  
不在転送、不在設定を設定中、赤色に点灯
- 5 トークバックランプ (⇒73 ページ)  
内線トークバックを設定中、赤色に点灯
- 6 モニターランプ  
 ボタンを押したとき赤色に点灯

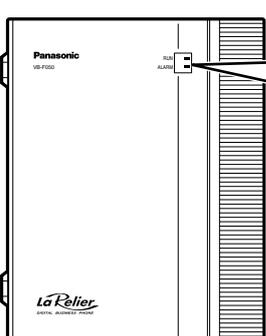
2 各部のなまえとはたらき

電話機底面



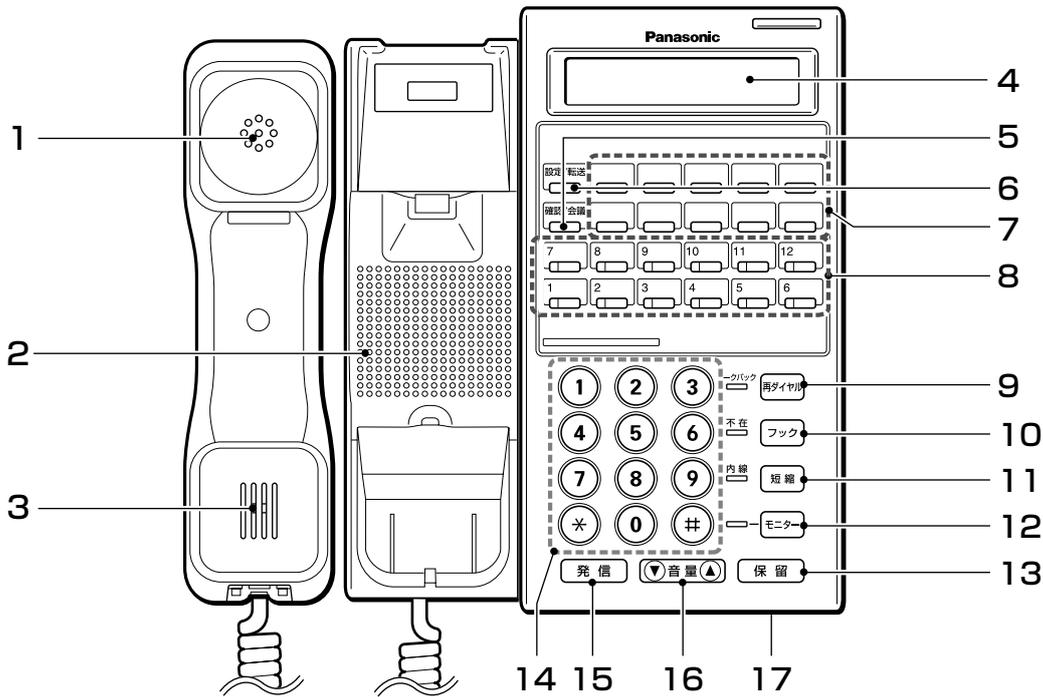
- モジュラージャック (増設機器用)  
DXDP接続 (⇒17ページ) に使用する  
24キー増設ユニットと接続する (⇒245ページ)
- モジュラージャック (主装置側)  
主装置と接続する  
DXDP接続でスレーブ電話機の場合は、マスター電話機の増設用モジュラージャックと接続する
- モジュラージャック (受話器側)  
受話器と接続する  
ヘッドセットと接続する (⇒244ページ)

主装置 (VB-F050)



- RUNランプ  
システム運用中に緑色に点灯
- ALARMランプ  
システムに障害が発生したときに赤色に点灯または点滅 (⇒337ページ)

## 数字表示付電話機



<例：12キー電話機N（VB-F411N）>

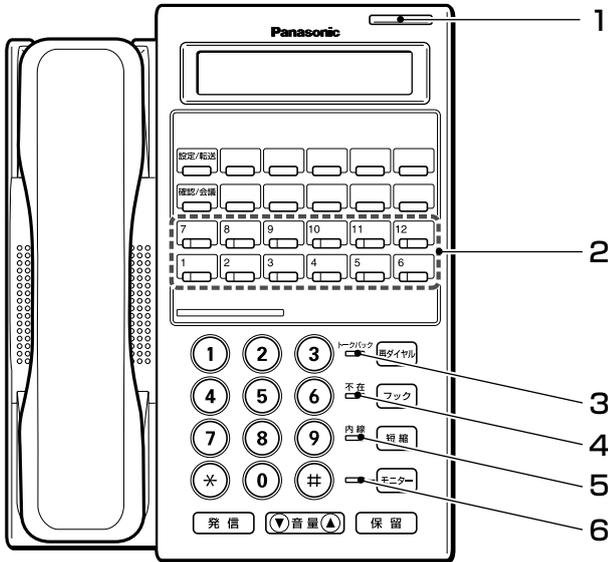
- |   |   |
|---|---|
| <p>1 受話口</p> <p>2 スピーカー</p> <p>3 送話口</p> <p>4 液晶表示部 (⇒36 ページ)</p> <p>5 <b>確認/会議</b> ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定を確認する (⇒96 ページ)</li> <li>・通話に割り込む (⇒143 ページ)</li> </ul> <p>6 <b>設定/転送</b> ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話を転送する (⇒76、78 ページ)</li> <li>・機能を設定する (⇒96 ページ)</li> </ul> <p>7 ワンタッチボタン (⇒202 ページ)</p> <p>8 <b>FF</b> ボタン (⇒96 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外線を設定して <b>外線</b> ボタンとして使う (⇒52 ページ)</li> </ul> | <p>9 <b>再ダイヤル</b> ボタン (⇒53 ページ)</p> <p>最後にかけた相手にかかけ直す</p> <p>10 <b>フック</b> ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受話器を戻さずに、続けて電話をかける (⇒50 ページ)</li> <li>・各種設定を終了する</li> </ul> <p>11 <b>短縮</b> ボタン (⇒69 ページ)</p> <p>個人短縮、共通短縮で電話をかける</p> <p>12 <b>モニター</b> ボタン</p> <p>受話器を取らずに電話をかける</p> <p>13 <b>保留</b> ボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話を保留する (⇒75 ページ)</li> <li>・各種設定を確定する (⇒95 ページ)</li> </ul> <p>14 <b>ダイヤル</b> ボタン</p> <p>15 <b>発信</b> ボタン (⇒50 ページ)</p> <p>外線へ電話をかける</p> <p>16 <b>音量</b> ボタン (⇒43 ページ)</p> <p>着信音量や受話音量を調節する</p> <p>17 <b>マイク</b> (⇒73 ページ)</p> |
|---|---|

**外線** ボタンについて

どの外線がどの外線ボタンに設定されているかは、取付け時の設定により異なります。特定の外線でかける場合や、外線を口頭で転送するときは、必ずどの外線がどの外線ボタンに設定されているか確認してからお使いください。

ランプ類／電話機底面

ランプ類

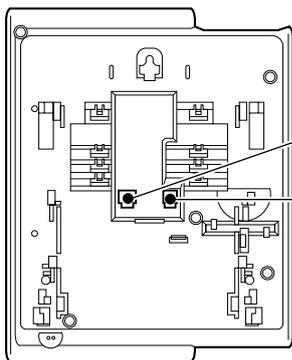


- 1 着信ランプ (➡71 ページ)  
外線や内線から電話がかかってきたとき赤色に点滅
- 2 FFランプ (➡71 ページ)  
[外線として使用している場合：外線ランプ]  
自分が通話中のとき：緑色に点灯  
自分が保留中のとき：緑色に点滅  
他の人が通話中のとき：赤色に点灯  
他の人が保留中のとき：赤色に点滅
- 3 トークバックランプ (➡73 ページ)  
内線トークバックを設定中、赤色に点灯
- 4 不在ランプ (➡99 ページ～ 102 ページ)  
不在転送、不在設定を設定中、赤色に点灯
- 5 内線ランプ (➡54、72 ページ)  
内線通話中、赤色に点灯
- 6 モニターランプ  
モニター ボタンを押したとき赤色に点灯

<例：12キー電話機N (VB-F411N) >

各ランプの音と表示パターンの詳細は、  
330 ページ～ 331 ページをご覧ください。

電話機底面



- モジュージャック (主装置側)  
主装置またはDXDP接続としてマスター電話機と接続する
- モジュージャック (受話器側)  
受話器と接続する

コマンドナビキーを操作することにより、電話帳の登録や検索、発着信の履歴表示をすることができ、電話帳の検索結果や履歴表示から電話をかけることもできます。

また、電話機の設定やシステムの各種設定を簡単操作で行うことができます。

## コマンドナビキーの基本的な動作について

コマンドナビキーの基本的な動作は次の通りです。

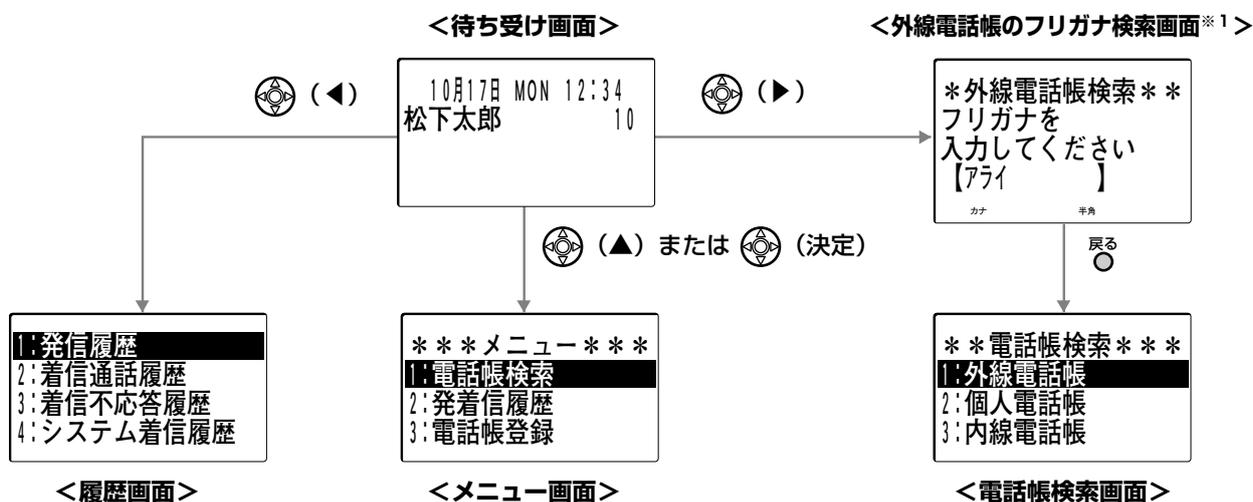
ボタン表記	状態	待ち受け中	メニュー項目選択時	設定時
	上を押す	メニュー画面を表示	1行上の項目を選択（カーソル <sup>※1※2</sup> が移動）、1行目の場合、前の画面へ移動	
	下を押す	_____	1行下の項目を選択（カーソル <sup>※1※2</sup> が移動）、最終行の場合、次の画面へ移動	
	左を押す	履歴画面を表示	前の画面へ移動	
	右を押す	電話帳検索画面を表示	次の画面へ移動	
(決定)	真ん中を押す	メニュー画面を表示	項目を確定	
		表示画面に応じて (▲)、 (▼)、 (◀)、 (▶) を押し、画面の移動や項目を選択		
機能 		_____	_____	サブメニュー画面、検索モードの切り替え
戻る 		_____	前の画面に戻る	前の画面に戻る または文字クリアー

※1：カーソルとは、メニューなどに表示される「」や「**\_**」のことをいいます。

また、「」は、その項目が選択されていることを表します。

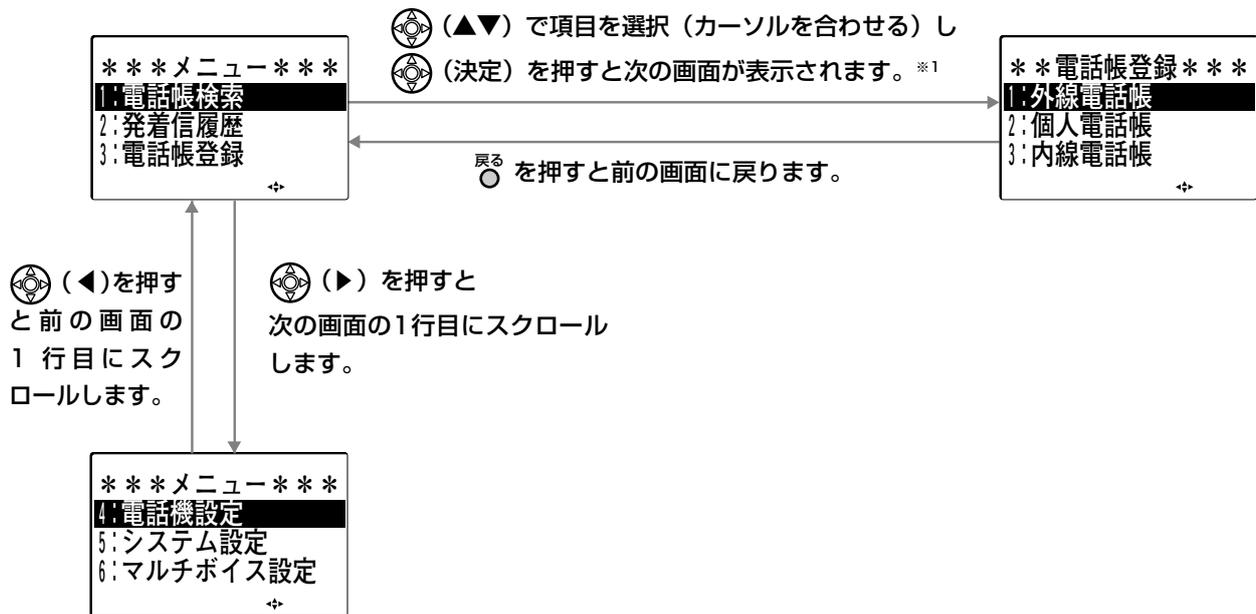
※2： (▲▼) を約1秒以上押すと、電話帳検索画面の電話帳データ表示と、発着信履歴画面の履歴データ表示の場合のみ1行ずつ連続してカーソルがスクロールします。

### 待ち受け中の操作



※1：設定により、個人電話帳のフリガナ検索画面や、電話帳検索画面を表示させることもできます。  
(⇒63ページ)

## 項目選択中の動作



※1：画面上の機能・項目名の前に表示されている番号をダイヤルボタンで押すだけで、次の画面を表示させることもできます。  
 例えば、「3：電話帳登録」を選択する場合、**③** を押すだけで次の画面を表示できます。

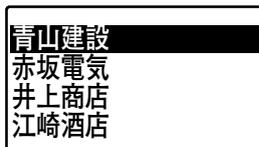
### お知らせ

- 設定を終了して待ち受け画面に戻るには、**フック** を押すか、待ち受け画面が表示されるまで **戻る** を押します。
- 液晶表示部の矢印 (◀▶) は、表示されている矢印方向の **Ⓞ** (▲▼◀▶) を押すとカーソルが移動する、または次の画面が表示されることを表しています。なお、この取扱説明書内に記述されている液晶表示部では、この矢印 (◀▶) を省略しております。
- コマンドナビキーの操作途中で設定した時間 (お買い上げ時の設定は1分) 何も操作しないと、電話機は待ち受けの状態に戻ります。 **📞 取付け時設定**

## サブメニューを表示する動作

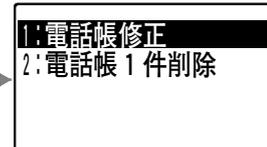
選択している項目に関連した別のメニューがある場合、**機能** を押すことによりそのメニューを表示することができます。このメニューのことを「サブメニュー」といいます。  
 サブメニュー項目には電話帳グループ名称の編集、登録件数の確認や登録内容の削除などがあります。

### <外線電話帳一覧画面>



**機能** を押すとサブメニューが表示されます。

### <サブメニュー画面>



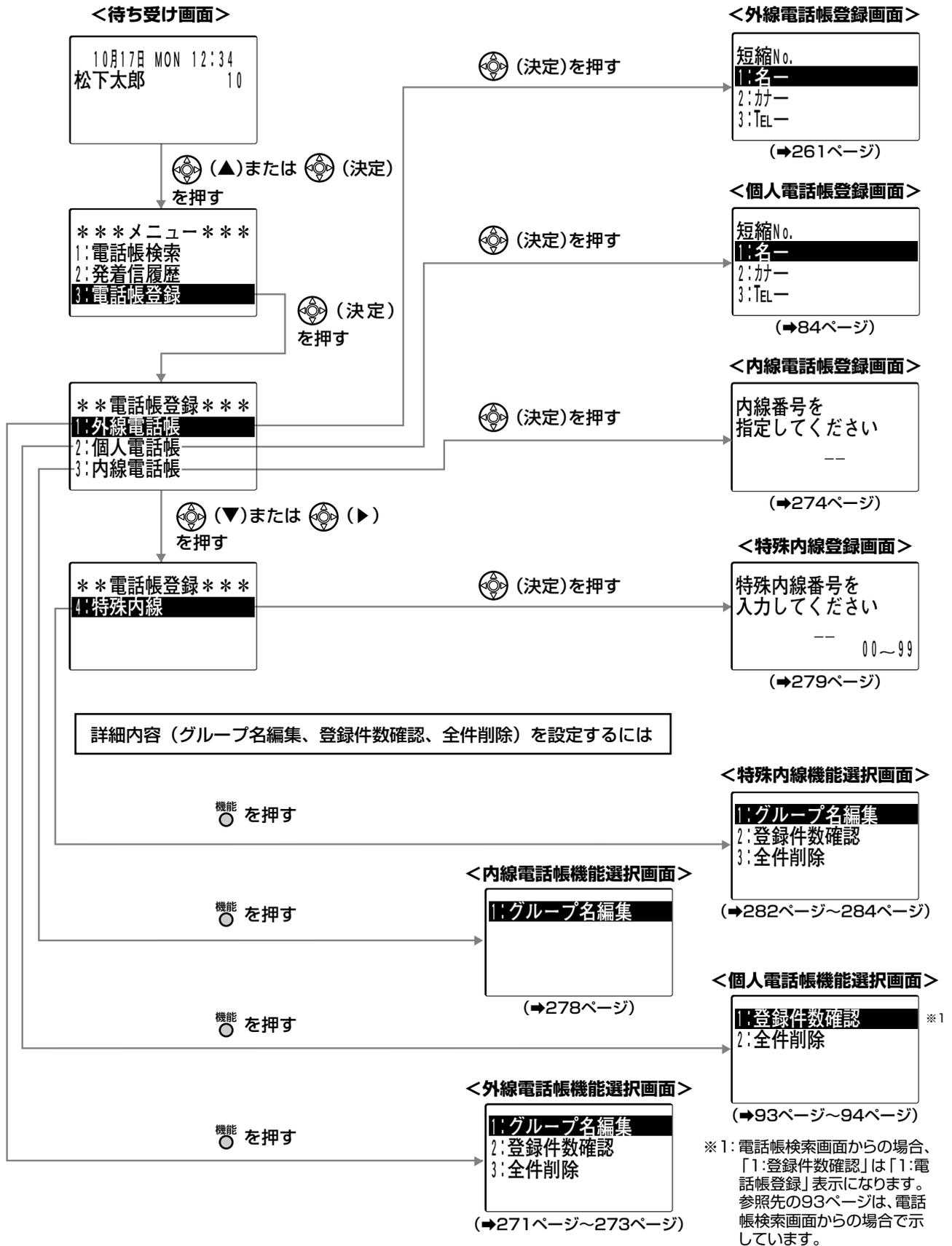
### お知らせ

- **機能** を押しても機能上サブメニューがない場合、サブメニューは表示されません。

## 主な画面の表示のしかた

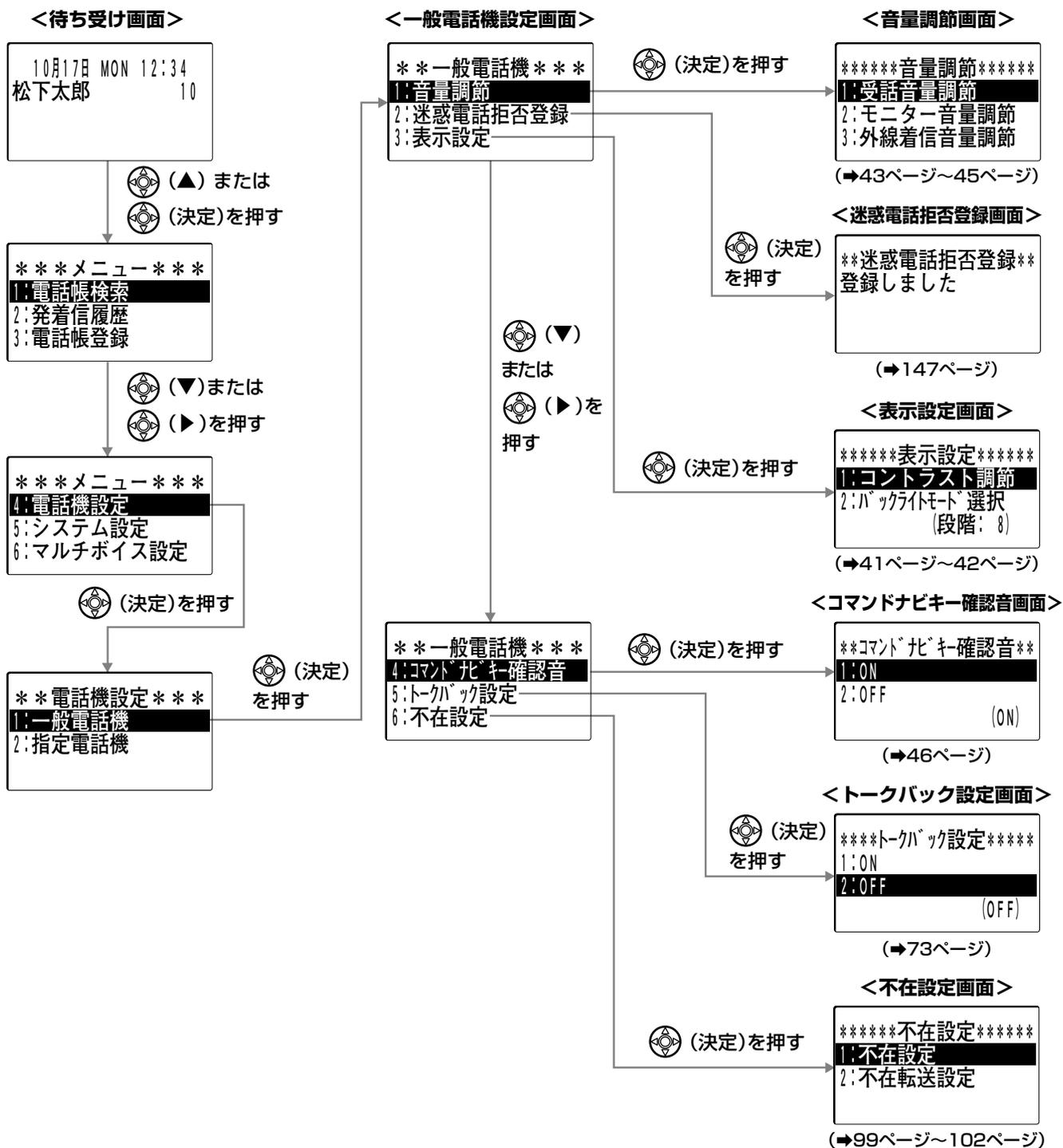
- 「項目選択中の動作」 (→27ページ) も併せてご覧ください。

### 電話帳登録画面の表示のしかた



## 電話機設定画面の表示のしかた

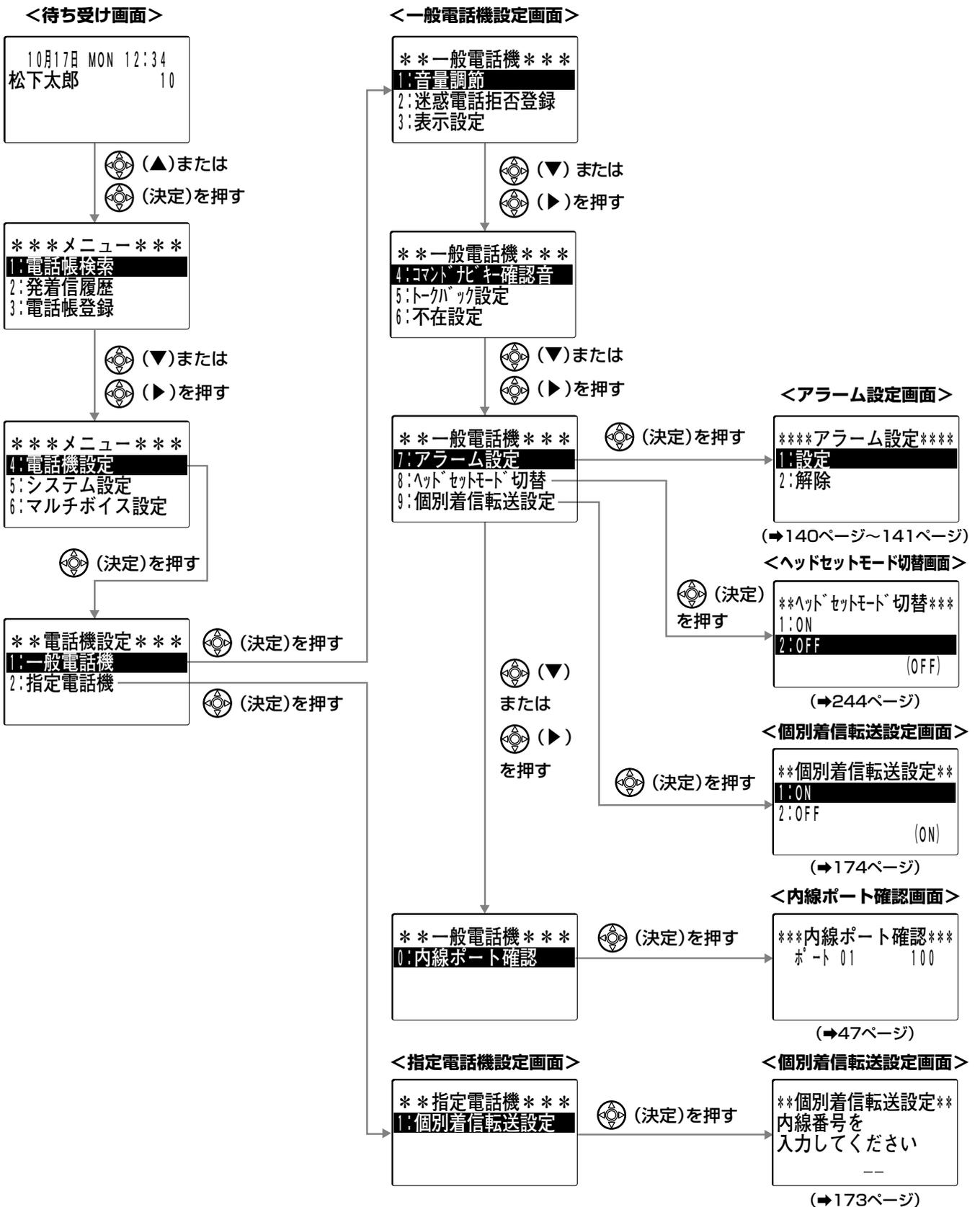
● 「項目選択中の動作」 (⇒27ページ) も併せてご覧ください。



## 電話機設定画面の表示のしかた

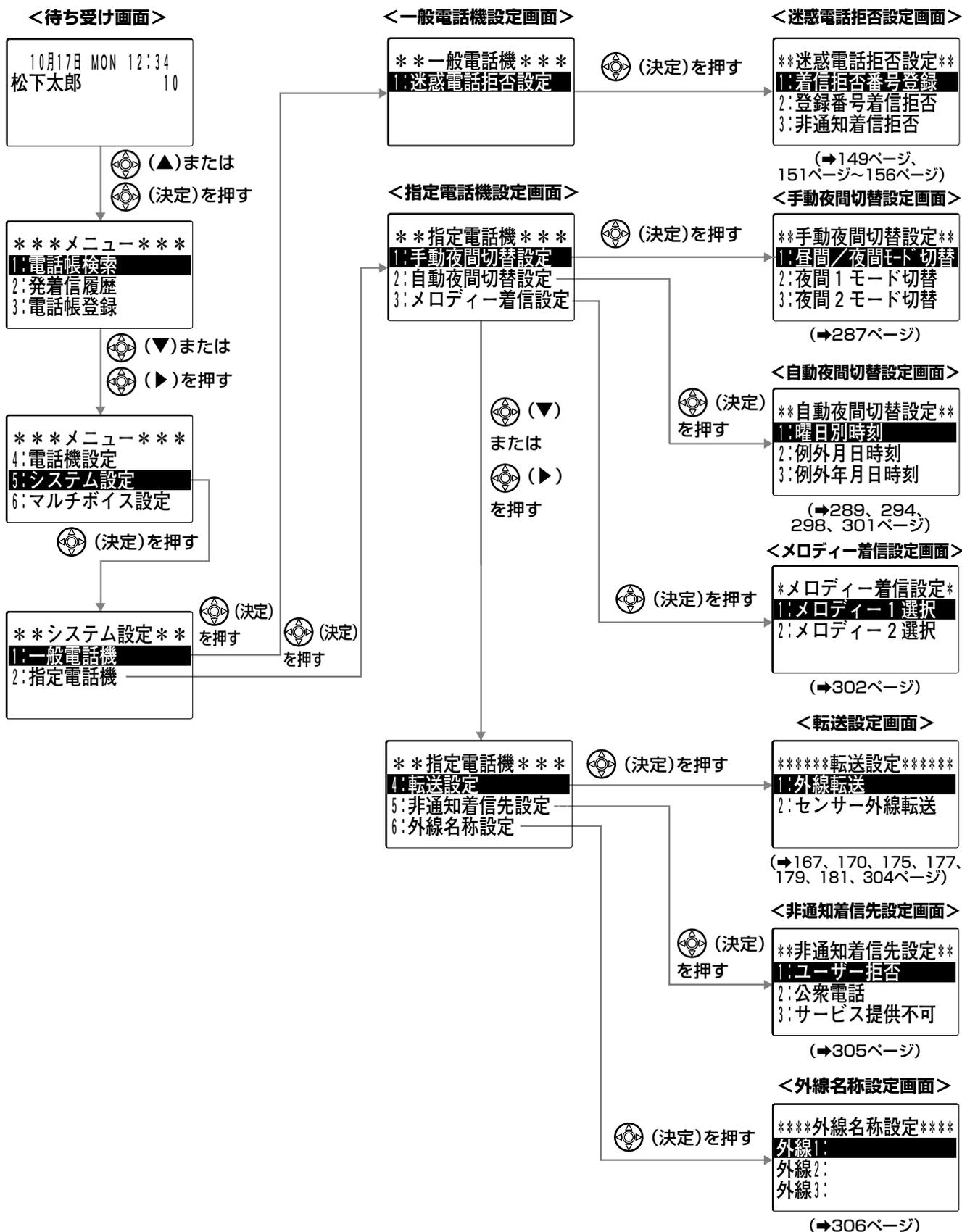
(続き)

● 「項目選択中の動作」(⇒27ページ)も併せてご覧ください。



## システム設定画面の表示のしかた

● 「項目選択中の動作」(⇒27ページ) も併せてご覧ください。



システム設定画面の表示のしかた

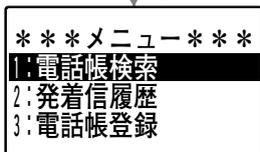
(続き)

- 「項目選択中の動作」 (⇒27 ページ) も併せてご覧ください。

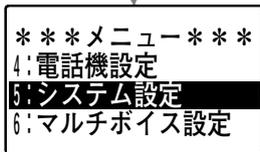
<待ち受け画面>



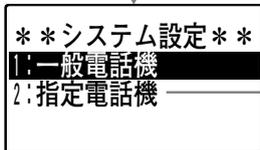
(▲) または  
 (決定) を押す



(▼) または  
 (▶) を押す

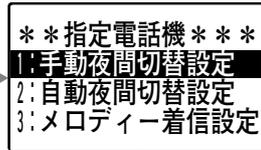


(決定) を押す

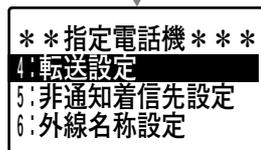


(決定) を押す

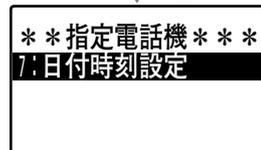
<指定電話機設定画面>



(▼) または  
 (▶) を押す



(▼) または  
 (▶) を押す



(決定) を押す

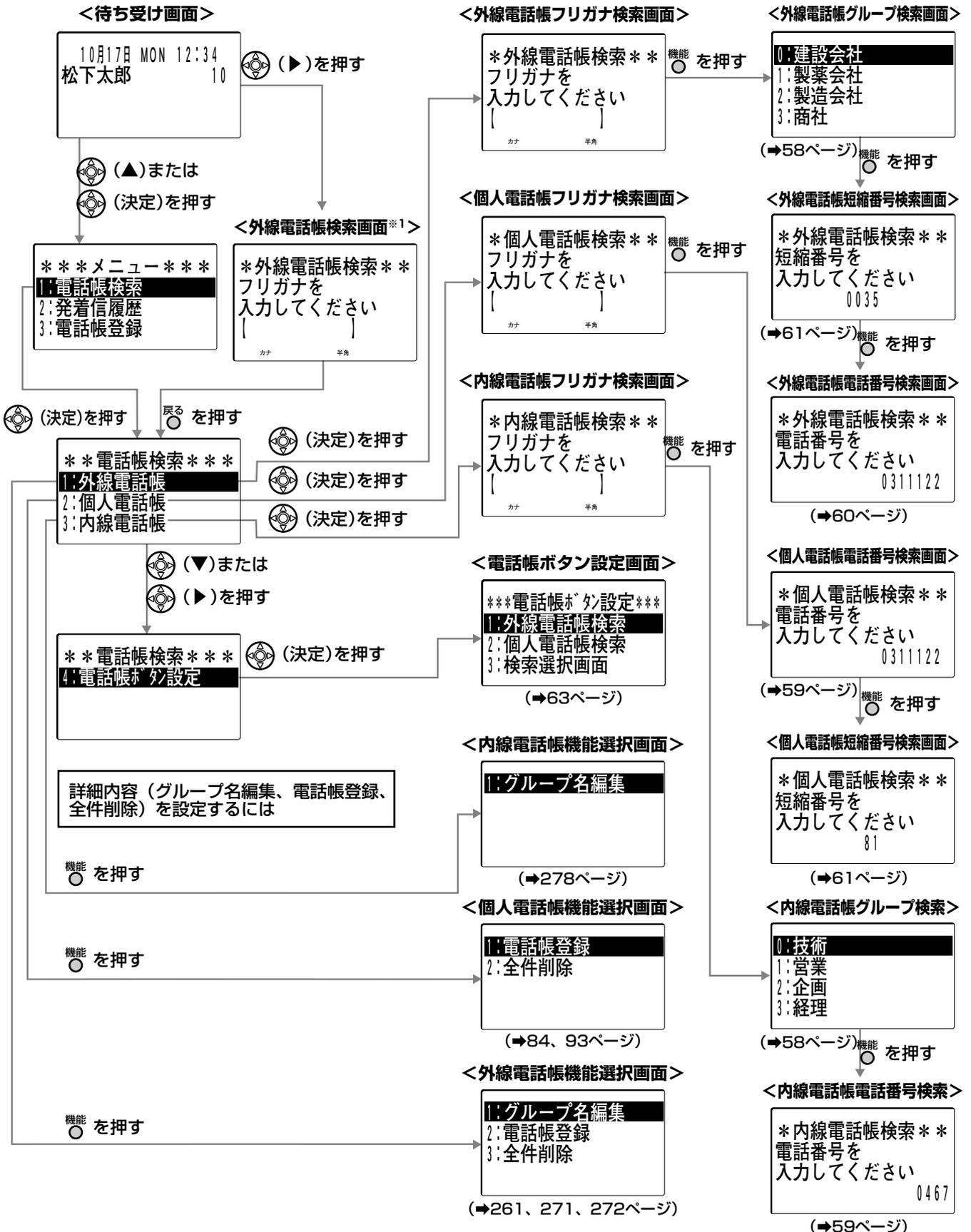
<日付時刻設定画面>



(⇒285ページ)

## 電話帳検索画面の表示のしかた

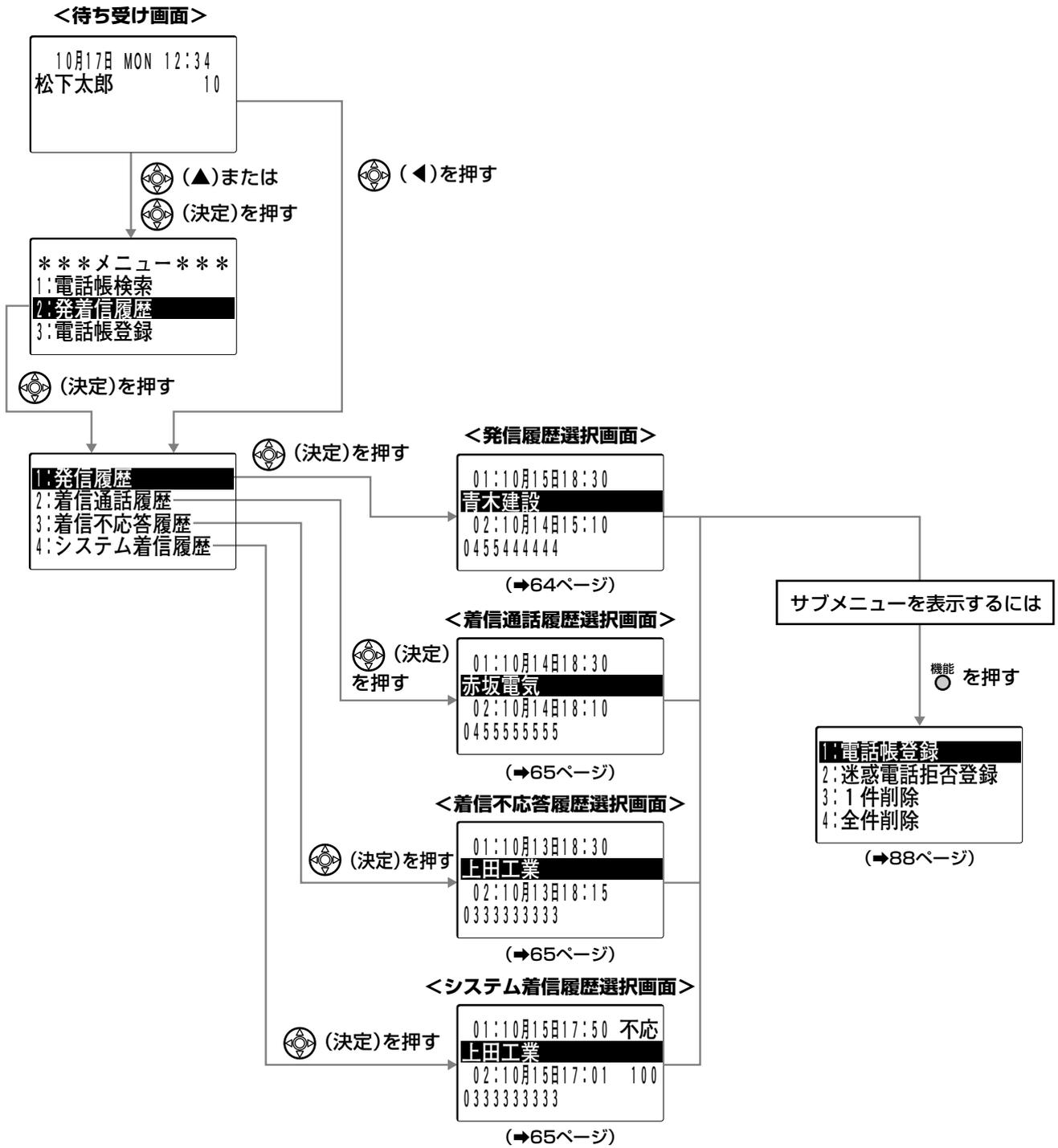
● 「項目選択中の動作」(⇒27ページ)も併せてご覧ください。



※1：設定により、個人電話帳検索画面や、どの電話帳を使うかを選択する検索選択画面を表示させることができます。(⇒63ページ)

## 履歴画面の表示のしかた

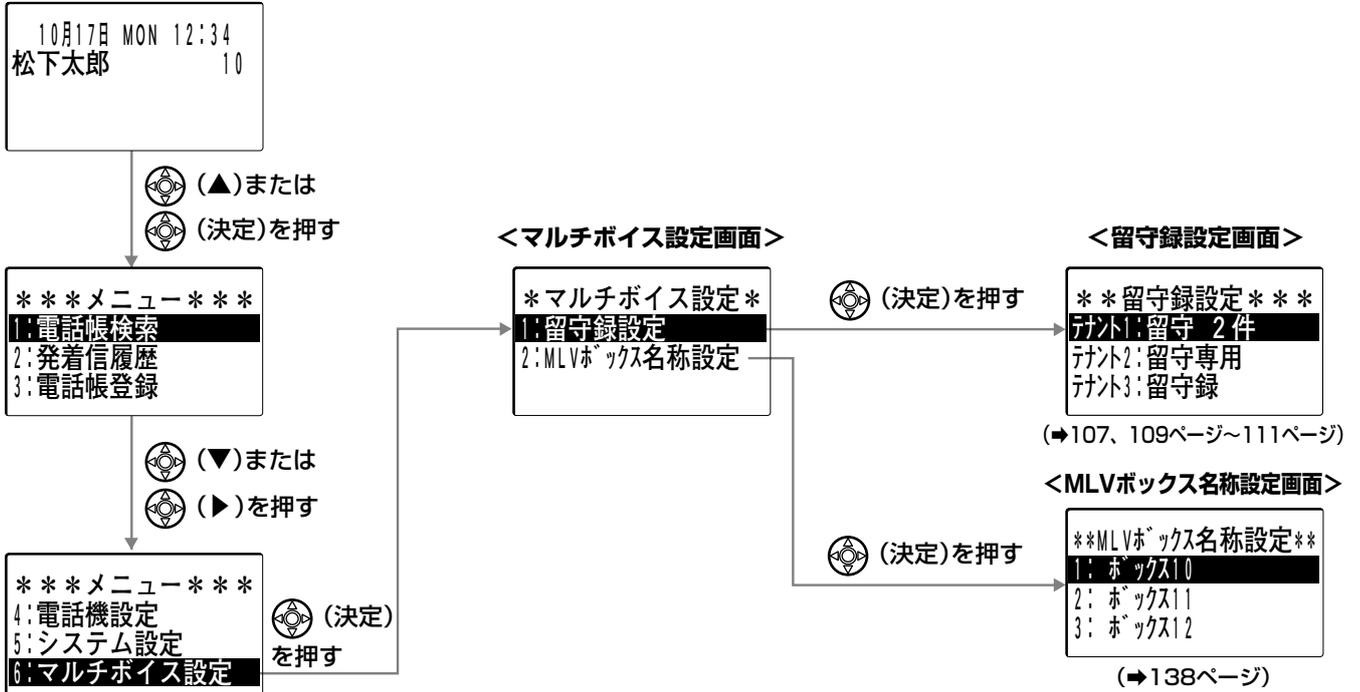
- 「項目選択中の動作」(⇒27ページ)も併せてご覧ください。



## マルチボイス設定画面の表示のしかた

- 「項目選択中の動作」 (→27 ページ) も併せてご覧ください。

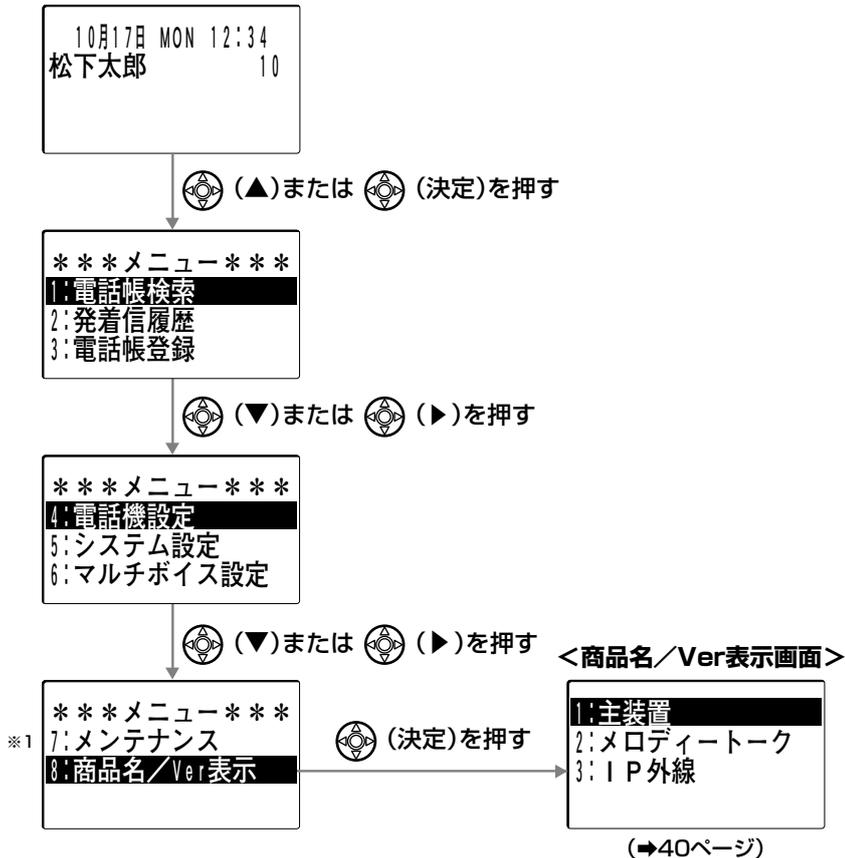
<待ち受け画面>



## 商品名／Ver表示画面の表示のしかた

- 「項目選択中の動作」 (→27 ページ) も併せてご覧ください。

<待ち受け画面>



※1：2.4Gカラーデジタルコードレス電話機の取付工事・設定で使用する保守用メニューです。取付工事・設定以外では使用しないでください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 2 液晶表示について

液晶表示部には時刻、ダイヤル番号、通話時間、通話料金などを表示します。

## ボタンを押したときの表示

ボタン	① ~ ⑩	＊	＃	短縮	再ダイヤル	文字 設定/転送	設定/転送	確認/会議
表示タイプ								
漢字表示タイプ	1 0	*	#	A	R	F		
数字表示タイプ	1 0	*	#	0	-		F	[

- 漢字表示付電話機で表示できるケタ数は、20ケタです。20ケタ以上になると、順に表示したあと末尾20ケタを表示します。
- 数字表示付電話機で表示できるケタ数は、12ケタです。12ケタ以上になると、順に表示したあと末尾12ケタを表示します。

## 電話をかけるときの表示（ダイヤル表示）

ダイヤルした電話番号を表示します。漢字表示付電話機では、名前を登録した短縮ダイヤルや電話帳からかけたときは、登録されている相手の名前を表示します。

IP回線で電話をかけたときは、お使いになっている外線の表示（「外線」）が「IP」と表示されます。回線にキャリア名などの外線名称を登録して液晶表示部に表示させることもできます。

### 表示例 松下太郎さん（内線17番）の電話機からかける場合

**外線にかけたとき** 例：鈴木一郎さん（045-000-4321）にかけたとき

	ダイヤルしてかけたとき	電話帳（共通／個人短縮）からかけたとき
漢字表示タイプ	0450004321 外線*04 発信先の電話番号 使用外線番号	0450004321 鈴木一郎 発信先の電話番号 発信先の名前
数字表示タイプ	0450004321	0450004321

**内線にかけたとき** 例：鈴木さん（内線12番）にかけたとき

	ダイヤルしてかけたとき	内線電話帳からかけたとき
漢字表示タイプ	12 松下太郎 17 発信先の 内線番号	鈴木 松下太郎 17 発信先の名前
数字表示タイプ	12	

### お知らせ

- IP回線を指定して電話をかけたとき、電話番号によっては発信できない場合があります。IP回線から発信できない電話番号へ発信するときはACR機能を使うか、一般回線の外線から発信してください。オプションのIP外線ユニットをお使いの場合、自動的に一般回線に迂回発信することができます。  取付け時設定

## 電話がかかってきたときの表示（発信者の電話番号の表示）

発信者の電話番号が通知されてかかってきたとき、通知された電話番号を表示します。漢字表示付電話機では、外線電話帳、内線電話帳に名前を登録してある相手からの場合には、登録されている発信者の名前を表示します。

### 表示例 松下太郎さん（内線17番）の電話機にかかってきた場合

**外線からかかってきたとき** 例：東京支店（03-0000-5678）からかかってきたとき

	名前登録あり	名前登録なし
漢字表示タイプ	10月17日 MON 13:30 東京支店 0300005678 発信者の名前	10月17日 MON 13:30 着信 0300005678 発信者の電話番号
数字表示タイプ	0300005678	0300005678

#### お知らせ

- 発信者の名前の表示は、全角 10 文字（半角 20 文字）までです。
- 共通短縮ダイヤルを登録するときに、電話番号の前に構内交換機に接続している場合の外線発信番号「0」など（➡50 ページ）を付けて登録している場合や、市外局番を付けないで登録している場合には名前を表示することはできません。
- NTT サービスのナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイについては、それぞれ 194 ページ、195 ページを参照してください。

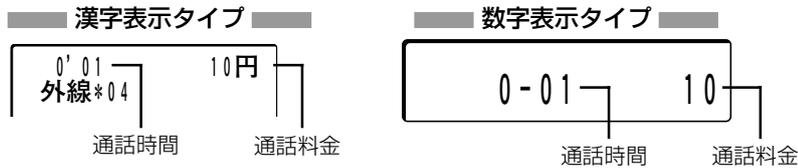
**内線からかかってきたとき** 例：鈴木さん（内線12番）からかかってきたとき

	名前登録あり	名前登録なし
漢字表示タイプ	着信 鈴木 17 発信者の名前 松下太郎	着信 12 発信者の内線番号 松下太郎 17
数字表示タイプ	12	12

## 通話時間と通話料金の表示

取付け時設定

### 表示例 外線に電話をかけて相手が応答したときの表示

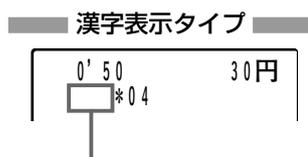


#### お知らせ

- 通話が終了しても、約 5 秒間表示します。
- 通話時間の表示は、59 分 59 秒まで表示します。それを超えると、0 分 00 秒から再スタートします。
- 通話時間表示をするには、市外局番の設定が必要です。 取付け時設定
- 携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、列車電話、キャッチホン、INS キャッチホン、電報、コレクトコール、フリーダイヤル、伝言ダイヤルなどは料金表示されません。ただし、取付け時設定によって、目安としての料金表示が可能です。 取付け時設定
- 構内交換機の端末として使用しているときは、ダイヤル後、約 15 秒後（設定により約 30 秒後）に料金計算を開始します。
- 国際電話の通話料金は、通話料金集計（→307 ページ）には含まれません。
- 通話料金の集計には、外線ごとに課金種別の設定が必要です。 取付け時設定
- 表示される通話料金は、あくまでも料金の目安としてお使いください。各通信事業者または各 IP 電話事業者で管理している通話料金と同一とは限りません。通話料金のデータは公式データとして申し立ての対象とはなりません。
  - ・ 国内通話は、NTT 以外の通信事業者でかけた場合でも、NTT 回線を使ってかけた場合の通話料金で表示されます。
  - ・ 国際通話は、KDDI 以外の通信事業者でかけた場合でも、001 でかけたときの平日昼間の最初の 1 分間までの料金単位で計算されます。
  - ・ IP 回線でかけた場合、050 ではじまる電話番号にかけた場合でも有料の場合があります。通話料金はご契約の IP 電話事業者によります。IP 回線でかけても、IP 回線で発信されない場合（迂回発信）があります。この場合、通常の ISDN や電話（アナログ）回線で発信され、使用した回線の通話料金がかかります。
- 各電話機の通話料金は最大 500,000 円まで表示されます。それを超えると、表示は 500,000 円のままとなります。
- 1 円未満の通話料金は表示できません。

## NTT以外の通信事業者回線を使って電話をかけているときの表示

NTT以外の通信事業者回線を使って外線に電話をかけたとき、お使いになっている回線の会社名が表示されません。（漢字表示付電話機のみ）



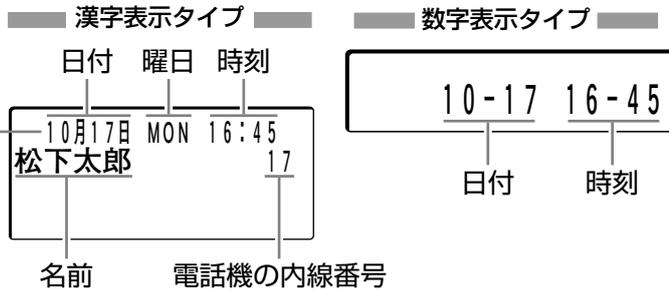
ここに、NTT以外の通信事業者の会社名がアルファベットで表示されます。

#### お知らせ

- NTT の場合、本ページ上段の表示、または 36 ページをご覧ください。

## 待ち受け中の表示（日付・時刻表示）

待ち受け中のときに、日付と時刻を表示します。



日付や時刻の設定、変更は指定電話機で行います。（→285ページ） **指定**

### お知らせ

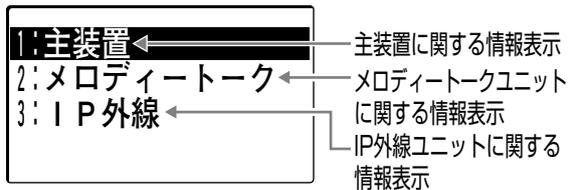
- 時計の精度は、月差 60 秒以内です。
- 漢字表示付電話機では、日付や時刻のほかに曜日（「SUN」など英語省略名）も表示します。
- 漢字表示付電話機では、電話機に割り付けられた名前（内線電話帳に名前を登録してある場合：→274 ページ）と内線番号を表示します。
- 受話器を取るか、**モニター** を押すと、日付・時刻表示は消えます。

## 使用している主装置の情報を表示（商品名／Ver表示） 漢字

使用している主装置の商品名やソフトウェアのバージョンなどの情報を表示できます。  
お買い上げの販売店に問い合わせする際の情報として利用します。

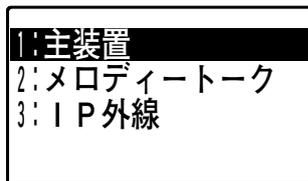
### ナビ操作

- 1 (▲) を押し、メニュー画面で「8：商品名／Ver表示」を選択して「商品名／Ver表示画面」を表示する (➡35ページ)



- を押すと待ち受け画面に戻ります。

- 2 (▲▼) で情報を表示したい項目を選択し (決定) を押す



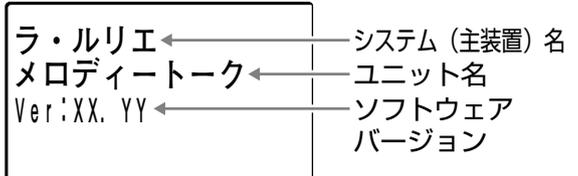
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

↓  
<1：主装置を選択した場合>



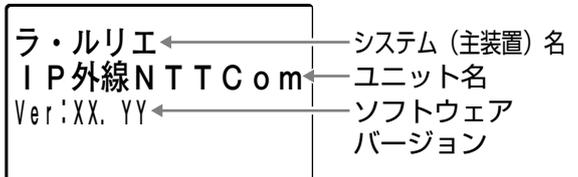
- を押すと手順1の画面に戻ります。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

<2：メロディートークを選択した場合>



- を押すと手順1の画面に戻ります。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

<3：IP外線を選択した場合>



- 上図は、NTTコミュニケーションズ株式会社対応のIP外線ユニットが実装されている場合の表示です。
- を押すと手順1の画面に戻ります。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

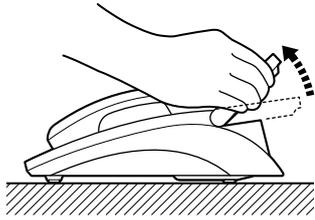
- 上記手順の画面内、「XX.YY」にはお使いのソフトウェアバージョンが表示されます。
- 「2：メロディートーク」または「3：IP外線」を選択したとき、それぞれのユニットが実装されていない場合、下図のメッセージが表示されます。

ラ・ルリエ  
実装されていません  
Ver:--, --

## 角度を調節する

漢字

液晶表示部の角度を任意の角度で調節できます。



## お願い

- 角度調節で可動が止った所が角度調節の限度です。無理な力を加えて角度調節の限度以上に調節を行わないでください。液晶表示部や電話機が破損する原因になります。
- 電話機の移動などのとき、液晶表示部のみを持たないでください。液晶表示部や電話機が破損する原因になります。

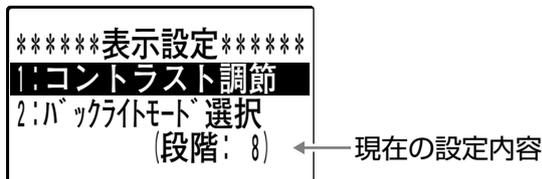
## コントラストを調節する

漢字

液晶表示部のコントラストを16段階で調節できます。

## ナビ操作

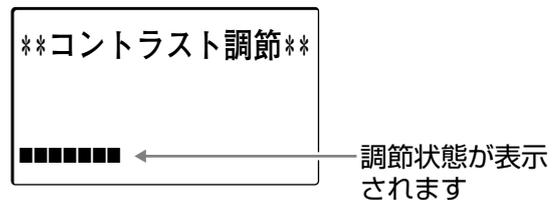
- 1 方向キー(▲)を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「3：表示設定」を選択して「表示設定画面」を表示する(➡29ページ)



- 2 方向キー(▲▼)で「1：コントラスト調節」を選択し 決定キー(決定)を押す

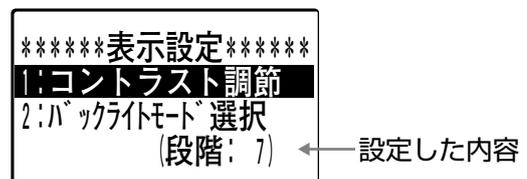


- 3 方向キー(◀▶)でコントラストを調節する



- 方向キー(▶)を押すとコントラストが高くなり、方向キー(◀)を押すとコントラストが低くなります。

- 4 決定キー(決定)を押す



- コントラストが設定されます。
- フックを押すと待ち受け画面に戻ります。

## お知らせ

- 手順4を省略しても、手順3で調節したコントラストが設定されます。

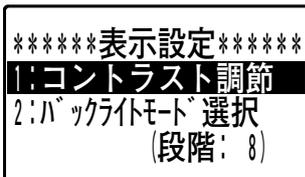
## バックライトの設定をする

漢字

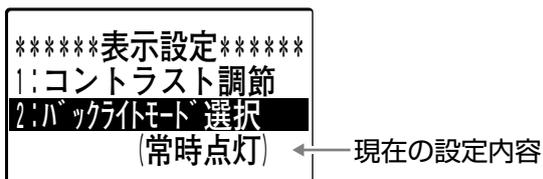
液晶表示部のバックライトを自動的に点灯／消灯させたり、常時点灯させたり設定できます。

### ナビ操作

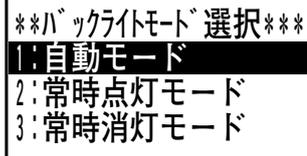
- 1 ④ (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「3：表示設定」を選択して「表示設定画面」を表示する (⇒29ページ)



- 2 ④ (▲▼) で「2：バックライトモード選択」を選択し ④ (決定) を押す



- 3 ④ (▲▼) で設定したいバックライトモードを選択する

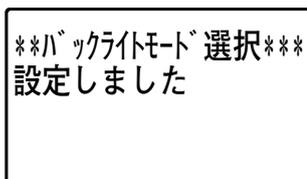


**自動モード** : 電話機操作 (受話器を取ったとき／戻したとき、着信があったとき、いずれかのボタンを押したとき) をすると、バックライトが自動点灯し、約10秒後 (着信があったときは約30秒後。ただし、着信不応答時は、着信停止後すぐ) にバックライトが自動消灯します。

**常時点灯モード** : 電話機操作に関係なく、常時バックライトを点灯します。

**常時消灯モード** : 電話機操作に関係なく、常時バックライトを消灯します。

- 4 ④ (決定) を押す



約2秒後



- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

- バックライトの自動消灯時間を、10秒～60秒の範囲で変更できます。 取付け時設定
- 自動モードをご利用の場合、24キー増設ユニット (⇒245ページ) のFFボタンを押してもバックライトは点灯しません。

受話口やスピーカーから聞こえる相手の声の音量（受話音量）や電話がかかってきたときの呼出音や着信音の音量（着信音量）を5段階で調節できます。  
電話帳や短縮ダイヤルなどを検索中は音量調節できません。

## 通話中に受話音量を調節する

通話中に受話音量を調節することができます。通話開始時は5段階の3番目の音量に設定されています。受話器を戻すと、通話開始時の音量に戻ります。

### ボタン操作

#### 通話中

1  を押す

-  を押すと小さくなり、 を押すと大きくなります。

外線通話中のときはコマンドナビキーで受話音量の調節をすることができます。

### ナビ操作

#### 外線通話中

1  (▲)を押す

```
***メニュー***
1:受話音量調節
2:発信者付加情報表示
3:迷惑電話拒否登録
```

2  (▲▼)で「1：受話音量調節」を選択し  (決定)を押す

```
***メニュー***
1:受話音量調節
2:発信者付加情報表示
3:迷惑電話拒否登録
```

3  (◀▶)または  で受話音量を調節する

```
***受話音量調節***
■■■■ ←
```

調節状態が表示されます

-  (▶)または  を押すと音量が大きくなり、 (◀)または  を押すと音量が小さくなります。

4  (決定)を押す

```
***メニュー***
1:受話音量調節
2:発信者付加情報表示
3:迷惑電話拒否登録
```

- 調節した受話音量に設定されます。
- 通話中の表示に戻るには、 を1回押してください。

### 操作のヒント

- 通話開始時の受話音量を5段階の3番目、4番目、5番目（最大）の3段階で変更することができます。
- 1  (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「1：音量調節」を選択して「音量調節画面」を表示する（➡29ページ）
- 2  (▲▼) で「1：受話音量調節」を選択し  (決定) を押す
- 3  (◀▶) で受話音量を調節する
- 音量が大きすぎてハウリングする場合、音量を小さくしてください。

### お知らせ

- 手順4を省略しても、手順3で調節した音量が設定されます。

# 電話機の音量を調節する

## 待ち受け中にモニター音量(スピーカーからの音量)を調節する

待ち受け中にモニター音量を5段階で調節できます。調節されたモニター音量は、以降のモニター受話時にも有効となります。

### ボタン操作

#### 待ち受け中

##### 1 を押す

- 内線発信音(ブー)が聞こえます。

##### 2 を押す

- を押すと小さくなり、 を押すと大きくなります。

### ナビ操作

#### 待ち受け中

##### 1 (▲) を押し、各選択画面で「4: 電話機設定」→「1: 一般電話機」→「1: 音量調節」を選択して「音量調節画面」を表示する(→29ページ)

```
*****音量調節*****
1: 受話音量調節
2: モニター音量調節
3: 外線着信音量調節
```

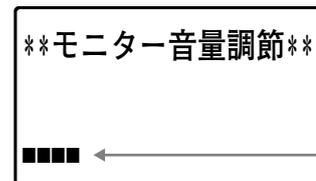
##### 2 (▲▼) で「2: モニター音量調節」を選択し (決定) を押す

```
*****音量調節*****
1: 受話音量調節
2: モニター音量調節
3: 外線着信音量調節
```

##### 3 を押す

- 調節したモニター音量に設定され、以降設定した音量となります。

##### 3 (◀▶) でモニター音量を調節する



調節状態が表示されます

- (▶) を押すと音量が大きくなり、 (◀) を押すと音量が小さくなります。
- モニター音量調節時、実際のモニター音は聞こえません。

##### 4 (決定) を押す

```
*****音量調節*****
1: 受話音量調節
2: モニター音量調節
3: 外線着信音量調節
```

- 調節したモニター音量に設定され、以降設定した音量となります。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

- モニター音量調節に連動して、話中時着信音(→326ページ)も一緒に音量調節されます。(モニター音量を大きくすると、話中時着信音も一緒に大きくなります)モニター音量調節をした結果、話中時着信音が大きすぎる、または小さすぎる場合、再度モニター音量調節をしてください。
- 手順4を省略しても、手順3で調節した音量が設定されます。

# 着信音量を調節する

着信音量を5段階で調節できます。

## ボタン操作

### 着信音が鳴っていない場合（待ち受け中）

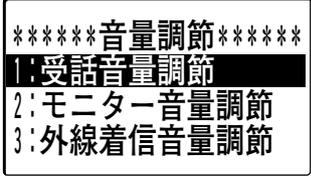
- 1 を押す
- 2 を押す
- 3 を押す
- 4 を押す

### お知らせ

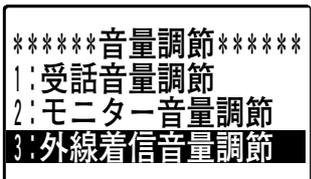
- ヘッドセットモード（⇒244ページ）に切り替えている場合で着信音が鳴っていないときは、着信音量を調節できません。

## ナビ操作

- 1 （▲）を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「1：音量調節」を選択して「音量調節画面」を表示する（⇒29ページ）



- 2 （▲▼）で「3：外線着信音量調節」を選択し （決定）を押す



### お知らせ

- 外線と内線の着信音量を別々に調節することもできます。 取付け時設定 別々に調節するように設定した場合、手順2で「4：内線着信音量調節」を選択して、内線の着信音を調節することもできます。
- 手順4を省略しても、手順3で調節した音量が設定されます。

### 着信音が鳴っている場合（着信中）

- 1 を押す
  - を押すと小さくなり、 を押すと大きくなります。

### 操作のヒント

- 外線と内線の着信音量を別々に調節することもできます。 取付け時設定 別々に調節するように設定した場合、手順2で、外線は 、内線は を押してください。

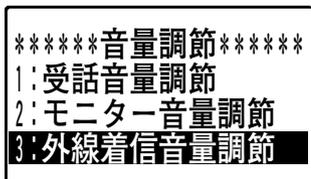
- 3 （◀▶）で着信音量を調節する



調節状態が表示されます

- （▶）を押すと音量が大きくなり、（◀）を押すと音量が小さくなります。
- 着信音量調節時、実際の着信音は聞こえません。

- 4 （決定）を押す



- 調節した着信音量に設定され、以降設定した音量となります。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

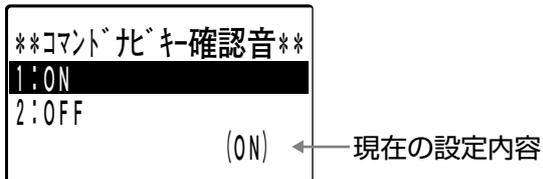
## コマンドナビキーの確認音を鳴らなくする

漢字

コマンドナビキーを操作するときに鳴る確認音を鳴らなくすることができます。

### ◀ナビ操作

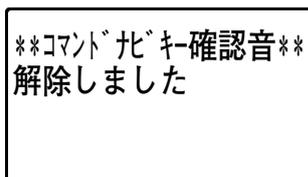
- 1  (▲)を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「4：コマンドナビキー確認音」を選択して「コマンドナビキー確認音画面」を表示する (→29ページ)



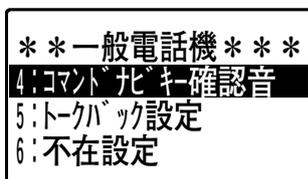
- 2  (▲▼)で「2：OFF」を選択する



- 3  (決定)を押す



約2秒後



- コマンドナビキーの確認音がOFFに設定されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 📖 操作のヒント

- コマンドナビキーの確認音を鳴らす場合、手順2で「1：ON」を選択し  (決定) を押してください。

電話機の内線番号を表示して確認することができます。

### ◀ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「0：内線ポート確認」を選択して「内線ポート確認画面」を表示する (➡30ページ)



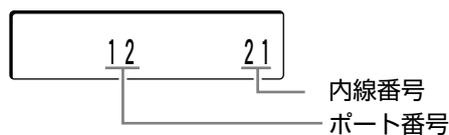
- ポート番号とは、電話機を接続している主装置のポートの番号です。
- DXDP接続 (➡17ページ) された電話機 (スレーブ電話機) では、ポート番号の右に「\*」が表示されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 📌お知らせ

- 漢字表示付電話機をお使いの場合、待ち受け中にも内線番号が表示されています。(➡39ページ)

### 🔘ボタン操作

- 1  → 2    •内線番号が表示されます。 → 3 



- DXDP接続 (➡17ページ) された電話機 (スレーブ電話機) では、ポート番号の右に漢字表示付電話機の場合は「\*」、数字表示付電話機の場合は「C」が表示されます。

## 着信音 (メロディー着信) について

☎ 取付け時設定

外線から着信があった場合、着信音としてメロディーを流すことができます。また、保留音としてもメロディーを流すこともできます。☎ 取付け時設定



## 📌 お知らせ

- メロディー着信をご利用の場合、オプションのメロディートークユニット (VB-F262) が必要です。
- メロディー着信のメロディーは、10種類あります。(➡302ページ)
- メロディー着信のメロディーの設定は、指定電話機から行います。(➡302ページ)

## ネームトークについて

☎ 取付け時設定

外線から着信があった場合、着信音の代わりに相手の名前を音声で読み上げて着信をお知らせすることができます。また、外線間転送(➡162ページ)した転送先に、発信者の名前を音声で読み上げてかけてきた相手をお知らせすることもできます。☎ 取付け時設定



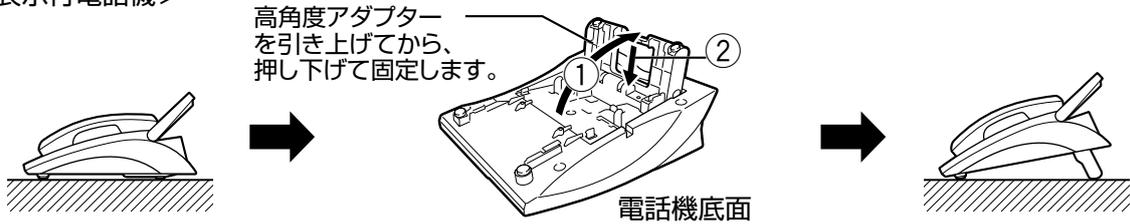
## 📌 お知らせ

- ネームトークをご利用の場合、オプションのメロディートークユニット (VB-F262) が必要です。
- ネームトークの設定は、指定電話機から行います。(➡259ページ)
- 内線からの着信には対応していません。
- ネームトークで読み上げる名前は、外線電話帳(共通短縮ダイヤル)に登録した名前のカタカナで入力された「フリガナ」です。
- 外線電話帳(共通短縮ダイヤル)に名前の「フリガナ」が登録されていない場合、音声で着信をお知らせすることはできません。着信音が鳴って通常の着信となります。

## 電話機の角度を調節する

高角度アダプターにより、電話機の角度を変えることができます。

<漢字表示付電話機>

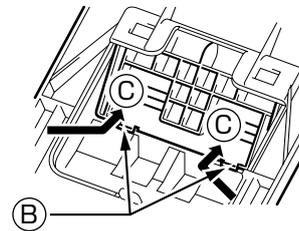
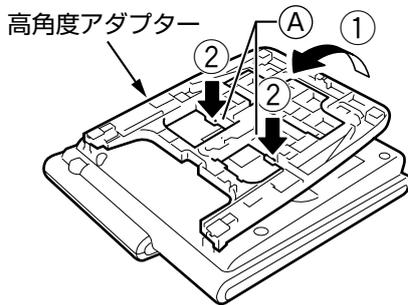


<数字表示付電話機>

電話機底面の高角度アダプターを①の方向に回転させ、高角度アダプターの(A)部を②の方向に押し外します。

(B)部を電話機底面にロックします。

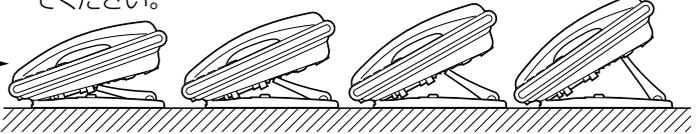
角度を調節するときは、(C)部(「押す」の表示があります)を押しロックを外して行います。



・下図のように4段階までロックの位置によって調節できます。

※この角度の場合、高角度アダプターを手前に引き上げて(C)部を押し

てください。



## お知らせ

- 4段階以上無理に広げようとしないでください。破損の原因となります。

## 記入シートの使いかた

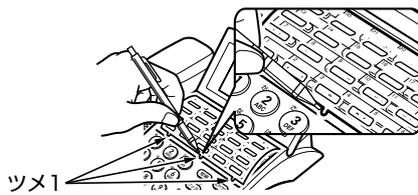
記入シートに、電話番号や短縮ダイヤルに登録した名前、設定した機能などを書き込んでお使いいただくと便利です。

<漢字表示付電話機>

<数字表示付電話機>

## 1 記入シートを取り外す

- カバー下部の穴にシャープペンなどの先を軽く差し込み、カバーと記入シートを取り外します。

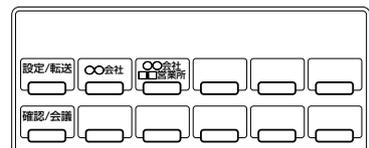


※上方向にカバー全体をやや弓形に曲げて、ツメ1(3か所)を外し、カバーを取り外してください。



## 2 書き込む

- FFボタン、ワンタッチボタンの上のスペースに、登録した名前や機能を書き込みます。

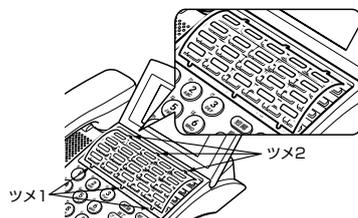


## 3 取り付ける

- 記入シートを元の位置に置きます。
- カバーのツメ1を差し込み、カバーをやや弓形に曲げて、ツメ2をはめ込みます。

<漢字表示付電話機>

<数字表示付電話機>



# 3 外線へ電話をかける

## 受話器を取ってかける

### 1 受話器を取る

### 2 を押す

- 「ツー」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯（2秒に1回一瞬点滅）します。

### 3 電話番号を押す

### 4 を押す

- ISDN回線またはIP回線の場合、 を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は6秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。

 取付け時設定

## 受話器を取らずにかける

### 1 を押す

- 「ツー」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯（2秒に1回一瞬点滅）します。

### 2 電話番号を押す

### 3 を押す

- ISDN回線またはIP回線の場合、 を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は6秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。

 取付け時設定

### 4 相手が出たら受話器を取る

- 相手が電話に出ない場合、 を押すと電話を切った状態に戻ります。

3

外線へ電話をかける

### 操作のヒント

- 通話が終わったあとに続けて電話をかけるには、受話器を戻さずに  を押します。「ツー」という音が聞こえたら、再度電話番号を押してください。
- かけた電話番号は発信履歴から電話帳（漢字表示付電話機）に登録することができます。（→88ページ）
- 本システムを構内交換機に接続している場合、電話番号の前に外線発信番号（例：①）を押してください。

### お願い

- 電話番号を押すときは、間違い電話を防ぐため、「ツー」という音を確認してから正確にダイヤルしてください。

### お知らせ

-  を押してから、約15秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。
- 電話（アナログ）回線でお使いの場合、電話番号のあとの  を押す操作は不要です。（→19ページ）このページ以降の外線へ電話をかける操作でも同様です。
- 複数の回線をお使いの場合、どの回線を優先して使うかを設定することもできます。  取付け時設定
- IP回線をお使いの場合、IP回線につながるまでの間、接続中音を出すこともできます。  取付け時設定

## 電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）

ダイヤルしたい電話番号を確認してから電話をかけることができます。

### 1 受話器を置いたまま電話番号を押す

- モニターランプが点滅します。

### 2 を押す

### 3 相手が出たら受話器を取る

- 相手が電話に出ない場合、 を押すと電話を切った状態に戻ります。

#### 操作のヒント

- 手順 1 で電話番号を訂正したいときは、以下のボタンで電話番号を消去し、再度電話番号を押してください。  
 または  : 電話番号を 1 ケタ消去します。  
 : 電話番号を全ケタ消去します。(この場合、プリセットダイヤルは削除されます)
- プリセットダイヤルの 1 ケタ目によって外線／内線を判断し、外線または内線に電話をかけるようにすることができます。

#### お知らせ

- プリセットダイヤルの電話番号ケタ数は 24 ケタ（ 含む）までです。
- プリセットダイヤル中はモニターランプが点滅します。
- 電話番号入力後、約 15 秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。

## 外線を指定して電話をかける

0発信グループ（→326ページ）以外の外線を使って電話をかける場合、以下の方法で行います。

### 1 受話器を取る

### 2 使いたい を押す

- 外線ランプが緑色に点灯（2秒に1回一瞬点滅）します。

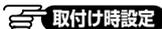
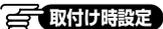
### 3 電話番号を押す

### 4 を押す

- ISDN回線またはIP回線の場合、 を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は6秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。

 取付け時設定

#### 操作のヒント

- 手順2で、 を押す代わりに、以下の方法で使いたい外線を指定することもできます。
  - ・自動選局発信
    - ① を押す : 0発信グループの外線から発信できます。
    - ⑨ ④ を押す :
    - ⑨ ⑤ を押す : } 指定した外線発信グループの外線で発信できます。 
    - ⑨ ⑥ を押す :
  - ・指定外線発信
    - ※ と指定する外線の番号 ① ① ~ ① ④、IP回線使用時は ① ⑨ ~ ① ② を押すことで、外線を指定して電話をかけることができます。
- IP回線の「外線」を指定してかけた場合でも、110番、119番など（お買い上げ時の設定）の番号やあらかじめIP外線ユニット側で登録した番号にかけた場合、別の外線（ISDN回線や電話（アナログ）回線）で発信されます。（迂回発信） 

#### お知らせ

- 電話（アナログ）回線でお使いの場合、電話番号のあとの  を押す操作は不要です。（→19ページ）このページ以降の外線へ電話をかける操作でも同様です。

## 再ダイヤルする（ラストナンバーリダイヤル）

最後にかけた外線の電話番号に簡単にかけ直すことができます。

1 **モニター** を押す

2 **再ダイヤル** を押す

3 相手が出たら受話器を取る

- 相手が電話に出ない場合、**モニター** を押すと電話を切った状態に戻ります。

### ラストナンバーリダイヤルを消去するには

1 **再ダイヤル** を押す

2 **設定/転送** を押す

3 **保留** を押す

4 **フック** を押す

### 📖 操作のヒント

- 再ダイヤルした場合、相手が通話中のときは、電話を切らずに **再ダイヤル** を押すと、もう 1 度再ダイヤルし直します。（外線にかけた場合のみ）
- 他の電話番号にかけるまで、同じ電話番号に何回でも再ダイヤルできます。
- 相手が通話中のときは、再び **再ダイヤル** を押さなくても自動的に最大 15 回まで再ダイヤルすることができます。（オートリピートダイヤル） **取付け時設定**（外線にかけた場合のみ）  
構内交換機に接続している場合、交換機によって相手が通話中かどうかを検出できないこともあり、オートリピートダイヤルできないこともあります。
- 電話番号は、最後のケタの **#** を含めて 24 ケタまでが記憶されます。

### 📌 お知らせ

- 受話器を取ってから再ダイヤルすることもできます。
- 最後にかけた内線の電話番号にかけ直すこともできます。 **取付け時設定**
- ラストナンバーリダイヤルが登録されていない状態でダイヤルした場合、その操作は無効となります。
- ラストナンバーリダイヤルの消去操作をすると、発信履歴がすべて削除されます。発信履歴（ラストナンバーリダイヤル）1 件のみ削除したい場合、コマンドナビキーからの操作（➡67 ページ）で行ってください。

## 電話をかける

## 受話器を取ってかける

## 1 受話器を取る

## 2 内線番号を押す

- 内線ランプが点灯します。

## 受話器を取らずにかける（信号音呼出）

1  を押す

- モニターランプが点灯します。

## 2 内線番号を押す

- 内線ランプが点灯します。

## 3 相手が出たら受話器を取る

- 相手が電話に出ない場合、 を押すと電話を切った状態に戻ります。

## 音声で呼び出す（音声呼出）

電話をかけた相手を、呼出音の代わりに音声で呼び出します。

## 1 受話器を取る

## 2 内線番号を押す

- 内線ランプが点灯します。

3  を押す

## 4 呼びかける

- 相手に予告音（ブー）が流れます。  
予告音を流さないようにすることもできます。

 取付け時設定

## お知らせ

- 発信プリファレンス（⇒70 ページ）を設定すると、内線へかける時は最初に  を押す必要があります。  
内線へ電話をかける  
 → 受話器を取る → 内線番号
- 音声で呼び出した場合、信号音呼出に変更できません。

## 内線番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）

ダイヤルしたい内線番号を確認してから電話をかけることができます。

## 1 受話器を置いたまま電話番号を押す

- モニターランプが点滅します。

## 2 受話器を取る

## 操作のヒント

- 手順 1 で電話番号を訂正したいときは、以下のボタンで電話番号を消去し、再度電話番号を押してください。  
 または  : 電話番号を 1 ケタ消去します。  
 : 電話番号を全ケタ消去します。（この場合、プリセットダイヤルは削除されます）
- プリセットダイヤルの 1 ケタ目によって外線／内線を判断し、 を押すことにより、電話をかけることができます。 取付け時設定

## お知らせ

- プリセットダイヤル中はモニターランプが点滅します。
- 電話番号入力後、約 15 秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。
- 再ダイヤルに記憶されている内線番号を呼び出して確認してから電話をかけることができます。その場合、内線に再ダイヤルでかけ直す設定が必要です。 取付け時設定

**音声で一斉（またはグループ別）に内線呼び出す** 

内線から特定のグループ別、またはすべての電話機をスピーカーから呼び出すことができます。

**1 受話器を取る**

**2  を押す**

**3 呼出番号を押す**

- ① : 一斉呼出
  - ① : 第1グループ
  - ② : 第2グループ
  - ③ : 第3グループ
  - ④ : 第4グループ
  - ⑨ : 構内放送 (⇒239ページ)
- 内線ランプが点灯します。

**4 相手を音声で呼び出す**

**一斉（またはグループ別）呼出に  
応答するには**

**1 受話器を取る**

**2   を押す**

•通話できます。

 **操作のヒント**

- 構内放送が接続されている場合、手順3で一斉呼出すると構内放送でも呼び出すことができます。
- 構内放送の場合、予告音（ピンポーン）を出すこともできます。予告音を出すまでの時間を変えることができます。  
 予告音のあとに呼び出してください。

 **お知らせ**

- 手順4で、通話中の電話機は音声で呼び出すことはできません。
- 発信プリファレンスを設定 (⇒70ページ) すると、音声で一斉またはグループ別に内線呼び出す時は最初に  を押す必要があります。  
 → 受話器を取る →  → 呼出番号

## 電話帳を検索して電話をかける

漢字

電話帳は、外線電話帳、個人電話帳、内線電話帳の3種類があります。

- ・外線電話帳（共通短縮ダイヤル）：指定電話機で、共通短縮ダイヤルに名前を登録した電話帳
- ・個人電話帳：各電話機で、個人短縮ダイヤルに名前を登録した電話帳
- ・内線電話帳：指定電話機で、内線番号に名前を登録した電話帳

外線電話帳と内線電話帳は、指定電話機から登録します。

(外線電話帳(→261ページ)、内線電話帳(→274ページ))

個人電話帳は各電話機から登録します。(→84ページ)

各電話帳に登録してある電話番号を使って電話をかけることができます。

検索方法は4種類ありますが、電話帳によって使える検索方法が違います。詳しくは下表を参照してください。

検索方法	外線電話帳	個人電話帳	内線電話帳
フリガナ検索(→56ページ)	○	○	○
グループ検索(→58ページ)	○	×	○
ダイヤル検索(→59ページ)	○	○	○
短縮番号検索(→61ページ)	○	○	×

○：可、×：不可

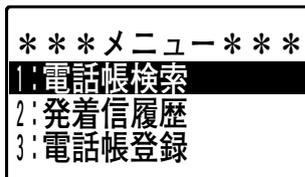
## フリガナで検索してかける【外線電話帳】【個人電話帳】【内線電話帳】

例：以下の操作は、個人電話帳の「鈴木太郎」にかける場合で説明しています。

## ナビ操作

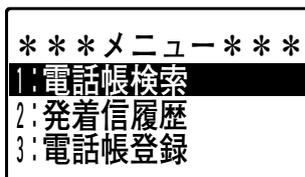
待ち受け中に

- 1 (▲)または (決定)を押す

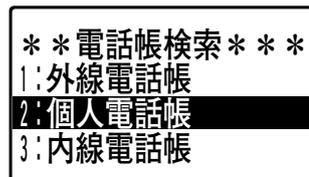


- 電話帳検索画面から検索する方法もあります。(→33ページ)

- 2 (▲▼)で「1：電話帳検索」を選択し (決定)を押す



- 3 (▶) (▲▼)で「2：個人電話帳」を選択し (決定)を押す



- 外線電話帳の検索をする場合、「1：外線電話帳」を選択し (決定)を押してください。
- 内線電話帳の検索をする場合、「3：内線電話帳」を選択し (決定)を押してください。
- 電話帳にデータがない場合、「登録データはありません」と表示されます。

#### 4 フリガナ(スズキ)を入力し (決定) を押す

\*個人電話帳検索\*  
フリガナを  
入力してください  
【スズキ】  
カナ 半角

- 文字入力方法は▶80ページ。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。 を約1秒以上押すと、全ての文字が消去されます。
- フリガナは、カナ・英字・数字および記号で半角10文字までです。10文字を超える入力はできません。濁点、半濁点も1文字として数えます。
- 入力した文字を含む名前が表示されます。登録されていない場合、最も近い文字列の名前が表示されます。

#### 5 (▲▼)で「鈴木太郎」を選択する

鈴木一郎  
鈴木太郎  
須田次郎  
瀬川三郎

#### 6 を押し、受話器を取る

- 相手が応答したら通話します。

#### 操作のヒント

- 手順5のあとに  (決定) を押すと、電話番号など登録内容の詳細画面が表示されます。電話番号が表示された状態で  を押して電話をかけることもできます。
- 手順5で  (▲▼) を1秒以上押すと1行ずつ連続してカーソルがスクロールします。また、 (◀▶) を押して前の画面または次の画面に切り替えることもできます。

#### お知らせ

- 手順6で  を押して、検索した相手に発信することができます。
- 検索中に外線から電話がかかってきたときは、着信中の  を押して電話に応答することができます。

# 電話帳や履歴を使って電話をかける

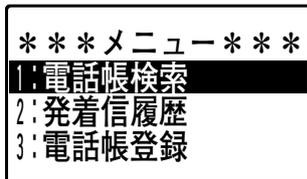
## グループで検索してかける [外線電話帳] [内線電話帳]

例：以下の操作は、内線電話帳の「技術」グループの「鈴木」にかける場合で説明しています。

### ナビ操作

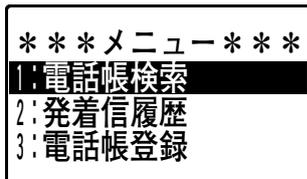
待ち受け中に

#### 1 (▲)または (▼) または (決定) を押す

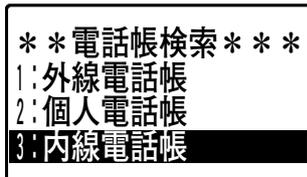


- 電話帳検索画面から検索する方法もあります。  
(➡33ページ)

#### 2 (▲▼) で「1: 電話帳検索」を選択し (決定) を押す



#### 3 (▲▼) で「3: 内線電話帳」を選択し (決定) を押す

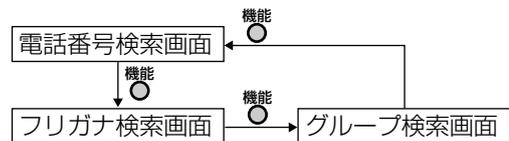


- 電話帳にデータがない場合、「登録データはありません」と表示されます。

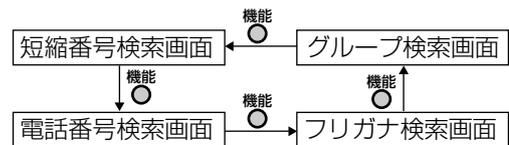
#### 4 を押す



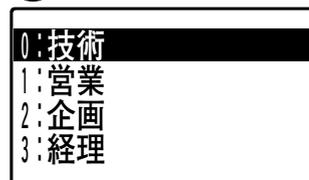
- 内線電話帳のグループ検索画面が表示されます。さらに を押すごとに表示が切り替わります。



- 外線電話帳の場合、手順3の操作後に を1回押してください。さらに を押すごとに表示が切り替わります。



#### 5 (▲▼) で「0: 技術」を選択し (決定) を押す



#### 6 (▲▼) で「鈴木」を選択する



- 選択したグループに登録されている名前が50音順で表示されます。
- 選択したグループにデータがない場合、「該当データはありません」と表示され、グループ選択の画面(手順5)に戻ります。

#### 7 を押し、受話器を取る

- 相手が応答したら通話します。

## 📖 操作のヒント

- 手順6のあとに  (決定) を押すと、電話番号など登録内容の詳細画面が表示されます。電話番号が表示された状態で  を押して電話をかけることもできます。
- 手順6で  (▲▼) を1秒以上押すと1行ずつ連続してカーソルがスクロールします。また、 (◀▶) を押して画面を切り替えることもできます。

## 📌 お知らせ

- 手順7で  を押して、検索した相手に発信することができます。
- 検索中に外線から電話がかかってきたときは、着信中の  を押して電話に応答することができます。

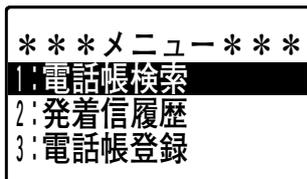
## 電話番号で検索してかける [外線電話帳] [個人電話帳] [内線電話帳]

例：以下の操作は、個人電話帳で「045-000」が含まれる電話番号を検索し、目的の「鈴木太郎」にかける場合で説明しています。

### 🔍 ナビ操作

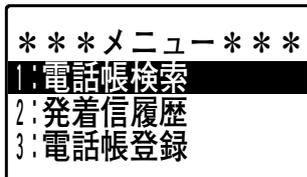
待ち受け中に

- 1  (▲)または  (決定) を押す



- 電話帳検索画面から検索する方法もあります。  
(➡33ページ)

- 2  (▲▼) で「1：電話帳検索」を選択し  (決定) を押す



- 3  (▲▼) で「2：個人電話帳」を選択し  (決定) を押す



- 外線電話帳の検索をする場合、「1：外線電話帳」を選択し  (決定) を押ししてください。
- 内線電話帳の検索をする場合、「3：内線電話帳」を選択し  (決定) を押ししてください。
- 電話帳にデータがない場合、「登録データはありません」と表示されます。

# 電話帳や履歴を使って電話をかける

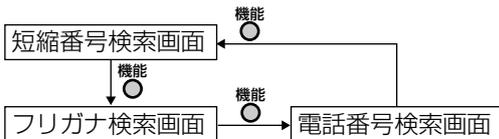
## 3

### 電話帳や履歴を使って電話をかける

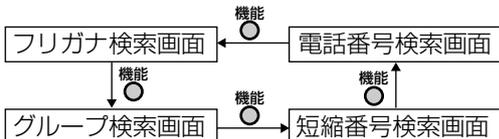
#### 4 を押し、電話番号 (045000) を入力する

\*個人電話帳検索\*  
\*電話番号を  
入力してください  
045000

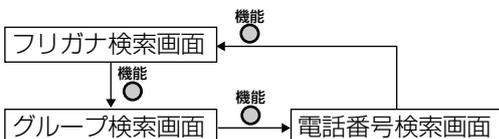
- 個人電話帳の電話番号入力画面が表示されます。さらに  を押すごとに表示が切り替わります。



- 外線電話帳の場合、手順3の操作後に  を3回押ししてください。さらに  を押すごとに表示が切り替わります。



- 内線電話帳の場合、手順3の操作後に  を2回押ししてください。さらに  を押すごとに表示が切り替わります。



- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶) で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。 を約1秒以上押すと、全ての文字が消去されます。
- 電話番号は最大24ケタ (＃ 含む) まで入力 (0~9、\*、#) できます。ただし、内線電話帳の場合は最大4ケタまでの入力です。

#### 5 (決定) を押す

鈴木一郎  
鈴木太郎  
須田次郎  
瀬川三郎

- 入力した電話番号が含まれる電話番号を持つ名前が50音順で表示されます。目的の「鈴木太郎」を選択します。
- 一致する電話番号がない場合、「該当データはありません」と表示され、電話番号入力の画面 (手順4) に戻ります。

#### 6 を押し、受話器を取る

- 相手が応答したら通話します。

#### 操作のヒント

- 手順5のあとに  (決定) を押すと、電話番号など登録内容の詳細画面が表示されます。電話番号が表示された状態で  を押して電話をかけることもできます。

#### お知らせ

- 手順6で  を押して、検索した相手に発信することができます。
- 検索中に外線から電話がかかってきたときは、着信中の  を押して電話に応答することができます。

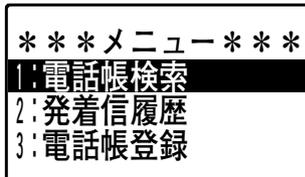
## 短縮番号で検索してかける【外線電話帳】【個人電話帳】

例：以下の操作は、個人電話帳の個人短縮80（鈴木太郎）にかける場合で説明しています。

### ナビ操作

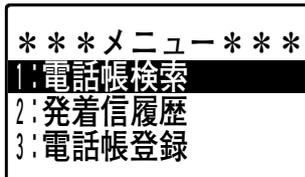
待ち受け中に

- 1 (▲)または (決定)を押す

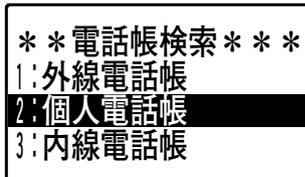


- 電話帳検索画面から検索する方法もあります。  
(➡33ページ)

- 2 (▲▼)で「1:電話帳検索」を選択し (決定)を押す

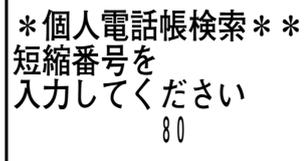


- 3 (▲▼)で「2:個人電話帳」を選択し (決定)を押す

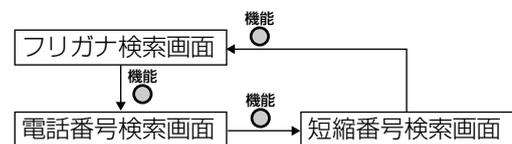


- 電話帳にデータがない場合、「登録データはありません」と表示されます。

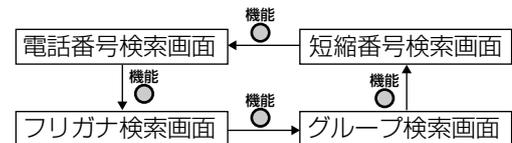
- 4 を2回押し、個人短縮番号（80）を入力する



- 個人電話帳の短縮番号入力画面が表示されます。さらに を押すごとに表示が切り替わります。

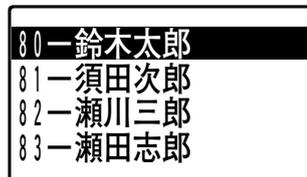


- 外線電話帳の場合、手順3の操作後に を2回押ししてください。さらに を押すごとに表示が切り替わります。



- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。
- 個人短縮番号は80から99の範囲で入力できます。
- 外線電話帳の場合、共通短縮番号000～799の範囲で入力できます。また、取付け時の設定により00～79、0000～1499の範囲で共通短縮番号を入力できます。 **取付け時設定**

- 5 (決定)を押す



- 入力した個人短縮番号に登録されている名前が選択されます。

# 電話帳や履歴を使って電話をかける

## 6 を押し、受話器を取る

- 相手が応答したら通話します。

### 操作のヒント

- 手順5のあとに  (決定) を押すと、電話番号など登録内容の詳細画面が表示されます。電話番号が表示された状態で  を押して電話をかけることもできます。

### お知らせ

- 手順6で  を押して、検索した相手に発信することができます。
- 検索中に外線から電話がかかってきたときは、着信中の  を押して電話に応答することができます。
- 共通短縮ダイヤルのケタ数を変更した場合の短縮番号は次のようになります。 

例：

2ケタ→3ケタにした場合：79→079

3ケタ→4ケタにした場合：079→0079

2ケタ→4ケタにした場合：79→0079

4ケタ→2ケタにした場合：0079→79

3ケタ→2ケタにした場合：079→79

4ケタ→3ケタにした場合：0079→079

## 電話帳検索画面を変更する

⊙ (▶) を押すと表示される検索画面を、外線電話帳検索画面、個人電話帳検索画面、またはどの電話帳を使うかを選択する検索選択画面に変更することができます。

例：以下の操作は、個人電話帳検索画面に変更する場合で説明しています。

### ナビ操作

待ち受け中に

- 1 ⊙ (▲) または ⊙ (決定) を押す

```

***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
    
```

- 2 ⊙ (▲▼) で「1：電話帳検索」を選択し ⊙ (決定) を押す

```

***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
    
```

- 3 ⊙ (▼) または ⊙ (▶) で「4：電話帳ボタン設定」を選択し ⊙ (決定) を押す

```

***電話帳検索***
4:電話帳ボタン設定
    
```

- 4 ⊙ (▲▼) で設定したい電話帳を選択する

```

***電話帳ボタン設定***
1:外線電話帳検索
2:個人電話帳検索
3:検索選択画面
    
```

- 5 ⊙ (決定) を押す

```

***電話帳ボタン設定***
設定しました
    
```

↓ 約2秒後

```

***電話帳検索***
4:電話帳ボタン設定
    
```

- 選択した電話帳が、⊙ (▶) を押すと表示される電話帳の検索画面に設定されます。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 発信履歴を使って電話をかける

漢字

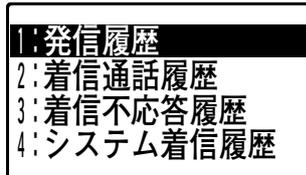
以前にかけた電話番号に簡単な操作で電話をかけることができます。

例：以下の操作は、名前：鈴木太郎にかけた場合で説明しています。

### ナビ操作

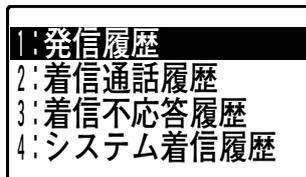
待ち受け中に

1  (◀)を押す



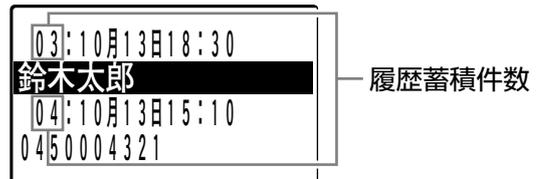
- 待ち受け中に  (▲) または  (決定) を押してメニュー画面を表示したあとに、「2：発信履歴」を選択して  (決定) を押し、本手順の画面を表示することもできます。(➡34ページ)

2  (▲▼)で「1：発信履歴」を選択し  
 (決定)を押す



- 発信履歴がない場合、「発信履歴ありません」と表示されます。

3  (▲▼)で電話をかけたい相手(鈴木太郎)を選択する



4  発信 を押し、受話器を取る

- 相手が応答したら通話します。

### お知らせ

- 30 件(外線発信のみ)の発信履歴を保存しています。30 件を超えた場合、古い履歴から消去されます。
- 同じ電話番号にかけた場合、履歴は 1 件のまま最新の発信時刻に更新されます。
- 電話帳を使って外へ電話をかけた場合に、その電話番号が名前とともに電話帳に登録されている場合、名前も一緒に履歴登録されます。
- 電話番号をダイヤルしてかけた場合には、かけた電話番号が履歴登録されます。
- 発信履歴の電話番号を、電話帳に登録することができます。(➡88 ページ)
- 内線へ電話をかけた場合、その内線番号は発信履歴として保存されません。ただし、内線リダイヤルを可能にした場合は保存されます。 取付け時設定
- 相手が通話中のときは、自動的に 15 回まで電話をかけることができます。(オートリピートダイヤル)  
 取付け時設定 (外線にかけた場合のみ)  
構内交換機に接続している場合、交換機によって相手が通話中かどうかを検出できないこともあり、オートリピートダイヤルできないこともあります。
-  再ダイヤル を押すと、最後にかけた電話番号へ電話をかけられます(ラストナンバーリダイヤル)。(➡53 ページ)

## 着信履歴／システム着信履歴を使って電話をかける

漢字

以前にかかってきた電話番号に簡単な操作で電話をかけることができます。

着信履歴には電話機ごとの着信履歴（着信通話履歴、着信不応答履歴）と、システムが保存しているシステム着信履歴（着信通話履歴、着信不応答履歴）の2種類があります。

着信通話履歴と着信不応答履歴は、各15件ずつ（外線からの着信のみ）の着信履歴が保存され、システム着信履歴は200件（外線からの着信のみ）の着信履歴が保存されます。相手先の電話番号が通知されている着信を受けた場合、応答したときは着信通話履歴とシステム着信履歴に保存されます。応答しなかったときは着信不応答履歴とシステム着信履歴（「不応」と表示）に保存されます。15件または200件を超えた場合、古い履歴から削除されます。

なお、外線転送した場合も、システム着信履歴（着信通話履歴、着信不応答履歴）に保存することもできます。また、外線転送の相手応答時や留守録応答・お待たせ応答の場合もシステム着信履歴に保存することができます。☎**取付け時設定**

例：以下の操作は、名前：鈴木太郎にかけるときで説明しています。

### ナビ操作

待ち受け中に

#### 1 を押す

- 1: 発信履歴
- 2: 着信通話履歴
- 3: 着信不応答履歴
- 4: システム着信履歴

- 待ち受け中に (▲) または (決定) を押してメニュー画面を表示したあとに、「2：発信履歴」を選択して (決定) を押し、本手順の画面を表示することもできます。(➡34ページ)

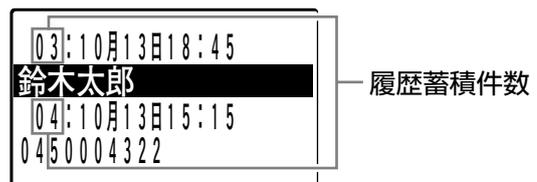
#### 2 (▲▼) で電話をかけたい着信履歴の種類を選択し (決定) を押す

- 1: 発信履歴
- 2: 着信通話履歴
- 3: 着信不応答履歴
- 4: システム着信履歴

- 着信通話履歴 : 電話に応答した場合の履歴
- 着信不応答履歴 : 電話に応答しなかった場合の履歴
- システム着信履歴 : システム全体の着信履歴（通話履歴、不応答履歴）

- 最後にかかってきた着信（最新履歴）が表示されます。
- 着信履歴がない場合、「着信履歴ありません」と表示されます。

#### 3 (▲▼) で電話をかけたい相手（鈴木太郎）を選択する



#### 4 を押し、受話器を取る

- 相手が応答したら通話します。

# 電話帳や履歴を使って電話をかける

## お知らせ

- 同じ電話番号からかかってきた場合も複数の履歴が残ります。
- かかってきた電話番号が外線電話帳に登録されている場合、登録されている名前が表示されます。名前が登録されていない場合、電話番号が表示されます。
- 内線から電話がかかってきた場合、その内線番号は着信履歴として保存されません。
- システム着信履歴は同時に複数の電話機から利用できます。  
なお、外線転送した場合も、システム着信履歴に保存することもできます。 
- システム着信の履歴から除外したい特定の内線番号（例：ファクス番号など）を設定することができます。（システムで最大10個まで） 
- 回線数コントロール設定中（➡146ページ）の場合、着信用の外線ボタンが全て使用中に電話がかかってきた場合もシステム着信履歴に履歴が残ります。
- 履歴の表示において、不応答の場合、液晶表示部に「不応」が表示され、回線数コントロール設定中（➡146ページ）は「話中」、迷惑電話拒否のときは「拒否」が表示されます。  
また、留守録で応答したときは「留守」、お待たせ応答したときは「代理」が表示されます。 

3

電話帳や履歴を使って電話をかける

## システム着信履歴の通知について

- システム着信履歴の通知機能をFFボタンに設定できます。  
システム着信履歴の通知機能をFFボタンに設定すると、電話に出られなかった場合などでシステム着信履歴が保存されると、 を赤点灯させて、着信があったことをお知らせすることができます。  

- 1台の電話機でシステム着信履歴画面を表示して、内容を確認すると全ての電話機の  が消灯します。

### FF ボタンに を設定するには

1   を押す

2 設定したいFFボタンを押す

3  を4回押す

4   を押す

- 「ブー」という音が聞こえたら、設定は完了です。

### 設定を解除するには

上記の手順3を抜いて操作します。

## お知らせ

- システム着信履歴を検索して電話をかけるには、65ページの手順にしたがって操作します。

## 発信履歴／着信履歴を削除する

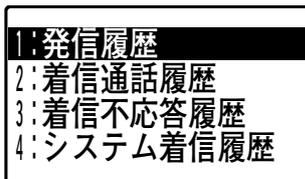
漢字

発信履歴または着信履歴を削除することができます。  
ただし、「システム着信履歴」を削除できるのは指定電話機のみです。

### 履歴を1件削除する

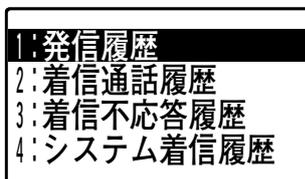
#### ナビ操作

1  (◀)を押す



- 待ち受け中に  (▲) または  (決定) を押してメニュー画面を表示したあとに、「2: 発信履歴」を選択して  (決定) を押し、本手順の画面を表示することもできます。(➡34ページ)

2  (▲▼)で削除したい履歴を選択し  
 (決定)を押す

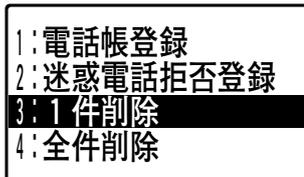


- 発信(着信)履歴がない場合、「発信(着信)履歴ありません」と表示されます。
- 「システム着信履歴」を削除できるのは指定電話機のみです。

3  (▲▼)で削除したい相手を選び  を押す

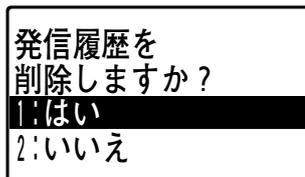


4  (▲▼)で「3: 1件削除」を選択し  
 (決定)を押す



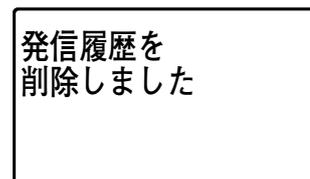
- 指定電話機以外の電話機で、「システム着信履歴」を削除しようとしても選択できません。

5  (▲▼)で「1: はい」を選択する

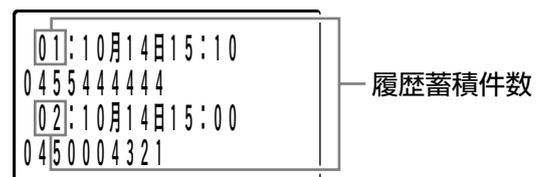


- 「2: いいえ」を選択し  (決定) を押すと手順4の画面に戻ります。

6  (決定)を押す



約2秒後



- 選択した履歴が1件削除されます。

3

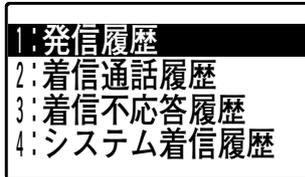
電話帳や履歴を使って電話をかける

# 電話帳や履歴を使って電話をかける

## 履歴を全件削除する

### ナビ操作

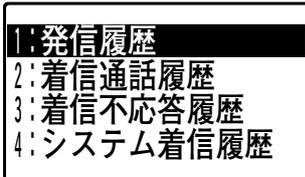
1  (◀)を押す



- 待ち受け中に  (▲) または  (決定) を押してメニュー画面を表示したあとに、「2: 発信履歴」を選択して  (決定) を押し、本手順の画面を表示することもできます。(➡34ページ)

2  (▲▼)で削除したい履歴を選択し

 (決定)を押す

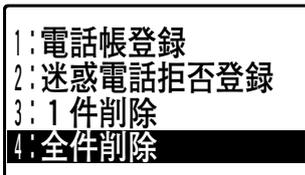


3  を押す

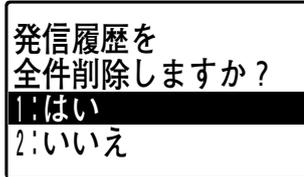


4  (▲▼)で「4: 全件削除」を選択し

 (決定)を押す

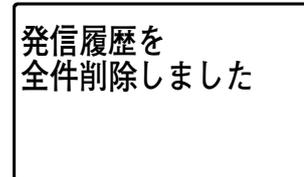


5  (▲▼)で「1: はい」を選択する



- 「2: いいえ」を選択し  (決定) を押すと手順4の画面に戻ります。

6  (決定)を押す



約2秒後



- 選択した履歴がすべて削除されます。

3

電話帳や履歴を使って電話をかける

## 短縮ダイヤルでかける（個人短縮ダイヤル・共通短縮ダイヤル）

**短縮** ボタンを使って電話をかけることができます。  
 個人短縮ダイヤルも、共通短縮ダイヤルも、かける操作は同じです。  
 ワンタッチボタン（数字表示付電話機）でかける場合、202ページをご覧ください。

### 1 **発信** を押す

- 「ツー」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯（2秒に1回一瞬点滅）します。

### 2 **短縮** を押す

### 3 短縮番号を押す

共通短縮ダイヤル：

① ① ① ~ ⑦ ⑨ ⑨

（または① ① ~ ⑦ ⑨、

① ① ① ① ~ ① ④ ⑨ ⑨ **取付け時設定**）

個人短縮ダイヤル：

⑧ ① ~ ⑨ ⑨

- 短縮ダイヤルに登録した電話番号と名前が表示されます。

### 4 受話器を取る

- 相手が応答したら通話します。

#### 📖 操作のヒント

- 手順 1 で 受話器を取ってからかけることもできます。
- 待ち受け中に短縮ダイヤルを設定した FF ボタンを押すのみで、電話をかけることもできます。 **取付け時設定**
- 登録している短縮ダイヤルの確認ができます。個人短縮ダイヤルの場合、95 ページの「確認するには」、共通短縮ダイヤルの場合、266 ページの「確認するには」の方法で確認できます。

#### 📢 お知らせ

- 共通短縮ダイヤルのケタ数を変更した場合、次のようになります。 **取付け時設定**  
 2ケタ→3ケタにした場合：79→079      3ケタ→4ケタにした場合：079→0079  
 2ケタ→4ケタにした場合：79→0079      4ケタ→2ケタにした場合：0079→79  
 3ケタ→2ケタにした場合：079→79      4ケタ→3ケタにした場合：0079→079
- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号の末尾に **+** が含まれていない場合、手順 3 のあとに **+** を押してください。ただし、短縮ダイヤルで **+** を登録していない場合でも設定した時間（お買い上げ時の設定は2秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。 **取付け時設定**
- 短縮番号 **9 9** に登録しても、外線からの「最後に応答した電話番号にかけ直す」機能をお使いの場合、外線からの電話に「最後に応答した電話番号」が上書きされてしまいます。（➡200ページ）  
**取付け時設定**

### 組み合わせダイヤルでかけるには

2つ以上の短縮ダイヤルを組み合わせで電話をかけることができます。  
 例えば、共通で使用する番号（NTT以外の通信事業者のアクセス番号など）を短縮ダイヤルに登録しておき、電話番号が登録されている別の短縮ダイヤルを組み合わせるなどの使い方ができます。  
 組み合わせる短縮ダイヤルには、FFボタンやワンタッチボタン（➡202ページ）を使ってのダイヤル操作も含まれます。

### 1 **発信** を押す

### 2 **短縮** を押す

### 3 短縮番号を押す

（例えばACR機能のNTT以外の通信事業者のアクセス番号を登録した短縮番号など）

### 4 **短縮** を押す

### 5 組み合わせたい短縮番号を押す

### 6 受話器を取る

# 電話帳や履歴を使って電話をかける

## 発信ボタンを押さずに電話をかける(発信プリファレンス)

取付け時設定

取付け時に発信プリファレンスを設定しておくこと、外線の場合は受話器を取るにより、自動的に空き回線が選択され、電話番号を押すだけで電話をかけることができます。

発信プリファレンスを設定すると、通常の発信とは操作が異なりますのでご注意ください。

操作例

	項目	手順	参照ページ
外	外線へ電話をかける	受話器を取る → 電話番号 → <b>Ⓜ</b>	50
	短縮番号でかける(個人短縮ダイヤル・共通短縮ダイヤル)	受話器を取る → <b>短縮</b> → 短縮番号	69
線	再ダイヤルする (ラストナンバーリダイヤル)	受話器を取る → <b>再ダイヤル</b>	53

### お知らせ

- 発信プリファレンスを設定すると、内線へかける時は最初に **モニター** を押す必要があります。

内線へ電話をかける (⇒54ページ)

**モニター** → 受話器を取る → 内線番号

音声で一斉またはグループ別に内線を呼び出す (⇒55ページ)

**モニター** → 受話器を取る → **Ⓜ** → 呼出番号

3

電話帳や履歴を使って電話をかける

# 3

## 外線からの電話を受ける

### 電話を受ける

#### 1 着信音が鳴る

- 着信ランプと外線ランプが赤色に点滅します。

#### 2 受話器を取る

#### 着信音が鳴っていない電話機で外線を受けるには

#### 1 受話器を取る

#### 2 ランプが点滅している を押す

- 取付け時の設定により、この場合も受話器を取るだけで外線を受けることもできます。 

### 2つ以上の外線が着信している場合

複数の外線が着信している場合、外線を選んで電話を受けることができます。

#### 1 着信音が鳴る

- 着信ランプが点滅し、複数の外線ランプが赤色に点滅します。

#### 2 ランプが点滅している を押す

#### 3 受話器を取る

#### 操作のヒント

- 発信者の電話番号が通知された場合には、電話がかかってきたときに相手の電話番号が着信中の電話機の液晶表示部に表示されます。電話に応答したあとも発信者の電話番号が表示されます。取付け時の設定により、応答したあとに表示をさせないようにしたり、電話がかかってきたときも応答したあとも表示させないようにすることができます。 
- 発信者の電話番号が外線電話帳に登録されている場合には、電話番号と併せて電話帳に登録された名前が表示されます。表示の詳細は「液晶表示について」(➡37ページ)を参照してください。

#### お知らせ

- 着信ランプの点滅色を緑色にすることもできます。(漢字表示付電話機のみ) 

# 3

## 電話を受ける

## 1 着信音または音声聞こえる

- 着信ランプと内線ランプが点滅します。
- 音声で呼び出された場合、内線ランプが点灯します。

## 2 受話器を取る

- 内線ランプが点灯します。

## お知らせ

- 内線から電話がかかってきた場合には、電話をかけた人の内線番号が表示されます。
- 内線電話帳 (➡274 ページ) に名前が登録されている場合、名前が表示されます。(漢字表示付電話機のみ)
- 内線音声呼出をされた場合は、あらかじめ内線トークバックを設定して、受話器を取らずにマイクに向かって話す方法で応答することもできます。(➡73 ページ)

## 他の電話機で内線を受ける(内線代理応答)

呼び出されている電話機に代わって、他の電話機から電話を受けることができます。

## 1 受話器を取る

2   を押す

- 内線を受けられます。

## 操作のヒント

- マルチライン内線の着信を代理応答する場合、手順2で    を押します。また、手順2でマルチライン代理応答ボタン (➡97 ページ) を押すことにより、代理応答することができます。マルチライン代理応答ボタンで応答した場合、 のランプは消灯します。

## お知らせ

- 同一呼出グループ内の電話機のみ代理応答できます。
- 玄関子機からの呼び出し (➡240 ページ) に対しても代理応答できます。
- 内線トークバック設定 (➡73 ページ) しているときには、音声呼出に対しては代理応答できません。

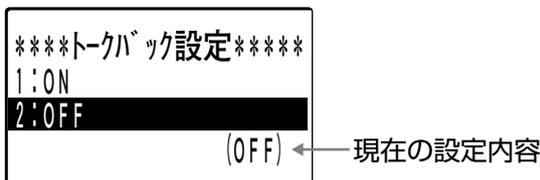
## 内線音声呼出に受話器を取らずに応答する（内線トークバック）

音声で内線が呼び出されたときに、受話器を取らずに応答できます（内線トークバック）。手が離せない作業をしているときなどに便利です。

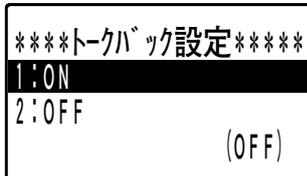
### 内線トークバックを設定する

#### ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「5：トークバック設定」を選択して「トークバック設定画面」を表示する（⇒29ページ）



- 2 (▼) で「1：ON」を選択する



- 3 (決定) を押す

\*\*\*\*トークバック設定\*\*\*\*  
設定しました

約2秒後

\*\*\*一般電話機\*\*\*  
4:ナビボタン確認音  
5:トークバック設定  
6:不在設定

- トークバックランプが点灯し、トークバックが設定されます。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 内線トークバックを設定すると

内線音声呼出（⇒54ページ）されたときは、以下の方法で応答できます。

- 1 呼び出されると電話機から音声聞こえる
  - トークバックランプと着信ランプが点滅します。
- 2 マイクに向かって話す
  - 受話器を取って通話することもできます。

#### 操作のヒント

- トークバックの設定を解除する場合、手順2で「2：OFF」を選択し (決定) を押ししてください。

#### ボタン操作

- 1 → 2 → 3 • トークバックランプが点灯します。 → 4

#### 解除するには

上記と同じ操作を行います。手順3でトークバックランプが消えます。

#### お知らせ

- 内線トークバックでの通話は、保留にすることはできません。

## 複数の内線に電話をかける（マルチライン着信）

1つの内線番号で複数の電話機を呼び出すことができます（マルチライン着信）。  
また、あらかじめ設定した  でマルチライン着信を受けることができます。

## 複数の電話機を呼び出す（マルチライン着信させる）

1 受話器を取る

2 マルチライン着信用の内線番号を押す

●内線番号は取付け時に設定します。☰ 取付け時設定

## マルチライン着信を受ける ☰ 取付け時設定

1 着信中の  を押す

2 受話器を取って通話する

## 📖 操作のヒント

- 外線からのマルチライン着信の場合、マルチラインのモード設定（点灯、消灯）に応じて、表示・操作内容が変わります。  
内線からのマルチライン着信の場合、モード設定（点灯、消灯）にかかわらず、消灯モードとして動作します。  
<点灯モード>
  - ・  で応答した場合、 のランプは点灯のままです。
  - ・ マルチライン着信に応答した場合、 を設定してある他の電話機からは、マルチライン着信した  を使用できません。
- <消灯モード>
  - ・  で応答した場合、 のランプは消灯します。
  - ・ マルチライン着信に応答した場合、 を設定してある他の電話機からも、マルチライン着信した  を使用できます。
- 個別着信（ダイヤルイン、i・ナンバー、ダイレクトインラインなど）の着信先にマルチラインの内線を設定することもできます。
- マルチライン内線の着信を代理応答する場合、受話器を取って **☎ ⑧ ☎** を押します。また、**☎ ⑧ ☎** の代わりにマルチライン代理応答ボタン（➡97ページ）を押すことにより、代理応答することができます。  
マルチライン代理応答ボタンで応答した場合、 のランプは消灯します。

## マルチライン発信について

- マルチラインを点灯モードで設定している場合に  以外から外線発信をしたとき、マルチライン発信設定しているマルチラインから、空いているマルチラインを自動的に選択して、マルチライン発信することもできます。
- マルチライン発信は、漢字表示付電話機、数字表示付電話機、2.4Gカラーデジタルコードレス電話機で利用できます。

## 📌 お知らせ

- ダイヤルインやi・ナンバー使用時、マルチラインごとに通知する契約番号または付加番号を設定することができます。  
☰ 取付け時設定

## 外線を保留・転送する

## 保留または口頭で取り次ぐ

1 通話中に **保留** を押す

- 外線ランプが緑色に点滅し、着信ランプが赤色に点滅します。  
相手には保留音が流れます。
- 他の電話機の外線ランプは赤色点滅します。

## 2 受話器を戻す

## 通話に戻るとき

## 3 受話器を取る

4 保留中の **外線** を押す

緑色点滅

- 保留が解除され、外線の相手と通話できます。

## 口頭で取り次ぎするとき

## 3 呼び出したい人に、電話が入っていることを伝える

## 取り次ぎを受ける人

## 4 受話器を取る

5 保留されている **外線** を押す

赤色点滅

- 保留が解除され、外線の相手と通話できます。

外線を保留（自己保留）または内線番号で転送 **取付け時設定**

- 自己保留とは、保留した電話機からしか通話に戻れない保留操作です。

## &lt;保留する&gt;

- 「保留または口頭で取り次ぐ」の手順 1 で、**保留** の代わりに通話中に緑色点灯（2秒に1回一瞬点滅）している **外線** を押してください。
- 保留中は、他の電話機の外線ランプは赤色点灯のままです。

## &lt;通話に戻る&gt;

- 「通話に戻るとき」の手順3、4を行ってください。

## &lt;転送する&gt;

- 保留した外線を転送するときは、転送先の内線番号で転送してください。（⇒76ページ）

**お知らせ**

- 保留音は、システムに内蔵しているメロディー（6種類）およびオプションのメロディートークユニット（VB-F262）を利用してメロディー着信のメロディー（10種類）の中から設定することができます。（⇒302ページ） **取付け時設定**
- 通話を保留中に相手が電話を切った場合、ご使用の回線がISDN回線またはIP回線のときは相手が切ってから約30秒後に **外線** ランプが消えます。電話（アナログ）回線のときは、相手が切っても **外線** ランプは残ります。取付け時の設定により **外線** ランプを消すことができます。 **取付け時設定**
- 手順1の着信ランプを点滅させずに消灯のままとすることができます。 **取付け時設定**

# 電話を保留・転送する

## 内線番号で転送する

### 1 通話中に **保留** を押す

- 外線ランプが緑色に点滅し、着信ランプが赤色に点滅します。  
相手には保留音が流れます。
- 他の電話機の外線ランプは赤色点滅します。

### 2 転送先の内線番号を押す

### 3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える

- 転送先が応答しないときは、保留中の **外線** を押すと、再度外線との通話に戻ります。

### 4 **設定/転送** を押す

- 通話が転送されます。

### 5 受話器を戻す

#### 操作のヒント

- 手順 4 で **設定/転送** を押さなくても、受話器を戻すのみで転送することができます（オンフック転送）。

 **取付け時設定**

#### お知らせ

- 手順 1 の着信ランプを点滅させずに消灯のままとすることができます。  **取付け時設定**

## 3

### 電話を保留・転送する

フローティング保留



通話中に **フローティング** を使って通話を保留することができます。また、1台の電話機で複数の通話を **フローティング** ごとに保留することができます。  
**フローティング** を設定してある他の電話機からも保留応答することができます。

1 通話中に **フローティング** を押す

- **フローティング** ランプが緑色に点滅し、着信ランプが赤色に点滅します。  
相手に保留音が流れます。
- 他の電話機の **フローティング** ランプは赤色点滅します。

2 受話器を戻す



通話に戻るとき

3 受話器を取る

4 保留中の **フローティング** を押す  
緑色点滅

- 保留が解除され、保留中の相手と通話できます。

口頭で取り次ぎするとき

3 呼び出したい人に、電話が入っていることを伝える

取り次ぎを受ける人

4 受話器を取る

5 保留されている **フローティング** を押す  
赤色点滅

- 保留が解除され、保留中の相手と通話できます。

操作のヒント

- **フローティング** が全部使用中 (ランプ点滅) の場合、**フローティング** では保留できません。
- 設定により、マルチラインで着信応答時に **マルチライン** が、緑色に点灯 (2秒に1回一瞬点滅) が継続している場合、**フローティング** では保留はできません。 **保留** で保留してください。 **取付け時設定**
- FFボタンに設定された **外線** をフローティング保留した場合、**外線** は点灯のままとなり、**外線** では応答できなくなります。 **フローティング** を押して応答してください。
- 通話中に **保留** を押すことにより、フローティング保留にすることができます。 **取付け時設定**  
 この場合、**フローティング** が全部使用中 (ランプ点滅) の場合、システム保留となります。
- **フローティング** が設定されていない電話機で応答する場合、「通話に戻るとき」の手順4で、フローティング保留代理応答特番 (♯ ⑧) とフローティングボタン番号 (① ① ~ ① ⑥) を押して応答します。
- 単独電話機からもフローティング保留応答することができます。 (➡231 ページ)

お知らせ

- あらかじめ FF ボタンに **フローティング** を設定 (➡97 ページ) しておく必要があります。
- **フローティング** は、システムで最大16個設定できます。
- 手順1の着信ランプを点滅させずに消灯のままとすることができます。 **取付け時設定**
- 通話を保留中に相手が電話を切った場合、ご使用の回線がISDN回線またはIP回線のときは相手が切ってから約30秒後に **外線** ランプが消えます。電話 (アナログ) 回線のときは、相手が切っても **外線** ランプは残ります。取付け時の設定により **外線** ランプを消すことができます。 **取付け時設定**

## 外線を特定のグループへ転送する

 取付け時設定

転送する相手の居場所がはっきりしない場合に、グループ別またはすべての電話機を音声で呼び出して転送します。グループの設定は、取付け時に行います。

### 1 通話中に **保留** を押す

- 外線ランプが緑色に点滅し、着信ランプが赤色に点滅します。  
相手には保留音が流れます。
- 他の電話機の外線ランプは赤色点滅します。

### 2 **井** を押す

### 3 呼出番号を押す

- ① : 一斉呼出
- ① : 第1グループ
- ② : 第2グループ
- ③ : 第3グループ
- ④ : 第4グループ
- ⑨ : 構内放送 (→239ページ)

### 4 転送する相手呼び出す

「〇〇さん電話です」

- 内線ランプが点灯します。

### 転送を受ける人

### 5 受話器を取る ➡ **井** **井** を押す

### 6 (転送先が応答したら) **設定/転送** を押す

- 外線ランプが赤色点灯に変わり、通話が転送されます。

### 7 受話器を戻す

#### 操作のヒント

- 手順6で **設定/転送** を押さなくても、受話器を戻すのみで転送することができます (オンフック転送)。

 取付け時設定

#### お知らせ

- 手順1の着信ランプを点滅させずに消灯のままとすることができます。  取付け時設定
- 「保留する」および「内線番号で転送する」の手順1で、相手に保留音を流さないようにすることもできます。

 取付け時設定

## 内線を保留・転送する

## 保留する

1 内線との通話中に **保留** を押す

- 内線ランプが点滅します。
- 相手には保留音が流れます。

## 2 受話器を戻す

## 通話に戻るとき

## 3 受話器を取る

4 **保留** を押す

## 📖 操作のヒント

- FF ボタンにフローティング機能が登録されている場合、手順1と4で、**保留** の代わりに **フローティング** を押して保留・応答することができます。

## 📌 お知らせ

- 「保留する」および「内線番号で転送する」の手順1で、相手に保留音を流さないようにすることもできます。  
**取付け時設定**

## 内線番号で転送する

1 内線との通話中に **保留** を押す

- 内線ランプが点滅します。
- 相手には保留音が流れます。

## 2 転送先の内線番号を押す

## 3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える

4 **設定/転送** を押す

- 通話が転送されます。

## 5 受話器を戻す

## 📖 操作のヒント

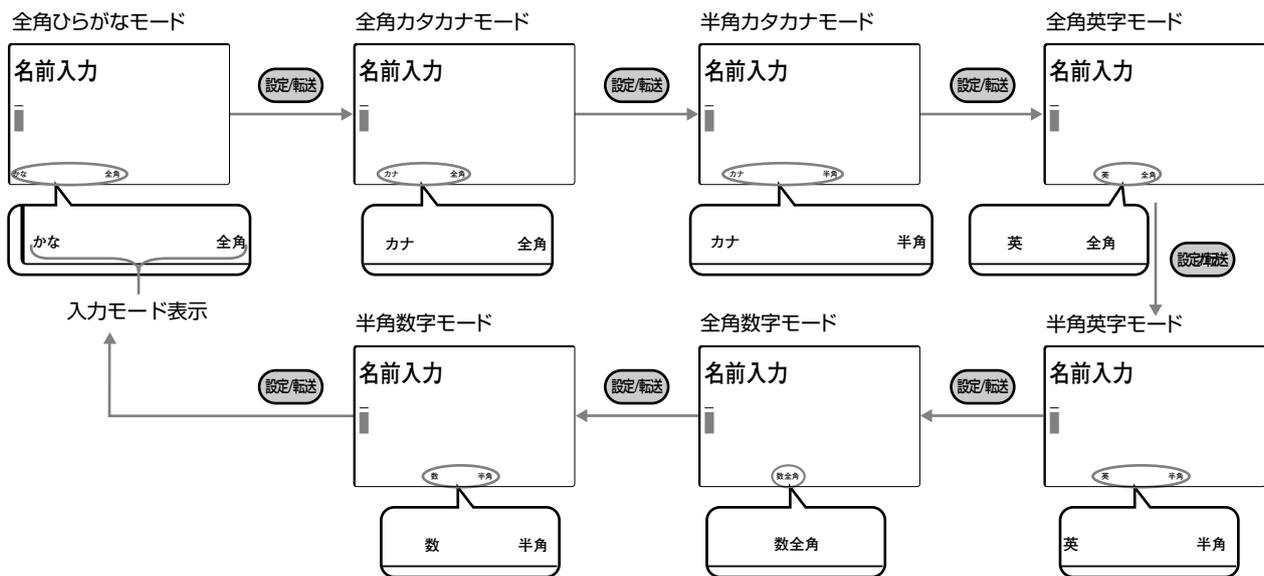
- 手順4で **設定/転送** を押さなくても、受話器を戻すのみで転送することができます（オンフック転送）。  
**取付け時設定**

## 文字の入力方法

入力できる文字の種類は、ひらがな（全角）、漢字（全角）、カタカナ（全角／半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）の8種類あります。

### 文字の入力モードを切り替える

文字入力画面において 設定/転送 を押すことにより、全角ひらがな→全角カタカナ→半角カタカナ→全角英字→半角英字→全角数字→半角数字の順に入力モードが切り替わります。



#### お知らせ

- 入力画面によっては、選択できないモードもあります。
- 電話帳に登録した名前（内線電話帳の名前、外線電話帳（共通短縮ダイヤル）の名前）を発信者名として、ネーム・ディスプレイ対応の単独電話機（内線）に着信通知することができます。  
ネーム・ディスプレイ対応の単独電話機をご利用の場合、電話帳に登録する名前は全角文字で入力してください。

## 文字ボタン割当表

文字はボタンを押して入力します。

ボタンには、入力モードに応じて、下表の文字や機能が割り当てられています。

ボタン	入力モード						
	全角ひらがな 入力モード	カタカナ入力モード		英字入力モード		数字入力モード	
		全角	半角	全角	半角	全角	半角
あ ①	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウエオ アイウエオ	—	—	1	1
か ② ABC	かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	ABC abc	ABC abc	2	2
さ ③ DEF	さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	DEF def	DEF def	3	3
た ④ GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	タチツテト ッ	GHI ghi	GHI ghi	4	4
な ⑤ JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	JKL jkl	JKL jkl	5	5
は ⑥ MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフヘホ	MNO mno	MNO mno	6	6
ま ⑦ PQRS	まみむめも	マミムメモ	マミムメモ	PQRS pqrs	PQRS pqrs	7	7
や ⑧ TUV	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV tuv	TUV tuv	8	8
ら ⑨ WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	WXYZ wxyz	9	9
わ ⑩ 0	わをん	ワヲン	ワヲン	—	—	0	0
* *	“ ”	“ ”	“ ”	. - @ _ / : ~	. - @ _ / : ~	*	*
# #	、 。 — ・ ! ? 空白	、 。 — ・ ! ? 空白	、 。 — ・ ! ? 空白	, ! ? ¥ & ( ) * # " ' = ^ + ;	, ! ? ¥ & ( ) * # " ' = ^ + ;	#	#
設定/転送 設定/転送	入力モードを全角ひらがな→全角カタカナ→半角カタカナ→全角英字→半角英字→全角数字→半角数字→全角ひらがなの順に切り替えます。 文字が未確定の状態、設定/転送を押すと未確定の文字は確定します。						
フック フック	設定を終了し、待ち受け画面に戻ります。						
漢字変換 漢字変換	ひらがなモードで入力したひらがなを漢字に変換します。漢字変換(▲)を押した場合、登録されている漢字データの一番最後から表示され、漢字変換(▼)を押した場合、登録されている漢字データの一番最初から表示されます。						
戻る 戻る	1文字削除します。戻るを1秒以上押し、表示中の文字データをすべて消去します。未入力状態の場合には、ひとつ前の画面に戻ります。						
短縮 短縮	編集中の文字入力をクリアして、保存データから再度読み込みます。						
決定 決定	表示中のデータを登録します。文字入力中は、入力中の文字や漢字変換を確定します。						
左移動 左移動	カーソルを左へ移動します。						
右移動 右移動	文字が何も入力されていない場合、スペースを入力しカーソルを右に1つ移動します。既に入力がある場合、入力されている文字を確定し、カーソルを右に1つ移動します。						

# 電話帳などの登録時の文字入力方法 漢字

## お知らせ

- 漢字は JIS 第 1 水準および JIS 第 2 水準に対応しています。
- 名前の前にスペースがあると検索できないため、名前の最初はスペースをあげないでください。
- 名前を新規に登録するときは、 で文字を削除してから入力してください。

## 漢字変換のしかた

例：「第 1 営業」と入力する場合

### ナビ操作

#### 1 「だい」を入力する

 を 1 回(た) →  を 1 回(濁点) →

 を 2 回(い)

名前入力

だい

かな 全角

#### 2 (▲▼) で漢字変換する

名前入力

[大]

1/26

かな 全角

- 目的の漢字が表示されるまで  (▲▼) を繰り返し押してください。

#### 3 (決定) を押す

名前入力

第

かな 全角

- 漢字が決定されます。

#### 4 入力モード表示が全角数字モードになるまで を押す (⇒80ページ)

名前入力

第

数字角

数字モード

#### 5 を押し (決定) を押す

名前入力

第 1

数全角

#### 6 入力モード表示が全角ひらがなモードになるまで を押す (⇒80ページ)

名前入力

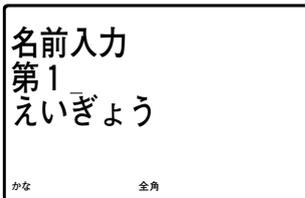
第 1

かな 全角

ひらがなモード

## 7 「えいぎょう」を入力する

<sup>あ</sup>① を4回 (え) →  (▶) (カーソルを移動) → <sup>あ</sup>① を2回 (い) → <sup>か</sup>②<sub>ABC</sub> を2回 (き) → \* を1回 (濁点) → <sup>や</sup>⑧<sub>TUV</sub> を6回 (よ) → <sup>あ</sup>① を3回 (う)



## 8 (▲▼)で漢字変換する



- 目的の漢字が表示されるまで  (▲▼)を繰り返し押ししてください。

## 9 (決定)を押す



- 漢字が決定されます。
- 文字を消去する場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

## 個人電話帳(個人短縮ダイヤル)へ新規に登録する

よくかける電話番号を個人電話帳に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。また、着信履歴などには、登録した電話番号が液晶表示部に表示されます。個人電話帳は、電話機ごとに最大20件の相手先を登録することができます。

外線電話帳や内線電話帳の登録については、「システムを管理する方が行う保守・運用・登録について」の261ページと274ページをご覧ください。

数字表示付電話機で登録する場合、「個人短縮ダイヤルを登録する」(⇒201ページ)をご覧ください。

## お願い

- 電話番号の設定と個人短縮ダイヤル番号の設定は必須項目です。必ず設定してください。

例：以下の操作は、名前：鈴木一郎、電話番号：045-000-4567を登録する場合で説明しています。

## ナビ操作

待ち受け中に

- 1  (▲)または  (決定)を押す

```
***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
```

- 2  (▲▼)で「3:電話帳登録」を選択し  (決定)を押す

```
***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
```

- 3  (▲▼)で「2:個人電話帳」を選択し  (決定)を押す

```
**電話帳登録**
1:外線電話帳
2:個人電話帳
3:内線電話帳
```

- 4  (▲▼)で「1:名一」を選択し  (決定)を押す

```
短縮No.
1:名一
2:か一
3:TEL一
```

- 5 名前(すずき)を入力する  
(文字入力方法は⇒80ページ)

```
名前入力
すずき
かな 全角
```

- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

6  (▲▼)で漢字変換する

名前入力

【鈴木】

1/5

かな 全角

- 目的の漢字が表示されるまで  (▲▼)を繰り返し押ししてください。

7  (決定)を押す

名前入力

鈴木

かな 全角

- 漢字が決定されます。

8 名前（いちろう）を入力する  
（文字入力方法は➡80ページ）

名前入力

鈴木

いちろう

かな 全角

9  (▲▼)で漢字変換する

名前入力

鈴木

【一郎】

2/7

かな 全角

- 目的の漢字が表示されるまで  (▲▼)を繰り返し押ししてください。

10  (決定)を押す

名前入力

鈴木一郎

かな 全角

- 漢字が決定されます。

11  (決定)を押す

短縮No.

1: 名ー鈴木一郎

2: カースキイロ

3: TELー

- 入力した名前が登録され、フリガナが自動的に設定されます。
- 表示されたフリガナが違う場合、 (▲▼)で「2: カナー」を選択し  (決定)を押し、 を押してフリガナを削除してから、正しいフリガナを入力して  (決定)を押ししてください。全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。
- フリガナは、カナ・英字・数字および記号で半角10文字までです。10文字を超える入力はできません。濁点、半濁点も1文字として数えます。

12  (▲▼)で「3: TELー」を選択し  (決定)を押す

短縮No.

1: 名ー鈴木一郎

2: カースキイロ

3: TELー

13 電話番号（例：0450004567）を押す

電話番号を  
入力してください

0450004567

- 電話番号の入力は、24ケタ（ 含む）までです。24ケタを超える入力はできません。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。
-  を押して、 (▲▼)で「1: ポーズ」を選択し  (決定)を押すとポーズを挿入できます。ポーズ以外の内容を挿入することもできます。（➡258ページ）

次ページへ続く➡

## 個人電話帳（個人短縮ダイヤル）に登録する 漢字

### 14 (決定)を押す

短縮No.  
1:名—鈴木一郎  
2:カナーズ キイチロウ  
3:TEL—0450004567

### 15 <sup>機能</sup> を押す

\*電話帳登録します\*  
短縮番号を  
指定してください  
80

- 登録されていない短縮番号の中で、一番若い番号が表示されます。
- 短縮番号を好きな番号に設定したい場合、 を押し、番号を消してから **8 0** ~ **9 9** を入力し、 (決定)を押してください。

### 16 (決定)を押す

電話帳データを  
登録しました

↓ 約2秒後

短縮No. ※1  
1:名—  
2:カ—  
3:TEL—

- 登録した内容が個人電話帳に登録されます。
- すでに登録されている短縮番号がある場合、「上書きしますか?」というメッセージが表示されます。上書きする場合、「1:はい」を、上書きしたくない場合、「2:いいえ」を選択し  (決定)を押してください。

※1: 発信履歴または着信履歴から登録した場合、約2秒後には上記の画面ではなく、待ち受け画面に戻ります。下記の手順17に進むことはできません。

### 17 続けて個人電話帳の登録をする場合、手順4~16を繰り返す

-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

#### 操作のヒント

- 手順11の画面ですでにフリガナ入力が表示されている場合に文字を入力すると、表示されているフリガナのあとに追加されます。 (◀)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除してください。
- 操作を間違えた場合、 を約1秒以上押し、入力した文字を消去した状態でさらに  を押し、1つ前の画面に戻って入力し直してください。
- 入力途中で登録をやめたい場合、<sup>機能</sup> を押し、登録する(手順15)前のいずれかの画面状態で  を押してください。登録はされず、途中まで入力した内容は無効になります。

### お知らせ

- 20 件を超える新規登録はできません。必要のないデータを削除する作業を行ってから新規登録をしてください。  
(➡92 ページ)
- 個人電話帳の登録件数を確認することができます。(➡94 ページ)
- 個人電話帳（個人短縮ダイヤル）に登録するときに、電話番号のあとに **#** を入れるか入れないかにより、ISDN 回線または IP 回線でかけるとき、下記のような違いがあります。電話（アナログ）回線でお使いの場合、電話番号のあとに **#** を入れて登録する必要はありません。

#### 電話番号のあとに **#** を入れて登録すると

個人電話帳（個人短縮ダイヤル）を使って電話をかけるとき、相手を選んだあとにすぐ呼び出しが始まります。

#### 電話番号のあとに **#** を入れないで登録すると

個人電話帳（個人短縮ダイヤル）を使って電話をかけるとき、相手を選んだあとに **#** を押さないと、設定した時間（お買い上げ時の設定は 2 秒）経過後に呼び出しが始まります。

## 発信履歴／着信履歴から登録する

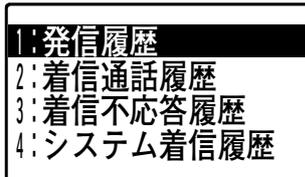
発信履歴または着信履歴の電話番号を個人電話帳や外線電話帳に登録することができます。

例：個人電話帳に登録する場合

### ◀ナビ操作

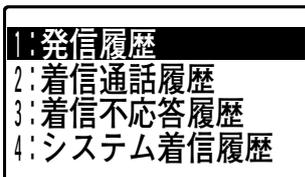
待ち受け中に

1  (◀)を押す



- 待ち受け中に  (▲) または  (▼) を押してメニュー画面を表示したあとに、「2：発信履歴」を選択して  (▶) を押し、本手順の画面を表示することもできます。(➡34ページ)

2  (▲▼)で「1：発信履歴」または着信履歴の種類を選択し  (▶) を押す



〈着信履歴の種類〉

- 着信通話履歴：電話に回答した場合の履歴  
 着信不応答履歴：電話に回答しなかった場合の履歴  
 システム着信履歴：システム全体の着信履歴（通話履歴、不応答履歴）

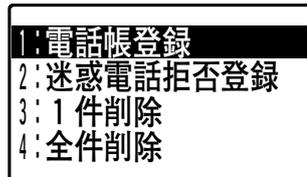
- 発信履歴がない場合、「発信履歴ありません」と表示されます。
- 着信履歴がない場合、「着信履歴ありません」と表示されます。

3  (▲▼)または  (◀▶)で登録したい相手を選び  (機能) を押す

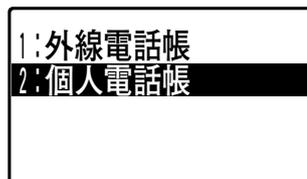


履歴蓄積件数

4  (▲▼)で「1：電話帳登録」を選択し  (▶) (決定)を押す



5  (▲▼)で「2：個人電話帳」を選択し  (▶) (決定)を押す



- 電話帳登録画面が表示され、指定した電話番号が表示されます。
- 外線電話帳へ登録する場合、「1：外線電話帳」を選択します。
- 電話帳に空きがない場合、「新規登録できません」というメッセージが表示されます。必要のないデータを削除する作業を行ってから新規登録してください。(➡92ページ)

6 「個人電話帳（個人短縮ダイヤル）へ新規に登録する」(➡84ページの手順4)にしたがって登録をする

- 外線電話帳の場合、「外線電話帳（共通短縮ダイヤル）に登録する」(➡261ページの手順4)にしたがって操作してください。

### お知らせ

- 手順5で「1：外線電話帳」を選択できるのは、指定電話機での操作のみです。他の電話機の場合、選択できません。
- 手順5で他の指定電話機から電話帳登録中、またはパソコンから電話帳データを送信中は、「他登録操作中です 登録できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。

## 個人電話帳のデータを修正する

個人電話帳に登録してあるデータを検索して修正ができます。

外線電話帳や内線電話帳の修正については、「システムを管理する方が行う保守・運用・登録について」の267ページと276ページをご覧ください。

例：以下の操作は、名前：鈴木一郎、電話番号：045-000-4321を、鈴木太郎、045-000-4323に修正する場合で説明しています。

## ナビ操作

## 1 鈴木一郎を検索する

(検索の方法は⇒56ページ)

鈴木一郎
鈴木次郎
須田次郎
瀬川三郎

## 2 機能 を押す

1: 電話帳修正
2: 電話帳1件削除

## 3 (▲▼) で「1: 電話帳修正」を選択し (決定) を押す

1: 電話帳修正
2: 電話帳1件削除

## 4 (▲▼) で「1: 名ー」を選択し (決定) を押す

短縮No. 81
1: 名ー鈴木一郎
2: カースキーロウ
3: TELー0450004321

## 5 戻る を2回押し「一郎」を消去する

名前入力
鈴木
かな
全角

6 名前(たろう)を入力する  
(文字入力方法は⇒80ページ)

名前入力
鈴木
たろう
かな
全角

- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力間違えた場合、戻る を1回ずつ押し1文字ずつ消去し、再入力します。または、(◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、戻る で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、戻る を約1秒以上押しします。

## 7 (▲▼) で漢字変換する

名前入力
鈴木
【太郎】
かな
全角
1/5

- 目的の漢字が表示されるまで (▲▼) を繰り返し押ししてください。

8  (決定)を押す

名前入力  
鈴木太郎

かな                  全角

- 漢字が決定されます。

9  (決定)を押す

短縮No. 81  
1:名-鈴木太郎  
2:カーズキタロウ  
3:TEL-0450004321

- フリガナは、カナ・英字・数字および記号で半角10文字までです。10文字を超える入力ではできません。濁点、半濁点も1文字として数えます。入力されなかった文字は再入力する必要があります。

〈フリガナを修正する〉

-  (▲▼)で「2:カー」を選択し  (決定)を押し、 (◀▶)で消去したい文字にカーソルを移動し  を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、「イチロウ」を消去するとともに、入力されなかった「ウ」を再入力し  (決定)を押してください。全ての文字を消去し入力し直す場合、「戻る」を1秒以上押して全ての文字を消去したあと、入力し直して  (決定)を押してください。

10  (▲▼)で「3:TEL-」を選択し  (決定)を押す

短縮No. 81  
1:名-鈴木太郎  
2:カーズキタロウ  
3:TEL-0450004321

11  を1回押し、電話番号の末尾の [1] を消去する

電話番号を  
入力してください  
045000432

12  を押す

電話番号を  
入力してください  
0450004323

- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

13  (決定)を押す

短縮No. 81  
1:名-鈴木太郎  
2:カーズキタロウ  
3:TEL-0450004323

14  を押す

短縮No. 81を  
上書きしますか?  
1:はい  
2:いいえ

15  (▲)で「1:はい」を選択する

短縮No. 81を  
上書きしますか?  
1:はい  
2:いいえ

- 修正した内容を新たに個人電話帳に登録する場合、「2:いいえ」を選択し  (決定)を押して、空いている個人短縮番号を入力し  (決定)を押してください。新規に個人電話帳へ登録されます。

16  (決定)を押す

電話帳データを  
登録しました

↓ 約2秒後

鈴木太郎  
須田次郎  
瀬川三郎  
瀬田志郎

- 修正した内容が個人電話帳に登録されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

 操作のヒント

- 操作を途中で中止する場合、手順4の画面で  を押すと手順1の画面に戻ります。また、手順9、手順10、手順13の画面で  を押して「2:いいえ」を選択し  (決定) を押すと手順1の画面に戻ります。
- 電話番号など登録内容を確認してから編集することもできます。  
手順1で  (決定) を押し、電話番号など登録内容の詳細画面を表示させて内容を確認したあと、手順2から手順16を行ってください。  
手順16で  (決定) を押し、電話帳データを編集後の画面は、電話番号など登録内容の詳細画面に戻ります。

## 個人電話帳データを削除する

個人電話帳に登録してあるデータを検索して1件削除、または全件削除できます。  
外線電話帳の削除については、「システムを管理する方が行う保守・運用・登録について」の270ページをご覧ください。

### 1 件削除する

例：以下の操作は、名前：鈴木太郎を削除する場合で説明しています。

#### ナビ操作

- 1 鈴木太郎を検索する  
(検索の方法は→56ページ)

鈴木太郎
須田次郎
瀬川三郎
瀬田志郎

- 2  を押す

1: 電話帳修正
2: 電話帳1件削除

- 3  (▲▼) で「2: 電話帳1件削除」を選択し  (決定) を押す

1: 電話帳修正
2: 電話帳1件削除

- 4  (▲▼) で「1: はい」を選択する

電話帳データを 削除しますか?
1: はい
2: いいえ

- 「2: いいえ」を選択し  を押すと手順2の画面に戻ります。

- 5  (決定) を押す

電話帳データを 削除しました
-------------------

約2秒後

須田次郎
瀬川三郎
瀬田志郎

- 指定した内容が個人電話帳から削除されます。

#### 操作のヒント

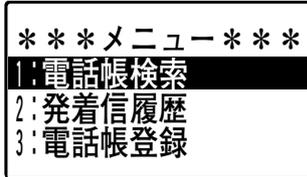
- 電話番号など登録内容を確認してから削除することもできます。  
手順1で  (決定) を押し、電話番号など登録内容の詳細画面を表示させて内容を確認したあと、手順2から手順5を行ってください。  
手順5で  (決定) を押し、電話帳データを削除後の画面は、電話番号など登録内容の詳細画面に戻ります。

## 全件削除する

### ナビ操作

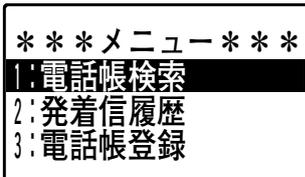
待ち受け中に

- 1  (▲)または  (決定)を押す

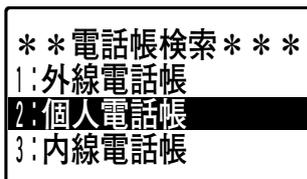


- フリガナ検索画面から検索する方法もあります。(⇒33ページ)
- フリガナ検索画面から検索する場合、「電話帳検索」画面を表示したあと、手順3へ進みます。

- 2  (▲▼)で「1:電話帳検索」を選択し  (決定)を押す

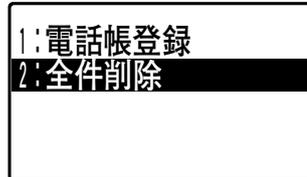


- 3  (▲▼)で「2:個人電話帳」を選択し  を押す

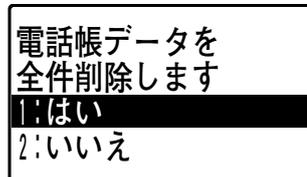


- 電話帳にデータがない場合、「登録データはありません」と表示されます。

- 4  (▲▼)で「2:全件削除」を選択し  (決定)を押す

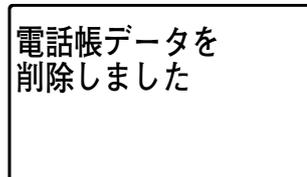


- 5  (▲▼)で「1:はい」を選択する

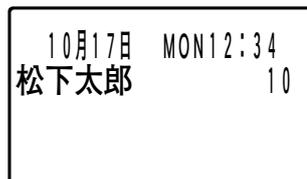


- 「2:いいえ」を選択し  (決定)を押すと手順4の画面に戻ります。

- 6  (決定)を押す



約2秒後



- 個人電話帳が全件削除され、待ち受け画面に戻ります。

### 操作のヒント

- 電話帳登録画面 (⇒84 ページの手順3の画面) で「2:個人電話帳」を選択したあとに  を押して全件削除することもできます。

## 個人電話帳の登録件数を確認する

個人電話帳に登録してある登録件数や残りの件数を確認できます。

外線電話帳の登録件数の確認については、「システム管理者が行う保守・運用・登録について」の273ページをご覧ください。

### ◀ナビ操作

1  (▲)または  (決定)を押す

```
***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
```

2  (▲▼)で「3：電話帳登録」を選択し  (決定)を押す

```
***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
```

3  (▲▼)で「2：個人電話帳」を選択し  を押す

```
**電話帳登録**
1:外線電話帳
2:個人電話帳
3:内線電話帳
```

4  (▲▼)で「1：登録件数確認」を選択し  (決定)を押す

```
1:登録件数確認
2:全件削除
```



```
登録件数 18件
残り      2件
```

- 現在の登録件数（××件）と残りの登録件数（××件）が表示されます。
- フック** を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 📄お知らせ

- 電話番号か名前のどちらか一方が登録されていると、登録件数としてカウントされます。

## 個人短縮ダイヤルに電話番号に登録する

電話番号を電話機ごとにダイヤルボタンで個人短縮ダイヤルへ登録することができます。

個人短縮ダイヤルは、短縮番号 ⑧ ⑩ ～ ⑨ ⑨ の20件まで、電話番号は1件につき24ケタ(☎ 含む)まで登録できます。

## 電話番号に登録する

## 1 モニター を押す

- モニターランプが点灯します。

## 2 設定/転送 を押す

## 3 短縮 を押す

## 4 短縮番号 (⑧ ⑩ ～ ⑨ ⑨) を押す

- 数字表示付電話機では、短縮番号 ⑧ ⑩ ～ ⑧ ⑨ までは手順3、4の代わりにワンタッチボタンを押してもできます。(→202ページ)

## 5 登録したい電話番号と ☎ を押す

- 電話番号と ☎ の合計を24ケタ以内で入力してください。

## 6 保留 を押す

- 「ブー」という音が聞こえたら、登録が完了します。
- 続けて登録するには、手順2～6を行います。

## 7 登録を終了するには、モニター を押す

## 修正するには

上記の操作の手順5で電話番号を入力し直してください。

## 消去するには

上記の操作の手順5を抜いて操作します。

## 確認するには

1 モニター → 2 確認/会議 → 3 短縮 → 4 短縮番号 → 5 確認したら モニター

- 共通短縮ダイヤル (→266ページ) の確認も同じ方法で行うことができます。
- 漢字表示付電話機の場合、確認/会議 はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(→98ページ)

## お知らせ

- 短縮番号 ⑨ ⑨ に登録しても、外線からの「最後に応答した電話番号にかけ直す」機能をお使いの場合、外線からの電話に「取付け時設定」に設定した電話番号が上書きされてしまいます。(→200ページ)
- 個人短縮ダイヤルに名前などを登録したい場合、「個人電話帳のデータを修正する」(→89ページ) にしたがって名前などの登録をしてください。
- 個人短縮ダイヤルを登録するときに、電話番号のあとに ☎ を入れるか入れないかにより、ISDN 回線または IP 回線でかけるとき、下記のような違いがあります。電話 (アナログ) 回線でお使いの場合、電話番号のあとに ☎ を入れて登録する必要はありません。

## 電話番号のあとに ☎ を入れて登録すると

個人短縮ダイヤルを使って電話をかけるとき、相手を選んだあとにすぐ呼び出しが始まります。

## 電話番号のあとに ☎ を入れないで登録すると

個人短縮ダイヤルを使って電話をかけるとき、相手を選んだあとに ☎ を押さないと、設定した時間 (お買い上げ時の設定は 2 秒) 経過後に呼び出しが始まります。

# 5 FFボタンに機能を設定する

外線ボタンに設定していないFFボタンは、機能を設定して機能ボタンとして使うことができます。機能をFFボタンに設定することにより、複数のダイヤルボタンを操作することなく、ワンタッチで機能を使うことができます。

1  を押す

2  を押す

3 設定したい  を押す

4 設定したい機能の設定番号を押す

- 設定番号については、「FFボタンに設定できる機能」(⇒97ページ～98ページ)をお読みください。
- 最大6ケタまで入力できます。

5  を押す

- 「ブー」という音が聞こえたら、設定は完了です。
- 続けて設定するときは手順2～5を行います。

6  を押す

## 消去するには

上記の操作の手順4を抜いて操作します。

## 設定番号を確認するには

1  → 2  → 3  → 4 確認したら 

- 漢字表示付電話機の場合、 はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(⇒98ページ)
-  の代わりに  を押して操作することもできます。

# 5

# FFボタンに設定できる機能

**指** 指定電話機のみ設定できます。

**取** 取付け時に設定が必要です。

※これらのマークのないものは、全てのデジタル多機能電話機から設定できます。

No.	機能	設定番号	参照ページ
1	内線で呼び出す (信号音呼出)	内線番号	54
2	内線で呼び出す (音声呼出)	内線番号①	54
3	不在設定	⑨⑦⑧	99
4	不在転送	⑨⑦⑧ 内線番号	101
5	不在設定の解除	⑨⑦⑧	100
6	不在転送の解除		102
7	内線状態表示(応答前転送可)	⑨⑧ 内線番号	245
8	内線状態表示	⑨⑨ 内線番号	245
9	玄関子機1に応答	⑨①①	240
10	玄関子機2に応答	⑨①②	240
11	玄関子機3に応答	⑨①③	240
12	玄関子機4に応答	⑨①④	240
13	<b>取</b> 外線捕捉特番	⑨④～⑨⑥	52
14	カレントアラーム確認	*⑦⑦⑦	160 308
15	<b>指</b> 電話機別の通話料金の集計確認	*④ 内線番号	307
16	<b>指</b> 全電話機の通話料金の集計	*④⑨	307
17	<b>指</b> 時刻変更	*⑤⑦	286
18	<b>指</b> 年月日変更	*⑤⑧	286
19	<b>指</b> 昼間/夜間モード切替	*⑧⑦	288
20	<b>指</b> 夜間1に切替	*⑧⑧	288
21	<b>指</b> 夜間2に切替	*⑧⑨	288
22	複合機ジョブ完了通知	*⑧⑦⑧	236
23	複合機使用状態表示	*⑧⑦⑨	237

No.	機能	設定番号	参照ページ
24	複合機ファクス受信通知	*⑧⑦⑧	237
25	多目的リレー1制御	*⑧⑧⑧	242
26	多目的リレー2制御	*⑧⑧⑨	242
27	多目的リレー3制御	*⑧⑧⑩	242
28	多目的リレー4制御	*⑧⑧⑪	242
29	<b>取</b> 電気錠1施錠/解錠	*⑧⑨⑧	241
30	<b>取</b> 電気錠2施錠/解錠	*⑧⑨⑨	241
31	<b>取</b> 電気錠3施錠/解錠	*⑧⑩⑧	241
32	<b>取</b> 電気錠4施錠/解錠	*⑧⑩⑨	241
33	ヘッドセットモード切替	*⑨⑦	244
34	<b>取</b> 着信音量調節(外線)	*⑨⑧	45
35	<b>取</b> 着信音量調節(内線)	*⑨⑨	45
36	アラーム時刻設定	*⑩⑧	140
37	自己内線番号表示	*⑩⑩	47
38	発信者付加情報表示	*⑩⑩⑩	159
39	内線代理応答	**	72
40	<b>取</b> 一斉呼出	#⑦	55
41	<b>取</b> グループ呼出	#⑧～#⑩	55
42	<b>取</b> マルチラインボタン	#⑩ (01～16)	19 74
43	<b>取</b> フローティング保留ボタン		19 77
44	<b>取</b> マルチライン代理応答	#⑩#	72
45	<b>取</b> 構内放送	#⑩	239
46	<b>取</b> 一斉・グループ呼出 に 応 答	##	55
47	個人短縮ダイヤル	短縮 ⑩⑦～⑩⑩	69

# 5

# FFボタンに設定できる機能

## お知らせ

- 設定番号は最大6ケタまで入力できます。
- 「マルチラインボタン」「フローティング保留ボタン」を設定する場合、(01～16)の番号を重複して使用しないでください。
- 「マルチラインボタン」「フローティング保留ボタン」の登録・変更・削除を不可とすることもできます。

**取** 取付け時設定

# FFボタンに設定できる機能

## 5 FFボタンに設定できる機能

No.	機能	設定番号	参照ページ
48	外線電話帳 (共通短縮ダイヤル)	短縮 000~ 799 (または 00~79 0000~ 1499 ☎取付け時設定)	69
49	設定/転送ボタン	短縮 井 1	161 162
50	確認/会議ボタン	短縮 井 2	95 96 143 144 155 156 169 171 178 180 266 292 297 300
51	切替ボタン	短縮 井 4	187 199
52	トークバックボタン	短縮 井 0	73
53	ファクスに転送	短縮 9 *	233
54	取 転送リモート用 自動転送(一般着信)	* 6 4 0	176
55	留守録設定/解除	* 6 3 テナント番号	105
56	取 非通知着信拒否	* 8 3 1	153 157
57	迷惑電話拒否 (指定した発番号着信拒否)	* 8 3 2	148 150 ~ 157

No.	機能	設定番号	参照ページ
58	迷惑電話拒否ガイダンス送出	* 6 6	157
59	着信中手動転送	短縮 井 5	166
60	指 自動転送(一般着信)	短縮 転送先の 電話番号を登録し た短縮番号 *1	169
61	指 自動転送(個別着信)	短縮 転送先の 電話番号を登録し た短縮番号 *1	172
62	お待たせ応答(自動)	* 8 5	118
63	お待たせ応答(手動)	短縮 井 3	119
64	取 留守応答モニター	* 8 6 テナント番号	112
65	取 ボックスボタン	* 8 9 1 1 0 2 ボックス番号 (2ケタ~4ケタ)	104 116 121 124 126
66	取 聞取ボタン	* 8 9 1 1 1 0 ボックス番号 (2ケタ~4ケタ)	116 122 124 125 127 136
67	通録終了ボタン	* 8 9 1 1 0 7	121
68	呼出変更ボタン	* 8 9 1 1 0 9	128 ~ 131
69	相手先発信ボタン	* 8 9 1 1 1 6	125
70	取 外線ボタン	* 外線番号 (01~16)	52 71 75 143 146

\*1: 「短縮ダイヤルに機能の登録を行う」の「短縮ダイヤルに転送先電話番号を登録する」操作の手順2で登録した短縮番号を入力してください。(No.60は169ページ、No.61は172ページ)

### お知らせ

- 設定番号は最大6ケタまで入力できます。No.65~No.69は、先頭の \*891 を含めて11ケタまで入力できます。
- 「外線ボタン」やマルチボイス・IP外線ユニット用の各ボタン(アプリケーションボタン)の登録・変更・削除を不可とすることもできます。☎取付け時設定

## 不在設定／解除する

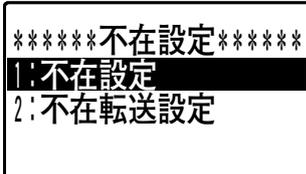
不在設定をすることにより、席を離れるときや電話に出られないときに、外線または内線（玄関子機含む）からかかってきても着信をしないようにすることができます。

不在設定（不在ランプが点灯）をすると、席に戻っても着信しくなくなります。解除忘れにご注意ください。

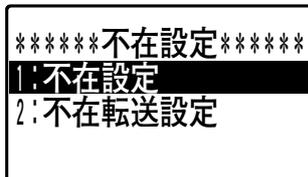
## 不在設定する

## ナビ操作

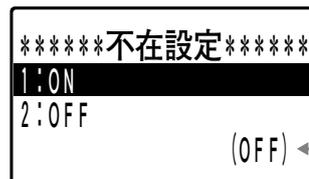
- 1 (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「6：不在設定」を選択して「不在設定画面」を表示する（→29ページ）



- 2 (▲▼) で「1：不在設定」を選択し  
 (決定) を押す

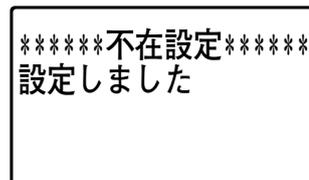


- 3 (▲▼) で「1：ON」を選択する

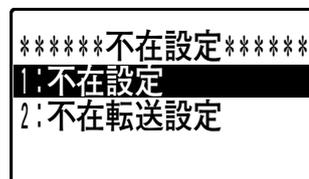


現在の設定内容

- 4 (決定) を押す



約2秒後



- 不在ランプが点灯します。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 操作のヒント

- 不在設定を設定中は、外線から通常の着信、IP回線の着信、ダイレクトインライン（外線着信を特定の電話機のみに着信させる機能）で着信した場合、かけた人には呼び出している音が聞こえ、個別の電話機に着信した場合（NTTダイヤルインなど）、かけた人には話中音（ツーツー）が聞こえます。個別の電話機に着信した場合も呼び出している音が聞こえるように設定することもできます。 取付け時設定  
内線からかけた人には話中音が聞こえます。

## ボタン操作

- 1 → 2 → 3 ・不在ランプが点灯します。→ 4

## ボタン操作のヒント

- 手順2は とすることもできます。 取付け時設定

# 電話に出られないときの設定をする（不在設定）

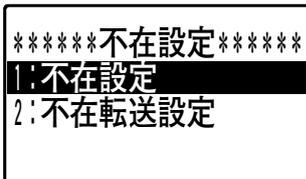
## お知らせ

- 不在転送（➡101 ページ）または自動転送（個別着信）（➡170 ページ）を設定しているとき、不在設定操作を行うと、各転送設定は解除されます。
- 不在設定していると、着信時には着信音は鳴りません。ただし、以下の場合は着信音が鳴ります。
  - アラーム
  - 保留再呼出
  - センサー着信
- 着信中に不在設定を行っても、その時点で着信音は止まりません。

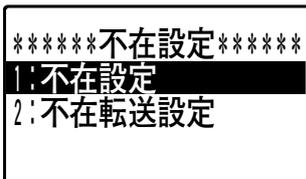
## 不在設定を解除する

### ナビ操作

1 (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「6：不在設定」を選択して「不在設定画面」を表示する（➡29ページ）



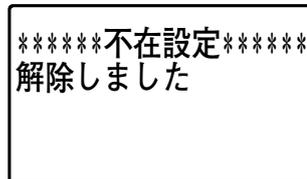
2 (▲▼) で「1：不在設定」を選択し (決定) を押す



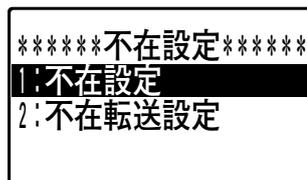
3 (▲▼) で「2：OFF」を選択する



4 (決定) を押す



約2秒後



- 不在ランプが消灯します。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

### ボタン操作

1 (モニター) → 2 (9) (0) → 3 (井) • 不在ランプが消灯します。→ 4 (モニター)

### ボタン操作のヒント

- 手順2は (＊) (9) (0) とすることもできます。 (取付け時設定)

## 不在転送を設定／解除する

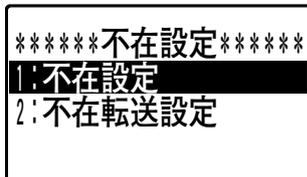
席を離れるときなどにあらかじめ設定しておくと、外線または内線（玄関子機は除く）がかかってきた電話を、別の内線電話機に転送することができます。

不在転送を設定（不在ランプが点灯）すると、席に戻っても着信しなくなります。解除忘れにご注意ください。

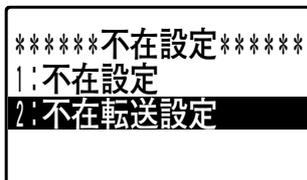
## 不在転送を設定する

## ナビ操作

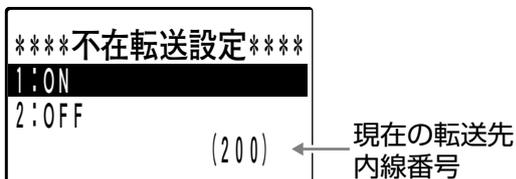
- 1 (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「6：不在設定」を選択して「不在設定画面」を表示する (→29ページ)



- 2 (▲▼) で「2：不在転送設定」を選択し (決定) を押す



- 3 (▲▼) で「1：ON」を選択し (決定) を押す



- 不在転送設定が設定されていない場合、「現在の転送先内線番号」の表示は「(OFF)」と表示されます。

- 4 転送先の内線番号を入力する

\*\*\*\*不在転送設定\*\*\*\*  
転送先内線番号  
入力してください  
202

- 5 (決定) を押す

\*\*\*\*不在転送設定\*\*\*\*  
設定しました

↓ 約2秒後

\*\*\*\*不在設定\*\*\*\*  
1:不在設定  
2:不在転送設定

- 不在ランプが点灯します。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 操作のヒント

- 夜間に不在転送するときなどに、不在転送先に留守番電話機を指定しておくと、電話がかかってきたときにメッセージを録音することができます。
- 不在転送できる外線からの着信は、通常の着信、IP回線の着信、ダイレクトインライン（外線着信を特定の電話機のみに着信させる機能）、NTTダイヤルイン、IP回線からのダイヤルイン、i・ナンバー、グローバル着信、サブアドレスの着信とセレクト着信の個別着信です。ただし、通常の外線からの着信は不在転送しないようにすることもできます。 取付け時設定

# 電話に出られないとき、他の電話機に転送設定をする（不在転送）

## お知らせ

- 不在設定（→99ページ）または自動転送（個別着信）（→170ページ）を設定しているとき、不在転送の設定を行うと、前の設定は解除され、不在転送が設定されます。
- 前ページの手順4で転送先の内線番号を入力するときに、すでに不在転送や不在設定されている電話機を指定したときは、「設定できません」というメッセージが表示、約2秒後に元の画面に戻ります。

## ボタン操作

1 **モニター** → 2 **9 0** → 3 転送先の内線番号を押す • 不在ランプが点灯します。→ 4 **モニター**

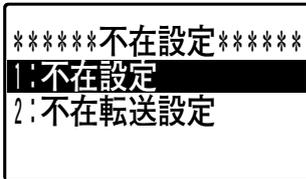
### ボタン操作のヒント

- 手順2は **\* 9 0** とすることもできます。 **取付け時設定**

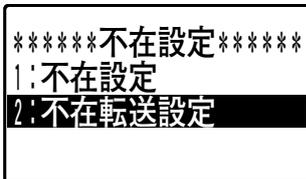
## 不在転送を解除する

### ナビ操作

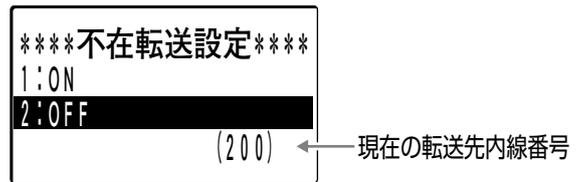
1 **上** (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「6：不在設定」を選択して「不在設定画面」を表示する（→29ページ）



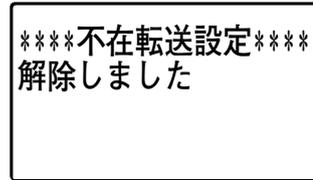
2 **上** (▲▼) で「2：不在転送設定」を選択し **決定** を押し



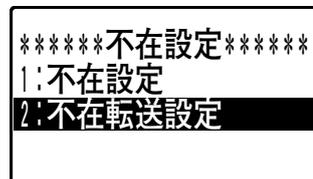
3 **上** (▲▼) で「2：OFF」を選択する



4 **決定** を押し



約2秒後



- 不在ランプが消灯します。
- **フック** を押しと待ち受け画面に戻ります。

## ボタン操作

1 **モニター** → 2 **9 0** → 3 **井** • 不在ランプが消灯します。→ 4 **モニター**

### ボタン操作のヒント

- 手順2は **\* 9 0** とすることもできます。 **取付け時設定**

オフィス留守番機能（マルチボイス）を使って、録音機能（留守録機能、通話録音機能、メッセージ録音機能）やガイダンス送出機能（転送メッセージ、お待たせ応答メッセージ）を利用することができます。また、オプションのマルチボイス拡張ユニット（VB-F263）を取り付けることにより、テナント<sup>※1</sup>数の追加やセキュリティガイダンス機能（センサー発報時のガイダンス）を利用することもできます。オフィス留守番機能（マルチボイス）のガイダンス送出機能を使い、迷惑電話拒否ガイダンス送出機能で使用する応答ガイダンスを、オリジナルで録音することもできます。

※1：営業部門、技術部門などにグループ分けし、グループごとに留守録などを行うグループを示します。

## オフィス留守番機能（マルチボイス）でできること

オフィス留守番機能（マルチボイス）で、次の機能を利用することができます。

機能名称		内 容	参照ページ
録音機能	留守録機能	留守録機能は、次の2つのモードから選択して利用することができます。 ・ 留守録モード： 電話をかけてきた相手に用件の録音を促し、メッセージを録音します。 ・ 留守専用モード： 電話をかけてきた相手に留守であることを伝え、回線を切ります。	105
	通話録音機能	外線通話中に話の内容を録音することができます。	121
	メッセージ録音機能	伝言などのメッセージを相手のボックスに直接録音することができます。	126
ガイダンス送出機能	お待たせ応答機能	かかってきた電話にすぐに出られないとき、代理で応答してしばらく待っていただく旨のガイダンスを送出することができます。また、かかってきた電話に出られない場合、かけてきた相手の用件を録音することもできます。	118
	応答ガイダンス録音機能	システム固定のガイダンス以外に、オリジナルの応答ガイダンスの録音／再生ができます。オリジナルで録音が可能なガイダンスの種類は、留守録応答ガイダンス、転送ガイダンス、お待たせ応答ガイダンス、迷惑電話拒否ガイダンス、メッセージ録音応答機能ガイダンスです。	134
	自動転送中ガイダンス機能	外線への自動転送時、かけてきた相手や転送先に、転送である旨を音声ガイダンスで伝えることができます。	185
セキュリティガイダンス機能 <sup>※2</sup>	センサー発報ガイダンス送出機能	センサーを検出すると、あらかじめ指定した外線の電話番号にメッセージを流すことができます。	243
その他	聞き取り時相手先情報表示機能	メッセージ再生中に、デジタル多機能電話機の液晶表示部に、メッセージを登録した相手の情報（発信者番号／発信者名前）を表示することができます。メッセージを再生中に、情報を表示している相手に簡単な操作で電話をかけることもできます。	125
	メッセージ録音時の指定電話呼出機能	ボックスにメッセージが録音された場合に、あらかじめ設定した携帯電話などを呼び出すことができます。呼び出された電話機からの操作で録音されたメッセージを聞くことができます。	127
	リモート設定機能	外出先から、留守録をセットをしたり、留守録音されたメッセージを聞くことができます。	113 117

※2：マルチボイス拡張ユニット（VB-F263）使用時に利用可能

# オフィス留守番機能（マルチボイス）とは？

## チャンネルとボックスについて

- チャンネルについて  
マルチボイスには、2つのチャンネルがあります（拡張ユニット※1使用時は6チャンネル）。  
それぞれのチャンネルで用途を選択し、お使いになる機能を選択することができます。**☎ 取付け時設定**  
各機能が動作しているときは該当するチャンネルが使用中になりますので、頻繁にお使いになりたい機能が複数ある場合には、拡張ユニットでチャンネルを増やしておかれると便利です。

	種 別	用 途
(1)	留守録	留守録
(2)	通話録音	通話録音
(3)	転送元ガイダンス送出	転送時に、かけてきた相手へ音声ガイダンス送出 (4)の転送先ガイダンス送出とセットで使用
(4)	転送先ガイダンス送出	転送時に、転送先へ音声ガイダンス送出 (3)の転送元ガイダンスとセットで使用
(5)	迷惑電話拒否ガイダンス送出	迷惑電話拒否ガイダンス送出
(6)	お待たせ応答ガイダンス送出	お待たせ応答ガイダンス送出
(7)	センサー発報ガイダンス送出※2	センサー発報ガイダンス送出

※1： 拡張ユニットとは、オプションのマルチボイス拡張ユニット（VB-F263）を示します。

※2： 拡張ユニット使用時に利用可能

- ボックスについて  
ボックスとは「留守録・通話録音・メッセージ録音」の録音メッセージを保存する場所のことです。ボックスにメッセージを録音したり、録音したメッセージを再生することができます。ボックスを使用する場合には、あらかじめFFボタンに **☎** を設定しておく必要があります。（⇒98ページ）

項 目	お買い上げ時	マルチボイス拡張ユニット（VB-F263）使用時
チャンネル数	2チャンネル	6チャンネル
録音時間	最大約2時間	最大約6時間
録音メッセージ数	最大127件	最大381件
ボックス設定数	最大25	最大50
ボックスに録音できるメッセージ数	0件～127件（お買い上げ時30件）	
1メッセージの録音時間	1分～5分（お買い上げ時5分）	

## パスワードについて

オフィス留守番機能（マルチボイス）には、以下の3種類のパスワードがあります。パスワードは手帳などにメモして、忘れないようにするとともに、お客様の責任で適正に管理してください。

### ボックスパスワード（暗証番号）

ボックス内のメッセージを他の人に聞かれないようにするための、ボックスごとの4ケタの番号です。お買い上げ時は、パスワードは設定されていませんので、設定することをお勧めします。  
また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。（⇒137ページ）

### 外線リモートパスワード

外から電話をかけて、オフィス留守番機能（マルチボイス）の留守録を設定／解除したり、録音されたメッセージを聞いたりするとき使用する4ケタの番号です。  
パスワードを入力しないと、外から電話をかけてオフィス留守番機能进行操作することはできません。  
お買い上げ時は「0000」が設定されています。  
パスワードを消去すると、外から電話をかけて留守録を設定／解除したり、録音されたメッセージを聞いたりできなくなります。**☎ 取付け時設定** また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

### メッセージ一括消去パスワード

ボックス内のメッセージを、一括して消去するとき使用する4ケタの番号です。  
お買い上げ時はパスワードは設定されていませんので、誤操作などによるメッセージの全消去を防ぐためにも、設定することをお勧めします。**☎ 取付け時設定** また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

## 数字表示付電話機での表示について

数字表示付電話機でオフィス留守番機能（マルチボイス）を操作する場合、液晶表示部に「[Enter]」が表示されます。ただし、通話録音中および留守応答モニター設定中は、それぞれ「[rll xx□]」（xx：ボックス番号、□：「A」または「-」）、「[rll]」が表示されます。（⇒133ページ）

# 7 留守録を設定する

留守録を設定することにより、不在のときに電話をかけてきた相手の用件を録音したり（留守録モード）、留守であることを伝え回線を切ることができます（留守専用モード）。  
留守録を設定する方法は、夜間切替（➡289ページ）に連動して自動で留守録を設定／解除する方法と、手動で留守録を設定／解除する方法の2通りがあります。

## 留守録機能について

留守設定中のテナントの外線から着信があると、留守応答スライド時間経過後にマルチボイスユニットが自動応答し、固定ガイダンスまたは自分で録音した応答メッセージを送出したあと、留守録ボックスにメッセージを録音させることができます。  
また、1つの留守ボックスでも、シーンに応じた応答メッセージをモード(昼、夜間、夜間1、夜間2、手動)ごとに流すことができます。

### お知らせ

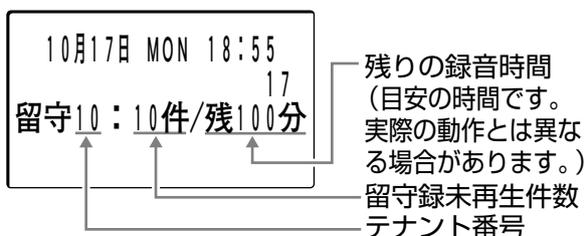
- 応答動作の設定で「録音無し」に設定（➡109ページ）している場合、メッセージは録音されません。ガイダンス送出後、回線を切ります。
- 固定ガイダンスの内容は以下のとおりです。  
録音有りの場合：「ただいま留守にしております。ご用件をピツという音のあとにお話してください。」  
録音無しの場合：「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、後ほどおかけ直してください。」
- 固定ガイダンスの代わりに、電話機から録音した応答メッセージを送出することもできます。
- i・ナンバー、ダイヤルイン番号に対して留守録テナントを設定し、留守録を動作させることができます。  
 取付け時設定
- 留守録ボックスにメッセージが録音されたときに、デジタル多機能電話機の着信ランプを点滅させることができます。  
 取付け時設定  
未読メッセージがある間は、着信ランプが点滅し、未読メッセージがなくなると消灯します。
- 「留守録設定時の応答動作の各種設定をする」（➡107ページ）では、留守録の設定有無（スライド時間設定）以外に、用件録音の有（留守録モード）無（留守専用モード）設定、応答メッセージの設定、留守応答モニターの有無設定を、各テナントのモード（昼間、夜間、夜間1、夜間2、手動）ごとに設定することができます。
- 留守録で応答した着信の履歴は、システム着信履歴に「留守」として残すことができます。  
 取付け時設定  
留守録モニター設定された電話機で留守録応答中の外線に回答すると、さらに「通話」としても残ります。

## 手動で留守録を設定／解除する

手動でテナントごとに留守録を設定／解除することができます。  
ただし、手動で留守録を設定／解除するためには、あらかじめ「留守録設定時の応答動作の各種設定をする」（➡107ページ）で各テナントの手動モードでのスライド時間を「即時」または「10秒～60秒」に設定しておく必要があります。スライド時間を「なし」に設定した場合、留守録を設定できません。  
録音された用件を聞く場合、「手動留守録の用件を再生する」（➡114ページ）を参照してください。

### 留守録を設定する

- 待ち受け中に  
1  を押す



- 上図は、テナント10番が留守録設定されているときの表示例です。
- 留守ボタンが赤色点灯し、応答ガイダンスと確認音「ピツ」が流れ留守録が設定されます。留守録ボックスに未読のメッセージがある場合は、留守ボタンが赤色点滅します。
- 留守録を設定すると電話機に上図のように留守設定状態を表示することができます。  
 取付け時設定  
(留守専用モードの場合、「留守専用」が表示されます。)

### FFボタンに を登録する

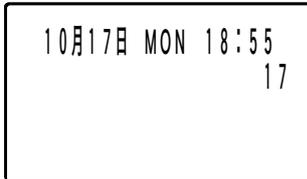
- 1   を押す
- 2 設定したいFFボタンを押す
- 3    +  ※1を押す
- 4   を押す

※1：営業部門、技術部門などにグループ分けし、グループごとに留守録などを行うグループを示します。（01～50の2ケタで入力）

# 留守録を設定する

## 留守録を解除する

### 1 赤色点灯（未読メッセージがある場合、赤色点滅）している を押す



- 留守ボタンが消灯し、「留守を解除しました」というガイダンスと確認音「ピッ」が流れ留守録が解除されます。留守録ボックスに未読のメッセージがある場合、留守ボタンは緑色点滅します。
- 留守解除時に自動で留守録ボックスのメッセージを再生することができます。（お買い上げ時設定）詳しい操作は「留守録の内容（用件）を再生する」（→114ページ）をご覧ください。

## お知らせ

- 留守録を設定／解除するには、あらかじめFF ボタンに  機能を設定しておく必要があります。（→98 ページ）
- テナントごとに留守録を使うためには、テナントごとに留守ボックスを設定する必要があります。 **取付け時設定**
- 留守録を設定していない場合でも、外線着信に一定時間応答しない場合、自動的に留守専用モードで応答させることができます。 **取付け時設定**
- 用件が一杯（最大 120 分または 127 件まで）の場合、留守録は設定されません。
- 用件が一杯の場合に、最も古い用件を自動で消去したり、留守専用モードにして留守録の設定を可能にすることもできます。（お買い上げ時は留守専用モードになります。） **取付け時設定**
- 手動で留守録を設定しても、自動夜間切替による留守録が設定されている場合、切り替え時刻になるとモード（昼間、夜間、夜間1、夜間2）の設定内容に自動的に切り替わります。

## 自動で留守録を設定／解除する

自動夜間切替（→289ページ）で設定した曜日・時刻に連動して、自動でテナントごとに留守録の設定または解除をすることができます。

ただし、夜間切替に連動して留守録を設定／解除するためには、あらかじめ「留守録設定時の応答動作の各種設定をする」（→107ページ）で各テナントのモード（昼間、夜間、夜間1、夜間2）ごとに留守録を設定するか（スライド時間※1を「即時」または「10秒～60秒」に設定）、解除するか（スライド時間を「なし」に設定）を設定しておく必要があります。スライド時間を「なし」にした場合、留守録を設定できません。また、システムで自動留守録設定／解除の設定を有効にしておく必要があります。 **取付け時設定**  
録音された用件を聞く場合、「自動留守録の用件を再生する」（→116ページ）を参照してください。

※1：留守録応答するまでの時間を、本書ではスライド時間と表記しています。

## お知らせ

- 留守録は、1 件につき 5 分（お買い上げ時）まで録音できます。取付け時の設定により、録音時間を変更（1 分～5 分）することもできます。 **取付け時設定**
- 留守録を設定していない場合でも、外線着信に一定時間応答しない場合、自動的に留守専用モードで応答させることができます。 **取付け時設定**
- 用件が一杯（最大 120 分または 127 件まで）の場合、留守録は設定されません。
- 用件が一杯の場合に、最も古い用件を自動で消去したり、留守専用モードにして留守録の設定を可能にすることもできます。（お買い上げ時は留守専用モードになります。） **取付け時設定**
- 夜間連動の設定をすると、手動で夜間切替にした場合でも、設定されたモードに応じ、留守録の設定または解除が動作します。

留守録設定時の応答動作の詳細条件(スライド時間、応答後録音の有無、応答メッセージの設定、留守応答モニターの有無)を、各テナントのモード(昼間、夜間、夜間1、夜間2、手動)ごとに設定することができます。

	モード	設定項目	内容	参照ページ
テナント1 ～ テナント25※1	昼間、夜間、 夜間1、夜間2、 手動	スライド時間	留守録応答までの時間設定	107
		録音有無設定	応答後録音の有無設定	109
		応答メッセージ設定	応答メッセージの設定	110
		留守応答モニター	留守応答モニターの有無設定	111

※1：マルチボイス拡張ユニット（VB-F263）使用時はテナント50まで設定可能。

## 留守録応答するまでの時間（スライド時間）を設定する

外線着信したときに、留守録応答するまでの時間を設定できます。

### ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「6：マルチボイス設定」→「1：留守録設定」を選択して「留守録設定画面」を表示する (→35ページ)

```

**留守録設定**
テナント1:留守 2件
テナント2:留守専用
テナント3:留守録
  
```

- 上図は、テナント1、テナント3に留守録、テナント2に留守専用が設定されているときの表示例です。
- テナント1の「2件」は、留守録未再生件数を示します。留守録未再生件数は、留守録設定の場合のみ表示されます。

- 2 (▲▼) で設定したいテナントを選択し (決定) を押す

```

**留守録設定**
テナント1:留守 2件
テナント2:留守専用
テナント3:留守録
  
```

- 3 (▲▼) で設定したいモードを選択し (決定) を押す

```

**テナント1**
1:昼間モード設定
2:夜間モード設定
3:夜間1モード設定
  
```

- 4 (▲▼) で「1：スライド時間」を選択し (決定) を押す

```

**テナント1 昼間**
1:スライド時間 (即時) ← 現在の設定内容
2:録音有無設定 (有)
3:応答メッセージ設定 (固)
  
```

- 5 (▲▼) で留守録応答するまでの時間を選択する

```

**スライド時間設定**
1:無し
2:即時
3:10秒
  
```

- 無し : 留守録応答しない  
 即時 : 外線着信と同時に留守録応答する  
 10秒～60秒 : 外線着信から約10秒～60秒後に留守録応答する

## 6 (決定)を押す

\*\*スライド時間設定\*\*  
10秒  
設定しました

↓ 約2秒後

\*\*テナント1 昼間\*\*  
1:スライド時間 (10秒) ← 設定した内容  
2:録音有無設定 (有)  
3:応答メッセージ設定 (固)

- スライド時間が設定されます。

## 7 続けて夜間モード、夜間1モード、夜間2モード、手動モードを設定する場合、手順6の画面から を押して手順3～6を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。

## 8 続けて別のテナントを設定する場合、手順6の画面から を2回押して手順2～7を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
- フック** を押すと待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

- 手順5でスライド時間を「無し」に設定した場合、手動も自動も留守録を設定できなくなります。

## 録音の有無を設定する

留守録応答したあとに、電話をかけてきた相手の用件を録音するか（留守録モード）、留守であることを伝え回線を切るか（留守専用モード）を設定できます。

### ◀ナビ操作

- 1  (▲)を押し、各選択画面で「6：マルチボイス設定」→「1：留守録設定」を選択して「留守録設定画面」を表示する (→35ページ)

```

**留守録設定**
テナント1:留守 2件
テナント2:留守専用
テナント3:留守録
    
```

- 上図は、テナント1、テナント3に留守録、テナント2に留守専用が設定されているときの表示例です。
- テナント1の「2件」は、留守録未再生件数を示します。留守録未再生件数は、留守録設定の場合のみ表示されます。

- 2  (▲▼)で設定したいテナントを選択し  
 (決定)を押す

```

**留守録設定**
テナント1:留守 2件
テナント2:留守専用
テナント3:留守録
    
```

- 3  (▲▼)で設定したいモードを選択し  
 (決定)を押す

```

**テナント1**
1:昼間モード設定
2:夜間モード設定
3:夜間1モード設定
    
```

- 4  (▲▼)で「2：録音有無設定」を選択し  (決定)を押す

```

**テナント1 昼間**
1:スライド時間 (即時)
2:録音有無設定 (無) ← 現在の設定内容
3:応答メッセージ設定 (固)
    
```

- 5  (▲▼)で録音の有無を選択する

```

****録音有無設定****
1:録音無し
2:録音有り ← 現在の設定内容
(録音無し)
    
```

- 6  (決定)を押す

```

****録音有無設定****
録音有り
設定しました
    
```

↓ 約2秒後

```

**テナント1 昼間**
1:スライド時間 (即時)
2:録音有無設定 (有) ← 設定した内容
3:応答メッセージ設定 (固)
    
```

- 録音の有無が設定されます。

- 7 続けて夜間モード、夜間1モード、夜間2モード、手動モードを設定する場合、手順6の画面から  を押して手順3～6を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 8 続けて別のテナントを設定する場合、手順6の画面から  を2回押して手順2～7を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

- 録音有りに設定すると、「ただいま留守にしております。ご用件をピツという音のあとにお話ください。」というメッセージを流し、かけてきた相手の用件を録音します。(応答メッセージ設定が固定の場合)
- 録音無しに設定すると、「ただいま留守にしております。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」というメッセージを流し、回線を切ります。(応答メッセージ設定が固定の場合)

## 留守録の応答メッセージを設定する

留守録応答したあとに、かけてきた相手に流す応答メッセージを固定メッセージにするかオリジナルメッセージにするか設定できます。オリジナルの応答メッセージを流すには、あらかじめ応答メッセージを録音しておく必要があります。(➡136ページ)

### ◀ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「6：マルチボイス設定」→「1：留守録設定」を選択して「留守録設定画面」を表示する (➡35ページ)

\*\*\*留守録設定\*\*\*  
 テナント1:留守 2件  
 テナント2:留守専用  
 テナント3:留守録

- 上図は、テナント1、テナント3に留守録、テナント2に留守専用が設定されているときの表示例です。
- テナント1の「2件」は、留守録未再生件数を示します。留守録未再生件数は、留守録設定の場合のみ表示されます。

- 2 (▲▼) で設定したいテナントを選択し (決定) を押す

\*\*\*留守録設定\*\*\*  
 テナント1:留守 2件  
 テナント2:留守専用  
 テナント3:留守録

- 3 (▲▼) で設定したいモードを選択し (決定) を押す

\*\*\*テナント1\*\*\*  
 1:昼間モード設定  
 2:夜間モード設定  
 3:夜間1モード設定

- 4 (▲▼) で「3：応答メッセージ設定」を選択し (決定) を押す

\*\*\*テナント1 昼間\*\*\*  
 1:スリブ時間 (即時)  
 2:録音有無設定 (無)  
 3:応答メッセージ設定 (固) ← 現在の設定内容 (固):固定メッセージ

- 5 (▲▼) で設定したいメッセージを選択する

\*応答メッセージ設定\*  
 1:固定メッセージ  
 2:応答メッセージ1  
 3:応答メッセージ2

固定メッセージ：

録音無し時 「ただいま留守しております。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください。」

録音有り時 「ただいま留守しております。ご用件をピッと音のあとにお話してください。」

応答メッセージ1～3：

あらかじめ留守録ボックスに録音した応答メッセージ(➡134ページ)が流れます。(応答メッセージ1～3を選択する場合、録音有無の設定に合わせて留守録ボックスに応答メッセージを録音しておく必要があります。(➡136ページ)。応答メッセージが録音されていない場合、録音有無の設定に合わせてそれぞれの固定ガイダンスが流れます。)

- 6 (決定) を押す

\*応答メッセージ設定\*  
 応答メッセージ1  
 設定しました

約2秒後

\*\*\*テナント1 昼間\*\*\*  
 1:スリブ時間 (即時)  
 2:録音有無設定 (無)  
 3:応答メッセージ設定 (1) ← 設定した内容 (1):応答メッセージ1

- 応答メッセージが設定されます。

- 7 続けて夜間モード、夜間1モード、夜間2モード、手動モードを設定する場合、手順6の画面から (戻る) を押して手順3～6を繰り返す  
 •設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 8 続けて別のテナントを設定する場合、手順6の画面から (戻る) を2回押して手順2～7を繰り返す  
 •設定する必要がある場合のみ設定してください。  
 •**フック** を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 留守応答モニターの有無を設定する

留守録設定時の留守録応答中の通話を、留守応答モニター設定電話機から聞けるように設定できます。あらかじめ下記の設定により留守モニターしたいテナントとモードを設定しておき、留守録モニター設定電話機で留守録モニターしたいテナントを指定します。(➡112ページ)

### ◀ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「6：マルチボイス設定」→「1：留守録設定」を選択して「留守録設定画面」を表示する (➡35ページ)

\*\*留守録設定\*\*

テナント1:留守 2件

テナント2:留守専用

テナント3:留守録

- 上図は、テナント1、テナント3に留守録、テナント2に留守専用が設定されているときの表示例です。
- テナント1の「2件」は、留守録未再生件数を示します。留守録未再生件数は、留守録設定の場合のみ表示されます。

- 2 (▲▼) で設定したいテナントを選択し (決定) を押す

\*\*留守録設定\*\*

テナント1:留守 2件

テナント2:留守専用

テナント3:留守録

- 3 (▲▼) で設定したいモードを選択し (決定) を押す

\*\*テナント1\*\*

1:昼間モード設定

2:夜間モード設定

3:夜間1モード設定

- 4 (▼) または (▶) で「4：留守応答モニター」を選択し (決定) を押す

\*\*テナント1 昼間\*\*

4:留守応答モニター(無)

← 現在の設定内容

- 5 (▲▼) でモニターの有無を選択する

\*\*留守応答モニター設定\*\*

1:モニター無し

2:モニター有り

(モニター有り) ← 現在の設定内容

- 6 (決定) を押す

\*\*留守応答モニター設定\*\*

モニター有り

設定しました

↓ 約2秒後

\*\*テナント1 昼間\*\*

4:留守応答モニター(有)

← 設定した内容

- モニターの有無が設定されます。

- 7 続けて夜間モード、夜間1モード、夜間2モード、手動モードを設定する場合、手順6の画面から (戻る) を押して手順3～6を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 8 続けて別のテナントを設定する場合、手順6の画面から (戻る) を2回押して手順2～7を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

外線からの留守録メッセージを録音中に、モニター設定された電話機のスピーカーからメッセージを聞くことができます。

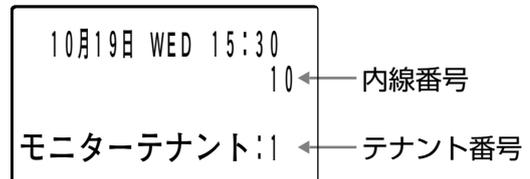
あらかじめ、留守応答モニターをする留守録ボックスのテナントとモードを設定しておく必要があります。  
(➡111ページ)

1 **モニター** を押す

2 **＊** **8** **6** とテナント番号\*1 (2ケタ) を押す

\*1 : 111ページの手順に従って留守録モニターする設定をしたテナント番号

3 **モニター** を押す



- 111ページの手順にしたがって、テナント1を留守録モニター有りに設定したときに、テナント番号1の留守モニターを設定した場合の表示例です。
- 留守応答モニターを設定すると、液晶表示部に「モニターテナント」が表示されます。(漢字表示付電話機のみ)

#### お知らせ

- モニター電話機を使用中(着信中も含む)の場合、留守応答モニターは動作しません。
- 留守応答モニターを解除するには、設定と同じ操作を行います。
- 留守応答モニターの設定ができるのは、指定電話機のみです。また同時に留守応答モニターできる電話機は1テナントで1台のみです。(複数のテナントをモニターしたい場合、モニターするテナントごとに指定電話機を設定してモニターすることが可能です)ただし、同時に留守応答モニターができるのは2回線まで、マルチボイス拡張ユニット(VB-F263)をお使いの場合は6回線までです。
- 留守応答モニターが開始されてから受話器を取ると、メッセージの録音が中断され、相手と通話できます。受話器を上げる前のメッセージは留守録ボックスに録音されます。
- 留守応答モニター中は、こちらの声は相手には聞こえません。
- FFボタンに**＊** **8** **6** とテナント番号(2ケタ)を設定して、留守応答モニターを設定することもできます。(➡98ページ)
- 留守録で応答した着信の履歴は、システム着信履歴に「留守」として残すことができます。**☎** **取付け時設定** 留守録モニター設定された電話機で留守録応答中の外線に応答すると、さらに「通話」としても残ります。
- 留守応答モニター中に相手が電話を切った場合、話中音がしばらく聞こえたり、録音されたりすることがあります。

外出先から電話をかけて、社内のデジタル多機能電話機から手動で留守録を設定／解除するのと同じ操作を行うことができます。

外線リモート操作するには、リモート操作を行いたいテナントの留守録ボックスが応答する電話番号へ電話をかけます。

## 1 プッシュホン式の電話機で 外出先から電話をかける

## 2 <留守録がセットされているとき> 留守録の応答ガイダンスが流れる

- 応答ガイダンスが流れるまでの時間を変更することができます。(➡107ページ)

<留守録がセットされていないとき>

90秒間呼び出しを続けると、

## 留守録の応答ガイダンスが流れる

## 3 応答ガイダンスが流れている間に

**＊** **#** を押す

**案内** パスワード をどうぞ。

## 4 外線リモートパスワード と **#** を押す

- パスワードを間違えると警告音「ピピピッ」が聞こえるので正しいパスワードを入力してください。3回間違えると、「利用方法をお確かめください。サービスを終了します。電話をお切りください」とガイダンスが流れ、回線を切ります。
- 20秒間パスワードの入力がない場合、「サービスを終了します。電話をお切りください」とガイダンスが流れ、回線を切ります。

## 5 音声ガイダンスが流れる

**案内** 留守セット、留守解除は **0** と **#**、メッセージの再生は **3** と **#** をどうぞ

- 音声ガイダンスが流れてから20秒操作をしない場合、「サービスを終了します。電話をお切りください」のガイダンスが流れ、回線を切ります。

## 6 **0** **#** を押す

- 留守録セット状態のときには、解除されます。「留守を解除しました」のガイダンスが流れます。
- 留守録解除状態のときには、手動モードで留守セットされます。「留守をセットしました」のガイダンスが流れます。
- その後、手順5の音声ガイダンスが再度流れます。

## 7 電話を切り、終了する

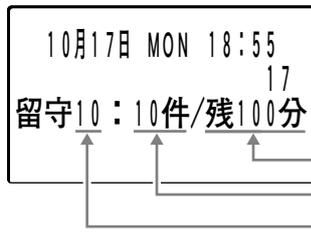
### お知らせ

- 外線リモートパスワードは取付け時設定です。(お買い上げ時設定:0000)  **取付け時設定**
- 外線から留守録の設定／解除を行う場合、該当テナントの手動モードの留守応答スライド時間(手動)を設定しておく必要があります。
- 手順3で、外線リモートパスワードが設定されていない場合、**＊** **#** が押されると回線を切ります。
- 手順4で **＊** **#** が押されると、「サービスを終了します。電話をお切りください」というガイダンスが流れ、回線を切ります。

# 留守録の内容(用件)を再生する

留守録を設定しているとき、電話機の液晶表示部に留守録の聞き取りをしていない「未再生」の用件の件数を表示することができます。(漢字表示付電話機のみ)  **取付け時設定**

留守録の内容を再生する方法は、留守録解除時に自動的に再生する方法と、FFボタンに「留守録ボックス／聞き取り」機能を設定し、そのFFボタンを押すことで再生する方法 (→122ページ) があります。



残りの録音時間(目安の時間です。実際の動作とは異なる場合があります。)  
留守録未再生件数  
テナント番号

## 手動留守録の用件を再生する(留守録解除時の再生)

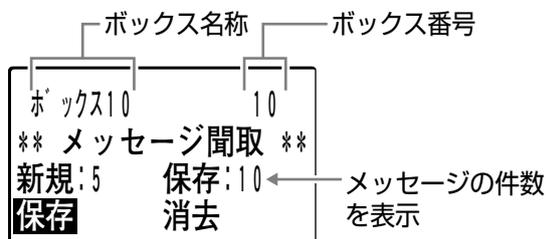
### ナビ操作

- 1 赤色点灯(未読メッセージがある場合、赤色点滅)している  を押す

**案内** 留守を解除しました。パスワードをどうぞ。

- 留守録ボックスにパスワードが設定されていない場合、件数案内からメッセージが再生されます。

- 2 留守録のボックスの **パスワード** と  を押す



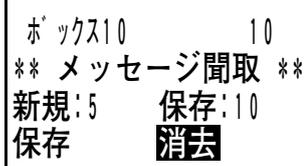
**案内** 新しいメッセージが 、保存メッセージが  あります。

XX月XX日XX時XX分

[最初のメッセージ再生]

- 3 メッセージを聞き終り、下記の案内が流れたら、 (◀▶) で「保存」または「消去」を選択し  (決定) を押す

**案内** メッセージの消去は  と 、保存は  と  をどうぞ。



「保存」:メッセージを保存する

**案内** メッセージを保存しました。

[次のメッセージ再生]

「消去」:メッセージを消去する

**案内** メッセージを消去しました。

[次のメッセージ再生]

- 4 次のメッセージがある場合、手順3を繰り返す

- 留守解除時の自動再生ではすべてのメッセージの再生、保存、および消去操作が完了すると用件を再生した電話機は自動的に待ち受け状態に戻ります。

- 5 (操作が終わったら)  を押す

## ボタン操作

1 赤色点灯（未読メッセージがある場合、赤色点滅）している  を押す

**案内** 留守録を解除しました。パスワードをどうぞ。

- 留守録ボックスにパスワードが設定されていない場合、件数案内からメッセージが再生されます。

2 留守録のボックスの  と  を押す

**案内** 新しいメッセージが , 保存メッセージが  あります。

[最初のメッセージ再生]

3 下記の案内が流れたら   または   を押す

**案内** メッセージの消去は  と 、保存は  と  をどうぞ。

  : メッセージを消去する

**案内** メッセージを消去しました。

[次のメッセージ再生]

  : メッセージを保存する

**案内** メッセージを保存しました。

[次のメッセージ再生]

4 次のメッセージがある場合、手順3を繰り返す

5 (操作が終わったら)  を押す

## 操作のヒント

- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。ボタンの機能の割り当てを以下に示します。

  : 再生中のメッセージを、日付案内から繰り返し再生する。

  : 再生中の案内、メッセージの再生速度を変更する。

  を押すたびに通常再生→高速再生→通常再生と交互に切り替わります。

  : 再生中のメッセージを消去する。

  : 再生中のメッセージを保存して次のメッセージを再生する。

  : 再生中のメッセージを保存して一つ前のメッセージを再生する。

   : メッセージを録音した相手先に折り返し発信する。(➡125 ページ) 

   (+一括消去パスワード(4ケタ) )\*1: メッセージを一括消去する

\*1: お買い上げ時設定は「パスワード無し」です。パスワードなしでも、メッセージの一括消去は可能ですが、この場合、   操作直後に全消去となります。誤操作にご注意ください。

# 留守録の内容（用件）を再生する

## お知らせ

- 留守録を手動で設定／解除するには、あらかじめFF ボタンに  機能を設定しておく必要があります。(→98 ページ)
- ボックスから未読メッセージがなくなると、留守設定ボタンは消灯します。
- FF ボタンに  を設定しておく、 を押すだけで留守録の用件を再生することができます。(→122 ページ) 
-  を聞き取り専用を設定して、 を押すだけで留守録ボックスの用件を再生することができます。  この場合、留守録ボックスにメッセージが録音されると  が赤色点灯し、メッセージを聞くと消灯します。
- 一括消去のパスワード（4ケタ）は取付け時設定です。  お買い上げ時のパスワードは「無し」となっていますが、設定することをお勧めします。パスワードなしでもメッセージの一括消去は可能ですが、   操作直後に全消去となりますので、誤操作にご注意ください。
- メッセージは日付の古い順に未読のメッセージを優先して再生します。また、未読、既読に関係なく日付の古い順に再生することもできます。 
- メッセージ保存、消去操作を省略し、自動保存にすることができます。 
- メッセージ再生時の件数案内は、「新規／保存別件数案内」、「総件数案内」、「件数案内なし」のいずれかを選択することができます。 
- メッセージ再生時の日時案内は、「月日時分」、「月日時」、「日時分」、「日時案内なし」のいずれかを選択することができます。 
- 留守録解除時に留守録ボックスのメッセージを自動で再生しないようにすることもできます。 
- メッセージ再生中に、手順3の画面表示の2行目の「\*\*メッセージ聞取\*\*」のかわりに、メッセージ録音された相手の電話番号または名前（外線電話帳に登録されている場合）を表示させることもできます。  ただし、表示ができるのはメッセージ録音した相手が発信者番号を通知してきた場合のみです。
- 相手情報を表示するかどうかはボックスごとに設定できます。 
- 手順1で用件を聞き取るために  を押す前に受話器を取って、受話器から留守録の用件を聞くこともできます。
- 手順2でメッセージが録音されていない場合、「メッセージはありません」と音声案内が流れます。

## 自動留守録の用件を再生する

自動留守録の用件を聞き取る場合には、 を押して用件を再生します。

### 1 を押す

**案内** パスワードをどうぞ。

- 留守録ボックスにパスワードが設定されていない場合、件数案内からメッセージが再生されます。以下、 を押すことによるメッセージ再生の操作を行います。詳しくは、122ページの「録音したメッセージを再生する」を参照してください。

## お知らせ

- 自動留守録の用件を聞き取るのに、 を聞き取り専用を設定して  を押すだけで自動留守録のボックスの用件を再生することができます。  この場合、該当ボックスにメッセージが録音されると、 が赤色点灯し、メッセージを聞くと消灯します。

外出先から電話をかけて、留守録の内容(用件)を再生することができます。

外線リモート操作するには、リモート操作を行いたい留守録ボックスが応答する電話番号へ電話をかけます。

## 1 プッシュホン式の電話機で 外出先から電話をかける

## 2 留守専用の応答ガイダンスが流れる

- 応答ガイダンスが流れるまでの時間を変更することができます。(➡107ページ)

## 3 応答ガイダンスが流れている間に

**✖** **#** を押す

**案内** パスワード をどうぞ。

## 4 **外線リモートパスワード** と **#** を押す

- パスワードを間違えると警告音「ピピピッ」が聞こえるので正しいパスワードを入力してください。3回間違えると、「利用方法をお確かめください。サービスを終了します。電話をお切りください」とガイダンスが流れ、回線を切ります。
- 20秒間パスワードの入力がない場合、「サービスを終了します。電話をお切りください」とガイダンスが流れ、回線を切ります。

## 5 音声ガイダンスが流れる

**案内** 留守セット、留守解除は **0** と **#**、メッセージの再生は **3** と **#** をどうぞ

- 音声ガイダンスが流れてから20秒操作をしない場合、「サービスを終了します。電話をお切りください」のガイダンスが流れ、回線を切ります。

## 6 **3** **#** を押す

- 「録音したメッセージを再生する」のボタン操作(➡123ページ)の手順2以降にしたがって操作してください。

## 7 電話を切り、終了する

### お知らせ

- 外線リモートパスワードは取付け時設定です。(お買い上げ時は「0000」)  **取付け時設定**
- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。(➡115ページ)
- 手順3で外線リモートパスワードが設定されていない場合、**✖** **#** が押されると回線を切ります。

外線から電話がかかってきたとき、お待たせ応答（自動）が設定されている場合、一定時間呼び出しが続くとお待たせ応答し、「お電話ありがとうございます。ただいまおつながりしておりますので、もうしばらくそのままお待ちください」などの案内を流すことができます。

お待たせ応答（手動）の場合、手動操作により着信ごとにお待たせ応答します。少人数の事務所などで、電話がたくさんかかってくるところなどで利用すると便利です。



## お待たせ応答（自動）を設定する

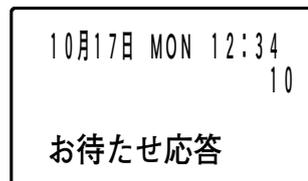
指定

1 **モニター** を押す

2 **＊** **8** **5** を押す

•お待たせ応答が設定されます。

3 **モニター** を押す



•お待たせ応答（自動）を設定すると、「お待たせ応答」が表示されます。（漢字表示付電話機のみ）  
FFボタンに設定すると、設定した電話機のFFランプが赤色で点灯します。

### お知らせ

- お待たせ応答を解除するには、設定と同じ操作を行います。
- お待たせ応答する外線を設定する必要があります。☎ 取付け時設定
- FFボタンに **＊** **8** **5** を設定して、お待たせ応答を設定／解除することもできます。（→98ページ）
- お待たせ応答メッセージを流す時間（30秒、1分～5分 お買い上げ時は30秒）を設定することができます。☎ 取付け時設定
- お待たせ応答した着信の履歴は、システム着信履歴に「代理」として残すことができます。☎ 取付け時設定 その場合、お待たせ応答中の外線に应答すると、さらに「通話」としても残ります。

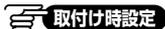
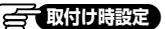
## お待たせ応答（自動）を設定すると

**1** 外線と通話中に、さらに別の外線から電話があった場合、一定時間後にお待たせ応答します。

- お待たせ応答すると、呼出音が変わります。

**2** 外線との通話終了後、お待たせ応答している外線に回答し、通話できます。

### お知らせ

- システムの内線電話機のうち、少なくとも1台が外線と通話中でなければお待たせ応答になりません。
- システムの内線電話機のうち、1台も外線と通話していなくてもお待たせ応答させることができます。 
- お待たせ応答を設定した外線の着信をすべてお待たせ応答させることもできます。 
- お待たせ応答するまでの時間（即時、10秒～60秒 お買い上げ時は20秒）と、お待たせ応答中の呼出音は変更できます。 
- ダイヤルイン、i・ナンバー、グローバル着信などの個別着信（外から1台の電話機を呼び出す着信）はお待たせ応答できません。

## お待たせ応答（手動）をする

お待たせ応答（自動）が設定されていない場合でも、着信ごとに手動でお待たせ応答することができます。

### 外線と通話中に、他の外線から電話があった場合

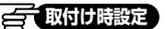
**1**    を押し、お待たせ応答する

- お待たせ応答すると、呼出音が変わります。

**3** 通話が終わったら、お待たせ応答している外線に  を押して対応する

**2** 通話を続ける

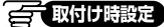
### お知らせ

- FF ボタンに    を設定して、FF ボタンを押すことでお待たせ応答を設定することもできます。（→98ページ）
- お待たせ応答する外線を設定する必要があります。 
- お待たせ応答中の呼出音は変更できます。 
- 通話中だけでなく、着信中にお待たせ応答を登録したFFボタンを押すか、    を押ししてお待たせ応答することができます。
- 外線着信していない電話機でも、お待たせ応答を登録したFFボタンを押すか、     を押ししてお待たせ応答することができます。
- お待たせ応答メッセージを流す時間（30秒、1分～5分 お買い上げ時は30秒）を設定することができます。 
- お待たせ応答した着信の履歴は、システム着信履歴に「代理」として残すことができます。  その場合、お待たせ応答中の外線に回答すると、さらに「通話」としても残ります。
- 個別着信（ダイヤルイン、i・ナンバー、グローバル着信など）に対し、手動でお待たせ応答した場合は、呼出音は変わりません。
- お待たせ応答中に相手が電話を切った場合、お待たせ応答中の外線に回答したときに話中音が聞こえたり、話中音が録音されたりすることがあります。

## お待たせ応答を設定する

### お待たせ応答後のメッセージ録音について

- お待たせ応答している外線に回答しないとき、一定時間お待たせ応答ガイダンスを流したあとに終了ガイダンスを流して、電話を切るか、または相手のメッセージを録音するか、どちらかに設定できます。



相手のメッセージを録音する場合、お待たせ応答の録音用にボックスを割り当てる必要があります。



### お待たせ応答ガイダンス、お待たせ応答終了ガイダンスについて

- 各案内は、取付け時には固定応答ガイダンスが使われていますが、自分で録音したガイダンスを使うこともできます。 

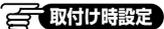
#### お待たせ応答ガイダンスについて

- お待たせ応答ガイダンスは自由に録音することができます。(➡134、136ページ)  
お待たせ応答ガイダンスを自分で録音していない場合、「お電話ありがとうございます。ただいまおつなぎしておりますので、もうしばらくそのままお待ちください」というシステム固定の応答メッセージが流れます。

#### お待たせ応答終了ガイダンスについて

- お待たせ応答終了ガイダンスは自由に録音することができます。(➡134、136ページ)  
お待たせ応答終了ガイダンスを自分で録音していない場合、以下に示すシステム固定の応答メッセージが流れます。
  - ・ お待たせ応答後、相手のメッセージを録音する設定となっている場合   
「恐れ入りますがおつなぎできませんでしたので、メッセージをお預かりいたします」
  - ・ お待たせ応答後、相手のメッセージを録音しない設定となっている場合   
「恐れ入りますがおつなぎできませんでしたので、のちほどおかけ直してください」

#### お知らせ

- お待たせ応答後のメッセージ録音ボックスが一杯の場合、お待たせ応答終了案内に切り替わります。また、ボックス内の最も古い用件を自動で消去して新しいメッセージの録音を保存することもできます。 
- お待たせ応答後のメッセージ録音の、メッセージ1件についての録音時間を変更することができます。(1分～5分お買い上げ時は5分) 

通話内容を手で録音することができます。重要な会話や、間違えやすい複雑な注文などを記録に残しておくとう便利です。

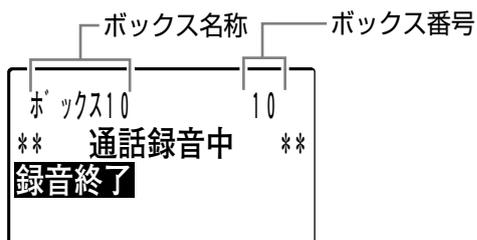
設定により、外線自動転送した通話も録音することができます。☎️ **取付け時設定**

## 手で通話を録音する

☎️ **取付け時設定**

外線（発信／着信）通話中に、手で通話を録音することができます。

### 1 外線通話中にメッセージを保存したいボックスを押す



- **ボックス** ボタンを押したときから録音が始まります。
- 通話録音中に保留をすると、保留した時点で通話録音は終了します。通話に戻ったときに、再度 **ボックス** ボタンを押してください。 **ボックス** ボタンを押した時点からの通話が別のメッセージとして録音されます。

- 会議通話にした場合、通話録音は終了します。このとき、会議通話開始前までの通話は録音されます。会議通話にしたあと、再度 **ボックス** ボタンを押すと、押した時点からの通話が別のメッセージとして録音できます。

### 2 終了するには **＊** **＃** を押す

- 通話録音が終了します。
- 以下の操作でも録音が終了します。
  - ・ 受話器を置いて電話を切る。

#### お知らせ

- FF ボタンに **通録終了** を設定しておく、 **通録終了** を押すだけで通話録音を終了することができます。(→98ページ)
- 内線通話中の通話録音はできません。内線通話のみの会議通話中にも通話録音はできません。
- 外線発信の通話を録音するときは、相手呼び出ししてから、通話録音操作をしてください。通話録音が始まると、外線にダイヤルすることができなくなります。
- 通話を録音するためには、あらかじめ通話録音操作を行う電話機に **ボックス** ボタンを設定しておく必要があります。(→98ページ) ☎️ **取付け時設定**
- 通話録音は、1件につき5分（お買い上げ時）まで録音できます。取付け時の設定により、録音時間を変更（1分～5分）することもできます。☎️ **取付け時設定**
- 通話録音中に、通話を録音していることを相手に通知するために、通話録音通知音を送出することができます。☎️ **取付け時設定**  
また、通話録音終了1分前と、通話録音時間終了時に通話録音通知音を送出することもできます。☎️ **取付け時設定**
- 録音中の通話録音の取り消しはできません。
- 通話録音中、録音後の録音先ボックスの変更はできません。
- 通話録音中に、手順1の画面表示の2行目の「\*\*通話録音中\*\*」のかわりに相手先の電話番号、または名前（外線電話帳に登録されている場合）を表示させることもできます。☎️ **取付け時設定**  
ただし、表示ができるのは相手からの着信に回答した通話を録音した場合のみです。通話相手が発信者番号を通知しなかった場合と、発信した場合は表示されません。
- ボックスに、メッセージ録音された場合に指定した電話機を呼び出し、通知する機能を設定することができます。(→127ページ) ☎️ **取付け時設定**
- ボックスにメッセージ録音後に指定した電話機を呼び出す設定がされている場合、通話録音中に呼び出しの有無を変更することができます。(→128ページ)
- 録音ボックスが一杯の場合、通話録音はできません。その場合は不要なメッセージを消去してください。
- 録音ボックスが一杯の場合に、最も古い既読メッセージを自動で消去して新しいメッセージの録音をすることもできます。☎️ **取付け時設定**
- 録音したメッセージが極端に短い場合（1秒未満の場合）、メッセージは録音されません。

## 録音したメッセージを再生する

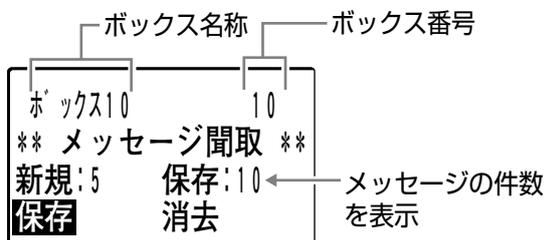
## ナビ操作

- 1 メッセージの聞き取りを行いたいボックスの **聞取** を押す

**案内** パスワードをどうぞ。

- ボックスにパスワードが設定されていない場合、件数案内からメッセージが再生されます。

- 2 **パスワード** と **Ⓜ** を押す



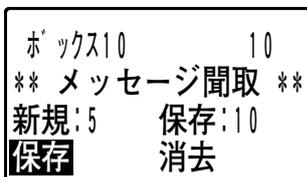
**案内** 新しいメッセージが **X**、保存メッセージが **X** あります。

**XX**月**XX**日**XX**時**XX**分

【最初のメッセージ再生】

- 3 メッセージを聞き終り、下記の案内が流れたら、**Ⓜ** (**◀▶**) で「保存」または「消去」を選択し **Ⓜ** (決定) を押す

**案内** メッセージの消去は **⑤** と **Ⓜ**、保存は **⑧** と **Ⓜ** をどうぞ。



「保存」：メッセージを保存する

**案内** メッセージを保存しました。

【次のメッセージ再生】

「消去」：メッセージを消去する

**案内** メッセージを消去しました。

【次のメッセージ再生】

- 4 次のメッセージがある場合、手順3を繰り返す

- 最後のメッセージが再生されたら、保存している最初のメッセージから再生されます。

- 5 (操作が終わったら) **モニター** を押す

## ボタン操作

1 聞き取りを行いたいボックスの  を押す

**案内** パスワードをどうぞ。

• ボックスにパスワードが設定されていない場合、件数案内からメッセージが再生されます。

2 ボックスの **パスワード** と  を押す

**案内** 新しいメッセージが 、保存メッセージが  あります。

[最初のメッセージ再生]

3 下記の案内が流れたら、  または   を押す

**案内** メッセージの消去は  と 、保存は  と  をどうぞ。

  : メッセージを消去する

**案内** メッセージを消去しました。

[次のメッセージ再生]

  : メッセージを保存する

**案内** メッセージを保存しました。

[次のメッセージ再生]

4 次のメッセージがある場合、手順3を繰り返す

5 (操作が終わったら)  を押す

# メッセージを再生する

## 📖 操作のヒント

- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。ボタンの機能の割り当てを以下に示します。
  - ③ **#** : 再生中のメッセージを、日付案内から繰り返し再生する。
  - ④ **#** : 再生中の案内、メッセージの再生速度を変更する。
    - ④ **#** を押すたびに通常再生→高速再生→通常再生と交互に切り替わります。
  - ⑤ **#** : 再生中のメッセージを消去する。
  - ⑧ **#** : 再生中のメッセージを保存して次のメッセージを再生する。
  - ⑨ **#** : 再生中のメッセージを保存して一つ前のメッセージを再生する。
  - ① ⑦ **#** : メッセージを録音した相手先に折り返し発信する。(→125 ページ) **☎** 取付け時設定
  - ⑤ ① **#** (+一括消去パスワード(4ケタ) **#**) \*1: メッセージを一括消去する。
- ※ 1: お買い上げ時の設定は「パスワード無し」です。パスワードなしでも、メッセージの一括消去は可能ですが、この場合、⑤ ① **#** 操作直後に全消去となります。誤操作にご注意ください。

## 📌 お知らせ

- **聞取** は、あらかじめFF ボタンに **聞取** 機能(自分のボックスに入ったメッセージを聞く)を設定しておく必要があります。(→98ページ) **☎** 取付け時設定
- **ボックス** を聞き取り専用を設定して **ボックス** を押すだけで、聞き取りたいボックスの用件を再生することができます。**☎** 取付け時設定  
この場合、該当ボックスにメッセージが録音されると、**ボックス** が赤色点灯し、メッセージを聞くと消灯します。
- 一括消去のパスワード(4ケタ)は取付け時設定です。**☎** 取付け時設定  
お買い上げ時のパスワードは「無し」となっていますが、設定することをお勧めします。  
パスワードなしでもメッセージの一括消去は可能ですが、⑤ ① **#** 操作直後に全消去となりますので、誤操作にご注意ください。
- メッセージは日付の古い順に未読のメッセージを優先して再生します。また、未読、既読に関係なく日付の古い順に再生することもできます。**☎** 取付け時設定
- 手順2でメッセージが録音されていない場合、「メッセージはありません」と音声案内が流れます。また、続けて「応答ガイダンス(応答メッセージ)の録音」(→136ページ)、「指定電話呼出」(→128ページ)や「パスワード設定」(→137ページ)を行う場合、音声案内が流れている間に **☎** **#** を押ししてください。ただし、外線リモートからの再生の場合は、「留守セット、留守解除は ① と **#**、メッセージの再生は ③ と **#** をどうぞ。」というガイダンスに戻ります。また、指定電話呼び出しからの再生では、**☎** **#** は無効になります。
- メッセージ保存、消去操作を省略し、自動保存にすることができます。**☎** 取付け時設定
- メッセージ再生時の件数案内は、「新規/保存別件数案内」、「総件数案内」、「件数案内なし」のいずれかを選択することができます。**☎** 取付け時設定
- メッセージ再生時の日時案内は、「**[X]**月**[X]**日**[X]**時**[X]**分」、「**[X]**月**[X]**日**[X]**時」、「**[X]**日**[X]**時**[X]**分」、「日時案内なし」のいずれかを選択することができます。**☎** 取付け時設定
- メッセージ再生中に、手順3の画面表示の2行目の「\*\*メッセージ聞取\*\*」のかわりに、メッセージ録音された相手の電話番号または名前(外線電話帳に登録されている場合)を表示させることもできます。**☎** 取付け時設定  
ただし、表示ができるのは相手からの着信に回答した通話を録音した場合のみです。通話相手が発信者番号を通知しなかった場合は表示されません。この場合、その通話の録音操作をした内線番号が表示されます。
- 相手情報を表示するかどうかはボックスごとに設定できます。**☎** 取付け時設定
- 手順1で **聞取** を押す前に受話器を取って、受話器からメッセージを聞くこともできます。
- 手順3でメッセージの保存操作をしなくても、メッセージの再生が終わると自動的にそのメッセージを保存(自動保存設定)することもできます。**☎** 取付け時設定  
この場合、最後のメッセージが再生されたらメッセージの聞き取りが終了します。

## メッセージを聞き取り中に電話をかける (折り返し自動発信)

メッセージ再生中に、メッセージを登録した相手の情報（発信者電話番号、発信者名前）を液晶表示部に表示することができます。この情報が表示されている場合、メッセージ再生中に、情報を表示している相手に簡単な操作で電話をかけることができます。 

### ナビ操作

#### 1 聞取 を押す

**案内** パスワードをどうぞ。

- ボックスにパスワードが設定されていない場合、件数案内からメッセージが再生されます。

#### 2 パスワードと を押す

ボックス10 10  
 \*\* メッセージ聞取 \*\*  
 新規:5 保存:10 ← メッセージの件数を表示  
 保存 消去

**案内** 新しいメッセージが 、保存メッセージが  あります。

[最初のメッセージ再生]

#### 3 メッセージを聞き終り、右記の案内が流れたら、 (◀▶) で「保存」または「消去」を選択し (決定) を押す

### ボタン操作

#### 1 聞取 を押す

**案内** パスワードをどうぞ。

- ボックスにパスワードが設定されていない場合、件数案内からメッセージが再生されます。

#### 2 パスワードと を押す

**案内** 新しいメッセージが 、保存メッセージが  あります。

[最初のメッセージ再生]

#### 3 下記の案内が流れたら、 または を押す

**案内** メッセージの消去は  と 、保存は  と  をどうぞ。

#### 4 電話をかけたい相手のメッセージ再生中に を押す

#### 5 相手が応答したら通話をする

ボックス10 10  
 0455444444 ← 発信者電話番号  
 鈴木花子 ← 発信者名前  
 保存 消去

**案内** メッセージの消去は  と 、保存は  と  をどうぞ。

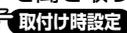
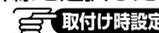
- 発信者が外線電話帳に登録されている場合、発信者電話番号の代わりに発信者名前を表示することもできます。
- メッセージ再生が終了し、次のメッセージ再生に移った場合、相手の情報表示も次のメッセージのものに変わります。

#### 4 電話をかけたい相手のメッセージ再生中に を押す

- 画面が発信表示となり、相手先を呼び出せます。メッセージ再生は終了となり、聞き取り中のメッセージは保存されます。

#### 5 相手が応答したら通話をする

### お知らせ

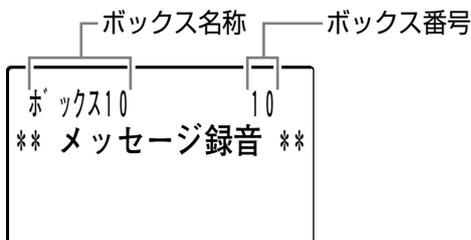
- あらかじめ FF ボタンに  を設定 (⇒98 ページ) しておく必要があります。
- メッセージを聞き取り中に折り返し自動発信をするには、相手の情報（発信者番号、発信者名前）の表示が必要です。  相手の情報が表示されていない場合、発信はできません。また、内線には発信できません。
- 相手情報を表示するかどうかはボックスごとに設定できます。 
- 発信する外線を選択したい場合はボックスごとに自動選局発信特番（または外線の捕捉特番）を設定する必要があります。 
- 手順 4 で相手情報が表示されていない場合に、  ボタンを押すと、相手先発信は無効となり、聞き取り中のメッセージの再生を続けます。

伝言などのメッセージを相手のボックスに直接録音することができます。

## メッセージ録音をするには

### ナビ操作

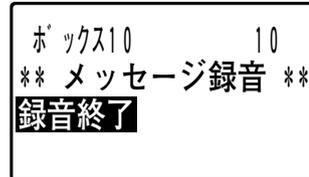
- 1 受話器を取り、メッセージを録音したいボックスの **ボックス** を押す



**案内** メッセージをどうぞ。

- 2 メッセージの録音が終わったら、

**決定** を押す



**案内** 録音を終了します。電話をお切りください。

- 3 受話器を戻す

### ボタン操作

- 1 受話器を取ってメッセージを録音したいボックスの **ボックス** を押す

**案内** メッセージをどうぞ。

- 2 メッセージ録音が終わったら **7** **井** を押す

**案内** 録音を終了します。電話をお切りください。

- 3 受話器を戻す

### お知らせ

- メッセージ録音をする場合、あらかじめ FF ボタンに **ボックス** 機能を設定しておく必要があります。(→98 ページ)  
**取付け時設定**
- 相手が応答メッセージ1を録音している場合、手順1（「ナビ操作」、「ボタン操作」とも）で応答メッセージが流れます。(→136 ページ)
- 相手のボックスがいっぱいの場合、「ボックス番号 **X** は、ただいま録音できません」と音声案内が流れ、メッセージを録音することはできません。録音するにはボックス内の不要なメッセージを消去してください。
- 個々のボックスのメッセージが一杯でなくても、システム全体でメッセージが一杯になっている場合、または録音可能な時間が少なくなった場合は「ただいま、録音できません。」と音声案内が流れ、メッセージを録音することができません。その場合は、不要なメッセージを消去してください。
- ボックスが録音したメッセージで一杯の場合、ボックス内の最も古い既読メッセージを自動で消去して新しいメッセージを録音させることもできます。**取付け時設定**
- 録音操作を行ったあとの録音の取り消しはできません。
- 録音したメッセージを再生するには、「録音したメッセージを再生する」(→122 ページ)と同様に操作してください。また、外出先から電話をかけて、録音したメッセージを再生することができます。「外出先から留守録の内容(用件)を再生する」と同様に操作します。(→117 ページ)
- メッセージ1件についての録音時間を変更することができます。(1分～5分 お買い上げ時は5分)  
**取付け時設定**
- メッセージ録音をしたあとに指定した電話機を呼び出すことができます。(→130 ページ)
- 録音終了時に指定した電話機を呼び出すか、呼び出さないかを、録音のたびに変更することができます。(→128 ページ) **取付け時設定**
- 指定電話呼び出しの変更ができる設定でお使いの場合、手順2で「録音を終了します。」に続いて呼び出し変更のガイダンスが流れます。(→130 ページ)
- 録音したメッセージが極端に短い場合(1秒未満の場合)、メッセージは録音されません。その場合、手順2で「録音を終了します。」の案内が流れません。

# 指定した電話機を呼び出してメッセージがあることを通知する(携帯電話などの呼び出し)

通話録音、メッセージ録音または留守録にてメッセージが録音された場合に、あらかじめ設定した携帯電話などの電話機を呼び出して、呼び出された電話機からの操作で録音されたメッセージを聞くことができます。外出先の営業社員などに、メッセージが入ったことを知らせることができ便利です。

## 呼出先の携帯電話などの電話番号を設定する

設定をしておく、自分のメールボックスにメッセージが録音されたときに、携帯電話や外線の電話機または内線電話機など、指定した電話機を呼び出すことができます。

取付け時の設定でも設定することができます。

### 1 呼び出し先を設定したいボックスの を押す

**案内** パスワードをどうぞ。

- ボックスにパスワードが設定されていない場合、件数案内からメッセージが再生されます。

### 2 と を押す

**案内** 新しいメッセージが 、保存メッセージが あります。

【最初のメッセージ再生】

**案内** メッセージの消去は と 、保存は と をどうぞ。

### 3 メッセージ再生中に を押す

**案内** メニュー番号をどうぞ。

- 録音されたメッセージを聞き取り中に を押した場合は、「メッセージを保存しました。メニュー番号をどうぞ。」と流れます。

### 4 を押す

**案内** (現在の設定内容) 電話の呼び出しは と 、呼び出しの取り消しは と 、メニューに戻るときは と をどうぞ。

### 5 を押す

**案内** 電話番号と をどうぞ。

### 6 呼び出したい電話番号と を押す

内線番号のとき：内線番号

外線番号のとき：外線捕捉番号 ( など) と電話番号

**案内** … ですね。(電話番号を復唱)

正しいときは と 、訂正するときには と をどうぞ。

### 7 を押す

- 現在の設定内容が流れます。

### 8 を押す

#### お知らせ

- 電話番号がすでに設定されている場合、手順4のあと、すぐに手順6の音声案内が流れます。
- 手順4の案内の(現在の設定内容)は以下のようになります。  
電話番号が設定されていない場合：「ただいま呼び出しをしません。」  
電話番号が設定されている場合：「ただいま電話番号… の電話の設定です。」
- 手順6で、指定できる電話番号は外線捕捉番号 ( など) を含めて最大16ケタです。17ケタ以上入力した場合は を押すと「ピピピッ」と音がするので、続けて正しい電話番号を入力してください。
- 発信する外線を選択したい場合は、その外線の捕捉特番 ( 、 など) を、特定の電話会社(キャリア)を選択したい場合はキャリア指定ダイヤル ( など) を呼び出したい電話番号の前に入力してください。
- 電話番号を訂正、変更する場合、手順6で を押し、手順6の最初からやり直します。
- 設定を解除する場合、手順4で を押して受話器を戻します。
- 約20秒間何も操作をしない場合、回線を切ります。
- 通話録音、メッセージ録音または留守録でのメッセージの録音時に携帯電話などを呼び出すには、ボックスの設定の他に取付け時設定が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 呼出先にマルチライン内線を設定しないでください。設定しても、呼び出しはできません。

# 指定した電話機を呼び出してメッセージがあることを通知する (携帯電話などの呼び出し)

## 通話録音後に指定した電話機を呼び出す

### 呼び出しが設定されている場合

呼び出しの変更が可能な場合、画面のボックス番号の右に「A」または「-」が表示されています。  
(→133ページ)

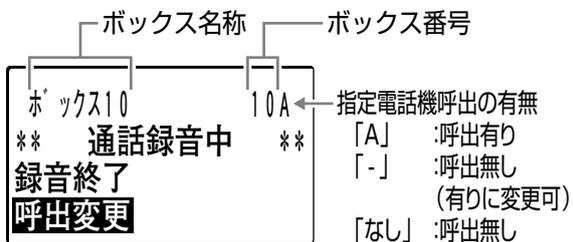
#### 1 通話録音終了後、そのまま受話器を戻す

- 設定されている電話機を自動で呼び出します。
- 呼び出された電話機の操作については「携帯電話などが呼び出されたら」(→132ページ)をご覧ください。
- 通話中に   を押す、またはFFボタンに設定した  (→98ページ) を押すなどで通話録音を終了した場合も、指定した電話機を呼び出すことができます。

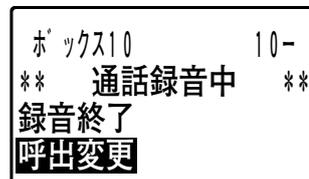
### 呼び出しを取り消すときは

#### ◀ナビ操作

#### 1 通話録音中、 (▲▼) で「呼出変更」を選択し (決定) を押す



#### 2 液晶表示部の右側の「A」が「-」に変わる

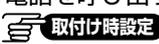


#### 3 受話器を戻す

#### ●ボタン操作

- 1 通話録音中に、  を押す
- 2 液晶表示部の右上の「A」が「-」に変わる (通話は継続)
- 3 受話器を戻す

#### 📌お知らせ

- FF ボタンに  を設定しておく、通話録音中に  を押すだけで呼び出し設定を変更することができます。(→98ページ)
- 通話録音時に携帯電話を呼び出すには、ボックスの設定の他に取付け時設定が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。 

## 呼び出しが設定されていない場合

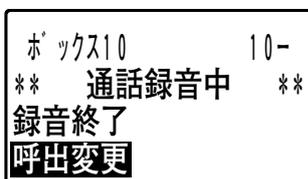
### ◀ナビ操作

#### 呼び出さないときは

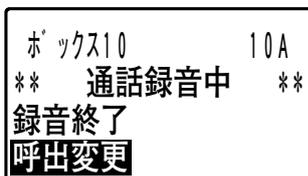
- 1 通話録音終了後、そのまま受話器を戻す

#### 呼び出すときは

- 1 通話録音中、 (▲▼)で「呼出変更」を選択し  (決定)を押す



- 2 液晶表示部の右側の「-」が「A」に変わる

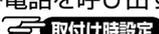


- 3 受話器を戻す

### ●ボタン操作

- 1 通話録音中に、  を押す
- 2 液晶表示部の右上の「-」が「A」に変わる (通話は継続)
- 3 受話器を戻す

### 📌お知らせ

- FF ボタンに  を設定しておくこと、通話録音中に  を押すだけで呼び出し設定を変更することができます。(➡98 ページ)
- 通話録音時に携帯電話を呼び出すには、ボックスの設定の他に取付け時設定が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。 

# 指定した電話機を呼び出してメッセージがあることを通知する (携帯電話などの呼び出し)

☎ 取付け時設定

## メッセージを録音したあとに指定した電話機を呼び出す

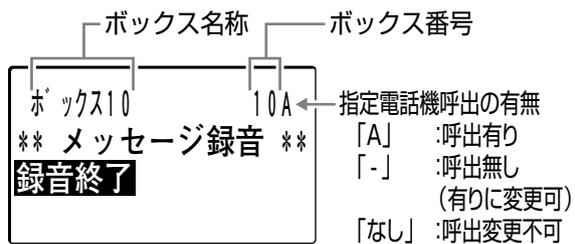
伝言などのメッセージを相手のボックスに録音したあと、相手の電話機を呼び出して伝言の入ったことを伝えることができます。

### 呼び出しが設定されている場合

呼び出しの変更が可能な場合、画面のボックス番号の右に「A」または「-」が表示されています。(➡133ページ)

#### ◀ナビ操作

- 1 受話器を取り、メッセージを録音したあとに、 (決定)を押す



**案内** 録音を終了します。電話の呼び出しをします。呼び出しの取り消しは  と  をどうぞ。

- 2 そのまま受話器を戻す

- 設定されている電話機を自動で呼び出します。
- 呼び出された電話機の操作については「携帯電話などが呼び出されたら」(➡132ページ)をご覧ください。

#### ●ボタン操作

- 1 受話器を取り、メッセージを録音したあとに、  を押す

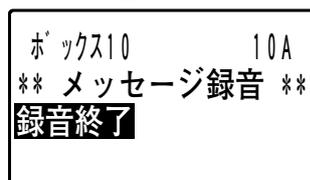
**案内** 録音を終了します。電話の呼び出しをします。呼び出しの取り消しは  と  をどうぞ。

- 2 そのまま受話器を戻す

### 呼び出しを取り消すときは

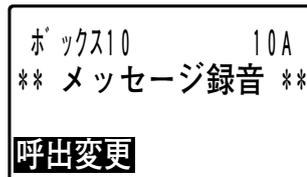
#### ◀ナビ操作

- 1 受話器を取り、メッセージを録音したあとに、 (決定)を押す



**案内** 録音を終了します。電話の呼び出しをします。呼び出しの取り消しは  と  をどうぞ。

- 2 カーソルが呼出変更になっていることを確認して、 (決定)を押す



- 3 液晶表示部の右側の「A」が「-」に変わったら、受話器を戻す

#### ●ボタン操作

- 1 受話器を取り、メッセージを録音したあとに、  を押す

**案内** 録音を終了します。電話の呼び出しをします。呼び出しの取り消しは  と  をどうぞ。

- 2   を押す

- 3 液晶表示部の右側の「A」が「-」に変わったら、受話器を戻す

#### 📢お知らせ

- ナビ操作、ボタン操作ともに、メッセージを録音したら何も操作せずに受話器を戻しても、設定されている電話機を自動で呼び出します。
- FFボタンに  を設定しておくこと、メッセージ録音終了後に  を押すだけで呼び出し設定を変更することができます。(➡98ページ)
- メッセージ録音時に携帯電話などを呼び出すには、ボックスの設定の他に取付け時設定が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

☎ 取付け時設定

## 呼び出しが設定されていない場合

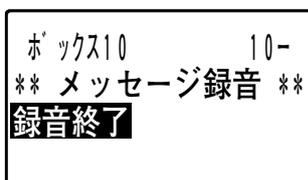
### ナビ操作

#### 呼び出さないときは

- 1 メッセージを録音したあと、そのまま受話器を戻す

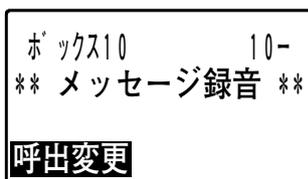
#### 呼び出すときは

- 1 受話器を取り、メッセージを録音したあとに、 (決定)を押す



**案内** 録音を終了します。  
呼び出しは  と  をどうぞ。

- 2 カーソルが呼出変更になっていることを確認して、 (決定)を押す



- 3 液晶表示部の右側の「-」が「A」に変わったら、受話器を戻す

- 設定されている電話機を自動で呼び出します。
- 呼び出された電話機の操作については「携帯電話などが呼び出されたら」(➡132ページ)をご覧ください。

### ボタン操作

- 1 受話器を取り、メッセージを録音したあとに、  を押す

**案内** 録音を終了します。呼び出しは  と  をどうぞ。

- 2   を押す

- 3 液晶表示部の右側の「-」が「A」に変わったら、受話器を戻す

### お知らせ

- FF ボタンに  を設定しておく、メッセージ録音終了後に  を押すだけで呼び出し設定を変更することができます。(➡98ページ)
- メッセージ録音時に携帯電話などを呼び出すには、ボックスの設定の他に取付け時設定が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。 

# 指定した電話機を呼び出してメッセージがあることを通知する (携帯電話などの呼び出し)

## 携帯電話などが呼び出されたら

ボックスにメッセージが入ると、登録した携帯電話などへメッセージが入ったことをお知らせすることができます。呼び出された電話機から以下の操作をすると、メッセージを聞くことができます。

### 呼び出された携帯電話などで

#### 1 電話を受ける

**案内** 新しいメッセージがボックス番号[X]にあります。(パスワードをどうぞ。)

- ボックスにパスワードが設定されていない場合、「メッセージの聞き取りは③と②をどうぞ。」のあと、手順2の件数案内からメッセージが再生されます。

#### 2 ボックスの(パスワードと②)を押す

**案内** 新しいメッセージが[X]、保存メッセージが[X]あります。  
[最初のメッセージ再生]

#### 3 下記の案内が流れたら、⑤② または⑧②を押す

**案内** メッセージの消去は⑤と②、保存は⑧と②をどうぞ。

⑤②：メッセージを消去する

**案内** メッセージを消去しました。  
[次のメッセージ再生]

⑧②：メッセージを保存する

**案内** メッセージを保存しました。  
[次のメッセージ再生]

#### 4 メッセージが複数ある場合、手順3を繰り返す

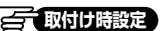
- 最後のメッセージの再生が終わると、保存しているメッセージを先頭から再生します。

#### 5 メッセージを聞き終わったら電話を切る

### 操作のヒント

- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。ボタンの機能の割り当てを以下に示します。
  - ③②：再生中のメッセージを、日付案内から繰り返し再生する。
  - ④②：再生中の案内、メッセージの再生速度を変更する。
    - ④②を押すたびに通常再生→高速再生→通常再生と交互に切り替わります。

### お知らせ

- 指定した携帯電話などを呼び出してから約60秒間応答がないときや、呼び出した電話機が通話中の場合、3分～40分(お買い上げ時の設定は20分)後に再度呼び出します。相手が内線電話機で通話中の場合、設定に関係なく3分後に再度呼び出します。応答がない場合、さらに3分～40分(お買い上げ時の設定は20分)後に再度呼び出します。合計1回～100回(お買い上げ時の設定は3回)呼び出しても応答がないか、通話中の場合、新しいメッセージが録音されるまで呼び出しません。
- メッセージは、日付の古い順に未読のメッセージを優先して再生されます。また、未読、既読に関係なく日付の古い順に再生することもできます。
- すべてのメッセージを消去したときは、メッセージを聞き終わったあとに「残りのメッセージはありません」と音声案内が流れます。音声案内のあとに受話器を戻してください。

# 7 表示について

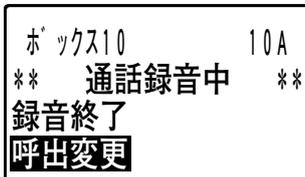
## 指定電話呼び出し設定時の表示について

通話録音、メッセージ録音の場合、録音操作者が指定電話呼び出しの有無をメッセージの録音時に変更することができます。 **取付け時設定**

呼び出しの変更が可能な場合、呼び出しが設定されているか、いないかは液晶表示部の表示で確認できます。呼び出しが設定されている場合は、ボックス番号の右側に「A」呼び出しが設定されていない場合は、ボックス番号の右側に「-」下記の表示例は通話録音時で記載していますが、メッセージ録音時も同様にボックス番号の右側に「A」「-」が表示されます。（漢字表示付電話機のみ）

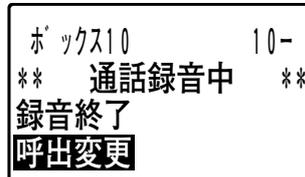
### 呼び出し設定がされている場合

呼び出し設定がされている場合、ボックス番号の右に「A」が表示されています。



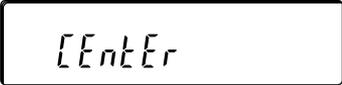
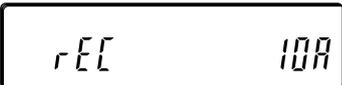
### 呼び出し設定がされていない場合

呼び出し設定がされていない場合、ボックス番号の右に「-」が表示されています。



## 数字表示付電話機を使ったときの表示について

オフィス留守番機能（マルチボイス）を使ったとき、数字表示付電話機の液晶表示部には以下のような表示がされます。

液晶表示部の表示	表示されるとき
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージ録音中／再生中</li> <li>・ボックスパスワード設定中</li> <li>・応答メッセージ設定中</li> <li>・指定電話呼び出し設定中</li> </ul>
 <p>(XX：ボックス番号、□：「A」または「-」)</p> <p>呼び出し設定がされている場合</p>  <p>呼び出し設定がされていない場合</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音中</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留守モニター中</li> </ul>

## 応答ガイダンスの種類について



本システムでは、各機能種別ごとに以下の表に示す標準的な応答ガイダンスを用意しています。ガイダンスの内容をご確認いただき、必要に応じて、オリジナルの応答メッセージを録音してください。（➔136ページ）

機能種別	録音できるガイダンス	録音できる応答ガイダンスの番号	自分で録音していないときに流れるシステム固定の応答ガイダンス
留守機能	留守録応答ガイダンス →電話をかけてきた相手に流れます。	留守録ボックスの 応答メッセージ 1~3	<b>【留守録モード時】</b> 「ただいま留守しております。ご用件をピツという音のあとにお話してください」 <b>【留守専用モード時】</b> 「ただいま留守しております。恐れ入りますが後ほどおかけ直してください」
	転送元応答ガイダンス*1 →電話をかけてきた相手に流れます。	転送元応答ボックスの 応答メッセージ1	「お電話ありがとうございます。ただいまおつなぎしておりますので、もうしばらくそのままお待ちください」
転送ガイダンス	転送先応答ガイダンス*1 *4 →転送先の電話に流れます。	転送先応答ボックスの 応答メッセージ1	<b>【接続する場合】</b> 「転送電話です。転送します」 <b>【受付方法を選択する場合】</b> 「転送電話です。応答する場合は1を、メッセージを録音する場合は2を、応答しない場合は0を押してください」
	転送元切断ガイダンス*1 →転送できなかったときに流れます。	転送元応答ボックスの 応答メッセージ2	<b>【メッセージを録音してもらう場合】</b> 「恐れ入りますが、おつなぎできませんでしたので、メッセージをお預かりいたします」 <b>【メッセージを録音してもらわずに電話を切る場合】</b> 「恐れ入りますが、おつなぎできませんでしたので、後ほどおかけ直してください」
迷惑電話拒否	発番号着信拒否応答ガイダンス*2 →迷惑電話拒否登録されている相手からかかってきたときに流れます。	発番号着信拒否応答 ボックスの 応答メッセージ1	「この電話はお受けできません。ご了承ください」
	公衆・圏外着信拒否応答ガイダンス*2 →公衆電話または表示圏外*3からかけてきた相手に流れます。	公衆・圏外着信拒否応答 ボックスの 応答メッセージ1	「恐れ入りますが、電話番号が通知されていないためこの電話はお受けできません。電話番号が通知される電話からおかけ直してください」
	非通知着信拒否応答ガイダンス*2 →発信者番号を通知しないでかけてきた相手に流れます。	非通知着信拒否応答 ボックスの 応答メッセージ1	「恐れ入りますが、電話番号の先頭に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください」
お待たせ応答	お待たせ応答ガイダンス →電話をかけてきた相手に流れます。	お待たせ応答ボックスの 応答メッセージ1	「お電話ありがとうございます。ただいまおつなぎしておりますので、もうしばらくそのままお待ちください」
	お待たせ応答終了ガイダンス →電話をかけてきた相手に流れます。	お待たせ応答ボックスの 応答メッセージ2	<b>【メッセージを録音してもらう場合】</b> 「恐れ入りますが、おつなぎできませんでしたので、メッセージをお預かりいたします」 <b>【メッセージを録音してもらわずに電話を切る場合】</b> 「恐れ入りますが、おつなぎできませんでしたので、後ほどおかけ直してください」
メッセージ録音	録音 →メッセージ録音を行った相手に流れます。	録音ボックスの応答 メッセージ1	「メッセージをどうぞ」

※1：自動転送設定時。「外線への転送」の「自動転送中ガイダンス」について（➔185ページ）

※2：迷惑電話拒否設定時。「迷惑電話を着信拒否する」について（➔147ページ）

※3：「表示圏外」は、国際電話などで番号を通知できない電話がかかってきたとき。

※4：転送先応答ガイダンスで「接続する場合」に流れるのは、システム固定のガイダンスのみです。

## 留守録やメッセージ録音時の応答ガイダンスを録音する

### お知らせ

- 応答ガイダンスは、1件につき5分（お買い上げ時）まで録音できます。取付け時の設定により、録音時間を変更（1分～5分）することもできます。 **取付け時設定**
- 留守録ボックス、転送元応答ボックス、転送先応答ボックス、発番号着信拒否ボックス、公衆・圏外着信拒否ボックス、非通知着信拒否応答ボックス、お待たせ応答ボックスはあらかじめボックス番号を設定しておく必要があります。 **取付け時設定**

## 応答ガイダンス（応答メッセージ）を録音する

電話をかけてきた相手に聞かせるメッセージを電話機から録音することができます。留守録応答メッセージ、転送メッセージ、迷惑電話拒否メッセージ、お待たせ応答メッセージを、それぞれの用途を設定した（☎**取付け時設定**）ボックスに対し、録音して利用することができます。

- 1 受話器を取って、応答メッセージを録音したいボックスの **聞取** を押して録音されたメッセージを再生中に、**✖** **Ⓜ** を押す

**案内** メニュー番号をどうぞ。

- 2 録音したい応答メッセージの番号を押す

応答メッセージ1： **⑦** **①** **Ⓜ**

応答メッセージ2： **⑦** **②** **Ⓜ**

応答メッセージ3： **⑦** **③** **Ⓜ**

**案内** 応答メッセージ **☒** の設定です。メッセージの録音は **①** と **Ⓜ**、再生は **③** と **Ⓜ** をどうぞ。

- 3 **①** **Ⓜ** を押す

**案内** メッセージをどうぞ。【メッセージを録音】

- 応答メッセージの例  
「はい、〇〇社、〇〇部の〇〇です。〇日まで出張で出かけておりますので、ご用件のある方は、メッセージを入れてください」

- 4 メッセージの録音が終わったら、**⑦** **Ⓜ** を押す

**案内** 録音を終了します。

[応答メッセージ再生]

メッセージをお預かりしました。

**案内** メッセージの録音は **①** と **Ⓜ**、再生は **③** と **Ⓜ** をどうぞ。

- 5 受話器を戻す

### 📌 お知らせ

- ボックスの用途に応じ、応答ガイダンスは自動的に使われます。（➡134 ページ）
- 応答メッセージを再生する場合、手順3で **③** **Ⓜ** を押します。
- 応答メッセージを消去する場合、手順3で **⑤** **Ⓜ** を押します。
- 留守録、ガイダンス送付機能などで該当ボックスの応答メッセージが再生されている最中は、応答メッセージの設定はできません。「ただいま使用中です。メニュー番号をどうぞ。」と案内が流れますので、少し時間を置いて設定操作をしてください。
- 同じボックスの応答メッセージの設定は、同時に複数の電話機で行うことはできません。
- 1つの応答メッセージ（応答メッセージ1または応答メッセージ2、あるいは応答メッセージ3）の設定が行われている最中に、他の応答メッセージを設定することはできません。
- 録音したメッセージが極端に短い場合（1秒未満の場合）、メッセージは録音されません。その場合、手順4で「録音を終了します。」以降の案内が流れません。

ボックスにパスワード（4ケタ）を設定しておくことで、録音されたメッセージを他の人に聞かれるのを防ぐことができます。お買い上げ時は、パスワードが設定されていないので、設定することをお勧めします。また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

- 1 受話器を取って、パスワードを設定したいボックスのメッセージ再生中に、  を押す**

**案内** メニュー番号をどうぞ。

- 2   を押す**

**案内** 新しいパスワードと  をどうぞ。

- 3 **パスワード（4ケタ）** と  を押す**

- パスワードの入力は、 ～  の数字ボタンのみ入力できます。

**案内**     ですね。正しいときは  と 、訂正するときは  と  をどうぞ。

- 4 正しい場合、  を押す**

**案内** 新しいパスワードを設定しました。

- 間違っている場合、  を押し手順3から繰り返してください。

- 5 受話器を戻す**

## お願い

- パスワードを5ケタ以上入力した場合、もう一度正しいパスワードを入力してください。
- パスワードは、お客様の責任で適正に管理してください。

## お知らせ

- パスワードに「9999」は設定できません。手順3で      と押し、手順4で   と押して設定すると「新しいパスワードを設定しました」とガイダンスが流れ、パスワードは取り消されてなにも設定されない状態になります。
- 同じボックスのパスワードを複数の電話機から同時に設定することはできません。この場合、手順2で「ただいま使用中です。」と案内が聞こえます。

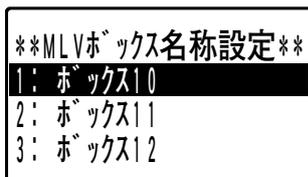
## ボックスのパスワードを変更するには

メッセージ再生時、「パスワードをどうぞ」と聞こえてから、設定してあるパスワードと  を押して手順1に進んでください。

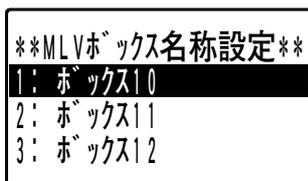
ボックスに名称をつけることができます。部署名や人の名前、ボックスの用途などをつけておくと、何のボックスかひと目でわかり便利です。

### ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「6：マルチボイス設定」→「2：MLVボックス名称設定」を選択して「MLVボックス名称設定画面」を表示する (⇒35ページ)



- 2  (▲▼) で設定したいボックスを選択し  (決定) を押す



- 3  で文字を削除し、名称を入力する (文字入力方法は⇒80ページ)



- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。入力文字の詳細は「電話帳などの登録時の文字入力方法」の文字ボタン割当表 (⇒81ページ) を参照してください。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶) で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押し続けます。

- 4  (決定) を押す

\*\*MLVボックス名称設定\*\*  
内線10ボックス  
登録しました

約2秒後

\*\*MLVボックス名称設定\*\*  
1: 内線10ボックス ← 設定した内容  
2: ボックス11  
3: ボックス12

- ボックス名称が設定されます。

- 5 続けてボックス名称を設定する場合、手順2～4を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 8

## その他の便利な機能一覧

その他の便利な機能の一覧を以下に示します。

機能名称	内 容	参照ページ
アラーム設定	設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。	140
プッシュ信号送出	通話中にプッシュ信号を送ることができます。航空券の予約や銀行の残高照会などにご利用になれます。	142
キャッチホンサービス	外線と通話中に、他の外線から電話がかかってきたことをお知らせするキャッチホンサービスが利用できます。	190
外線通話割り込み	通話中に他の人を割り込ませたり、他の人が外線と通話中に割り込んで通話することができます。	143
3者会議通話	外線、または内線との通話中に、別の人（第3者）を加えて3人で通話することができます。	144
セレクト着信	電話がかかってきたとき、通知される相手の電話番号によって鳴る電話機と着信音を指定することができます。	145
回線数コントロール	同時に複数の外線からかかってきて応答できないとき、着信させない外線（チャンネル）をあらかじめ設定し、着信数を制限することができます。	146
迷惑電話拒否	発信者番号を通知していない相手や、拒否登録した電話番号の相手などの電話がかかってきたとき、電話を受けないようにすることができます。	147
ACR	外線へ電話をかけたとき、市内発信、市外発信、発信日時により通話料金が異なる複数の電話回線の中から、自動的に特定の電話会社を選択して発信することができます。	158
付加情報表示	外線電話帳に登録した付加情報を、着信中または通話中に液晶表示部に表示することができます。	159
カレントアラーム	主装置がアラームを検出したときに、  を赤色に点灯させて、障害が発生したことを知らせることができます。	160

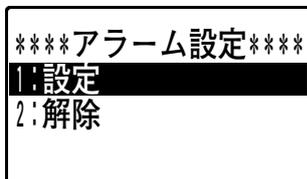
指定した時刻にその電話機からアラームを鳴らすことができます。

## アラームを設定／解除する

### アラームを設定する

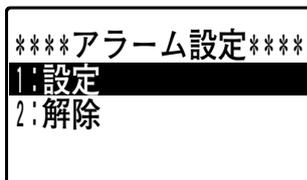
#### ◀ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「7：アラーム設定」を選択して「アラーム設定画面」を表示する (→30ページ)

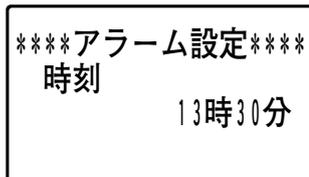


- アラームが設定されていない場合、「現在の設定時刻」 (→141ページ) は表示されません。

- 2 (▲▼) で「1：設定」を選択し (決定) を押す

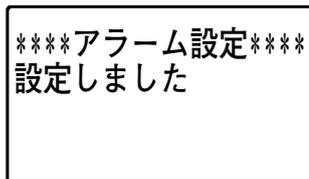


- 3 アラームを設定する時刻を入力する

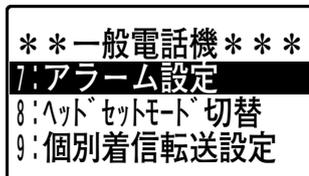


- 24時間制で4ケタの数字を入力してください。  
例：午後1時30分の場合 ① ③ ③ ①

- 4 (決定) を押す



↓ 約2秒後



- を押すと待ち受け画面に戻ります。
- 液晶表示部に が表示されます。

#### 📖 操作のヒント

- アラーム時刻を変更する場合、手順1からやり直してください。

#### 📖 ボタン操作

- 1 → 2 (✳) → 3 アラームを設定する時刻を押す → 4 →
- 設定したい時間、分を入力してください。
  - 24時間制で4ケタの数字を入力してください。  
例：午後1時30分の場合 ① ③ ③ ①
- 5

#### 📖 ボタン操作のヒント

- 設定したアラーム時刻を確認するには、手順1と手順2の操作を行います。設定した時刻を確認したら、 を押して表示を戻してください。

## 指定した時刻になると

1 アラームが鳴る

2 **モニター** を押す

- アラームが止まります。

### 📖 操作のヒント

- 手順2で **モニター** を押す代わりに受話器を取ってから戻してもアラームを止めることができます。(アラームを止めなければ、約16秒後に自動的に止まります。)

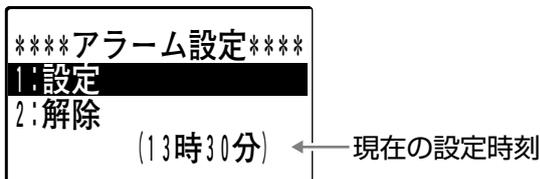
### 📢 お知らせ

- アラームが鳴ると、アラームの設定は解除されます。再度アラームを鳴らしたい場合、そのたびに設定し直してください。
- アラームの設定は、単独電話機または停電中の停電用電話機では設定できません。
- 主装置のリセットや電源の「切」「入」、または接続ケーブルがモジュージャックから抜けた場合、アラームの設定は解除されるのでご注意ください。  
また、DXDP接続(➡17ページ)されたマスター電話機の接続ケーブルがモジュージャックから抜けた場合、スレーブ電話機でアラーム設定されていると、その設定も解除されます。

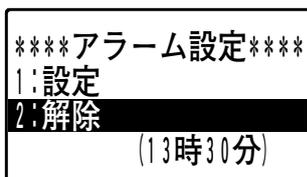
## アラームを解除する

### 👉 ナビ操作

1 **決定** (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「7：アラーム設定」を選択して「アラーム設定画面」を表示する(➡30ページ)



2 **決定** (▲▼) で「2：解除」を選択する



3 **決定** (決定) を押す

\*\*\*\*アラーム設定\*\*\*\*  
解除しました

約2秒後

\*\*\*一般電話機\*\*\*  
7:アラーム設定  
8:ヘッドセットモード切替  
9:個別着信転送設定

- **フック** を押すと待ち受け画面に戻ります。
- 液晶表示部の **🔔** が消去されます。

### 🔑 ボタン操作

1 **モニター** → 2 **決定** (▲▼) → 3 **決定** (決定) → 4 **モニター**

# 8 プッシュ信号を送る

通話中にプッシュ信号を送ることができます。航空券の予約や銀行の残高照会などにご利用になれます。ISDN回線、IP回線をお使いの場合、そのままプッシュ信号を送ることができます。通話中にサービス先のガイドンスに従ってダイヤルボタンを押します。

電話（アナログ）回線のダイヤル回線をお使いの場合、下記の操作を行います。

## 1 外線のサービス先に電話をかける

## 2 電話がつながったら、**(\*)** または **(#)** を押す

- プッシュ信号が送れるようになります。  
**(\*)** または **(#)** は、プッシュ信号として送出されることはありません。
- 以降の操作は、サービス先のガイドンスに従ってください。

### お知らせ

- 取付け時の設定により、**(\*)** または **(#)** を押さなくてもプッシュ信号を送ることができます。  **取付け時設定**

通話中に他の人を割り込ませて通話する方法（プライバシー・リリース）と、通話中の外線に強制的に割り込んで通話する方法（オーバー・ライド）の2種類があります。

## 他の人を割り込ませる （プライバシー・リリース）

自分が通話中の外線に、他の内線電話機の人を途中から参加させて、3人で会議通話にすることができます。外線通話中に別の第3者と途中から一緒に打ち合わせをしたい場合などに使用します。

### 1 外線通話中に を押す

- 漢字表示付電話機の場合、 はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。（➡98ページ）

### 2 割り込む人に の番号を知らせる

#### 割り込む人

### 3 受話器を取る

### 4 割り込みたい を押す (赤色点灯)

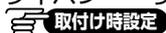
### 5 3人で通話する

#### 操作のヒント

- 手順4で  を押す代わりに、 または   と割り込みたい外線の外線番号（  ～  ）を押して指定の外線に割り込むこともできます。
- マルチラインで応答している外線に割り込む場合、手順4で   または    と割り込みたいマルチライン番号（  ～  ）を押すことにより、指定の外線に割り込むことができます。また、（  とマルチライン番号）が登録されている場合、手順4で  を押すことにより指定の外線に割り込むことができます。 は緑色点滅になります。

#### お知らせ

- 手順1～手順4は15秒以内で行ってください。15秒を超えてしまった場合、手順1からやり直してください。
- 外線通話に割り込まれる電話機は1台のみです。
- 割り込み時は会議通話表示されます。また、割り込まれた人には割り込んだ電話機の内線番号が表示されます。
- 通話中の外線以外に、別の外線を保留している場合、プライバシー・リリースはご利用になれません。
- 会議通話中（➡144ページ）は、プライバシー・リリースはご利用になれません。
- データ通信秘話を設定している電話機からは、プライバシー・リリースはご利用になれません。



## 外線通話に割り込む （オーバー・ライド）



外線通話割込を設定した内線電話機から、通話中の外線に強制的に割り込みをし、3人で会議通話にすることができます。外線通話中の相手と途中から一緒に打ち合わせをしたい場合などに使用します。

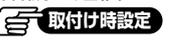
### 1 （割り込む人が）受話器を取る

### 2 割り込みたい を押す (赤色点灯)

#### 操作のヒント

- 手順2で  を押す代わりに、 または   と割り込みたい外線の外線番号（  ～  ）を押して指定の外線に割り込むこともできます。
- マルチラインで応答している外線に割り込む場合、手順2で   または    と割り込みたいマルチライン番号（  ～  ）を押すことにより、指定の外線に割り込むことができます。また、（  とマルチライン番号）が登録されている場合、手順2で  を押すことにより指定の外線に割り込むことができます。 は緑色点滅になります。

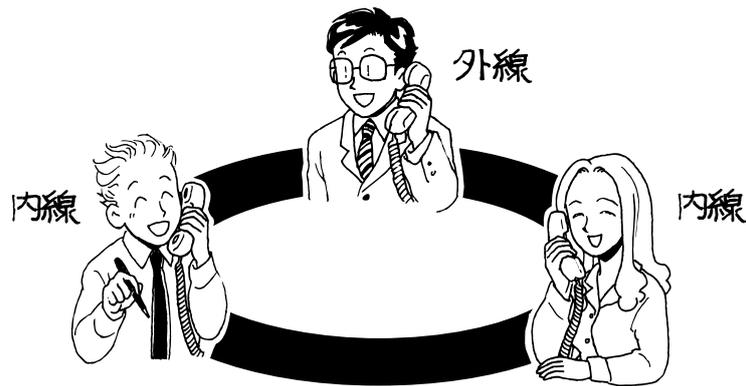
#### お知らせ

- オフィス留守番機能（マルチボイス）をお使いの場合、外線リモート（➡113、117ページ）中の外線に対しては、割り込みできません。
- 外線通話に割り込める電話機は1台のみです。
- 割り込み時は会議通話表示されます。また、割り込まれた人には割り込んだ電話機の内線番号が表示されます。
- 会議通話中（➡144ページ）は、オーバー・ライドはご利用になれません。
- データ通信秘話を設定している電話機の通信へは、オーバー・ライドはできません。

# 8

## 3人で会議通話をする

外線または内線との通話中に、別の内線（第3者）の人を加えて3人で通話することができます。



### 1 通話中に **保留** を押す

- 通話が保留になります。

### 2 加える人（第3者）の内線番号を押す

### 3 加える人（第3者）が電話に出たら、**確認/会議** を押す

- 会議状態（3人で通話できる状態）になります。
- 漢字表示付電話機の場合、**確認/会議** はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。（→98ページ）

#### **お知らせ**

- 会議通話は本システム内で同時に2組までできます。
- 会議通話中は通話を保留にできません。
- 外線2人と内線1人では会議通話できません。

電話がかかってきたとき、通知される相手の電話番号によって鳴る電話機と着信音や着信ランプを指定することができます。

着信音や着信ランプを変えて発信者を判別したり、発信者によって転送を行ったりすることもできます。

## セレクト着信とは

### 電話をかけてきた相手によって……

#### ● 鳴る電話機を指定する

指定した電話機を鳴らすことができます  
(個別着信)。

#### ● 着信音を指定する

発信者によって着信音を選択できます。着信音を聞いただけで、誰から電話がかかってきたかわかります。着信音として、メロディー着信のメロディーを選択することもできます。



#### ● 着信ランプを指定できる

漢字表示付電話機の場合、発信者によって着信ランプ(赤または緑点滅)を選択できます。

#### ● 転送する／しない、を指定する

特定の電話番号のみ転送したり、転送させないようにすることができます。(「セレクト転送」▶184ページ参照)

## セレクト着信を使うためには

- この機能を使うためには外線からかかってきた電話の電話番号が、共通短縮ダイヤルに登録されている必要があります。  
共通短縮ダイヤルの登録(▶259ページ)の際に、着信音の選択と鳴る電話機を選択、着信ランプ識別の選択、電話をかけてきた相手によって転送する／しないが設定されている必要があります。  
この登録操作は指定電話機で行います。(▶261ページ)
- 発信者が番号非通知の場合でも、非通知理由(公衆電話など)別に任意の内線番号を着信先に指定しセレクト着信を行うようにすることができます。(▶305ページ)

### お知らせ

- ISDN回線をお使いの場合、電話をかけてきた相手がISDN回線のときは「ナンバー・ディスプレイ」(▶194ページ)契約なしでもセレクト着信させることができます。
- IP回線をお使いの場合、「ナンバー・ディスプレイ」の契約が必要かどうかはIP電話事業者によります。
- 電話(アナログ)回線からかかってきた場合や、番号非通知のときに非通知理由別にセレクト着信させる場合には、「ナンバー・ディスプレイ」の契約が必要です。 取付け時設定
- 着信先が不在転送(▶101ページ)を設定している場合、転送先に転送します。
- セレクト着信の設定は、ダイヤルイン着信設定、i・ナンバー設定よりも優先されますが、ISDN回線のサブアドレス着信が最優先されます。

同時に複数の外線からかかってきても応答できないとき、簡単な操作で、着信させない外線（チャンネル）をあらかじめ設定し、着信数を制限することができます。回線数以上の着信に対しては「ツーツー」（話中音）が聞こえます。



## 回線数コントロールの設定

### 1 受話器を取る

### 2 着信させない外線の を押す

- 外線ランプが緑色点灯（2秒に1回一瞬点滅）し、ダイヤルトーン（「ツー」という音）が聞こえます。

### 3 を押す

- 外線ランプが緑色点滅になり、他の電話機の外線ランプは赤色点滅になります。

### 4 受話器を戻す

### 回線数コントロールを解除する

#### 1 受話器を取る

#### 2 設定を解除する外線の を押す

- 外線ランプは緑色点灯（2秒に1回一瞬点滅）になります。

#### 3 受話器を戻す

- 外線ランプは消灯し、他の電話機の外線ランプも消灯します。

### 操作のヒント

- 受話器を取る／戻すの代わりに、 を押しても操作できます。
- 複数の外線に着信させない場合、それぞれの外線ごとに、回線数コントロールを設定する操作を行ってください。

### お願い

- 回線数コントロール設定をする場合、外線を FF ボタンに設定して運用してください。
- 本機能は ISDN 回線および IP 回線に対してのみご利用になれます。アナログ回線で本操作をしても空の保留状態になるだけで、回線数コントロールの設定はできません。ISDN 回線とアナログ回線または IP 回線とアナログ回線を混在でご利用の場合は、電話回線に名称を設定（→306 ページ）し、回線種別がわかるようにしてご利用してください。

### お知らせ

- 回線数以上の着信があった場合でも、システム着信履歴（→65 ページ）として記録され、確認することができます。電話機ごとの着信不応答履歴には記録されません。漢字表示付電話機の着信履歴にも記録されません。
- 設定後、1 時間～9 時間後（1 時間単位）に自動的に設定を解除するように設定することもできます。

取付け時設定

勧誘の電話など拒否登録した電話番号の相手から電話がかかってきたとき（迷惑電話拒否）や、発信者番号を通知しない相手から電話がかかってきたとき（非通知着信）は、自動応答を行い、ガイダンス（➡157ページ）を流しその着信を拒否（回線を切断）することができます。ガイダンスを流す回数は、設定によって変更することができます。☎**取付け時設定**

迷惑電話の拒否、非通知着信の拒否、ともにナンバー・ディスプレイの契約が必要です。（➡194ページ）

	設定内容	参照ページ
迷惑電話を拒否する場合	① 着信を受け付けない電話番号を登録（拒否登録）する	147
	通話中の相手を登録する	147
	通話が終わったあとに相手の電話番号を拒否登録する	148
	着信拒否する電話番号を登録する	149
	着信履歴から着信拒否する電話番号を登録する	150
	② 迷惑電話拒否を設定／解除する （迷惑電話拒否状態を有効にするか無効にするかの設定）	151
非通知着信拒否する場合	① 非通知着信拒否を設定／解除する	153

※非通知着信拒否の対象に、「公衆電話」「表示圏外」を含めることもできます。☎**取付け時設定**

## 着信を受け付けない外線相手の電話番号を登録(拒否登録)する

外線からの着信を受け付けない電話番号を最大60件まで登録できます（拒否登録）。拒否登録は全ての電話機から登録できます。

### 通話中の相手を登録する

#### ◀ナビ操作

#### 1 外線通話中に ☎ (▲) を押す

```

***メニュー***
1: 受話音量調整
2: 発信者付加情報表示
3: 迷惑電話拒否登録
  
```

#### 2 ☎ (▲▼) で「3: 迷惑電話拒否登録」を選択する

```

***メニュー***
1: 受話音量調整
2: 発信者付加情報表示
3: 迷惑電話拒否登録
  
```

#### 3 ☎ (決定) を押す

```

**迷惑電話拒否登録**
登録しました
  
```

約2秒後

```

***メニュー***
1: 受話音量調整
2: 発信者付加情報表示
3: 迷惑電話拒否登録
  
```

- 通話中の電話番号が拒否登録されます。
- **フック** を押すと外線通話中画面に戻ります。

#### 📄お知らせ

- 発信者番号が通知されてかかってきた場合のみ登録できます。
- 拒否登録件数が60件を超えた場合、「60件登録済みです。登録できません」というメッセージが表示されます。登録した電話番号を削除（➡156ページ）してから登録し直してください。
- 登録した電話番号からかかってきた電話を拒否するためには、迷惑電話拒否設定の設定項目の中で、登録番号着信拒否設定（➡151ページ）をONにする必要があります。登録番号着信拒否設定ONにしないと着信を拒否できません。
- 拒否登録した電話番号を確認することができます。（➡155ページ）
- 迷惑電話着信拒否した場合、システム着信履歴に「拒否」の履歴が残ります。

# 迷惑電話を着信拒否する

## ボタン操作

1 外線通話中に  を押す

### ボタン操作のヒント

- あらかじめ FF ボタンに  を設定 (→98 ページ) しておく必要があります。

## 通話が終わったあとに相手の電話番号を拒否登録する

### ナビ操作

1  (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」を選択して「一般電話機画面」を表示する (→29ページ)

\*\*\*一般電話機\*\*\*  
1: 音量調節  
2: 迷惑電話拒否登録  
3: 表示設定

2  (▲▼) で「2：迷惑電話拒否登録」を選択する

\*\*\*一般電話機\*\*\*  
1: 音量調節  
2: 迷惑電話拒否登録  
3: 表示設定

3  (決定) を押す

\*\*\*迷惑電話拒否登録\*\*\*  
登録しました

約2秒後

\*\*\*一般電話機\*\*\*  
1: 音量調節  
2: 迷惑電話拒否登録  
3: 表示設定

- 電話番号が拒否登録されます。
- 発信者番号が通知されてかかった場合にのみ登録可能です。発信者番号が通知されていない場合、「発信者情報ありません 登録できません」と表示されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

8

迷惑電話を着信拒否する

### お知らせ

- 拒否登録件数が 60 件を超えた場合、警告音とともに「60 件登録済みです。登録できません」というメッセージが表示されます。登録した電話番号を削除 (→156 ページ) してから登録し直してください。
- 登録した電話番号からかかってきた電話を拒否するためには、迷惑電話拒否設定の設定項目の中で、登録番号着信拒否設定 (→151 ページ) を ON にする必要があります。登録番号着信拒否設定 ON にしないと着信を拒否できません。
- 拒否登録した電話番号を確認することができます。(→155 ページ)

## ボタン操作

1  → 2  → 3  ・最後に応答した電話番号が拒否登録されます。→ 4 

### ボタン操作のヒント

- あらかじめ FF ボタンに  を設定 (→98 ページ) しておく必要があります。

## 着信拒否する電話番号を登録する

### ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「1：一般電話機」→「1：迷惑電話拒否設定」を選択して「迷惑電話拒否設定画面」を表示する (⇒31ページ)

※迷惑電話拒否設定※  
1: 着信拒否番号登録  
2: 登録番号着信拒否  
3: 非通知着信拒否

- 2  (▲▼) で「1：着信拒否番号登録」を選択し  (決定) を押す

※迷惑電話拒否設定※  
1: 着信拒否番号登録  
2: 登録番号着信拒否  
3: 非通知着信拒否

- 3 着信拒否したい電話番号を入力する

※着信拒否番号登録※  
電話番号を  
入力してください  
0450004321

- 電話番号の入力は、24ケタ(☎ 含む)までです。24ケタを超える入力はできません。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶) で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

- 4  (決定) を押す

※着信拒否番号登録※  
登録しました

約2秒後

※迷惑電話拒否設定※  
1: 着信拒否番号登録  
2: 登録番号着信拒否  
3: 非通知着信拒否

- 登録した電話番号が拒否登録されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

- 拒否登録件数が60件を超えた場合、警告音とともに「60件登録済みです。登録できません」というメッセージが表示されます。登録した電話番号を削除 (⇒156ページ) してから登録し直してください。
- 既に登録されている電話番号を登録すると、警告音とともに「既に登録されています」というメッセージが表示され、約2秒後に手順3の画面に戻ります。
- 登録した電話番号からかかってきた電話を拒否するためには、迷惑電話拒否設定の設定項目の中で、登録番号着信拒否設定 (⇒151ページ) をONにする必要があります。登録番号着信拒否設定ONにしないと着信を拒否できません。
- 拒否登録した電話番号を確認することができます。(⇒155ページ)

# 迷惑電話を着信拒否する

## ボタン操作

- 1 → 2 迷惑電話拒否 → 3 着信拒否したい電話番号を入力する →
- 4 ・登録した電話番号が拒否登録されます。 → 5

## ボタン操作のヒント

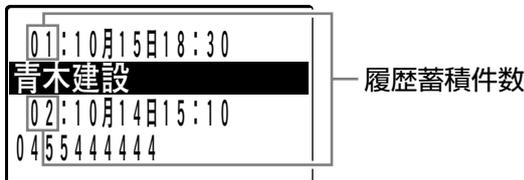
- あらかじめFFボタンに を設定 (→98ページ) しておく必要があります。

## 着信履歴から着信拒否する電話番号を登録する

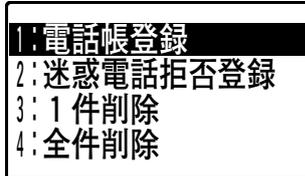
漢字

## ナビ操作

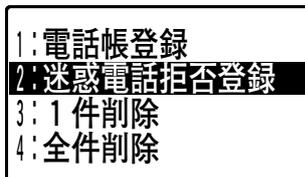
- 1 拒否登録したい着信履歴を表示する  
(検索の方法は→65ページ)



- 2 を押す



- 3 (▲▼) で「2:迷惑電話拒否登録」を選択し (決定) を押す



- 4 (▲▼) で「1:はい」を選択する

迷惑電話拒否番号に  
登録しますか?

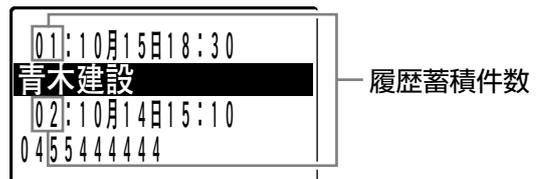
- 1:はい
- 2:いいえ

- 「2:いいえ」を選択し (決定) を押すと、手順1の画面に戻ります。

- 5 (決定) を押す

迷惑電話拒否番号  
登録しました

約2秒後



- 選択した履歴の電話番号が拒否登録されます。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

## お知らせ

- 拒否登録件数が60件を超えた場合、警告音とともに「60件登録済みです。登録できません」というメッセージが表示されます。登録した電話番号を削除 (→156ページ) してから登録し直してください。
- 非通知の着信の場合、登録することができません。
- 既に登録されている電話番号を登録すると、警告音とともに「既に登録されています」というメッセージが表示されます。
- 登録した電話番号からかかってきた電話を拒否するためには、迷惑電話拒否設定の設定項目の中で、登録番号着信拒否設定 (→151ページ) をONにする必要があります。登録番号着信拒否設定 ON にしないと着信を拒否できません。
- 拒否登録した電話番号を確認することができます。(→155ページ)

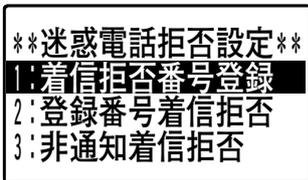
## 迷惑電話拒否を設定／解除する

迷惑電話拒否機能を有効にするかまたは無効にするかの設定をします。  
OFFに設定すると、迷惑電話拒否登録をした電話番号から電話がかかってきても、その着信を拒否できません。

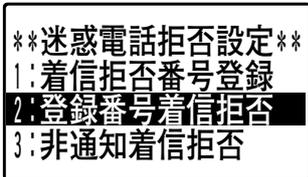
### 迷惑電話拒否を設定する

#### ナビ操作

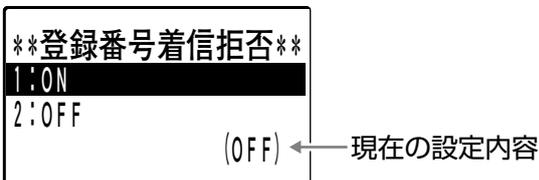
- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「1：一般電話機」→「1：迷惑電話拒否設定」を選択して「迷惑電話拒否設定画面」を表示する (→31ページ)



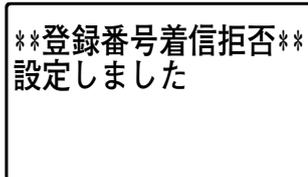
- 2 (▲▼) で「2：登録番号着信拒否」を選択し (決定) を押す



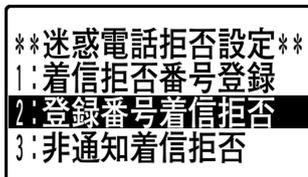
- 3 (▲▼) で「1：ON」を選択する



- 4 (決定) を押す



約2秒後



- 着信拒否が設定されます。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。
- FFボタンに (迷惑電話拒否) を設定している場合は、迷惑電話拒否ランプが赤色点灯します。

#### ボタン操作

- 待ち受け中に  
1 (迷惑電話拒否) • 迷惑電話拒否ランプが赤色点灯します。

#### ボタン操作のヒント

- あらかじめ FF ボタンに (迷惑電話拒否) を設定 (→98 ページ) しておく必要があります。

#### お知らせ

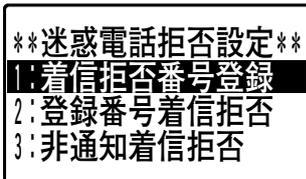
- 迷惑電話着信拒否した着信の履歴は、システム着信履歴に「拒否」として残ります。

# 迷惑電話を着信拒否する

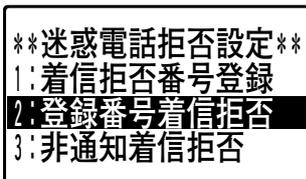
## 迷惑電話拒否を解除する

### ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「1：一般電話機」→「1：迷惑電話拒否設定」を選択して「迷惑電話拒否設定画面」を表示する (→31ページ)



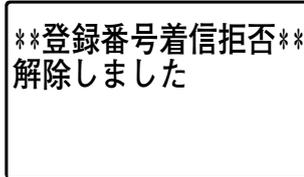
- 2 (▲▼) で「2：登録番号着信拒否」を選択し (決定) を押す



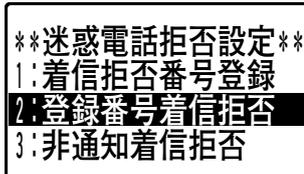
- 3 (▲▼) で「2：OFF」を選択する



- 4 (決定) を押す



約2秒後



- 着信拒否設定が解除されます。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。
- FFボタンに 迷惑電話拒否 を設定している場合は、迷惑電話拒否ランプが消灯します。

8

迷惑電話を着信拒否する

### ボタン操作

待ち受け中に

- 1 点灯している 迷惑電話拒否 (ON) ランプが消灯します。

### ボタン操作のヒント

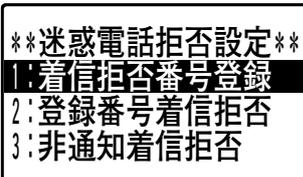
- あらかじめ FF ボタンに 迷惑電話拒否 を設定 (→98 ページ) しておく必要があります。

## 非通知着信拒否を設定／解除する

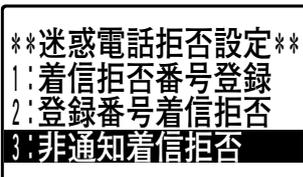
### 非通知着信拒否を設定する

#### ナビ操作

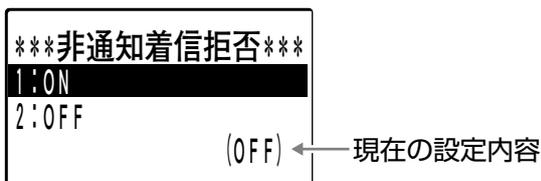
- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「1：一般電話機」→「1：迷惑電話拒否設定」を選択して「迷惑電話拒否設定画面」を表示する (⇒31ページ)



- 2  (▲▼) で「3：非通知着信拒否」を選択し  (決定) を押す



- 3  (▲▼) で「1：ON」を選択する



- 4  (決定) を押す

\*\*\*非通知着信拒否\*\*\*  
設定しました

約2秒後

\*\*\*迷惑電話拒否設定\*\*\*  
1: 着信拒否番号登録  
2: 登録番号着信拒否  
3: 非通知着信拒否

- 非通知着信拒否が設定されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

#### ボタン操作

待ち受け中に

- 1  非通知着信拒否 ● 非通知着信拒否ランプが赤色点灯します。

#### ボタン操作のヒント

- あらかじめ FF ボタンに  非通知着信拒否 を設定 (⇒98 ページ) しておく必要があります。

#### お知らせ

- 非通知種別の「公衆電話」や「表示圏外」(⇒194 ページ) も非通知着信拒否するかどうかを設定できます。

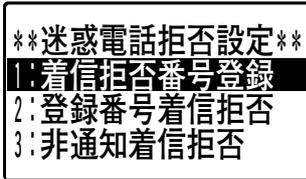
 取付け時設定

# 迷惑電話を着信拒否する

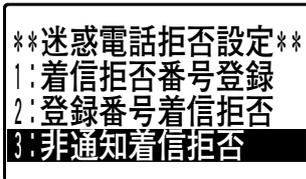
## 非通知着信の拒否設定を解除する

### ナビ操作

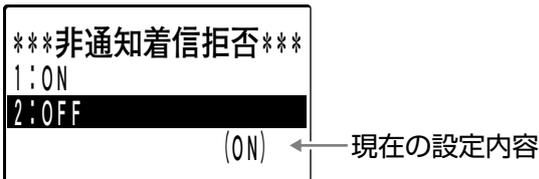
- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「1：一般電話機」→「1：迷惑電話拒否設定」を選択して「迷惑電話拒否設定画面」を表示する (→31ページ)



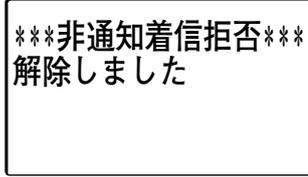
- 2 (▲▼) で「3：非通知着信拒否」を選択し (決定) を押す



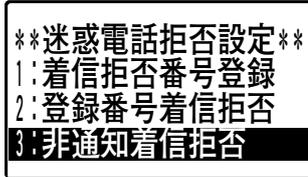
- 3 (▲▼) で「2：OFF」を選択する



- 4 (決定) を押す



約2秒後



- 非通知着信拒否設定が解除されます。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

### ボタン操作

待ち受け中に

- 1 点灯している  非通知着信拒否 • 非通知着信拒否ランプが消灯します。

#### ボタン操作のヒント

- あらかじめ FF ボタンに  非通知着信拒否 を設定 (→98 ページ) しておく必要があります。

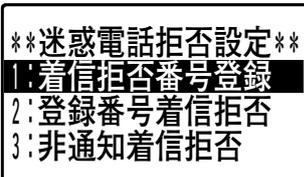
拒否登録した電話番号を確認／削除する

漢字

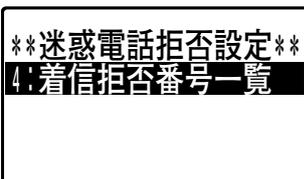
拒否登録した電話番号を確認する

ナビ操作

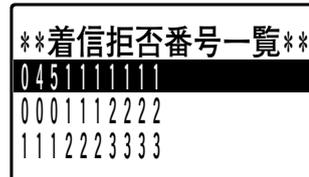
- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「1：一般電話機」→「1：迷惑電話拒否設定」を選択して「迷惑電話拒否設定画面」を表示する (⇒31ページ)



- 2 (▼) または (▶) で「4：着信拒否番号一覧」を選択する



- 3 (決定) を押す



- 拒否登録した電話番号の一覧が表示されます。
- (▶) で次の画面が表示され、 (◀) で前の画面に戻ります。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

ボタン操作

- 1 (モニター) → 2 (迷惑電話拒否) → 3 (確認/会議) •登録した電話番号が表示されます。→
- 4 次の電話番号は (▽ 音量) (△) → 5 (モニター)

ボタン操作のヒント

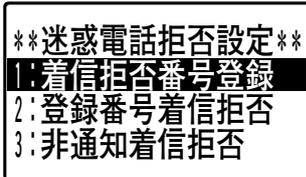
- あらかじめ FF ボタンに (迷惑電話拒否) と (確認/会議) を設定 (⇒98 ページ) しておく必要があります。

# 迷惑電話を着信拒否する

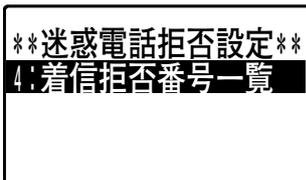
## 拒否登録した電話番号を削除する

### ナビ操作

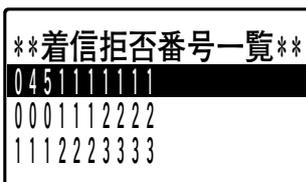
- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「1：一般電話機」→「1：迷惑電話拒否設定」を選択して「迷惑電話拒否設定画面」を表示する (→31ページ)



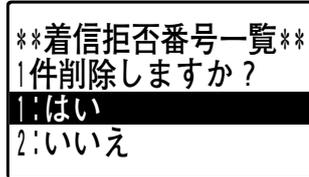
- 2 (▼) または (▶) で「4：着信拒否番号一覧」を選択し (決定) を押す



- 3 (▲▼) で削除したい電話番号を選択し (機能) を押す

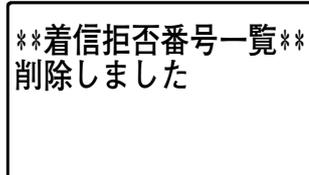


- 4 (▲▼) で「1：はい」を選択する

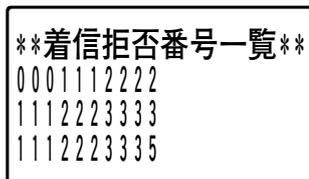


- 「2：いいえ」を選択し (決定) を押すと、手順3の画面に戻ります。

- 5 (決定) を押す



約2秒後



- 選択した電話番号が削除されます。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

### ボタン操作

- 1 → 2 迷惑電話拒否 → 3 確認/会議 • 登録した電話番号が表示されます。→
- 4 音量 で削除したい電話番号を表示する → 5 迷惑電話拒否 →
- 6 保留 • 選択した電話番号が削除されます。→ 7 モニター

### ボタン操作のヒント

- あらかじめ FF ボタンに 迷惑電話拒否 と 確認/会議 を設定 (→98 ページ) しておく必要があります。

## FFボタンに着信拒否機能を設定する

非通知着信拒否や迷惑電話拒否の着信拒否機能をFFボタンに設定し、 や  として利用することができます。

### ボタン操作

1  → 2  → 3 設定したいFFボタン → 4 下記の設定番号 →

    : 非通知着信を拒否

    : 拒否登録した発信者番号からの着信を拒否

5  → 6 

### ボタン操作のヒント

- FFボタンに登録した着信拒否機能を削除するには、手順4を除いて操作します。

### お知らせ

- FFボタンに着信拒否機能を設定すると、着信拒否を設定中は着信拒否機能を設定したFFボタンのランプが赤色点灯し、設定解除時は着信拒否機能を解除したFFボタンのランプが消灯します。
- 非通知着信拒否設定時(→153ページ)、非通知着信以外に「公衆電話」と「表示圏外」(→194ページ)も拒否するかどうかを設定できます。
- ISDN回線または電話(アナログ)回線でお使いの場合、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。(→194ページ) IP回線をお使いの場合、ナンバー・ディスプレイの契約が必要かどうかはIP電話事業者によります。
- 迷惑電話拒否で拒否した着信は、システム着信履歴に不応答として記憶されます。
- 着信を受け付けられない相手には以下のガイダンスが流れます。

番号非通知の相手	恐れ入りますが、電話番号の先頭に186とつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。
公衆や表示圏外の相手	恐れ入りますが、電話番号が通知されていないためこの電話はお受けできません。電話番号が通知される電話からおかけ直してください。
拒否登録した相手	この電話はお受けできません。ご了承ください。

- ガイダンスの送出回数を、1回～5回のいずれかに設定できます。

## 迷惑電話拒否ガイダンスを送出する

外線通話中に  を押すと、通話中の相手に指定のガイダンスを送出し、その通話を強制的に切ることができます。

### ボタン操作

1 通話中に  を押す

### ボタン操作のヒント

- あらかじめFFボタンに  を設定(→98ページ)しておく必要があります。

### お知らせ

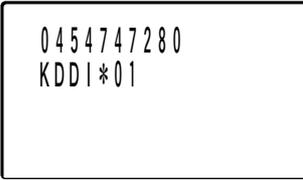
- ガイダンスは、自作録音したガイダンスが送出されます。自作録音していない場合、固定ガイダンス「この電話はお受けできません。ご了承ください。」が送出されます。
- ガイダンスの送出回数を、1回～5回のいずれかに設定できます。

外線へ電話をかけたとき、市内発信、市外発信、発信日時により通話料金が異なる複数の電話回線の中から、自動的に特定の電話会社を選択して発信することができます。

**お知らせ**

- 漢字表示付電話機の場合、液晶表示部に自動選択された外線（キャリア）名称が表示されます。

例：KDDIの場合



0454747280  
KDDI\*01

- プリセットダイヤルで電話をかけた場合も、ACR機能は動作します。

外線電話帳に登録した付加情報（会社コードなどの情報）を、着信中または通話中に液晶表示部に表示することができます。

### ◀ナビ操作

#### 着信中の場合

（発信者情報（発信者番号や発信者名前）が表示されているとき）

1  (▲)を押す

```
***メニュー***
1: 発信者付加情報表示
```

2  (決定)を押す

```
会社コード
1234567889
```

- 外線電話帳に登録した付加情報が表示（全角40文字、半角80文字まで）されます。
-  を押すとメニュー画面に戻ります。

#### 通話中の場合

（発信者情報（発信者番号や発信者名前）が表示されているときに応答して通話しているとき）

1  (▲)を押す

```
***メニュー***
1: 受話音量調整
2: 発信者付加情報表示
3: 迷惑電話拒否登録
```

2  (▲▼)で「2：発信者付加情報表示」を選択する

```
***メニュー***
1: 受話音量調整
2: 発信者付加情報表示
3: 迷惑電話拒否登録
```

3  (決定)を押す

```
会社コード
1234567889
```

- 外線電話帳に登録した付加情報が表示（全角40文字、半角80文字まで）されます。
-  を押すとメニュー画面に戻ります。

### ▶ボタン操作

着信中または通話中や通話録音中に

1  を押す

- 付加情報の表示を終了するには、 を押すか、 を押してください。

#### 📖 ボタン操作のヒント

- あらかじめFF ボタンに  を設定（➡97ページ）しておく必要があります。

### 📌 お知らせ

- 外線電話帳に付加情報を登録していない場合、「付加情報はありません」と表示されます。
- 着信中に付加情報を表示中、その着信に応答すると、付加情報表示を終了し、通話中表示（通話時間表示など）になります。  
通話中に、引き続き付加情報を表示したい場合は、着信応答後、再度、通話中の場合 の手順1からやりなおしてください。

主装置が障害、警告などのアラーム（カレントアラーム）を検出したときに、あらかじめFFボタンに設定（⇒97ページ）したカレントアラームボタンが赤色に点灯し、障害が発生したことを知ることができます。カレントアラームボタンを押すと液晶表示部にはカレントアラームコードが表示されます。

## 電話機の液晶表示部で確認する

アラームが発生し、が赤色に点灯したら

### 1 を押す

漢字表示タイプ

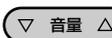
2107

数字表示タイプ

2107

- カレントアラームコードが液晶表示部に表示されます。
- はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。

### 📖 操作のヒント

- アラームが発生した場合、FFボタンに  を設定（⇒97ページ）したすべての電話機が赤色に点灯します。アラームが解除されると消灯します。
- カレントアラームコードが複数ある場合、（▲▼）または  を押して、発生しているカレントアラームコードをすべて表示することができます。

### 🗨️ お願い

- バッテリー駆動（AC電源断）時のカレントアラームコード「1307」が表示された場合、停電、またはコンセントから電源プラグ・ACアダプターが抜けている可能性があります。ご確認ください。その他の表示が出ている場合、液晶表示部に表示されるカレントアラームのコードを確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

NTTの付加サービスのフレックスホン（着信転送機能や通信中転送機能）を契約しなくても、多彩な転送機能を使うことができます。（⇒165ページ～185ページ） 取付け時設定 ただし、転送先へ発信するために着信用とは別の空き回線が必要です。

ISDN回線のフレックスホンを利用した転送機能も使えます。（⇒186ページ）

すべての転送機能に関して、相手が本システムに電話をかけたときの通話料金は電話をかけた相手のご負担、本システムから転送先への通話料金は本システム側のご負担となります。

また、取付け時の設定により、自動転送にかかった料金の合計を確認することもできます。 取付け時設定

## 手動による転送について

 取付け時設定

### 手動転送（⇒165ページ）

外線から相手と通話中に、手動で別の外線に転送できます。



### お助け転送（⇒166ページ）

外線から着信があっても通話中で応答できないときは、手動で別の外線に転送できます。



（通話中に別の外線から電話）

### お知らせ

- ISDN回線にかかってきた電話を、ISDN回線またはIP回線に転送できます。
- IP回線にかかってきた電話を、ISDN回線またはIP回線に転送できます。
- 同時に転送できる通話は、システムで自動転送と手動転送を合わせて2通話です。
- FFボタンに「設定／転送」機能を設定（⇒98ページ）している場合、同時にこれ以上転送できないときにFFボタンのランプは赤色点灯となります。
- 転送先によって、通話中に雑音が入ることがあります。
- 転送電話中の外線に割り込んで通話することはできません。

## 自動転送について

取付け時設定

### 自動転送（一般着信）（⇒167ページ）

会社にかかってきた電話を、取付け時に設定した昼間・夜間モード（⇒287ページ）ごとに、指定電話機で設定した転送先に自動転送します。

例： 営業時間後の電話を自宅に転送。

- この機能を使うには、どの外線にかかってきた電話を転送するか、あらかじめ設定する必要があります。

取付け時設定



### 自動転送（個別着信）（⇒170ページ）

外出前にセットすると、個別の電話機にかかってきた電話をあらかじめ設定した転送先に自動転送します。

例： 外出中に自分あてにかかってきた電話のみを携帯電話などに転送

- この機能を使うには、どの電話機にかかってきた電話を転送するか、あらかじめ設定する必要があります。

取付け時設定

また、取付け時の設定により、内線からかかってきた電話を転送することもできます。

取付け時設定

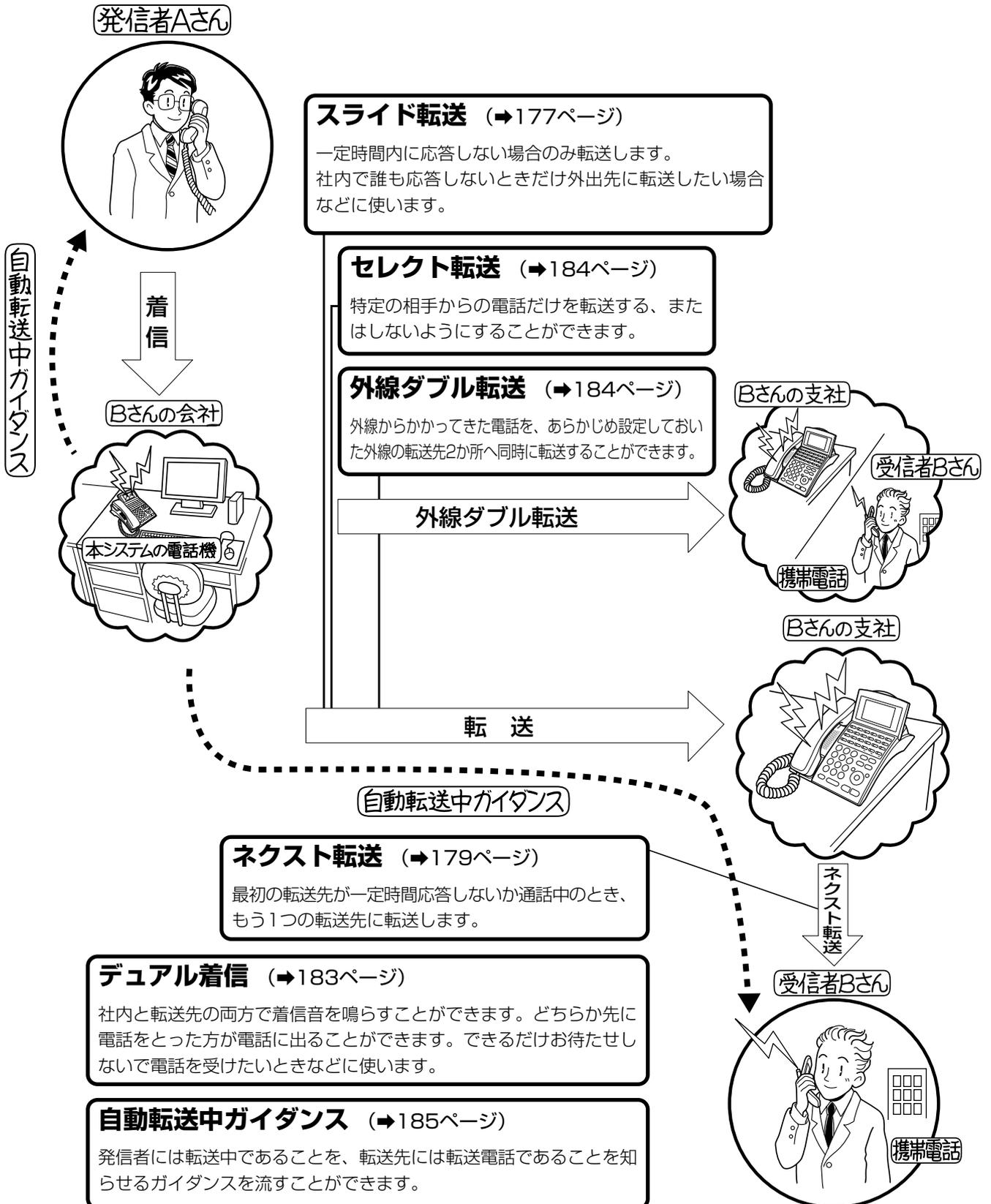


### お知らせ

- 転送先の設定は、指定電話機（⇒18ページ）から行います。
- すでに着信転送（外線転送）が1つ（または2つ 取付け時設定）行われているときに電話がかかってきた場合、転送されずに一般の外線着信に切り替わります。
- FF ボタンに「設定／転送」機能を設定（⇒98ページ）している場合、同時にこれ以上転送できないときにFFボタンのランプは赤色点灯となります。
- 転送先が一定時間内に応答しないと、転送されずに一般の外線着信に切り替わります。
- 自動転送されてから、一定時間（お買い上げ時の設定は30分）が経過すると、転送先に長時間通話防止のための警告音が聞こえ、約30秒後に自動的に電話が切れます。
- 転送先により、雑音が入る場合があります。
- 転送中の外線に割り込んで通話することはできません。
- ISDN回線にかかってきた電話を、ISDN回線またはIP回線に転送できます。
- IP回線にかかってきた電話を、ISDN回線またはIP回線に転送できます。
- IP回線のサービスは各IP電話事業者により異なります。IP回線で使う説明をしている機能でも各IP電話事業者によりサービス内容が異なる場合がありますので、サービスの詳細は各IP電話事業者にお問い合わせください。

## さらに便利に転送できる

自動転送（一般着信、個別着信）機能には、以下のような種類があり、これを組み合わせることによりさらに便利にご利用いただけます。



- オプションのメロディートークユニット (VB-F262) を使用しネームトークを利用している場合、転送先に発信者の名前を音声で読み上げて着信をお知らせすることもできます。

## 自動転送設定中の表示について

漢字表示付電話機をお使いの場合、転送設定をしていると液晶表示部に転送先が表示されます。

10月23日 SUN 16:45 転送 17 転送先 0450001234	転送設定中であることが 表示されます。(右表参照)  転送先電話番号
---	---

着信種別	表示
一般着信	転送
個別着信	個別転送

### お知らせ

- 複数の自動転送先電話番号（一般着信、個別着信）を設定している場合、表示内容は、個別着信転送先電話番号、一般着信転送先電話番号の優先順位で表示されます。

## 自動転送時の発信者番号通知について

**ISDN**

多彩な外線転送サービスの自動転送をお使いの場合、転送先に主装置からの転送であることを通知する発信者番号を設定することができます。 **取付け時設定**

これにより、通常の外線にかけるときとは別の発信者番号を外線転送時に通知することができるため、転送先は発信者番号表示により、応答する前に転送されてきた電話であるかどうかを知ることができます。

### お知らせ

- この機能をお使いになるには、NTTとi-ナンバーまたはダイヤルインサービス（付加サービス）を契約している必要があります。
- 設定できる発信者番号は、実際に外線転送に使用しているi-ナンバーまたはダイヤルインサービスの契約者回線番号および契約番号対応の電話番号に限ります。

## 通話中に手動で転送する

☎ 取付け時設定

取付け時の設定により、電話に出たときに簡単な操作で他の携帯電話やPHSなどに転送することができます。



通話中の相手に転送することを伝え

- 1 **保留** を押す

---

- 2 **発信** を押す

---

- 3 転送先の電話番号を押す

---

- 4 **井** を押す

---

- 5 相手が応答したら、転送する旨を連絡します

6 **設定/転送** を押す

- 保留中の電話が転送されます。
- 転送先と転送元の外線ランプが赤色に点灯します。

## 7 受話器を戻す

- 「ブー」という音を確認してから受話器を戻してください。

## 📖 操作のヒント

- 手順1～手順4の代わりに、自動保留 (→258ページ) を登録した短縮ダイヤル、またはワンタッチボタンを押して操作することもできます。
- 手動転送されてから、一定の時間 (お買い上げ時の設定は30分) が経過すると、転送先に長時間通話防止のための警報音 (→330ページ) が聞こえ、約30秒後に自動的に電話が切れます。☎ 取付け時設定
- 転送先が「フリーダイヤルなどの相手応答を検出できない番号」も転送することができます。☎ 取付け時設定

着信中に手動で転送する(お助け転送/着信中ワンタッチ転送) 

外線から着信があっても、通話中で応答できない場合には、簡単な操作で他の外線へ転送することができます。この機能は、転送先電話番号をあらかじめ設定しておく必要があります。



(通話中に別の外線から電話)

通話中に

- 1 着信音が鳴っている間に、   を押す

●FFボタンに  ボタンを設定している場合、 を押します。

- 2 あらかじめ設定した転送先へ転送される

- 転送先は、転送操作を行った電話機の個別着信(➡170ページ)の転送先となります。
- 「個別着信を自動転送」の機能をご利用の場合、転送先が共用となりますので、ご注意ください。
- 転送先が通話中の場合、一般着信に切り替わります。

FFボタンに  を設定するには

- 1   を押す

- 2 設定したいFFボタンを押す

- 3    を押す

- 4   を押す

- 「ブー」という音が聞こえたら、設定は完了です。

設定を解除するには

上記の手順3を抜いて操作します。

 操作のヒント

- 転送先が一定時間(20秒~120秒 ) 不応答の場合、転送を取り消し、一般着信となります。
- 転送先の電話番号の確認方法は、自動転送(個別着信)の設定(➡170ページ)を参照してください。

 お知らせ

- スライド転送が起動する前に本操作による転送が行われた場合、スライド転送は行われません。
- ネクスト転送を設定している場合、ネクスト転送が行われます。
- 自動転送中ガイダンス(➡185ページ)を流すことができます。
- デュアル着信(➡183ページ)中は、あらかじめ設定された転送先に転送中のため、お助け転送はできません。
- お助け転送の操作を行うと、内線電話機での着信音は止まります。
- すでに1つ(または2つ ) の外線転送が行われている場合、転送することはできません。
- 転送電話中の外線に割り込んで通話することはできません。
- 通話中の電話機に、外線からの電話がかかっているときに転送することができます。他の内線電話機にかかっている外線からの着信をお助け転送することはできません。
- 通話していないときに外線からかかってきた場合も、上記と同じ操作方法で転送することができます。

## 一般着信を自動転送

取付け時設定

外線にかかってきた電話を自動的にあらかじめ設定しておいた外線の転送先に転送することができます。また、2か所の転送先へ同時に転送することもできます（外線ダブル転送）。（➡184ページ）

## 自動転送先の電話番号を設定する

指定

転送先の設定は、指定電話機（➡18ページ）から行います。

本システムの昼間/夜間/夜間1/夜間2モードごとに転送先を1か所（または2か所）設定することができます。自動転送する/しないは、モード（昼間/夜間/夜間1/夜間2）によります。（➡287ページ）

## ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「4：転送設定」を選択して「転送設定画面」を表示する（➡31ページ）

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 2  (▲▼) で「1：外線転送」を選択し  (決定) を押す

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 3  (▲▼) で「1：一般着信転送先設定」を選択し  (決定) を押す

```
****外線転送設定****
1:一般着信転送先設定
2:個別着信転送先設定
3:ネクスト転送先設定
```

- 4  (▲▼) でモード（昼間、夜間、夜間1、夜間2）を選択し  (決定) を押す

```
***一般着信転送先***
1:昼間モード
2:夜間モード
3:夜間1モード
```

- 5  (▲▼) で「1：転送先1」を選択し  (決定) を押す

```
*****昼間モード*****
1:転送先1
2:転送先2
0451111111 ← 現在の転送先電話番号
```

- 6 外線捕捉指定特番を入力する

※ 転送先外線指定設定を取付け時に設定していない場合、この手順はありません。手順7の画面に移ります。

```
*****昼間モード*****
外線捕捉指定特番を
入力してください
—
```

- 外線捕捉指定特番00、94、95、96、99（外線指定なし）、または01～04（IP回線をお使いの場合、09～12）を入力（2ケタ）してください。

- 7 転送先の電話番号を入力する

```
*****昼間モード*****
転送先1
0450004321
```

- 電話番号の入力は、24ケタ（ 含む）までです。24ケタを超える入力はありません。
- 転送先電話番号には、 ～ 、、、短縮ダイヤル（ + 番号）が入力できます。

8 (決定)を押す

\*\*\*\*\*昼間モード\*\*\*\*\*  
転送先1  
設定しました

約2秒後

\*\*\*\*\*昼間モード\*\*\*\*\*  
1:転送先1  
2:転送先2  
0450004321 ← 設定した転送先電話番号

<外線ダブル転送の設定>

- 外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を設定する場合、(決定) (▲▼)で「2:転送先2」を選択し手順5~8を繰り返してください。

9 続けて夜間モード、夜間1モード、夜間2モードを設定する場合、戻るを押して手順3~8を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
- (フック)を押すと待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 転送先設定を解除する場合、手順7で戻るを押して電話番号を消去してください。
- それぞれのモードで自動転送するように設定されている場合、電話機の表示部にそれぞれの転送先の電話番号が表示されます。

お知らせ

- 「転送先2」の設定は、2か所に同時に転送（外線ダブル転送）する2つ目の電話番号を設定するものです。ネクスト転送時の2つ目の転送先ではありません。
- 自動転送（一般着信）をする/しないは、昼間/夜間/夜間1/夜間2ごとに取付け時に設定します。取付け時設定

ボタン操作

待ち受け中に

1 (モニター) → 2 (設定/転送) → 3 (2) (0) → 4 モード番号 (1 ~ 4) と (\*) →

① : 昼間モード      ③ : 夜間1モード

② : 夜間モード      ④ : 夜間2モード

5 外線捕捉指定特番 ● 外線捕捉指定特番00、94、95、96、99（外線指定なし）、または01 ~ 08 → (IP回線をお使いの場合、09 ~ 16)を入力(2ケタ)してください。

※ 転送先外線指定設定を取付け時に設定していない場合、この手順はありません。手順6の画面に移ります。

6 転送先の電話番号 ● 電話番号の入力は、24ケタ(#+含む)までです。→ 7 (保留) → 8 (モニター)

- 転送先電話番号には、0 ~ 9、\*、#、短縮ダイヤル(短縮 ×××)が入力できます。

ボタン操作のヒント

転送先の設定を解除するには

- 転送先の設定を解除する場合、手順5（外線捕捉指定特番）と手順6（転送先の電話番号）を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

**ボタン操作**

**設定した転送先電話番号を確認するには**

- 手順2で (設定/転送) の代わりに (確認/会議) を押して、手順3～4の操作を行うと、設定した電話番号が表示されます。電話番号を確認したら、(モニター) を押して元の表示に戻してください。
- 漢字表示付電話機の場合、(確認/会議) はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(→98ページ)

**外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を設定するには (取付け時設定)**

外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を設定するときは、手順3で (2) (2) を押して設定してください。それ以外の操作は上記設定操作と同じです。

- あらかじめ転送先を短縮ダイヤルやFFボタンに登録しておく、もっと簡単に設定することができます。

**ワンタッチボタンで転送先を設定、確認、解除する**

1 ワンタッチボタン※1 → 2 (保留) → 3 (モニター)

- 設定の確認のみの場合、手順2は不要です。
- ※1：あらかじめ、転送先や、転送確認、転送解除を、個人短縮80～89（ワンタッチボタン）に設定する必要があります。

**FFボタンで転送先を設定、確認、解除する**

1 (モニター) → 2 FFボタン※1 → 3 (保留) → 4 (モニター)

- 設定の確認のみの場合、手順3は不要です。
- ※1：あらかじめ、転送先や、転送確認、転送解除を登録した短縮ダイヤルを、FFボタンに設定する必要があります。

**短縮ダイヤルに機能の登録を行う**

**短縮ダイヤルに転送先電話番号を登録する**

1 (モニター) (設定/転送) (短縮) → 2 登録したい短縮番号 ※1 →  
3 (短縮) (＊) (＃) → 4 (＃) (6) (2) (1) ※2 →  
5 モード番号(1～4) と (＊) → 6 転送先の電話番号 → 7 (保留) →  
8 (モニター)

- ※1：個人短縮番号または共通短縮番号を入力します。
- ※2：外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を登録する場合、(＃) (6) (2) (3) を押します。

**短縮ダイヤルに転送先電話番号の登録確認する機能を登録する**

1 (モニター) (設定/転送) (短縮) → 2 登録したい短縮番号 ※1 →  
3 (短縮) (＊) (＃) → 4 (＃) (6) (2) (2) ※2 →  
5 モード番号 (＊) → 6 (保留) → 7 (モニター)

- ※1：個人短縮番号または共通短縮番号を入力します。
- ※2：外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を確認する場合、(＃) (6) (2) (4) を押します。

**短縮ダイヤルに転送先電話番号の登録解除する機能を登録する**

1 (モニター) (設定/転送) (短縮) → 2 登録したい短縮番号 ※1 →  
3 (短縮) (＊) (＃) → 4 (＃) (6) (2) (1) ※2 →  
5 モード番号 (＊) → 6 (保留) → 7 (モニター)

- ※1：個人短縮番号または共通短縮番号を入力します。
- ※2：外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を解除する場合、(＃) (6) (2) (3) を押します。

- 昼間/夜間モードごとに転送を行っている場合、モードごとに設定、確認、解除の操作が必要です。

**FFボタンに短縮ダイヤルを設定する**

1 (モニター) → 2 (設定/転送) → 3 設定したいFFボタン → 4 上記で設定した短縮ダイヤル番号 →  
5 (保留) → 6 (モニター)

## 個別着信を自動転送

☰ 取付け時設定

外線から個別に電話機にかかってきた電話（サブアドレスやダイヤルイン、i・ナンバー、セレクト着信の個別着信など）を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先へ、自動的に転送します。または、自動転送（一般着信）と同じ転送先へ転送したり、2か所の転送先へ同時に転送（外線ダブル転送）することもできます。☰ 取付け時設定

### 転送先の電話番号を設定する

指定

転送先の設定は、指定電話機（➡18ページ）から行います。

実際に転送するかどうかは、各電話機（指定電話機含む）でセットします。（➡173ページ、174ページ）

#### ◀ナビ操作

- 1 ④ (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「4：転送設定」を選択して「転送設定画面」を表示する（➡31ページ）

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 2 ④ (▲▼) で「1：外線転送」を選択し ④ (決定) を押す

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 3 ④ (▲▼) で「2：個別着信転送先設定」を選択し ④ (決定) を押す

```
****外線転送設定****
1:一般着信転送先設定
2:個別着信転送先設定
3:ネクスト転送先設定
```

- 4 設定する電話機の内線番号を入力し ④ (決定) を押す

```
***個別着信転送先***
内線番号を
入力してください
—
```

- 5 ④ (▲▼) で「1：転送先1」を選択し ④ (決定) を押す

```
**内線10 転送先**
1:転送先1
2:転送先2
0451112222 ← 現在の転送先電話番号
```

- 6 外線捕捉指定特番を入力する

※ 転送先外線指定設定を取付け時に設定していない場合、この手順はありません。  
手順7の画面に移ります。

```
**内線10 転送先**
外線捕捉指定特番を
入力してください
—
```

- 外線捕捉指定特番00、94、95、96、99（外線指定なし）、または01～04（IP回線をお使いの場合、09～12）を入力（2ケタ）してください。

- 7 転送先の電話番号を入力する

```
**内線10 転送先**
転送先1
0323444444
```

- 電話番号の入力は、24ケタ（#含む）までです。24ケタを超える登録はできません。
- 転送先電話番号には、①～⑨、\*、#、短縮ダイヤル（短縮 + 番号）が入力できます。

8 (決定)を押す

\*\*内線10 転送先\*\*  
転送先1  
設定しました

約2秒後

\*\*内線10 転送先\*\*  
1: 転送先1  
2: 転送先2  
032344444 ← 設定した転送先電話番号

●外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を設定する場合、(決定) (▲▼)で「2: 転送先2」を選択し手順5～8を繰り返してください。

9 続けて内線番号ごとに設定する場合、

戻る (戻る) を押して手順3～8を繰り返す

● (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

● 転送先設定を解除する場合、手順7で (戻る) を押して電話番号を消去してください。

お知らせ

● 「転送先2」の設定は、2か所に同時に転送（外線ダブル転送）する2つ目の電話番号を設定するものです。ネクスト転送時の2つ目の転送先ではありません。

ボタン操作

待ち受け中に

1 (モニター) → 2 (設定/転送) → 3 (1) (0) → 4 設定する電話機の内線番号 →

5 外線捕捉指定特番 ●外線捕捉指定特番00、94、95、96、99（外線指定なし）、または01～08 →  
（IP回線をお使いの場合、09～16）を入力（2ケタ）してください。

※ 転送先外線指定設定を取付け時に設定していない場合、この手順はありません。手順6の画面に移ります。

6 転送先の電話番号 ●電話番号の入力は、24ケタ（#含む）までです。→ 7 (保留) → 8 (モニター)

●転送先電話番号には、(0)～(9)、(\*、#)、短縮ダイヤル (短縮 ×××) が入力できます。

ボタン操作のヒント

設定した転送先電話番号を確認するには

待ち受け中に

1 (モニター) → 2 (確認/会議) → 3 (1) (0) → 4 設定した電話機の内線番号 →

5 設定した内容を確認する → 6 (モニター)

●漢字表示付電話機の場合、(確認/会議) はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(→98ページ)

転送先の設定を解除するには

●転送先の設定を解除する場合、手順5（外線捕捉指定特番）と手順6（転送先の電話番号）を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を設定するには (取付け時設定)

●外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を設定する場合、手順4で (1) (2) を押して設定してください。それ以外の操作は上記設定操作と同じです。

## ボタン操作

●あらかじめ転送先を短縮ダイヤルやFFボタンに登録しておく、もっと簡単に設定することができます。

### ワンタッチボタンで転送先を設定、確認、解除する

1 ワンタッチボタン\*1 → 2 保留 → 3 モニター

●設定の確認のみの場合は手順2は不要です。

※1: あらかじめ、転送先や、転送確認、転送解除を、個人短縮80~89(ワンタッチボタン)に設定する必要があります。

### FFボタンで転送先を設定、確認、解除する

1 モニター → 2 FFボタン\*1 → 3 保留 → 4 モニター

●設定の確認のみの場合は手順3は不要です。

※1: あらかじめ、転送先や、転送確認、転送解除を登録した短縮ダイヤルを、FFボタンに設定する必要があります。

### 短縮ダイヤルに機能の登録を行う

#### 短縮ダイヤルに転送先電話番号を登録する

1 モニター 設定/転送 短縮 → 2 登録したい短縮番号 ※1 →  
 3 短縮 \* 井 → 4 井 6 1 1 ※2 →  
 5 設定する電話機の内線番号 → 6 転送先の電話番号 → 7 保留 →  
 8 モニター

※1: 個人短縮番号または共通短縮番号を入力します。

※2: 外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を登録する場合、井 6 1 3 を押します。

#### 短縮ダイヤルに転送先電話番号の登録確認する機能を登録する

1 モニター 設定/転送 短縮 → 2 登録したい短縮番号 ※1 →  
 3 短縮 \* 井 → 4 井 6 1 2 ※2 →  
 5 設定した電話機の内線番号 → 6 保留 → 7 モニター

※1: 個人短縮番号または共通短縮番号を入力します。

※2: 外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を確認する場合、井 6 1 4 を押します。

#### 短縮ダイヤルに転送先電話番号の登録解除する機能を登録する

1 モニター 設定/転送 短縮 → 2 登録したい短縮番号 ※1 →  
 3 短縮 \* 井 → 4 井 6 1 1 ※2 →  
 5 設定した電話機の内線番号 → 6 保留 → 7 モニター

※1: 個人短縮番号または共通短縮番号を入力します。

※2: 外線ダブル転送の2つ目の転送先電話番号を解除する場合、井 6 1 3 を押します。

### FFボタンに短縮ダイヤルを設定する

1 モニター → 2 設定/転送 → 3 設定したいFFボタン → 4 上記で設定した短縮ダイヤル番号 →  
 5 保留 → 6 モニター

自動転送（個別着信）を他の電話機から設定する

指定

あらかじめ自動転送（個別着信）ができるよう設定した  電話機に対し、他の電話機から自動転送（個別着信）をセットすることができます。

ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「2：指定電話機」→「1：個別着信転送設定」を選択して「個別着信転送設定画面」を表示する (→30ページ)

※個別着信転送設定※  
内線番号を  
入力してください  
--

- 2 個別着信転送をセットする内線番号を入力し  (決定) を押す

※個別着信転送設定※  
内線番号を  
入力してください  
10

- 3  (▲▼) で「1：ON」を選択する

※個別着信転送設定※  
内線10  
1:ON  
2:OFF

- 4  (決定) を押す

※個別着信転送設定※  
設定しました

約2秒後

※個別着信転送設定※  
内線番号を  
入力してください  
--

● 設定した電話番号に個別着信がセットされます。

- 5 続けて個別着信転送をセットする場合、手順2～4を繰り返す

●  を押すと待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- 手順2で入力する内線番号をマルチライン内線番号に設定した場合、対象の  が緑色に点灯します。

操作のヒント

- 設定を解除する場合、手順3で「2：OFF」を選択し  (決定) を押してください。

ボタン操作

待ち受け中に

- 1  → 2  → 3   → 4 設定する電話機の内線番号 → 5  → 6 

ボタン操作のヒント

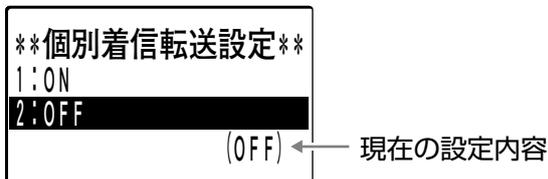
- 設定を解除する場合、手順5で  の代わりに  を押してください。

## 自動転送（個別着信）するようにセットする

席を離れたり、外出するときなどに、個別着信した電話機にかかってきた外線からの電話を、設定した転送先へ自動転送するようにセットします。あらかじめ自動転送（個別着信）ができるよう、設定しておく必要があります。☎ **取付け時設定**

### ナビ操作

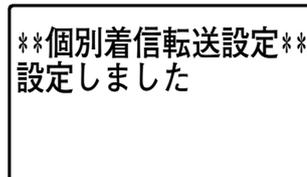
- 1 (▲) を押し、各選択画面で「4：電話機設定」→「1：一般電話機」→「9：個別着信転送設定」を選択して「個別着信転送設定画面」を表示する（⇒30ページ）



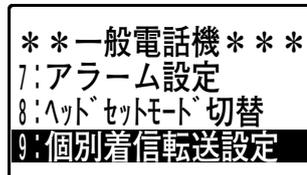
- 2 (▲▼) で「1：ON」を選択する



- 3 (決定) を押す



↓ 約2秒後



- 不在ランプが点灯します。
- フック を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 操作のヒント

- 設定を解除する場合、手順2で「2：OFF」を選択し (決定) を押ししてください。不在ランプが消灯します。
- 自動転送（個別着信）のセット中は、不在ランプが点灯します。
- 自動転送（個別着信）は、外線から転送先を変更することはできません。

### お知らせ

- 自動転送（個別着信）は、不在転送（⇒101ページ）、不在設定（⇒99ページ）と同時に設定できません。
- 個別着信転送先が設定されている場合、上記設定にかかわらず、漢字表示付電話機の液晶表示部に転送先が表示されます。

### ボタン操作

待ち受け中に

- 1 モニター → 2 ＊ → 3 9 2 → 4 ＃ ● 不在ランプが点灯します。 → 5 モニター

### ボタン操作のヒント

#### 転送を解除するには

手順4で ＃ の代わりに ＊ を押ししてください。

- 不在ランプが消灯します。

## 自動転送を設定／解除する

☰ 取付け時設定

## 外から自動転送を設定／解除する（転送リモート）

外線着信転送の自動転送（一般着信）を、外から設定／解除することができます。あらかじめ設定した発信者番号の電話機から、発信者番号を通知してダイヤルインまたはi・ナンバーで電話をかけることで設定／解除します。

### 1 あらかじめ設定した発信者番号の電話機から、自動転送（一般着信）設定用の電話番号にかける

- 解除されている場合、転送するよう設定され確認音（ブブブブブ）が聞こえます。  
（設定されると、社内では内線電話機に設定された自動転送ランプが点灯します）
- 設定されている場合、転送しないよう解除され発信音（ブー）が聞こえます。  
（解除されると、社内では内線電話機に設定された自動転送ランプが消灯します）

#### 📌 お知らせ

- 転送リモート設定用外線の電話番号と設定する電話機の番号は、あらかじめ設定しておきます。☰ 取付け時設定
- 本サービスを利用するにはNTTのナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。
- IP回線で発信者番号を通知できるかどうかは、発信者側が利用している通信事業者によります。
- 外から電話をかけて、自動転送（個別着信）の設定／解除をすることはできません。

## 社内でも自動転送を設定／解除するには

指定

社内で簡単に自動転送の設定／解除ができます。

#### 🔍 ナビ操作

- ### 1
- 📶 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「4：転送設定」を選択して「転送設定画面」を表示する（➡31ページ）

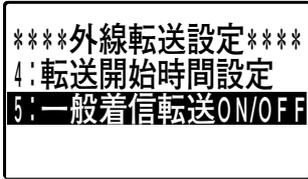
```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- ### 2
- 📶 (▲▼) で「1：外線転送」を選択し  
📶 (決定) を押す

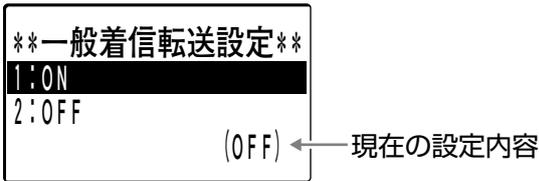
```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

次ページへ続く ➡

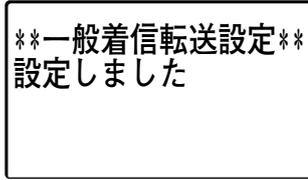
3 (▲▼) で「5：一般着信転送ON/OFF」を選択し (決定)を押す



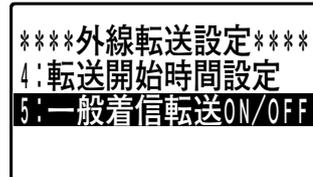
4 (▲▼) で「1：ON」を選択する



5 (決定)を押す



約2秒後



● を押すと待ち受け画面に戻ります。

操作のヒント

- 設定を解除する場合、手順4で「2：OFF」を選択し (決定) を押してください。

ボタン操作

待ち受け中に

1 設定または解除したい自動転送（一般着信）用の を押す

- 解除されている場合、転送するよう設定され ランプが点灯します。
- 設定されている場合、転送しないよう解除され ランプが消灯します。

FFボタンに自動転送（一般着信）用の を設定するには

1 (モニター) (設定/転送) → 2 設定したいFFボタン → 3 (＊) (6) (4) (0) →

4 (保留) (モニター) を押す

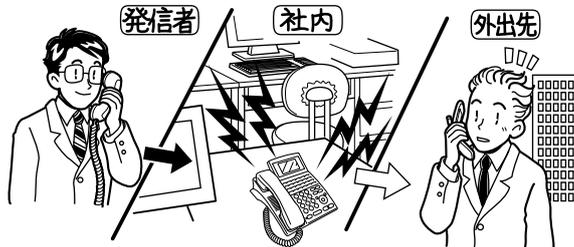
- 自動転送が設定された状態になります。

設定を解除するには

上記の手順3を抜いて操作します。

**一定時間応答しない場合に外線に転送する（スライド転送）** ☞ 取付け時設定

外線から電話がかかってきたとき、一定時間応答しない場合、あらかじめ設定しておいた外線の電話番号あてに転送します。  
着信音が鳴っている間は、社内の電話機で応答することができます。

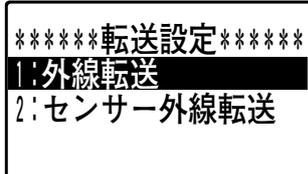


**転送するまでの時間を設定する** 指定

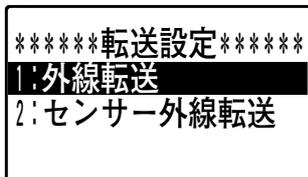
転送するまでの時間は、指定電話機（➡18ページ）で設定を行います。この設定により外線からの電話を自動転送（一般着信、個別着信）するタイミングが設定されます。

**ナビ操作**

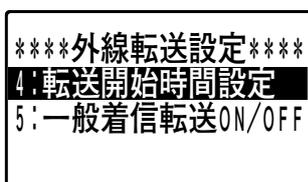
- 1 方向キー（▲）を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「4：転送設定」を選択して「転送設定画面」を表示する（➡31ページ）



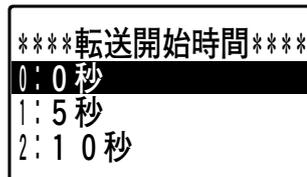
- 2 方向キー（▲▼）で「1：外線転送」を選択し 決定キー（決定）を押す



- 3 方向キー（▲▼）で「4：転送開始時間設定」を選択し 決定キー（決定）を押す

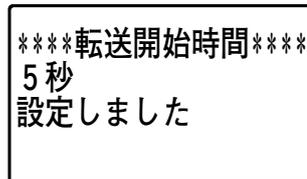


- 4 方向キー（▲▼）で転送するまでの時間を選択する

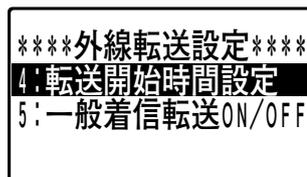


- 現在設定されている時間にカーソルが表示されます。
- 「0：0秒（お買い上げ時の設定）、1：5秒、2：10秒、3：15秒、4：20秒」の中から選択します。

- 5 決定キー（決定）を押す



約2秒後



- フックキーを押すと待ち受け画面に戻ります。

**操作のヒント**

- 外線からかかってきたら、即時に転送したい場合、「0：0秒」を選択します。

**ボタン操作**

待ち受け中に

1 **モニター** → 2 **設定/転送** → 3 **4** **0** → 4 転送するまでの時間 (**0** ~ **4**) →

- 0** : 0秒 (お買い上げ時の設定)
  - 1** : 5秒
  - 2** : 10秒
  - 3** : 15秒
  - 4** : 20秒
- } スライド転送するまでの時間

5 **保留** → 6 **モニター**

**ボタン操作で設定した内容を確認するには**

待ち受け中に

1 **モニター** → 2 **確認/会議** → 3 **4** **0** → 4 設定した内容を確認する → 5 **モニター**

• 設定番号 (**0**~**4**) が表示されます。

**ボタン操作のヒント** .....

- 外線からかかってきたときに、即時に転送したい場合、**0** (0秒) を選択します。
- 漢字表示付電話機の場合、**確認/会議** はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(→98ページ)

## 2か所の転送先へ順番に転送する（ネクスト転送）

取付け時設定

外線から電話がかかってきたとき、あらかじめ設定しておいた最初の転送先が一定時間（お買い上げ時は10秒）応答しない場合、または通話中の場合、もう1つの転送先に転送します。会社にかかってきた電話を、まず自宅に転送し、応答しない場合には携帯電話に転送する、という使い方ができます。

## ネクスト転送先の電話番号を設定する

指定

転送先の設定は指定電話機（➡18ページ）から行います。1つ目の転送先の設定は、自動転送の一般着信（➡167ページ）、個別着信（➡170ページ）で設定します。

## 一般着信の場合

## ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「4：転送設定」を選択して「転送設定画面」を表示する（➡31ページ）

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 2  (▲▼) で「1：外線転送」を選択し  (決定) を押す

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 3  (▲▼) で「3：ネクスト転送先設定」を選択し  (決定) を押す

```
****外線転送設定****
1:一般着信転送先設定
2:個別着信転送先設定
3:ネクスト転送先設定
```

- 4  (▲▼) で「1：一般着信」を選択し  (決定) を押す

```
***ネクスト転送先***
1:一般着信
2:個別着信
```

- 5  (▲▼) でモード(昼間、夜間、夜間1、夜間2)を選択し  (決定) を押す

```
***ネクスト転送先***
1:昼間モード
2:夜間モード
3:夜間1モード
```

## 6 ネクスト転送先 (2つめの転送先) の電話番号を入力する

\*\*\*ネクスト転送先\*\*\*  
 昼間モード  
 0323444444

- 電話番号の入力は、24ケタ(☎含む)までです。24ケタを超える入力はできません。
- 転送先電話番号には、①～⑨、\*、☎、短縮ダイヤル(短縮+番号)が入力できます。

## 7 (決定)を押す

\*\*\*ネクスト転送先\*\*\*  
 一般着信  
 設定しました

約2秒後

\*\*\*ネクスト転送先\*\*\*  
 1: 昼間モード  
 2: 夜間モード  
 3: 夜間1モード

- (フック)を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 操作のヒント

- 転送先設定を解除する場合、手順6で(戻る)を押して電話番号を消去してください。
- 転送中は使用外線ランプすべてが赤色点灯となります。
- 2つ目の転送先で着信が受け付けられなかった場合(通話中など)、一般着信に切り替わります。転送元ガイダンスを流している場合は、転送切断ガイダンスに切り替わります。
- 最初の転送先に転送してから、2つ目の転送先に転送するまでの時間(5秒～20秒(お買い上げ時は10秒))を設定できます。(☎取付け時設定)

### お知らせ

- 外から電話をかけてネクスト転送の設定/解除をすることはできませんが、ネクスト転送先の電話番号を設定することはできません。
- 外線ダブル転送(→184ページ)を設定している場合、ネクスト転送をすることができません。(☎取付け時設定)

### ボタン操作

待ち受け中に

1 (モニター) → 2 (設定/転送) → 3 (2) (1) → 4 モード番号 (1～4) と \* →  
 ①: 昼間モード ②: 夜間モード  
 ③: 夜間1モード ④: 夜間2モード

5 ネクスト転送先 (2つめの転送先) の電話番号 → 6 (保留) → 7 (モニター)

- 電話番号の入力は、24ケタ(☎含む)までです。24ケタを超える入力はできません。
- 転送先電話番号には、①～⑨、\*、☎、短縮ダイヤル(短縮×××)が入力できます。

### ボタン操作のヒント

#### 転送先の設定を解除するには

- 転送先設定を解除する場合、手順5を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

#### ボタン操作で設定した内容を確認するには

待ち受け中に

1 (モニター) → 2 (確認/会議) → 3 (2) (1) → 4 モード番号 (1～4) と \* →

5 設定した内容を確認する → 6 (モニター)

- 漢字表示付電話機の場合、(確認/会議) はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(→98ページ)

ネクスト転送先の電話番号を設定する

指定

個別着信の場合

ナビ操作

- 1 (▲)を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「4：転送設定」を選択して「転送設定画面」を表示する (→31ページ)

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 2 (▲▼)で「1：外線転送」を選択し (決定) を押す

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 3 (▲▼)で「3：ネクスト転送先設定」を選択し (決定) を押す

```
*****外線転送設定*****
1:一般着信転送先設定
2:個別着信転送先設定
3:ネクスト転送先設定
```

- 4 (▲▼)で「2：個別着信」を選択し (決定) を押す

```
***ネクスト転送先***
1:一般着信
2:個別着信
```

- 5 設定する電話機の内線番号を入力し (決定) を押す

```
***ネクスト転送先***
内線番号を
入力してください
10
```

- 6 ネクスト転送先 (2つめの転送先) の電話番号を入力する

```
***ネクスト転送先***
内線10
0450004321
```

- 電話番号の入力は、24ケタ(＃含む)までです。24ケタを超える入力はできません。
- 転送先電話番号には、①～⑨、\*、＃、短縮ダイヤル(短縮+番号)が入力できます。

- 7 (決定) を押す

```
***ネクスト転送先***
内線10
設定しました
```

約2秒後

```
***ネクスト転送先***
内線番号を
入力してください
--
```

- を押すと待ち受け画面に戻ります。

- 8 続けて内線番号ごとに転送先を設定する場合、手順5～7を繰り返す

- を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 📖 操作のヒント

- 転送先設定を解除する場合、手順6で を押して電話番号を消去してください。
- 転送中は使用外線ランプすべてが赤色点灯となります。
- 2つ目の転送先で着信が受け付けられなかった場合（通話中など）、一般着信に切り替わります。
- 最初の転送先に転送してから、2つ目の転送先に転送するまでの時間（5秒～20秒（お買い上げ時は10秒））を設定できます。

## 📢 お知らせ

- 外から電話をかけてネクスト転送の設定／解除をすることはできませんが、ネクスト転送先の電話番号を設定することはできません。
- 外線ダブル転送（➡184ページ）を設定している場合、ネクスト転送をすることができません。

## 🔑 ボタン操作

待ち受け中に

1 → 2 → 3 → 4 外線からかかってきたら転送する電話機の内線番号 → 5 ネクスト転送先（2つめの転送先）の電話番号 → 6 → 7

- 電話番号の入力は、24ケタ（含む）までです。24ケタを超える入力できません。
- 転送先電話番号には、～, , , 短縮ダイヤル（×××）が入力できます。

## 📖 ボタン操作のヒント

### 転送先の設定を解除するには

- 転送先設定を解除する場合、手順5を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

### ボタン操作で設定した内容を確認するには

待ち受け中に

1 → 2 → 3 → 4 外線からかかってきたら転送する電話機の内線番号 → 5 設定した内容を確認する → 6

- 漢字表示付電話機の場合、 はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。（➡98ページ）

## 外線へ転送中に内線電話機も同時に鳴らす(デュアル着信・転送中内線鳴動)

☎ 取付け時設定

外線から電話がかかってきたとき、あらかじめ設定しておいた転送先に転送しますが、転送中も内線電話機を鳴らすことができます。内線電話機と転送先のどちらか先に電話をとった方が、電話を受けることができます。社内に人がいるかわからないとき、社内と外出先の両方で着信音を鳴らし、できるだけお待たせしないで電話を受けたいときなどに使います。



## 📖 操作のヒント

- 外線転送先が一定時間（20秒～120秒（お買い上げ時は30秒）☎ 取付け時設定）不応答の場合、転送を取り消し、一般着信となります。
- 内線電話機が着信に応答した場合、転送は中止します。
- スライド転送が設定されている場合、一定時間後に他の外線に転送しますが、着信した内線電話機はそのまま継続して鳴り続けます。

## 📌 お知らせ

- デュアル着信が設定されている場合、転送元ガイダンスを流すことはできません。（→185ページ）
- デュアル着信機能を使う／使わないは、取付け時に設定します。☎ 取付け時設定
- 外線ダブル転送が設定されている場合も、内線電話機が鳴動します。☎ 取付け時設定

## 特定の発信者からの電話だけを転送する(セレクト転送)

取付け時設定

外線から電話がかかってきたとき、発信者番号の通知により特定の相手からの電話だけを、あらかじめ設定しておいた転送先に転送します。または、特定の相手からの電話だけを転送しないようにすることもできます。電話がかかってきたときに転送する、または転送しない電話番号は、共通短縮ダイヤルの登録で設定します。(➡261ページ)

- ISDN回線またはIP回線にかかってきた電話で、発信者番号と共通短縮ダイヤルに登録された番号が一致した場合、その発信者からの電話を転送する／しないを設定することができます。
- また、かかってきた電話が番号を通知していない場合、非通知理由(公衆電話など)別に転送しないという設定もできます。



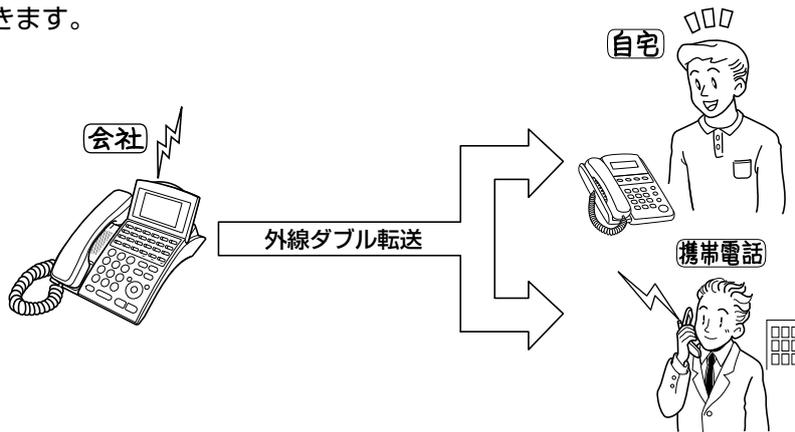
### お知らせ

- スライド転送、ネクスト転送、ダブル転送、デュアル着信との組み合わせもできます。
- セレクト転送機能を使う／使わないは、取付け時に設定します。 取付け時設定
- 電話番号の前に「184」や「186」が共通短縮ダイヤルに登録されていた場合でも、共通短縮ダイヤルとACR機能に市外局番を登録していると、発信者番号と共通短縮ダイヤルに登録された番号が一致したとみなされます。

## 2か所の転送先へ同時に転送する(外線ダブル転送)

取付け時設定

外線からかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた2か所の外線転送先(➡167、170ページ)へ同時に転送することができます。



### 操作のヒント

- 外線転送先が一定時間(20秒～120秒(お買い上げ時は30秒)) 取付け時設定 不応答の場合、転送を取り消し、一般着信となります。
- 着信転送中に一つの転送先が応答した場合、もう一つの転送先への転送は中止します。

### お知らせ

- 外線ダブル転送をする／しないは、取付け時に設定します。 取付け時設定
- ネクスト転送(➡179ページ)を設定している場合、外線ダブル転送をすることができません。 取付け時設定

## 転送中のガイダンスを転送元と転送先に流す



自動転送中に、発信者（かけてきた相手）と転送先の相手へ、転送中であることを音声ガイダンスで伝えます。

### 転送中ガイダンスの種類

転送中ガイダンスは次の3種類です。

#### 転送元ガイダンス：

発信者に転送中であることを知らせるガイダンスを流します。

転送を開始してから、発信者にガイダンスを送出するまでの時間（お買い上げ時は3秒）を設定できます。

#### 転送先ガイダンス：

転送先が応答したとき、転送電話であることを知らせるガイダンスを流します。

設定により、転送先ガイダンス再生後、「応答する」か「メッセージを録音してもらう」か、「応答しない」かを選択することもできます。

さらに、オプションのメロディートークユニット（VB-F262）を使用しネームトークを利用している場合、転送先に発信者の名前を音声で読み上げて、かけてきた相手をお知らせすることもできます。

#### 転送切断ガイダンス：

転送元ガイダンスを一定時間流したあとに転送が成功しなかったとき、発信者に転送できなかったことを伝えます。

転送元ガイダンスを継続する時間（お買い上げ時は30秒）を設定できます。

設定により、転送切断ガイダンス再生後、「転送元を切る」か「メッセージを録音してもらう」かを選択することができます。

### 転送中ガイダンスの録音

転送元ガイダンス、転送先ガイダンス、転送切断ガイダンスにはそれぞれ固定ガイダンスがあります。転送元ガイダンス、転送切断ガイダンスは、自分でガイダンスを録音して流すこともできます。

#### ●固定ガイダンスの内容

##### 転送元ガイダンス：

「お電話ありがとうございます。ただいまおつなぎしておりますので、もうしばらくそのままお待ちください」

##### 転送先ガイダンス：

「転送電話です。転送します」

##### 転送切断ガイダンス：

「恐れ入りますが、おつなぎできませんでしたので、後ほどおかけ直してください」

#### お知らせ

- 設定内容により、ガイダンス内容が異なります。
- ガイダンス内容の詳細は、「応答ガイダンスの種類について」(▶134ページ)を参照してください。
- 自分でガイダンスを録音する方法は、「応答ガイダンス（応答メッセージ）を録音する」(▶136ページ)を参照してください。
- 付加サービスによる着信転送（フレックスホン）では、本機能は動作しません。(▶186ページ)
- 通話中手動転送では動作しません。(▶165ページ)ただし、「着信中手動転送」(▶166ページ)の場合は動作します。
- デュアル着信が設定されている場合、転送元ガイダンスを流すことはできません。
- 転送元ガイダンスを流す場合、転送元ガイダンスが流れた時点から電話をかけた相手に通話料金がかかります。
- 転送先ガイダンスの操作案内が流れ始めてから、ダイヤル操作をしてください。操作案内が流れる前にダイヤルすると、操作ができない場合があります。

NTTのフレックスホン（着信転送機能）を利用して外線着信を自動転送することができます。この機能を利用するには、NTTと契約が必要です。

フレックスホンの着信転送には一般着信、個別着信の2種類の転送方法があります。転送先の指定は指定電話機（➡18ページ）で行います。

## 自動転送（着信転送）



### 一般着信

外線からかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先へ自動的に転送します。電話をかけてきた相手および転送先に、転送ガイダンスを流すことができます。☎取付け時設定

- 転送先の電話番号の設定は、本システムの自動転送（一般着信）（➡167ページ）と同じ操作を行ってください。指定
- 外から電話をかけて自動転送の設定／解除を行うには、175ページの「外から自動転送を設定／解除する（転送リモート）」の操作を行ってください。

### 個別着信

外線から個別の電話機にかかってきた電話（サブアドレスやダイヤルイン、i・ナンバー、セレクト着信の個別着信など）を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先へ自動的に転送します。着信転送（一般着信）と同じ転送先へ転送することもできます。☎取付け時設定

電話をかけてきた相手および転送先に、転送ガイダンスを流すことができます。☎取付け時設定

- 転送先の電話番号の設定は、本システムの自動転送（個別着信）（➡170ページ）と同じ操作を行ってください。指定
- 自動転送（個別着信）するように設定するには、174ページの操作を行ってください。
- 不在転送（➡101ページ）、不在設定（➡99ページ）と同時に設定できません。

#### お知らせ

- 相手が本システムに電話をかけたときの通話料金は電話をかけた相手のご負担、本システムから転送先への通話料金は本システム側のご負担となります。
- 転送されない電話番号（フリーダイヤルなど）もあります。
- NTT側の都合によりサービス内容が変わることがあります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- フレックスホン（着信転送機能）で自動転送する場合、転送用に着信用と別のISDN回線の空きチャンネルは必要ありません。
- 外から電話をかけて転送の設定／解除をすることはできますが、転送先の電話番号を設定することはできません。

NTTの付加サービスのフレックスホン（通信中転送機能）の契約が必要です。

## フレックスホンの通信中転送 ☎ 取付け時設定

外線の相手と通話中に、別の外線に転送することができます。

通話中の相手に転送することを伝え

- 1** 切替 を押す  
 ●通話中の相手を保留します。
- 2** 転送先の電話番号を押す
- 3** 井 を押す
- 4** 相手が応答したら、転送する旨を伝える
- 5** 設定/転送 を押す  
 ●通話が転送されます。  
 ●「ツー」という音が聞こえたら、転送完了です。
- 6** 受話器を戻す

### FFボタンに 切替 を設定するには

- 1** モニター 設定/転送 を押す
- 2** 設定したいFFボタンを押す
- 3** 短縮 井 4 を押す
- 4** 保留 モニター を押す  
 ●「プー」という音が聞こえたら、設定は完了です。

### 設定を解除するには

上記の手順3を抜いて操作します。

#### 📌 お知らせ

- 切替 を設定していないときは、手順1で フック を押しても操作できます。ただし、フック で通話を終了して、続けて電話をかける操作ができなくなります。☎ 取付け時設定
- 転送先の人に応答しないときは、切替 または フック を押すと通話に戻ります。
- 転送できるのは、かかってきた電話のみです。

通信事業者やIP電話事業者の回線サービスを利用して、いろいろな機能を使うことができます。電話（アナログ）回線で使える機能と、ISDN回線で使える機能がありますが、本システムを電話（アナログ）回線でお使いの場合、**ISDN**の付いている機能はご利用になれません。

NTTのISDN回線（INSネット64）を使用している場合、通話以外にもISDNならではのサービスを利用して、さらに便利にお使いになります。

INSネット64は、1回線につき2チャンネル（通話路）を持ち、同時に2つの通話ができます。

NTTのサービスの詳細については、NTTにお問い合わせください。

## ISDN回線と電話（アナログ）回線でお使いになれるサービス

サービス名／機能	内 容	操作ページ
ダイヤルイン <sup>※1</sup>	外線から特定の内線番号を呼び出すことができます。 ダイヤルイン契約番号は最大50個まで設定できます。 同一回線において、i・ナンバーとの併用はできません。	191
ナンバー・ディスプレイ <sup>※1※2</sup>	外線から電話がかかってきたとき、相手の電話番号が通知されたときは電話番号を表示します。電話番号が通知されないときは、その理由を表示します。	194
ネーム・ディスプレイ <sup>※1</sup>	外線から電話がかかってきたとき、相手の名前が通知されたときは名前を表示します。	195
迷惑電話おことわり <sup>※1</sup>	迷惑電話を簡単な操作で拒否登録することができます。 ・電話（アナログ）回線のダイヤルイン利用時は使用できません。 ・ISDN回線のダイヤルイン利用時は、発信者番号通知サービスを契約している場合のみ利用できます。	196

※1：これらのサービスを利用するには、NTTと付加サービスの契約が必要です。

※2：本システムでは、キャッチホンディスプレイには対応しておりません。キャッチホン応答時に、電話番号などの通知音が聞こえてしまう場合がありますので、キャッチホンディスプレイの契約はしないでください。

## 電話（アナログ）回線でお使いになれるサービス

サービス名／機能	内 容	操作ページ
キャッチホン <sup>※1</sup>	通話中に外線から電話がかかってきた場合、通話中の相手を保留にして、かけてきた相手と通話することができます。	190

※1：これらのサービスを利用するには、NTTと付加サービスの契約が必要です。

## ISDN回線でお使いになれるサービス

サービス名／機能		内 容	操作ページ	
発信者番号通知サービス		電話をかけた相手の電話機に電話番号を通知します。	193	
サブアドレス通知サービス		外線から特定の内線電話機を呼び出すことができます。	197	
i・ナンバー※ <sup>1</sup>		外部から特定の内線電話機を呼び出すことができます。 i・ナンバーは、契約回線数1つにつき電話番号を最大3個（契約者回線番号を含む）契約することができます。 同一回線において、ダイヤルインサービス、代表取扱サービスなどとの併用はできません。	192	
多重機能（フレックスホン）	着信転送機能	一般着信※ <sup>1</sup>	外線からかかってきた電話番号を、あらかじめ設定しておいた転送先に転送します。	186
		個別着信※ <sup>1</sup>	外線から個別の電話機にかかってきた電話（サブアドレスやダイヤルインなど）をあらかじめ設定しておいた転送先に転送します。	186
		INS キャッチホン※ <sup>1</sup>	通話中に外線から電話がかかってきた場合、通話中の相手を保留にして、かけてきた相手と通話することができます。	199
		通信中転送機能※ <sup>1</sup>	外線からかかってきた電話に出たあとに、他の人に転送します。	187

この他にも、NTTの付加サービスを契約して次の機能を利用することができます。このシステムは、ステイミュラスプロトコル手順に対応しています。操作方法につきましては、NTTにお問い合わせください。

- INSボイスワープ※<sup>1</sup> : 外線から電話がかかってきたときに、あらかじめ指定した転送先に自動的に転送するサービスです。
- INSナンバー・リクエスト※<sup>1</sup> : 電話番号を通知しない人からの電話をおつなぎしないサービスです。番号を通知してからかけ直すように音声ガイダンスが流れます。この機能は、INSナンバー・ディスプレイのオプション機能です。
- INSマジックボックス※<sup>1</sup> : 通話中やご不在中など、かかってきた電話に出られないとき、センターが応答してメッセージを録音するサービスです。外出先の携帯電話、公衆電話からもメッセージの再生、消去が行えます。

※<sup>1</sup>：これらのサービスを利用するには、NTTと付加サービスの契約が必要です。

### お知らせ

- NTTと付加サービスの契約が必要なものは、各操作説明のページで（付加サービス）と記載しています。
- NTT側の都合によりサービス内容が変更される場合がありますので、詳細についてはNTTにお問い合わせください。

### ISDN回線でお使いの場合

- NTTの付加サービスのフレックスホン（着信転送）を契約していなくても、本システム独自の機能を使って外線着信転送をすることができます。（→161ページ～184ページ）  
ただし、転送先へ発信するために、着信用とは別のISDN回線の空きチャンネルが必要です。
- サブアドレス通知サービスを利用して以下の機能がお使いになれます。

サービス名／機能	内 容	操作ページ
ISDNクローズドナンバリング	他の電話機システムの電話機を、内線を呼び出すのと同じ操作で簡単に呼び出すことができます。	198
外線リモート	オフィス留守番機能（マルチボイス）を外出先から操作できます。留守録の設定・解除、留守録再生、通話録音再生ができます。	113
		117

## IP回線でお使いになれるサービス

IP回線でお使いいただくサービスにつきましては、サービス内容や、基本サービスか付加サービスかは、各IP電話事業者により異なる場合があります。

詳細は各IP電話事業者にお問い合わせください。



外線と通話中に、他の外線から電話がかかってきたことをお知らせするキャッチホンサービスが利用できます。通話を保留にしたまま、新たにかけてきた相手と通話することができます。

## 1 通話中にキャッチホンの信号音が聞こえたら **フック** を押す

- 新たにかけてきた相手と通話できます。

## 2 保留中の相手との通話に戻るときは **フック** を押す

- 再びもとの相手と通話できます。

### お知らせ

- キャッチホンサービスを利用するときは、NTTとの契約が必要です。
- キャッチホンサービスをご利用のときは、通話時間・通話料金は表示されません。
- 通話中に誤ってフックスイッチ（受話器の下にあるスイッチ）を押すと、通話が切れます。

それぞれの内線電話機にダイヤルイン契約番号をつけると、外から本システムの内線電話機を直接呼び出すことができます。(ダイヤルイン個別着信)

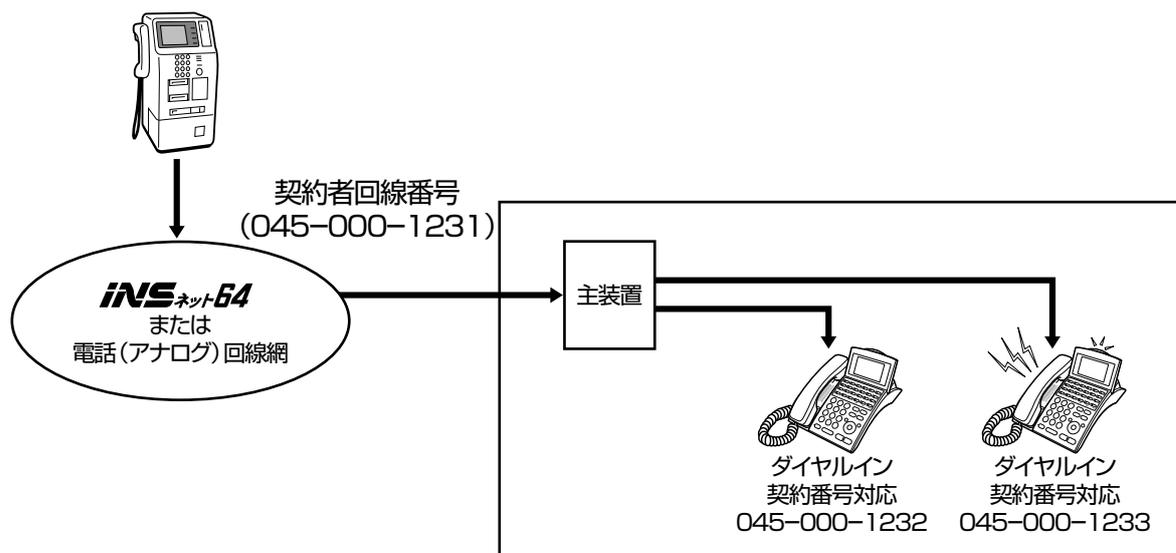
電話(アナログ)回線、ISDN回線でこのサービスを利用するには、NTTとの契約が必要です。

IP回線でこの機能をご利用になる場合、ご契約のIP電話事業者へお問い合わせください。

例：外から契約者回線番号045-000-1231の、ダイヤルイン契約番号045-000-1233に対応した電話機を呼び出す

## 外から045-000-1233をダイヤルする

045-000-1233をダイヤル



- 契約者回線番号045-000-1231を通して、ダイヤルイン契約番号045-000-1233に対応した電話機に電話がかかります。  
(INSネット64が1本の場合、同時にご利用いただけるのは、2回線分までとなります。)

### 📄 お知らせ

- 取付け時の設定により、以下のようなこともできます。☎ 取付け時設定
  - ・ ダイヤルイン契約番号ごとに着信音を設定できます。(音源4種類×周期8種類の組み合わせまたはメロディー保留音から選択可能。また、オプションのメロディートークユニット(VB-F262)を使用してメロディーも利用できます)
  - ・ グローバル着信を契約している場合、契約者回線番号に電話がかかると、設定した特定の電話機または、設定した電話機すべてを呼び出すことができます。ISDN
- IP回線からのダイヤルイン時に内線の状況により着信ができない場合、内線状況の内容にかかわらず着ユーザービジー(端末使用中)の理由表示をIP回線網に通知します。

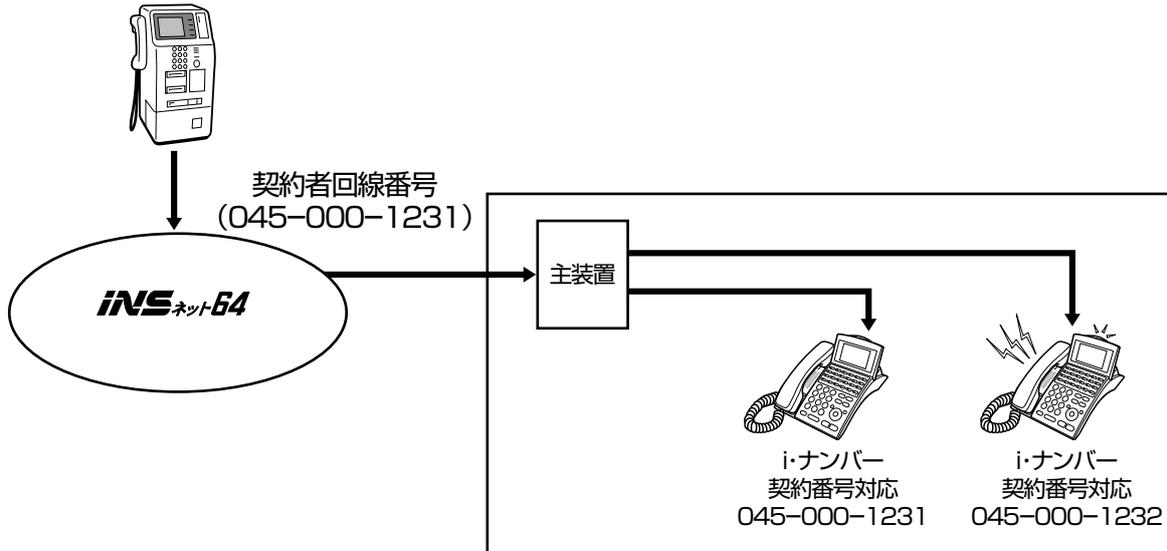
i・ナンバー契約を行うことにより、契約者回線番号とは別に複数の電話番号(i・ナンバー契約番号)を割り当てることができます。i・ナンバー契約番号をそれぞれの内線電話機につけると、外から本システムの内線電話機を直接呼び出すことができます。

このサービスを利用するには、NTTとの契約が必要です。

例：外からi・ナンバー契約番号045-000-1232に対応した電話機を呼び出す

## 外から045-000-1232をダイヤルする

045-000-1232をダイヤル



- i・ナンバー契約番号045-000-1232に対応した電話機に電話がかかります。  
(INSネット64が1本の場合、同時にご利用いただけるのは、2回線分までとなります。)

### お知らせ

- 取付け時の設定により、以下の機能を利用することができます。 取付け時設定
  - ・ 電話番号ごとに特定の内線電話機を呼び出すことができます。
  - ・ 電話番号ごとに着信音を設定できます。(音源4種類×周期8種類の組み合わせまたはメロディー保留音から選択可能。また、オプションのメロディートークユニット(VB-F262)を使用するメロディーも利用できます)
  - ・ i・ナンバーボタン着信  
電話番号ごとに着信させる外線ボタンを設定することができます。  
ファクス着信用の外線ボタンを設定すると、外線ボタンのランプでファクスが使用中かどうかを確認することができます。

電話をかけた相手の電話機に、発信者電話番号を通知するサービスです。相手の電話機が電話（アナログ）回線の場合には、相手がナンバー・ディスプレイ（⇒194ページ）を契約している場合のみ電話番号を通知します。

## 電話をかけたとき

本システムから電話をかけたとき、相手の電話機に電話番号が通知されます。

### 発信者番号の通知について

NTTに申し込んだ方法により、操作が異なります。

#### ●「通常通知」を選択している場合

通常のかけ方で、発信者の電話番号を通知します。相手の電話番号の前に「184」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知しないようにします。

#### ●「通常非通知」を選択している場合

通常のかけ方では発信者の電話番号を通知しません。相手の電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知することができます。

通知方法の変更は、NTTへの申し込みが必要になります。

### お知らせ

- 本システム側の収容回線にダイヤルイン契約（⇒191ページ）またはi・ナンバー契約（⇒192ページ）をしていれば、発信者番号としてダイヤルイン追加番号またはi・ナンバー追加番号を発信先に通知することができます。

#### ☎ 取付け時設定

- 発信者番号通知サービスはISDN回線の基本サービスですが、電話（アナログ）回線でお使いの場合も同じ方法で発信者番号を通知／非通知することができます。

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知されたときは発信者の電話番号、通知されないときにはその理由を通知するサービスです。

## 電話がかかってきたとき

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知された場合には、着信音が鳴っている電話機すべてに、かけてきた相手(発信者)の電話番号が表示されるので相手の電話番号を確認してから電話を受けることができます。また、電話に応答したあとも電話番号は表示されます。

<外線からかかってきたとき> 例：東京支店(03-0000-5678)からかかってきたとき

	■ 漢字表示タイプ ■	■ 数字表示タイプ ■
名前登録なし	10月17日 MON 13:30 着信 0300005678	0300005678
名前登録あり ・外線電話帳 ・発信者名	10月17日 MON 13:30 東京支店 鈴木太郎 0300005678	

通知された電話番号が外線電話帳(漢字表示付電話機のみ)(▶259ページ)に名前を登録されている場合、名前を表示します。

NTTとの契約により、下記のような表示になります。

相手の回線(かける側) 本システム側の回線(受ける側)		ISDNまたはIP		電話(アナログ)	
		番号通知	番号非通知*	番号通知	番号非通知*
ISDN またはIP	ナンバー・ディスプレイ 契約有り	○	△	○	△
	ナンバー・ディスプレイ 契約無し	○	×	×	×
電話 (アナログ)	ナンバー・ディスプレイ 契約有り	○	△	○	△
	ナンバー・ディスプレイ 契約無し	×	×	×	×

○：相手の電話番号を表示します。 △：非通知理由を表示します。 ×：表示しません。

\*：公衆電話、電話番号通知のできないネットワークからかけた場合も含まれます。

電話(アナログ)回線をお使いの方から電話番号が通知されたときは、本システムの着信回線がナンバー・ディスプレイを契約している場合に、電話番号が表示されます。

相手の電話番号が通知されないときは、以下のような表示になります。

表 示		内 容
漢字表示タイプ	数字表示タイプ	
公衆電話	-[-	公衆電話から電話がかかってきたとき
非通知	-P-	「非通知」で電話がかかってきたとき
表示圏外	-0- または -5-	国際電話などで番号を通知できない電話がかかってきたとき

※ NTT がサービス内容の変更や追加を行った場合には、表示内容が変わることがあります。

### お知らせ

- 表示可能なケタ数を超える電話番号が通知された場合、先頭から表示可能なケタ数まで表示します。
- 本システムに接続される停電中の停電用電話機には、電話をかけてきた相手の電話番号は表示されません。
- ナンバー・ディスプレイ対応の単独電話機の場合、電話をかけてきた相手の電話番号を表示できます。
- 発信者の電話番号が通知されない場合には表示されません。

ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、電話がかかってきたとき、発信者の電話番号と名前が通知された場合、発信者の電話番号と名前を表示するサービスです。発信者の名前が表示できるのは漢字表示付電話機のみです。

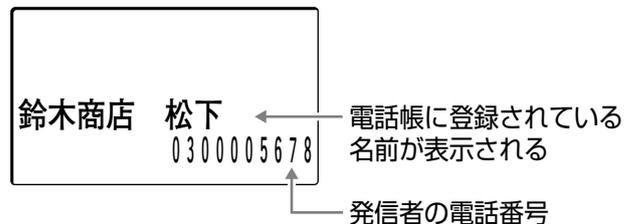
## 電話がかかってきたとき

外から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号と名前が通知された場合には、着信音が鳴っている漢字表示付電話機すべてに、かけてきた相手（発信者）の名前が表示されるので、相手を確認してから電話を受けることができます。

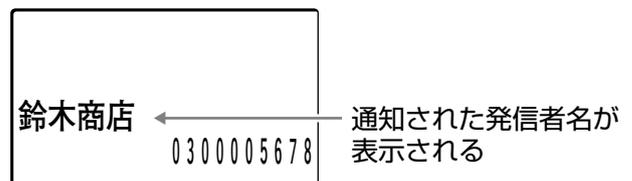
### 表示例

鈴木商店の松下さん（03-0000-5678）から発信者番号と、発信者名前が通知されてかかってきた場合

- 通知された名前が電話帳に登録されている場合、電話帳に登録された名前で表示されます。（電話帳登録の名前を優先表示）



- 電話帳に登録されていない場合、発信者から通知された名前をそのまま表示します。



### お知らせ

- 通知された発信者名は、着信履歴への記録は行われません。
- 短縮ダイヤルに登録されている番号と発信者の番号が一致した場合、短縮ダイヤルに登録された名前が表示されます。この場合、着信履歴が残ります。
- 本システムに接続されるコードレス電話機には、電話をかけてきた相手の名前は表示されません。電話番号は表示されます。
- 本システムに接続されている停電中の停電電話機には、電話をかけてきた相手の名前と電話番号は表示されません。
- 本システムに接続されているデジタル多機能電話機およびネーム・ディスプレイ対応の単独電話機の場合、電話をかけてきた相手の名前と電話番号を表示することができます。取付け時設定  
かけてきた相手の電話番号が共通短縮ダイヤルに登録されている場合、表示する名前は、共通短縮ダイヤルの登録名が優先されます。
- 本システムでの漢字表示は JIS 第 1 水準および第 2 水準に対応しています。それ以外の漢字データを受信すると、その受信データを含め、以降のデータがスペース表示となります。

NTTの迷惑電話おことわりの契約をしたISDN外線で、外線通話中、または通話終了後に電話機から登録操作を行うと、以降同じ電話番号の相手からかかってきても着信せずに、「こちらは、△△-△△△△-△△△△です。この電話はお受けできません。ご了承ください。」と迷惑電話おことわりメッセージで応答することができます。

## 電話番号を登録する

- 1 外線通話中または通話終了後に受話器を置く前に **迷惑電話おことわり** を押し、受話器を置く

●登録が完了すると「登録を完了しました」というメッセージが流れます。

- もし、**迷惑電話おことわり** を押す前に受話器を置いてしまったときは、受話器を取ってその **外線** を押してから **① ④ ④ ② #** をダイヤルしてください。

## 登録した電話番号を解除する

### 最後に登録した電話番号を解除する

- 1 迷惑電話おことわりのサービスを契約した **外線** を押す

- 2 **迷惑電話解除** を押す

- 解除が完了し「最も新しい登録の電話番号を解除しました。現在登録されている電話番号は〇個です。」というメッセージが流れます。

### 登録した電話番号を一括解除する

- 1 迷惑電話おことわりのサービスを契約した **外線** を押す

- 2 **迷惑電話一括解除** を押す

- 解除が完了し「現在、登録されている電話番号を全て解除しました。」というメッセージが流れます。

## 迷惑電話おことわりの効果を確認する

- 1 迷惑電話おことわりのサービスを契約した **外線** を押す

- 2 **迷惑電話効果確認** を押す

- 今月、前月に迷惑電話おことわり応答したメッセージの回数を確認できます。

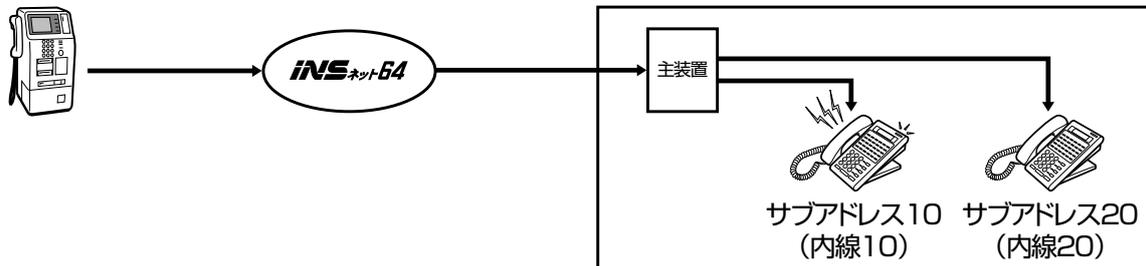
「今月、メッセージ応答した回数は〇〇回（以上）です。前月、メッセージ応答した回数は〇〇回（以上）です。」

### お知らせ

- NTTの「迷惑電話おことわりサービス6」、または「迷惑電話おことわり30」の契約が必要です。
- 登録できる電話番号の件数は、付加サービスの契約内容により異なります。「迷惑電話おことわりサービス6」の場合、登録できる電話番号が最大6件、「迷惑電話おことわりサービス30」の場合、登録できる電話番号が最大30件です。
- アナログ外線で「迷惑電話おことわりサービス」を契約されている場合、迷惑電話おことわり登録をしたい電話のかかってきた外線の通話終了後に受話器を一度置いてから、同じ **外線** を押して **① ④ ④** をダイヤルし、その後はNTTの音声案内にしたがって迷惑電話おことわりの電話番号を登録します。電話番号の解除は、迷惑電話おことわりの契約をしている **外線** を押して **① ④ ④** をダイヤルし、NTTの音声案内にしたがって操作を行います。

電話番号のあとに内線番号を押すことによって、外線から特定の内線電話機を直接呼び出すことができます。ただし、電話（アナログ）回線から本システムの内線電話機を呼び出すことはできません。

例：外から045-000-1231（契約者回線番号）の内線番号10の電話機を直接呼び出す



## 外線から特定の内線電話機を呼び出す

- 1 外線から契約者回線番号  
(例：045-000-1231) を押す
  - サブアドレスを通知できる電話機から電話をかけてください。

---

- 2 **サブアドレス** を押す
  - この操作はお使いの電話機によって異なります。

---

- 3 サブアドレス番号 (例：**1** **0**) を押す

---

- 4 **発信** を押す
  - この操作は電話機によって異なります。

### 本システムから外線の特定の内線電話機を呼び出す (サブアドレス発信)

例：本システムからISDN回線 03-0000-5678 (契約者回線番号)の内線番号10の電話機を呼び出す

- 1 受話器を取る

---

- 2 **発信** を押す
  - 「ツーン」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯 (2秒に1回一瞬点滅) します。

---

- 3 **0 3 0 0 0 0 5 6 7 8** をダイヤルする

---

- 4 **＊** を押す

---

- 5 サブアドレス番号 (例：**1** **0**) を押す

---

- 6 **＃** を押す

#### 📖 操作のヒント

- 本システムからかけるとき、手順6で **＃** を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は6秒）が経過すると、自動的に発信します。📞 **取付け時設定**
- サブアドレス番号は19ケタまで入力できます。

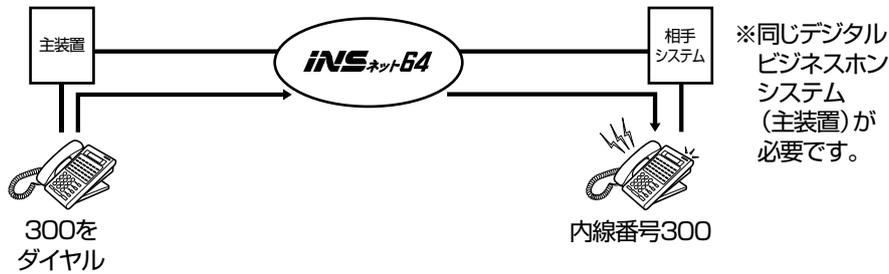
#### 📢 お知らせ

- このサービスは、相手の電話機が電話（アナログ）回線の場合、利用できません。

## ISDNクローズドナンバリング

 取付け時設定

ISDN回線でのサブアドレス着信機能を利用して、内線番号を押すだけで簡単に相手のシステムの内線電話機を直接呼び出すことができます。



### 1 受話器を取る

- 受話器を置いたまま電話をかけるには、モニター を押します。

### 2 内線番号を押す

- 自動的にISDN回線でサブアドレス発信が行われます。

#### お願い

- 内線番号の1ケタ目の番号が、相手のシステムの内線番号の1ケタ目と重複しないようにしてください。

#### お知らせ

- 相手のシステムの電話番号をあらかじめ設定しておく必要があります。
- ISDN回線の空きチャンネルがないと呼び出すことができません。
- ISDN回線クローズドナンバリングは、自システムと相手システムの内線番号のケタ数が3ケタの場合に動作します。
- IP回線の場合も同様（上記手順）に利用することができます。

通話中に電話がかかってきたときに、通話中の相手を保留にして、かけてきた相手と通話することができます。

## 通話を切り替える

通話中に「ブツ、ブツ」と聞こえたら、以下の操作を行ってください。

### 1 フックを押す

- 通話を保留にして、通話中にかけてきた相手との通話に切り替わります。

### 2 通話を切り替えるには、フックを押す

- 通話中の相手を保留にして、保留中の相手との通話に切り替わります。

#### お知らせ

- FFボタンに  を設定しておくと、 を押す代わりに  を押しても通話を切り替えることができます。FFボタンに  を設定する方法は、右記をお読みください。

### FFボタンに を設定するには

#### 1 を押す

#### 2 設定したいFFボタンを押す

#### 3 を押す

#### 4 を押す

- 「ブー」という音が聞こえたら、設定は完了です。

### 設定を解除するには

上記の手順3を抜いて操作します。

## 最後に応答した電話番号にかけ直す

数字表示付電話機からは、外線からかかってきて最後に応答した相手を1件のみ記憶して、かけ直すことができます。 **取付け時設定**

1  を押す

- 「ツーン」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点灯（2秒に1回一瞬点滅）します。

2  を押す3   を押す

## 4 受話器を取る

 **お願い**

- 本システムを構内交換機に接続している場合、手順2の前に、外線発信番号（例：①）を押してください。

 **お知らせ**

- 外線からの電話を受けたあと、その通話を切るたびに個人短縮ダイヤルの   に上書き登録されます。個人短縮ダイヤル   に電話番号を登録している場合も、外線からの電話に回答して電話を切るたびに最後に回答した電話番号が上書きされてしまいます。  
相手から発信者番号通知がないときは、個人短縮ダイヤル   には登録されません。 **取付け時設定**
- 主装置のリセットや電源の「切」「入」により、登録内容は消去されます。
- 受話器を取ってから発信することもできます。

**最後に応答した電話番号を確認するには**1  を押す2  を押す3  を押す4   を押す

- 最後に応答した電話番号が表示されます。

5  を押す**最後に応答した電話番号を消去するには**1  を押す2  を押す3  を押す4   を押す5  を押す6  を押す

## 個人短縮ダイヤルを登録する

### 電話番号を登録する

よくおかけになる電話番号を電話機ごとに登録することができます。

個人短縮ダイヤルは、短縮番号 8 0 ~ 9 9 の20件まで、電話番号は1件につき24ケタ(# 含む)まで登録できます。

#### 1 モニター を押す

- モニターランプが点灯します。

#### 2 設定/転送 を押す

#### 3 短縮 を押す

#### 4 短縮番号 (8 0 ~ 9 9) を押す

- 短縮番号 8 0 ~ 8 9 までは手順3、4の代わりにワンタッチボタンを押してもできます。  
(→202ページ)

#### 5 登録したい電話番号と # を押す

- 電話番号と # の合計を24ケタ以内で入力してください。

#### 6 保留 を押す

- 「プー」という音が聞こえたら、登録が完了します。
- 続けて登録するには、手順2~6を行います。

#### 7 終了するには、モニター を押す

#### 修正するには

左記の操作の手順5で電話番号を入力し直してください。

#### 消去するには

左記の操作の手順5を抜いて操作します。

#### 確認するには

#### 1 モニター を押す

#### 2 確認/会議 を押す

#### 3 短縮 を押す

#### 4 短縮番号を押す

#### 5 確認したら モニター を押す

#### お知らせ

- 短縮番号 9 9 に登録しても、外線からの「最後に応答した電話番号にかけ直す」機能をお使いの場合、外線からの電話に応答して電話を切るたびに最後に応答した電話番号が上書きされてしまいます。(→200ページ)

#### 取付け時設定

- 個人短縮ダイヤルを登録するときに、電話番号のあとに # を入れるか入れないかにより、ISDN 回線または IP 回線でかけるとき、下記のような違いがあります。電話 (アナログ) 回線でお使いの場合、電話番号のあとに # を入れて登録する必要はありません。
- 個人短縮ダイヤルでかける場合、69 ページをご覧ください。

#### 電話番号のあとに # を入れて登録すると

個人短縮ダイヤルを使って電話をかけるとき、相手を選んだあとにすぐ呼び出しが始まります。

#### 電話番号のあとに # を入れないで登録すると

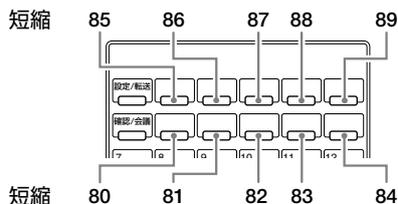
個人短縮ダイヤルを使って電話をかけるとき、相手を選んだあとに # を押さないと、設定した時間 (お買い上げ時の設定は 2 秒) 経過後に呼び出しが始まります。

## ワンタッチボタンでかける（個人短縮）

ワンタッチボタンを使って簡単に電話をかけることができます。短縮ダイヤルでかける場合、69ページをご覧ください。

### ワンタッチボタンでかける

#### 1 かけたい短縮番号（80～89）のワンタッチボタンを押す



- 短縮ダイヤルに登録した電話番号が表示されダイヤルされます。
- ワンタッチボタンでかけられる個人短縮番号は80～89です。

#### 📖 操作のヒント

- ワンタッチボタンで、内線にかけることもできます。📞 **取付け時設定** その設定の場合、外線にかけるときは手順1の前に **発信** を押してください。
- 待ち受け中にワンタッチボタンを押しても発信しないようにすることもできます。📞 **取付け時設定** その設定の場合、電話をかけるときは、手順1の前に受話器を取ってワンタッチボタンを押してください。

### ワンタッチボタンに登録する

#### 1 モニター を押す

#### 2 **設定/転送** を押す

#### 3 登録したいワンタッチボタンを押す

#### 4 登録したい電話番号と **＃** を押す

- 電話番号と **＃** の合計を24ケタ以内で入力してください。

#### 📞 お知らせ

- ワンタッチボタンに登録するときに、電話番号のあとに **＃** を入れるか入れないかにより、ISDN回線またはIP回線でかけるとき、下記のような違いがあります。電話（アナログ）回線でお使いの場合、電話番号のあとに **＃** を入れて登録する必要はありません。

##### 電話番号のあとに **＃** を入れて登録すると

ワンタッチボタンを使って電話をかけるとき、相手を選んだあとにすぐ呼び出しが始まります。

##### 電話番号のあとに **＃** を入れないで登録すると

ワンタッチボタンを使って電話をかけるとき、相手を選んだあとに **＃** を押さないと、設定した時間（お買い上げ時の設定は2秒）経過後に呼び出しが始まります。

#### 5 保留 を押す

- 「ブー」という音が聞こえたら、登録が完了します。
- 続けて登録するには、手順2～5を行います。

#### 6 終了するには モニター を押す

### ワンタッチボタンに登録した短縮ダイヤルを消去する

#### 1 モニター を押す

#### 2 **設定/転送** を押す

#### 3 消去したいワンタッチボタンを押す

#### 4 保留 を押す

- 続けて消去するには、手順2～4を行います。

#### 5 終了するには モニター を押す

### ワンタッチボタンに登録した短縮ダイヤルを確認する

#### 1 モニター を押す

#### 2 **確認/会議** を押す

#### 3 確認したいワンタッチボタンを押す

- 登録した短縮ダイヤルが表示されます。

#### 4 確認したら モニター を押す

## 数字表示付電話機での機能一覧（まとめ）

数字表示付電話機で使用可能な機能一覧と、その操作方法を記載したページの一覧を下表に示します。

項目	操作	参照ページ
<b>液晶表示部の調節と設定について</b>		
角度を調節する	×	-
コントラストを調節する	×	-
バックライトの設定をする	×	-
<b>電話機の音量を調節する</b>		
通話中に受話音量を調節する	●	43
待ち受け中にモニター音量（スピーカーからの音量）を調節する	●	44
着信音量を調節する	●	45
<b>電話機の内線番号を確認する</b>		
電話機の内線番号を確認する	●	47
<b>外線へ電話をかける</b>		
受話器を取ってかける	●	50
受話器を取らずにかける	●	50
電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）	●	51
外線を指定して電話をかける	●	52
再ダイヤルする（ラストナンバーリダイヤル）	●	53
<b>内線へ電話をかける</b>		
電話をかける	●	54
内線番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）	●	54
音声で一斉（またはグループ別）に内線呼び出す	●	55
<b>電話帳や履歴を使って電話をかける</b>		
電話帳を検索して電話をかける	×	-
発信履歴を使って電話をかける	×	-
着信履歴／システム着信履歴を使って電話をかける	×	-
発信履歴／着信履歴を削除する	×	-
短縮ダイヤルでかける（個人短縮ダイヤル・共通短縮ダイヤル）	●	69
発信ボタンを押さずに電話をかける（発信プリファレンス）	●	70
<b>外線からの電話を受ける</b>		
電話を受ける	●	71
2つ以上の外線が着信している場合	●	71

●：操作可  
×：操作不可

# 数字表示付電話機の独自の機能を使う 数字

項目	操作	参照ページ
<b>内線からの電話を受ける</b>		
電話を受ける	●	72
他の電話機で内線を受ける（内線代理応答）	●	72
内線音声呼出に受話器を取らずに応答する（内線トークバック）	●	73
<b>マルチライン着信</b>		
複数の内線に電話をかける（マルチライン着信）	●	74
<b>電話を保留・転送する</b>		
外線を保留・転送する	●	75
外線を特定のグループへ転送する	●	78
内線を保留・転送する	●	79
<b>個人電話帳（個人短縮ダイヤル）に登録する</b>		
個人電話帳（個人短縮ダイヤル）へ新規に登録する	×	—
発信履歴／着信履歴から登録する	×	—
<b>個人電話帳を編集する</b>		
個人電話帳のデータを修正する	×	—
個人電話帳データを削除する	×	—
個人電話帳の登録件数を確認する	×	—
<b>個人短縮ダイヤルに登録する</b>		
個人短縮ダイヤルに電話番号を登録する	●	95
<b>FFボタンに機能を設定する</b>		
FFボタンに機能を設定する	●	96
<b>電話に出られないときの設定をする（不在設定）</b>		
不在設定／解除する	●	99
<b>電話に出られないとき、他の電話機に転送設定をする（不在転送）</b>		
不在転送を設定／解除する	●	102
<b>留守録を設定する</b>		
手動で留守録を設定／解除する	●	105
<b>留守録設定時の応答動作の各種設定をする</b>		
留守録応答するまでの時間（スライド時間）を設定する	×	—
録音の有無を設定する	×	—
留守録の応答メッセージを設定する	×	—
留守応答モニターの有無を設定する	×	—

- ：操作可
- ×：操作不可

項目	操作	参照ページ
<b>留守応答モニターを設定する</b>		
留守応答モニターを設定する	●	112
<b>留守録の内容（用件）を再生する</b>		
留守録の内容（用件）を再生する	●	115
<b>お待たせ応答を設定する</b>		
お待たせ応答（自動）を設定する	●	118
お待たせ応答（手動）をする	●	119
<b>通話を録音する</b>		
手動で通話を録音する	●	121
<b>メッセージを再生する</b>		
録音したメッセージを再生する	●	123
メッセージを聞き取り中に電話をかける（折り返し自動発信）	×	-
<b>メッセージを録音する（メッセージ録音）</b>		
メッセージ録音をするには	●	126
<b>指定した電話機を呼び出してメッセージがあることを通知する（携帯電話などの呼び出し）</b>		
呼出先の携帯電話などの電話番号を設定する	●	127
通話録音後に指定した電話機を呼び出す	●	128
メッセージを録音したあとに指定した電話機を呼び出す	●	130
携帯電話などが呼び出されたら	●	132
<b>留守録やメッセージ録音時の応答ガイダンスを録音する</b>		
応答ガイダンス（応答メッセージ）を録音する	●	136
<b>ボックスのパスワードを設定する</b>		
ボックスのパスワードを設定する	●	137
<b>ボックスに名称を設定する</b>		
ボックスに名称を設定する	×	-
<b>設定した時刻にアラームを鳴らす</b>		
アラームを設定／解除する	●	140
<b>プッシュ信号を送る</b>		
プッシュ信号を送る	●	142

- ：操作可
- ×：操作不可

# 数字表示付電話機の独自の機能を使う 数字

項目	操作	参照ページ
<b>外線通話中に割り込む</b>		
他の人を割り込ませる（プライバシー・リリース）	●	143
外線通話に割り込む（オーバー・ライド）	●	143
<b>3人で会議通話をする</b>		
3人で会議通話をする	●	144
<b>発信者番号により、着信先や着信音を指定する（セレクト着信）</b>		
発信者番号により、着信先や着信音を指定する（セレクト着信）	●	145
<b>着信数を制限する（回線数コントロール）</b>		
回線数コントロールの設定	●	146
<b>迷惑電話を着信拒否する</b>		
着信を受け付けない外線相手の電話番号を登録（拒否登録）する	●	147
迷惑電話拒否を設定／解除する	●	151
非通知着信拒否を設定／解除する	●	153
拒否登録した電話番号を確認／削除する	×	—
FFボタンに着信拒否機能を設定する	●	157
迷惑電話拒否ガイダンスを送出する	●	157
<b>ACRについて</b>		
ACRについて	●	158
<b>外線電話帳に登録した付加情報を表示する</b>		
外線電話帳に登録した付加情報を表示する	×	—
<b>電話機から主装置の障害などの内容（カレントアラーム）を確認する</b>		
電話機の液晶表示部で確認する	●	160
<b>手動で転送する</b>		
通話中に手動で転送する	●	165
着信中に手動で転送する（お助け転送／着信中ワンタッチ転送）	●	166
<b>自動で転送する</b>		
一般着信を自動転送	●	167
個別着信を自動転送	●	170
自動転送を設定／解除する	●	175
一定時間応答しない場合に外線に転送する（スライド転送）	●	177
2か所の転送先へ順番に転送する（ネクスト転送）	●	179
外線へ転送中に内線電話機も同時に鳴らす（デュアル着信・転送中内線鳴動）	●	183
特定の発信者からの電話だけを転送する（セレクト転送）	●	184

●：操作可

×：操作不可

項目	操作	参照ページ
2か所の転送先へ同時に転送する（外線ダブル転送）	●	184
<b>自動で転送中にガイダンスを流す</b>		
転送中のガイダンスを転送元と転送先に流す	●	185
<b>フレックスホン 着信転送（付加サービス）</b>		
自動転送（着信転送）	●	186
フレックスホンの通信中転送	●	187
<b>キャッチホンサービスを利用する</b>		
キャッチホンサービスを利用する	●	190
<b>ダイヤルイン（付加サービス）</b>		
ダイヤルイン（付加サービス）	●	191
<b>i・ナンバー（付加サービス）</b>		
i・ナンバー（付加サービス）	●	192
<b>発信者番号通知（基本サービス）</b>		
電話をかけたとき	●	193
<b>ナンバー・ディスプレイ（付加サービス）</b>		
電話がかかってきたとき	●	194
<b>ネーム・ディスプレイ（付加サービス）</b>		
電話がかかってきたとき	×	—
<b>迷惑電話おことわり（付加サービス）</b>		
電話番号を登録する	●	196
登録した電話番号を解除する	●	196
迷惑電話おことわりの効果を確認する	●	196
<b>サブアドレス通知（基本サービス）</b>		
外線から特定の外線電話機を呼び出す	●	197
ISDNクローズドナンバリング	●	198
<b>フレックスホン INSキャッチホン（付加サービス）</b>		
通話を切り替える	●	199
<b>数字表示付電話機の独自の機能を使う</b>		
最後に応答した電話番号にかけ直す	●	200
個人短縮ダイヤルを登録する	●	201
ワンタッチボタンでかける（個人短縮）	●	202
<b>内線に収容しているファクスを使う</b>		
ファクスを受ける（手動転送）	●	233
ファクスを受ける（自動転送）	●	234

●：操作可 ×：操作不可

# 数字表示付電話機の独自の機能を使う 数字

項目	操作	参照ページ
<b>構内放送をする</b>		
構内放送をする	●	239
<b>玄関子機からの呼び出しに応答する</b>		
玄関子機からの呼び出しに応答する	●	240
玄関子機の着信音が鳴らない電話機で応答するには	●	240
<b>電気錠を解錠する</b>		
電気錠を解錠する	●	241
<b>外部スイッチ（多目的リレー）を制御する</b>		
外部スイッチ（多目的リレー）を制御する	●	242
<b>センサーを使う</b>		
センサー着信を外線に転送し、ルームモニターする	●	243
<b>ヘッドセットを使う</b>		
ヘッドセットを使う	●	244
<b>24キー増設ユニット</b>		
24キー増設ユニット	×	—
<b>番号早見表の使い方</b>		
番号早見表の作り方	●	247
番号表ホルダー（オプション）の取り付け方	●	248
<b>その他のオプション接続</b>		
その他のオプション接続	●	249
<b>外線電話帳（共通短縮ダイヤル）を登録する</b>		
外線電話帳（共通短縮ダイヤル）を登録する	×	—
共通短縮ダイヤルを登録する	●	266
<b>外線電話帳を編集する</b>		
外線電話帳のデータを修正する	×	—
外線電話帳データを削除する	×	—
外線電話帳のグループ名を編集する	×	—
外線電話帳の登録件数を確認する	×	—
<b>内線電話帳を登録する</b>		
内線電話帳を登録する	×	—
<b>内線電話帳を編集する</b>		
内線電話帳のデータを修正する	×	—
内線電話帳のグループ名を登録する	×	—

●：操作可

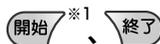
×：操作不可

項目	操作	参照ページ
<b>特殊内線を登録する</b>		
特殊内線を登録する	×	—
<b>特殊内線のデータを編集する</b>		
特殊内線データを削除する	×	—
特殊内線のグループ名を登録する	×	—
特殊内線の登録件数を確認する	×	—
<b>日付・時刻を変更する</b>		
年月日と時刻を変更する	●	286
<b>手動で夜間切替を設定する</b>		
手動で昼間／夜間切替する	●	288
<b>自動夜間切替を設定する</b>		
自動切替時刻を設定する	●	291
自動夜間切替の例外日時を設定する	●	296
自動夜間切替をしない期間を設定する	●	299
動作モードの名称を変更する	×	—
<b>着信音（メロディー着信）を設定する</b>		
着信音（メロディー着信）を設定する	×	—
<b>センサー着信の外線転送先を設定する</b>		
センサー着信の外線転送先を設定する	×	—
<b>非通知着信の着信先を設定する</b>		
非通知着信の着信先を設定する	×	—
<b>電話回線に名称を設定する</b>		
電話回線に名称を設定する	×	—
<b>通話料金を集計する</b>		
各電話機の合計通話料金を確認する	●	307
すべての電話機の合計通話料金を確認する	●	307

- ：操作可  
 ×：操作不可

## お使いになる前に

- この章では、2.4Gカラーデジタルコードレス電話機（本機）を本システムの内線電話機として使う場合の基本的な操作方法について記述しています。
- デジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）と本機ではボタンの形状・表記が一部、異なります。デジタル多機能電話機の各ボタンに対応する本機のボタンについては以下をご覧ください。
- 本章では、2.4Gカラーデジタルコードレスセット（VB-W400B）を接続した場合の操作を説明しています。ご使用の機器品番によっては利用できない機能がある場合があります。詳しくは2.4Gカラーデジタルコードレスセットに添付されている取扱説明書をお読みください。※1： 通話中および電話をかけている時に押した場合、デジタル多機能電話機の **フック** に対応します。

デジタル多機能電話機	2.4Gカラーデジタルコードレス電話機（本機）
 (▲▼◀▶)	
 (決定)	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
	

※1：通話中および電話をかけている時に押した場合、デジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）の **フック** に対応します。

※2：画面の下部に **短縮** が表示されている時に押した場合、漢字表示付電話機の **短縮** に対応します。

※3：画面の下部に **再ダイヤル** が表示されている時に押した場合、漢字表示付電話機の **再ダイヤル** に対応します。

※4：内線電話機として利用時、登録操作中などに押した場合、待ち受け画面に戻ります。

- 本機をご利用になる場合、本章をお読みになる前に、必ず2.4Gカラーデジタルコードレスセットの取扱説明書をお読みいただき、本機、充電台、ACアダプター、電池パック等の安全上のご注意や充電のしかたなどを理解してからお使いください。
- 本章では、本機を本システムに接続した内線電話機として使用する場合の操作について説明しています。本機をカラーテレビドアホンの子機として使用する場合の操作方法や本機の機能メニューの設定については2.4Gカラーデジタルコードレスセットの取扱説明書をお読みください。

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

### この章で使われているマーク、用語、表記方法について

外線	「外線」を「回線」と表記する場合があります。
待ち受け中	通話していない状態です。
① ~ ⑨、 *、#	数字をダイヤルするときの説明では、カタカナやアルファベットは省略しています。
本機	2.4Gカラーデジタルコードレス電話機のことを「本機」と表記します。
ドアホン子機	ドアホン親機に登録されている本機以外の子機のことを本機と区別するために、「ドアホン子機」と表記します。

### デジタル多機能電話機との違いについて

本機は、デジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）とほぼ同じ機能や設定をすることができますが、一部使用できない機能や操作の違いなどがあります。

デジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）と同様に利用できる機能の表示の違いや操作の違いを中心にこの章で説明しています。

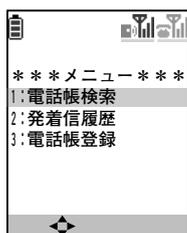
#### お知らせ

- 電話帳機能や履歴機能などもデジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）と同様にシステムの機能を利用しています。本機内にメモリー保存されていませんので圏外時などは参照利用することができません。

### 表示の違いについて

デジタル多機能電話機として動作（電話操作や設定操作など）しているときは、デジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）の表示内容（4行分）が、本機に表示されます。

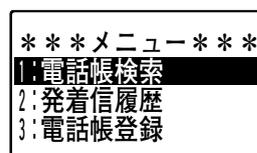
<本機の表示>



本機独自の表示内容

デジタル多機能電話機として動作しているときは、漢字表示付電話機と同じ内容（4行分）を表示

<漢字表示付電話機の表示>



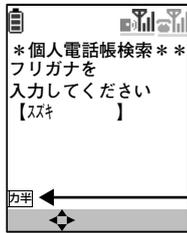
# 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

## 文字入力ピクト表示の違いについて

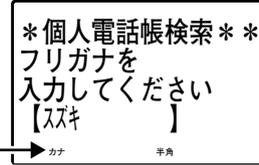
本機とデジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）では文字入力のピクト表示内容と表示位置が異なります。

例：個人電話帳の検索の場合

<本機の表示>



<漢字表示付電話機の表示>



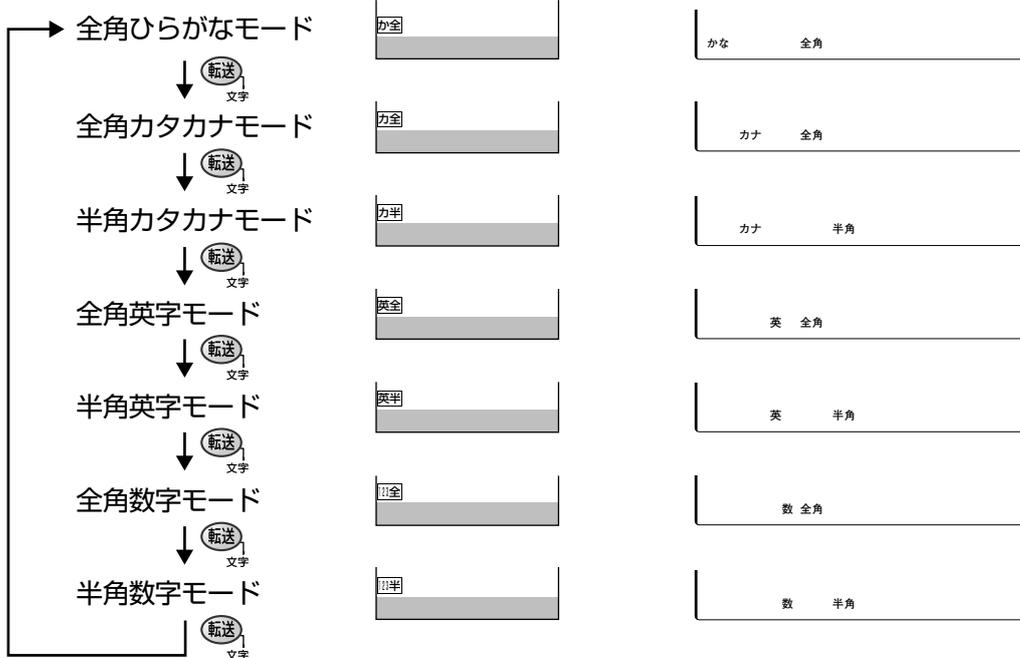
文字入力ピクト表示

以下に本機とデジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）とのピクト表示の違いを示します。

<入力モード>

<本機のピクト表示>

<漢字表示付電話機のピクト表示>



### お知らせ

- 入力画面によっては、選択できないモードもあります。
- それぞれの入力モードで入力できる文字については「文字ボタン割当表」(➡81 ページ) をご覧ください。

## FFボタンについて

本機は、デジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）と同様に、FFボタン機能を利用することができます。FFボタンを押してFFキーを表示させ、外線ボタンとして利用して電話を受けたり、かけたり、保留応答をすることができます。また、FFキーに設定されている機能を動作させたりできます。FFキーへの機能の設定は、「FFキーに機能を設定する」(➡228ページ) をご覧ください。FFボタンを使った操作については、2.4Gカラーデジタルコードレスセットの取扱説明書をお読みください。

## 外線へ電話をかける

1 ボイスランプ  
発信 を押す

- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 「ツー」という音が聞こえます。

2 相手の電話番号と # を押す

- 画面に電話番号が表示されます。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。

3 通話が終わったら 終了 を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

## 📖 操作のヒント

- 通話が終わったあとに続けて電話をかけるには、終了 を押さずに 開始 を押します。「ツー」という音が聞こえたら、再度電話番号を押してください。
- ISDN 回線または IP 回線の場合、手順 2 で電話番号のあとに # を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は 6 秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。📞 取付け時設定
- 電話（アナログ）回線で外線へ電話をかけるときは、相手の電話番号のあとにダイヤルする # は必要ありません。

## 📌 お知らせ

- ボイスランプ  
発信 を押してから、約 15 秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。
- 間違い電話を防ぐため、電話番号は正確にダイヤルしてください。
- 通話中に本機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたい時は保留を行ってください。（→220 ページ）

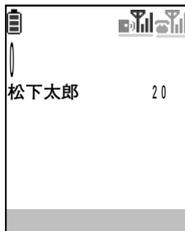
## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

### 電話番号を確認してから外線へ電話をかける（プリセットダイヤル）

ダイヤルしたい電話番号を確認してから電話をかけることができます。

待ち受け中に

#### 1 0 を押す



#### 2 相手の電話番号と # を押す



•画面に電話番号が表示されます。

#### 番号を間違えたとき

- 番号の最後から1ケタずつ消すとき  
..... を押す
- 番号を全て消してダイヤルし直すとき  
..... を押す

#### 3 開始 を押す



- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。

#### 4 通話が終わったら 終了 を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

#### 📖 操作のヒント

- 電話（アナログ）回線でお使いの場合は、電話番号のあとの # は不要です。
- 手順1で、0 を押す代わりに、以下の方法で使いたい外線を指定することもできます。
  - ・自動選局発信
    - 9 4 を押す
    - 9 5 を押す
    - 9 6 を押す

指定した外線発信グループの外線で発信できます。 取付け時設定
  - ・指定外線発信
    - ※ と指定する外線の番号 0 1 ~ 0 8、IP回線使用時は 0 9 ~ 1 6 を押すことで、外線を指定して電話をかけることができます。

#### 📌 お知らせ

- 間違い電話を防ぐため、電話番号は正確にダイヤルしてください。
- プリセットダイヤルの電話番号ケタ数は24ケタ（手順1の0を含む）までです。
- 電話番号入力後、約15秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。

### 内線へ電話をかける

#### 1 を押す



- 開始ボタンのランプが点灯します。

#### 2 内線番号を押す

例：内線番号30を押した場合



- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中、相手の内線番号（内線名）が表示されます。

#### 3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

#### お知らせ

- 内線番号を押したあとに  を押して電話をかけることもできます。（→216 ページ）
- 音声で呼び出す（内線音声呼出）には、内線番号の後に  を押して呼びかけます。
- 通話中に本機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたい時は保留を行ってください。（→221 ページ）

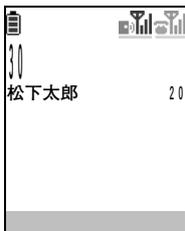
## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

### 電話番号を確認してから内線へ電話をかける（プリセットダイヤル）

ダイヤルした電話番号を確認してから電話をかけることができます。

#### 1 内線番号を押す

例：内線番号30を押した場合

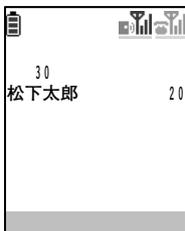


- 画面に内線番号が表示されます。

#### 番号を間違えたとき

- 番号の最後から1ケタずつ消すとき  
.....  を押す
- 番号を全て消してダイヤルし直すとき  
.....  を押す

#### 2 を押す



- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は相手の内線番号（内線名）が表示されます。

#### 3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

#### お知らせ

-  を押したあとに内線番号を押して電話をかけることもできます。(→215ページ)
- 音声で呼び出す（内線音声呼出）には、内線番号の後に  を押して呼びかけます。
- 電話番号入力後、約15秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。

### 音声で一斉（またはグループ別）に内線呼び出す

内線から特定のグループ別、またはすべての電話機をスピーカーから呼び出すことができます。

1  を押す

2  を押す

3 呼出番号を押す

- ①：一斉呼出
- ②：第1グループ
- ③：第2グループ
- ④：第3グループ
- ⑤：第4グループ
- ⑨：構内放送

4 相手を音声で呼び出す

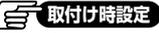
一斉（またはグループ別）呼出に  
応答するには

1  を押す

2   を押す

- 通話できます。

#### 操作のヒント

- 構内放送が接続されている場合、手順3で一斉呼出すると構内放送でも呼び出すことができます。
- 構内放送の場合、予告音（ピンポーン）を出すこともできます。予告音を出すまでの時間を変えることができます。  
 予告音のあとに呼び出してください。

#### お知らせ

- 手順4で、通話中の電話機を呼び出すことはできません。

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

### 外線の電話を受ける

 取付け時設定

#### 1 着信音が鳴る



- 開始ボタンのランプが点滅します。

#### 2 を押す



- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 相手とつながったら通話ができます。
- 通話中は通話時間が表示されます。

#### 3 通話が終わったら を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

#### 操作のヒント

- 着信中に充電台から本機を取り上げるだけで電話を受けることもできます。(→2.4G カラーデジタルコードレスセット取扱説明書)  
外線からかかってきた電話を受ける場合、主装置の設定も必要です。  取付け時設定

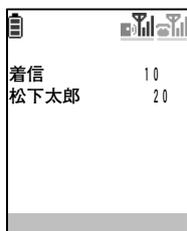
#### お知らせ

- キャッチホンサービスを受ける場合、 を押してください。
- 発信者の電話番号が通知された場合には、電話がかかってきたときに相手の電話番号が着信中の本機の画面に表示されます。電話に応答したあとも発信者の電話番号が表示されます。  
取付け時の設定により、応答したあとに表示させないようにしたり、電話がかかってきたときも応答したあとも表示させないようにすることができます。  取付け時設定
- 発信者の電話番号が外線電話帳に登録されている場合には、電話番号と併せて電話帳に登録された名前が表示されます。
- 本機が呼び出されているときに、圏外など、電波が届かない状態になった場合、その時点で着信音が停止します。ただし、発信者側は電話の呼び出しが継続します。  
その場合、すぐに接続装置、または中継アンテナの近くに移動してください。再度、着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- 通話中に本機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたい時は保留を行ってください。

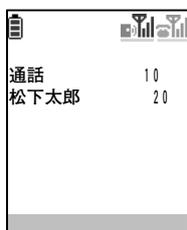
## 内線の電話を受ける

## 1 着信音が鳴る

例：内線番号10番から着信した場合



- 開始ボタンのランプが点滅します。

2  を押す

- 開始ボタンのランプが点灯します。
- 相手とつながったら通話ができます。

3 通話が終わったら  を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

 操作のヒント

- 着信中に充電台から本機を取り上げるだけで電話を受けることもできます。(→2.4Gカラーデジタルコードレスセット取扱説明書)

 お知らせ

- 内線から電話がかかってきた場合には、電話をかけた人の内線番号が表示されます。
- 内線電話帳に名前が登録されている場合、名前が表示されます。

例：内線番号10番の鈴木さんからかかってきた場合



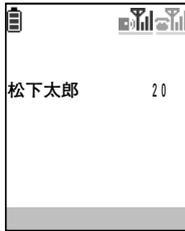
- 本機が呼び出されているときに、圏外など、電波が届かない状態になった場合、その時点で着信音が停止します。ただし、発信者側は電話の呼び出しが継続します。その場合、すぐに接続装置、または中継アンテナの近くに移動してください。再度、着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- 通話中に本機の送話口を手で覆っても声が相手に聞こえることがあります。相手に声が聞こえないようにしたい時は保留を行ってください。(→221 ページ)

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

### 外線通話を保留する（通話中、待ってもらう）

通話中に

#### 1 (保留) を押す



- 通話が保留され、相手には保留音が流れます。
- 充電ランプが点滅します。

### 外線保留に応答する

上記の操作または他の電話機で保留した外線通話に応答することができます。

例：FFキー2（②）に保留された通話に応答する場合

保留した外線通話があるときに

#### 1 (FF) を押す

- 他の電話機で保留した外線に対応するFFキーは赤色、自分で保留した外線に対応するFFキーは緑色にそれぞれ点滅します。

#### 2 点滅しているFFキーに対応するダイヤルボタンを押す

- 相手と通話ができます。
- 開始ボタンのランプが点灯します。
- FFキー10～FFキー12を選択する場合は以下のダイヤルボタンを押してください。

選択したいFFキー	FFキー-10	FFキー-11	FFキー-12
FFキーの画面表示	⑩	⑪	⑫
操作するダイヤルボタン	✳	0	#

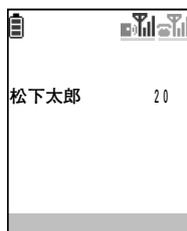
#### お知らせ

- 保留音は、システムに内蔵しているメロディー（6種類）およびオプションのメロディートークユニットを利用してメロディー着信のメロディー（10種類）の中から設定することができます。（➡302ページ）  取付け時設定
- 手順2の実行後、(FF) を押してFFキーを表示すると、該当の外線に対応するFFキーは緑色の点灯（2秒に1回一瞬点滅）になります。
- 保留中のFFキーの点滅は着信時に比べて遅い点滅になります。点滅パターンの詳細は「音とランプ表示」（➡330ページ）をご覧ください。
- 自分で保留した場合、(保留) を押して通話に戻ることもできます。  取付け時設定

### 内線通話を保留する（通話中、待ってもらう）

通話中に

#### 1 (保留) を押す



- 通話が保留されます。

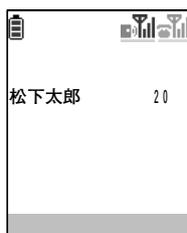
#### 2 通話に戻るとき (保留) を押す

- 通話に戻ります。

### 外線／内線通話を他の内線に転送する

通話中に

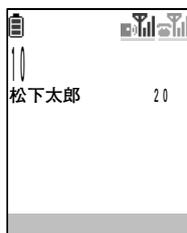
#### 1 (保留) を押す



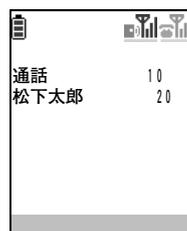
- 通話が保留され、相手には保留音が流れます。

#### 2 転送先の電話番号を押す

例：内線番号10を押した場合



#### 3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える



- 転送先が応答しないとき／転送をやめるときは、(開始) を押したあとに (保留) を押してください。保留中の外線／内線通話に戻ります。

#### 4 (転送) を押す

- 保留した通話が転送されます。
- (終了) を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

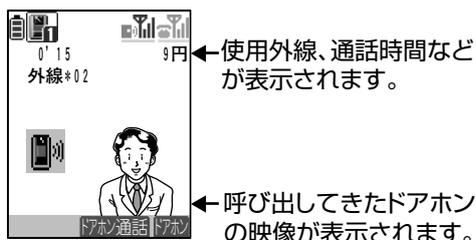
### 外線／内線通話中にドアホンからの呼び出しがあったとき

外線／内線との通話中にドアホンからの呼び出しがあると、呼出音が鳴り、呼び出してきた機器の情報が画面に表示されます。（カラーテレビドアホン接続時）

例：外線通話中にドアホン1から呼び出しがあった場合

#### ナビ操作

#### 1 外線／内線通話中に呼出音が鳴る

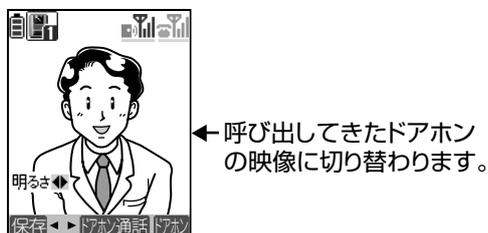


- ソフトキー表示の「ドアホン通話」が点滅します。

#### 2 ドアホン周辺をモニターする、またはドアホンと通話する

##### ドアホン周辺をモニターする場合

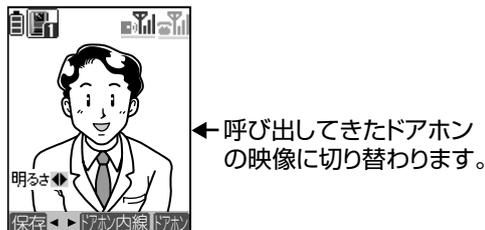
戻る (ドアホン) を押す



- ドアホンの映像に切り替わり、周囲の音が聞こえます。（こちらの声は相手側には聞こえません。）
- 外線／内線通話は保留されます。
- (ドアホン通話) を押すとドアホンと通話できます。
- (保存) を押すとドアホンからの映像が保存されます。

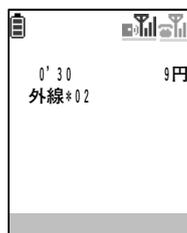
##### ドアホンと通話する場合

● (ドアホン通話) を押す



- ドアホンと通話ができます。
- 相手の声はスピーカーから聞こえます。
- 外線／内線通話は保留されます。
- (保存) を押すとドアホンからの映像が保存されます。

#### 3 ドアホンとの通話またはモニターが終わったら 終了 を押す



- 外線／内線通話の保留が解除され、外線／内線通話に戻ります。

#### 4 外線／内線通話が終わったら 終了 を押す

- 待ち受け画面に戻ります。

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

### 📖 操作のヒント

- 手順2でドアホンからの呼び出しに応答する前に、を押して、外線／内線との通話を保留することができます。その場合、手順3を実行後は通話が保留された状態に戻ります。
- ドアホン通話中に  や  で受話音量を調節できます。 を押すと音量が大きくなり、 を押すと音量が小さくなります。
- ドアホンやカメラと通話中に画像の明るさを変更したりすることができます。  
詳細は2.4Gカラーデジタルコードレスセット取扱説明書の「ドアホンからの呼び出しに応答する」の操作のヒント、または「カメラからの呼び出しに応答する」の操作のヒントをご覧ください。
- ドアホンやカメラ周辺をモニター中に画像の明るさを変更したりすることができます。  
詳細は2.4Gカラーデジタルコードレスセット取扱説明書の「外の様子を確認する（ドアホンモニター）」の操作のヒント、または「カメラ周辺の様子を確認する（カメラモニター）」の操作のヒントをご覧ください。

### 📌 お知らせ

- カメラからの呼び出しに応答することもできます。
- 呼び出してきた機器が表示されるマークによって分かります。

ドアホン 1～2:  ~ 

カメラ 1～4:  ~ 

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

### その他の操作一覧

本機では本章（210ページ～223ページ）の操作や設定以外に、デジタル多機能電話機（漢字表示付電話機）と同様に操作や設定ができる機能があります。操作や設定が可能な機能を以下に示します。

機能	内容	参照ページ
指定電話機	本機を指定電話機として使用することができます。システム全体に関わる設定や登録などの操作を行うことができます。	18
商品名／Ver表示	使用している主装置の商品名やソフトウェアのバージョンなどの情報を表示できます。	40
内線番号の確認	本機の内線番号を表示して確認することができます。	47
ネームトーク	外線から着信があった場合、着信音の代わりに相手の名前を音声で読み上げて着信をお知らせすることができます。また、外線間転送した転送先に、発信者の名前を音声で読み上げてかけてきた相手をお知らせすることもできます。	48
再ダイヤルする (ラストナンバーリダイヤル)	 を使って最後にかけた外線の電話番号にかけ直すことができます。	※1
短縮ダイヤルでかける	 を使って電話をかけることができます。	※1
内線代理応答	呼び出されている電話機に代わって本機で電話を受けることができます。	72
内線トークバック	音声で内線が呼び出されたときに、受話器を取らずに応答できます。	73
不在転送	電話に出られないとき、他の電話機に転送設定することができます。	101
アラーム設定	設定した時刻に本機からアラームを鳴らすことができます。本機が圏外にある場合、アラームは鳴りません。	140
プッシュ信号送出	通話中にプッシュ信号を送ることができます。航空券の予約や銀行の残高照会などにご利用になれます。	142
外線通話割込み	通話中に他の人を割込ませたり（プライバシー・リリース）、他の人が外線と通話中に割り込んで通話する（オーバー・ライド）ことができます。	143
3者会議通話	外線または内線との通話中に、別の内線（第3者）の人を加えて3人で通話することができます。	144
セレクト着信	電話がかかってきたとき、通知される相手の電話番号によって鳴る電話機と着信音を指定することができます。	145

※1：2.4Gカラーデジタルコードレスセットの取扱説明書をお読みください。

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

機 能		内 容	参照ページ
便 利 な 機 能	回線数コントロール	同時に複数の外線からかかってきて応答できないとき、着信させない外線（チャンネル）をあらかじめ設定し、着信数を制限することができます。	146
	迷惑電話着信拒否	発信者番号を通知していない相手や、拒否登録した電話番号の相手などの電話がかかってきたとき、電話を受けないようにすることができます。	147
	ACR	外線へ電話をかけたとき、市内発信、市外発信、発信日時により通話料金が異なる複数の電話回線の中から、自動的に特定の電話会社を選択して、発信することができます。	158
	付加情報表示	外線電話帳に登録した付加情報を、着信中または通話中に画面に表示することができます。	159
	カレントアラーム	FFボタンを押して、あらかじめFFキーに登録したカレントアラーム確認を表示させることで、主装置が障害、警告などのアラーム（カレントアラーム）を検出したことを確認することができます。検出した場合、FFキーが赤色に点灯します。	160
オ フ ィ ス 留 守 番	留守録	留守録を設定することにより、不在のときに電話をかけてきた相手の用件を録音したり（留守録モード）、留守であることを伝え回線を切断することができます。留守録ボックスにメッセージが録音されたときに、本機の充電ランプが点滅します。	103
転 送	手動転送	外線の相手と通話中に、手動で別の外線に転送できます。	165
	お助け転送	外線から着信があっても通話中で応答できないときは、手動で別の外線に転送できます。	166
	自動転送（一般着信）	外線にかかってきた電話を自動的にあらかじめ設定しておいた外線の転送先に転送することができます。	167
	自動転送（個別着信）	外線から個別に電話機にかかってきた電話（サブアドレスやダイヤルイン、i・ナンバー、セレクト着信の個別着信など）を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先へ、自動的に転送します。	170
	スライド転送	一定時間内に応答しない場合のみ転送します。社内で誰も応答しないときだけ外出先に転送したい場合などに使います。	177
	セレクト転送	特定の相手からの電話だけを転送する、またはしないようにすることができます。	184
	外線ダブル転送	外線からかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先2か所へ同時に転送することができます。どちらか先に電話をとった方が電話に出ることができます。	184

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

機 能		内 容	参照ページ
転送	ネクスト転送	最初の転送先が一定時間応答しないか通話中のとき、もう1つの転送先に転送します。	179
	デュアル着信	社内と転送先の両方で着信音を鳴らすことができます。どちらか先に電話をとった方が電話に出ることができます。	183
	自動転送中ガイダンス	発信者には転送中であることを、転送先には転送電話であることを知らせるガイダンスを流すことができます。	185
回線のサービス	キャッチホン	通話中に外線から電話がかかってきた場合、通話中の相手を保留にして、かかってきた相手と通話することができます。 このサービスは、電話（アナログ）回線のみ利用できます。ISDN回線の場合はINS キャッチホンを利用します。 キャッチホンサービスを受ける場合、  を押ししてください。	190
	ダイヤルイン	外線から特定の内線番号を呼び出すことができます。このサービスは、IP回線でもご利用できます。ダイヤルイン契約番号は最大50個まで設定できます。同一回線において、i・ナンバーとの併用はできません。	191
	i・ナンバー	外部から特定の内線電話機を呼び出すことができます。 i・ナンバーは、契約回線数1つにつき電話番号を最大3個（契約者回線番号を含む）契約することができます。 同一回線において、ダイヤルインサービス、代表取扱サービスなどとの併用はできません。	192
	発信者番号通知サービス	電話をかけた相手の電話機に電話番号を通知します。	193
	ナンバー・ディスプレイ	外線から電話がかかってきたとき、相手の電話番号が通知されたときは電話番号を表示します。電話番号が通知されないときは、その理由を表示します。	194
	ネーム・ディスプレイ	外線から電話がかかってきたとき、相手の名前が通知されたときは名前を表示します。	195
	サブアドレス通知サービス	電話番号のあとに内線番号を押すことによって、外線から特定の内線電話機を直接呼び出すことができます。 また、サブアドレス着信機能を利用して、内線番号を押すだけで簡単に相手のシステムの内線電話機を直接呼び出すことができます。 (ISDNクローズドナンバリング)	197

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

機 能			内 容	参照ページ	
回線のサービス	多重機能 (フレックスホン)	着信転送機能	一般着信	外線からかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先に自動的に転送します。	179
		着信転送機能	個別着信	外線から個別の電話機にかかってきた電話（サブアドレスやダイヤルインなど）をあらかじめ設定しておいた外線の転送先に自動的に転送します。	186
		INSキャッチホン		通話中に外線から電話がかかってきた場合、通話中の相手を保留にして、かけてきた相手と通話することができます。	199
		通信中転送機能		外線からかかってきた電話に出たあとに、他の人に転送します。	187
	INSボイスワープ		外線から電話がかかってきたときに、あらかじめ指定した転送先に自動的に転送するサービスです。	189	
	INSナンバー・リクエスト		電話番号を通知しない人からの電話をおつなぎしないサービスです。番号を通知してからかけ直すように音声ガイダンスが流れます。この機能は、INSナンバー・ディスプレイのオプション機能です。	189	
	INSマジックボックス		通話中やご不在中など、かかってきた電話に出られないとき、センターが応答してメッセージを録音するサービスです。外出先の携帯電話、公衆電話からもメッセージの再生、消去が行えます。	189	
その他の機能	複合機と連動		本システムに複合機（マルチファンクションプリンター）を接続（1システム（主装置）に1台のみ接続可能）することにより、複合機のコピー終了通知や、ファクス機能のジョブ結果や使用状態などを確認することができます。	236	
	構内放送		構内放送をすることができます。	239	
	玄関子機からの呼び出しに 応答する		ドアホンユニットに接続した玄関子機からの呼び出しに本機で応答することができます。	240	

## 2.4Gカラーデジタルコードレス電話機を使う

### FFキーに機能を設定する

外線ボタンに設定していないFFキーは、機能を設定して機能ボタンとして使うことができます。機能をFFキーに設定することにより、複数のダイヤルボタンを操作することなく、ワンタッチで機能を使うことができます。

1  を押す

2  を押す

3  を押す

4 機能を設定したいFFキーに対応するダイヤルボタンを押す

- FFキー10～FFキー12を選択する場合は以下のダイヤルボタンを押してください。

選択したいFFキー	FFキー10	FFキー11	FFキー12
FFキーの画面表示			
操作するダイヤルボタン			

5 設定したい機能の設定番号を押す

- 設定番号は最大6ケタまで入力できます。(→97ページ)

6  を押す

7  を押す

#### 消去するには

上記の操作の手順5を抜いて操作します。

#### 設定番号を確認するには

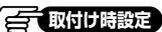
1  → 2  → 3 「確認／会議ボタン」を設定したFFキー → 4  → 5 設定番号を確認したいFFキーに対応するダイヤルボタンを押す → 6 確認したら 

- 「確認／会議ボタン」はあらかじめFFキーに設定しておく必要があります。 

#### お願い

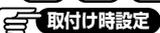
- 「FFボタンに設定できる機能」(→97ページ)の「留守応答モニター」の機能は本機で利用できません。「留守応答モニター」はFFキーに設定しないでください。

#### お知らせ

- 本機には短縮ボタンがありません。「FFボタンに設定できる機能」(→97ページ)の中で、「個人短縮ダイヤル」や「確認／会議ボタン」のように設定番号に短縮ボタンを含む機能は、上記の方法では設定できません。お買い上げの販売店にご相談ください。 
- FFキーに機能を設定しても、名称は設定されません。名称を設定するためには、パソコンからWWWブラウザを使用して名称を編集する必要があります(→255ページ)。

留守番電話機などの家庭用電話機を接続することができます。ご利用になる電話機の種類によって操作が異なります。また、電話機の種類により、外線からかかってきた呼出音と内線・玄関子機からの呼出音の区別ができない場合があります。

## ダイヤル式回線で使うときの操作

機能	参照ページ <sup>*1</sup>	操作
外線へ電話をかける	50	受話器を取る ⇨ 0 ⇨ 電話番号
外線を受ける	71	受話器を取る
保留(外線・内線)	75	(通話中に) フッキング <sup>*2</sup> ⇨ 受話器を戻す ⇨ (保留状態) ⇨ 受話器を取る ⇨ (通話)
フローティング保留応答	77	受話器を取る ⇨ 9 3 8 ⇨ フローティングボタン番号
共通短縮ダイヤルでかける	69	受話器を取る ⇨ 9 7 ⇨ 共通短縮ダイヤル 0 0 0 ~ 7 9 9 (または00~79、0000~1499  )
転送	76 79	(通話中に) フッキング <sup>*2</sup> ⇨ 内線番号 ⇨ 連絡 ⇨ 受話器を戻す
特定の外線を使ってかける	52	受話器を取る ⇨ 9 3 ⇨ 外線番号 0 1 ~ 0 4 (IP回線使用時は09~12) ⇨ 電話番号
特定の外線を受ける 保留中の外線に応答する	71 75	受話器を取る ⇨ 9 3 ⇨ 外線番号 0 1 ~ 0 4 (IP回線使用時は09~12)
内線を個別に 呼び出す	信号音	54 受話器を取る ⇨ 内線番号
	音声	54 受話器を取る ⇨ 内線番号 ⇨ 1
内線を受ける	72	受話器を取る
内線代理応答	72	受話器を取る ⇨ 9 3 9 3
一斉・グループ呼出 構内放送	呼出	55 受話器を取る ⇨ 9 3 4 ⇨ 呼出番号 (0 ~ 4、9)
	応答	55 受話器を取る ⇨ 9 3 5 0
玄関子機に応答	240	受話器を取る
玄関子機を呼び出す	玄関子機	240 受話器を取る ⇨ 9 1 ⇨ 玄関子機番号 1 ~ 4
電気錠を解錠する	241	(玄関子機通話中) ⇨ 3
外部スイッチを動かす	242	受話器を取る ⇨ 9 3 6 1 ⇨ 1 ~ 4 ⇨ 受話器を戻す
着信転送(個別着信)を設定する	174	受話器を取る ⇨ 9 3 9 2 0
着信転送(個別着信)を解除する	174	受話器を取る ⇨ 9 3 9 2 9
マルチライン内線着信を代理応答する	72	受話器を取る ⇨ 9 3 8 9 3

ISDN回線、IP回線へかける場合、電話番号をダイヤルしたあとに設定時間(お買い上げ時は6秒)が経過すると、自動的に電話番号が発信されます。

<sup>\*1</sup>：漢字表示付電話機で説明しているページを参考として示しています。

<sup>\*2</sup>：フッキングについては、230ページをご覧ください。

### お知らせ

- 単独電話機として、PBX用電話機(VB-E504)もお使いになれますが、プッシュ式回線のみ対応です。ダイヤル式回線ではお使いになれません。

# 単独電話機を使う

---

## フッキングについて

フッキングとは、受話器の下にあるフックスイッチを約0.3秒～0.7秒押してから離す操作です。フックボタンのある機種はフックボタンを押すことにより、フッキングを行うことができます。フッキングの時間は取付け時に設定します。☎ **取付け時設定**

## フローティング保留応答について

フローティング保留応答を行うには、取付け時に設定が必要です。☎ **取付け時設定**

プッシュ式回線で使うときの操作

機能	参照ページ*1	操作
外線へ電話をかける	50	受話器を取る ⇨ <b>0</b> ⇨ 電話番号 ⇨ <b>#</b> *2
外線を受ける	71	受話器を取る
保留(外線・内線)	75	(通話中に) フッキング*3 ⇨ 受話器を戻す ⇨ (保留状態) ⇨ 受話器を取る ⇨ (通話)
フローティング保留応答	77	受話器を取る ⇨ <b># 8</b> ⇨ フローティングボタン番号
共通短縮ダイヤルでかける	69	受話器を取る ⇨ <b>9 7</b> ⇨ 共通短縮ダイヤル <b>0 0 0</b> ~ <b>7 9 9</b> (または <b>00</b> ~ <b>79</b> 、 <b>0000</b> ~ <b>1499</b>  )
転送	76 79	(通話中に) フッキング*3 ⇨ 内線番号 ⇨ 連絡 ⇨ 受話器を戻す
特定の外線を使ってかける	52	受話器を取る ⇨ <b>*</b> ⇨ 外線番号 <b>0 1</b> ~ <b>0 4</b> (IP回線使用時は <b>0 9</b> ~ <b>1 2</b> ) ⇨ 電話番号 ⇨ <b>#</b> *2
特定の外線を受ける 保留中の外線に応答する	71 75	受話器を取る ⇨ <b>*</b> ⇨ 外線番号 <b>0 1</b> ~ <b>0 4</b> (IP回線使用時は <b>0 9</b> ~ <b>1 2</b> )
内線を個別に 呼び出す	信号音	54 受話器を取る ⇨ 内線番号
	音声	54 受話器を取る ⇨ 内線番号 ⇨ <b>1</b>
内線を受ける	72	受話器を取る
内線代理応答	72	受話器を取る ⇨ <b>*</b> <b>*</b>
一斉・グループ呼出 構内放送	呼出	55 受話器を取る ⇨ <b>#</b> ⇨ 呼出番号 ( <b>0</b> ~ <b>4</b> 、 <b>9</b> )
	応答	55 受話器を取る ⇨ <b># #</b>
玄関子機に応答	240	受話器を取る
玄関子機を呼び出す	玄関子機	240 受話器を取る ⇨ <b>9 1</b> ⇨ 玄関子機番号 <b>1</b> ~ <b>4</b>
電気錠を解錠する	241	(玄関子機通話中) ⇨ フッキング*3 
外部スイッチを動かす	242	受話器を取る ⇨ <b>*</b> ⇨ <b>6 1</b> ⇨ <b>1</b> ~ <b>4</b> ⇨ 受話器を戻す
着信転送(個別着信)を設定する	174	受話器を取る ⇨ <b>*</b> <b>9 2 #</b>
着信転送(個別着信)を解除する	174	受話器を取る ⇨ <b>*</b> <b>9 2 *</b>
マルチライン内線着信を代理応答する	72	受話器を取る ⇨ <b># 8 #</b>

※ 1 : 漢字表示付電話機で説明しているページを参考として示しています。

※ 2 : 外線へ電話をかけるときの操作では、相手の電話番号のあとの **#** は、電話 (アナログ) 回線では必要ありません。

※ 3 : フッキングについては、230 ページをご覧ください。

# 単独電話機を使う

## 単独電話機をお使いのときは

- NTTのキャッチホンサービスはご利用になれません。
- 構内交換機、ビル電話の端末としてお使いの場合、保留・転送は本システム内のみで可能です。
- 市販のコードレス電話機は、システムに1台のみ接続できます。
- 玄関子機および構内放送の通話音量は、デジタル多機能電話機より少し小さくなります。
- ダイヤル式電話機器から、サブアドレス発信（➡197ページ）はご利用になれません。

## プッシュホン式電話機をお使いのときは

- プッシュホン式単独電話機から外線発信（0発信、特定の外線捕捉発信など）する場合、発信操作（**0**、**\*** **0** **1** ダイヤルなど）後、必ず外線からの発信音を確認してからダイヤルしてください。誤ダイヤルを防ぎます。
- プッシュホン式単独電話機の再ダイヤル機能を使って外線発信を行った場合、誤ダイヤルが発生する場合があります。単独電話機の再ダイヤル機能はご利用にならないでください。
- プッシュ式回線で使う契約をしている場合、ACRはご利用になれません。

## 外線を保留する

### 1 通話中にフッキングする

- 相手には保留音が流れます。
- 他の電話機の外線ランプは赤色点滅します。

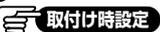
### 2 受話器を戻す

#### 通話に戻るとき

### 3 受話器を取る

- 保留再呼出音が鳴っていない場合、再度、フッキング操作をしてください。

#### 操作のヒント

- ダイヤル方式が「DP」に設定された電話機をご利用の場合、かかってきた外線通話を保留・転送する場合には、フッキングの代わりに **1** をダイヤルするように設定することもできます。
- 外線通話をフッキングで保留にしてから受話器を戻すと、すぐに保留再呼出音が鳴ります。
- フックスイッチで電話を切ってから電話をかける場合には、フックスイッチを1秒以上押してください。押す時間が短いと、フッキングとなり、前の通話が保留される場合があります。

## 短縮ダイヤルを使う

単独電話機を使って共通短縮ダイヤルで電話をかけることができます。

### 1 受話器を取る

### 2 **9 7** を押す

### 3 短縮番号を押す

共通短縮ダイヤル：

**0 0 0** ~ **7 9 9**

（または **0 0** ~ **7 9**、**0 0 0 0** ~

**1 4 9 9**  取付け時設定）

#### お知らせ

- 手順2の前に0発信をすると、短縮ダイヤルで電話をかけることはできません。

ファクスを内線に収容すると、ファクス専用の特定の電話番号を用意しなくてもファクスからの着信を内線のファクスに転送してファクスを受けることができます。

## ファクスを受ける（手動転送）

1 電話で応答し、ファクスへの着信だった場合に、**ファクス** を押す

2 受話器を戻す

### 操作のヒント

- 上記の手順1で **ファクス** の代わりに、**短縮** **9** **\*** と押して操作することもできます。
- 複数のファクスを内線に収容している場合、若番から転送します。
- 不在時のファクスへの着信は、夜間切替（⇒287ページ）、不在転送（⇒101ページ）などでファクスが自動応答するように設定できます。ただし、外線からかかってきた一般の電話もファクスへの着信になります。
- ファクスに転送後、一定時間内にファクスが応答しないときは自動的に回線を切ります。

FFボタンに **ファクス** を設定するには

1 **モニター** **設定/転送** を押す

2 設定したいFFボタンを押す

3 **短縮** **9** **\*** を押す

4 **保留** **モニター** を押す

- 「ブー」という音が聞こえたら、設定は完了です。

設定を解除するには

上記の手順3を抜いて操作します。

### お知らせ

- ファクスへの着信のときには、外線着信音が鳴ります。

## ファクスを受ける（自動転送）

ファクスからの着信を自動で内線ファクスへ転送します。一般の電話機では着信しません。

### ISDN回線をお使いの場合 <ISDN着信情報検出し転送>

取付け時の設定により、着信時に発信側からファクスであると通知された場合、自動的に内線に收容されたファクスへ転送されます。ISDN回線、Fネット\*1からかかってきた場合に利用できます。 

#### 1 ファクスからISDN回線に着信する

#### 2 内線に收容されたファクスへ自動転送する

- 一般着信、個別着信のどちらでも転送できます。ただし、個別着信の着信先が特定のファクスの場合には、この機能は動作しません。
- ファクスが通信中のときは、かけてきた相手に話中音（ツーツーツー）が聞こえます。

### 電話（アナログ）回線でお使いの場合 <ファクス信号検出し転送>

#### 1 あらかじめ設定された電話（アナログ）回線に着信する

- 同時に転送できるのは、システムで2回線までです。

#### 2 本システムが応答する

- 約10秒以内（お買い上げ時の設定）にファクス信号（CNG信号）を検出した場合、ファクスへ自動転送します。
- 約10秒以内（お買い上げ時の設定）にファクス信号（CNG信号）を検出しなかった場合、内線電話機を呼び出します。内線電話機で応答し、相手がファクスの場合、手動転送の操作で転送してください。
- 一定時間内に電話機で応答しないと、自動的に回線を切ります。

### ISDN回線（またはIP回線）でお使いの場合 <ファクス信号検出し転送>

#### 1 あらかじめ設定されたISDN回線（またはIP回線）に着信する

- 同時に転送できるのは、システムで2回線までです。
- ダイヤルインやi・ナンバーで個別着信した場合も利用できます。 

#### 2 本システムが応答する

- 約10秒以内（お買い上げ時の設定）にファクス信号（CNG信号）を検出した場合、ファクスへ自動転送します。
- 約10秒以内（お買い上げ時の設定）にファクス信号（CNG信号）を検出しなかった場合、内線電話機を呼び出します。内線電話機で応答し、相手がファクスの場合、手動転送の操作で転送してください。
- 一定時間内に電話機で応答しないと、自動的に回線を切ります。

### お知らせ

- 電話がかかってからファクス着信（およびその後内線電話機を呼び出す）までは、通常の電話を受ける場合よりも時間がかかり、相手をお待たせすることになります。また、すでに自動応答しているため、実際に電話に出る前から相手には通話料金がかかります。
- ダイヤルインや、i・ナンバー（ISDN回線）のサービスは、NTTとの契約が必要です。

※1：Fネット(ファクシミリ通信網サービス)は、NTTコミュニケーションズ株式会社のファクス専用ネットワークです。この機能をご利用になるには、NTTコミュニケーションズ株式会社との契約が必要です。サービスの詳細については、NTTコミュニケーションズ株式会社にお問い合わせください。

## ファクスを送る

ISDN回線、電話（アナログ）回線、IP回線のどちらでお使いの場合も同じ方法で送ることができます。

- 外線へ電話をかける操作で発信してください。（➡50ページ）  
発信プリファレンス（➡70ページ）を設定すると、電話番号をダイヤルするだけで発信できます。設定により、0発信グループ（➡326ページ）と重複させることも分離させることもできます。

## 複合機の状態を表示させる

本システムにカラー複合機（カラーマルチファンクションプリンター）または、モノクロ複合機（モノクロマルチファンクションプリンター）を接続（1システム（主装置）に1台のみ接続可能）することにより、複合機のコピー終了通知や、ファクス機能のジョブ結果や使用状態などを確認することができます。

複合機のコピー終了通知、ファクスの送信終了通知の設定方法については、複合機の取扱説明書をご覧ください。接続可能な複合機につきましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

確認できる内容を以下に示します。

※機種によって、確認できる内容が異なる場合があります。

## 複合機のジョブ完了通知

複合機にてコピーやファクス送信をしているとき、複合機がそのジョブを終了すると、あらかじめ設定しておいた電話機のFFボタン（➡97ページ）のランプの緑色点滅と通知音で、コピーまたはファクス送信を終了したことを知らせることができます。（システムで1台 ☎ 取付け時設定）また、該当するFFボタン（➡97ページ）を押すことにより、ジョブ完了通知情報を液晶表示部に表示することもできます（最新3件まで）。ジョブ完了通知情報を液晶表示部で確認すると、FFボタンのランプは消えます。

ジョブ完了通知情報の内容は、右表の通りです。

サービス種別	コピー完了時は「COPY」、ファクス送信完了時は「FAX送信」
送信先電話番号	ファクス送信先の電話番号（最大15ケタ）
終了時刻	終了した時刻（月/日 時:分:秒）
総ページ数	コピー/ファクス送信した総ページ数
ジョブ状態	ジョブの完了結果（OK/NG）

## &lt;ジョブ完了通知例&gt;

## コピージョブ終了（正常）

JOB : COPY	← サービス種別
FAX# :	
終了 : 8/25 08:35:50	← 終了時刻
結果 : OK (5) 頁	← コピーした総ページ数
	← ジョブ状態

## コピージョブ終了（異常）

JOB : COPY	← サービス種別
FAX# :	
終了 : 8/25 08:35:50	← 終了時刻
結果 : NG (キャンセル)	← ジョブ状態

## ファクス送信ジョブ終了（正常）

JOB : FAX送信	← サービス種別
FAX# : 0987654321	← 送信先電話番号
終了 : 8/25 08:35:50	← 終了時刻
結果 : OK (1) 頁	← ファクス送信した総ページ数
	← ジョブ状態

## ファクス送信ジョブ終了（異常）

JOB : FAX送信	← サービス種別
FAX# : 0987654321	← 送信先電話番号
終了 : 8/25 08:35:50	← 終了時刻
結果 : NG (異常終了)	← ジョブ状態

## &lt;異常状態の内容&gt;

液晶表示部のジョブ状態	内容説明
NG (キャンセル)	コピー実施中にコピーがキャンセルされたことを示します。 コピーカウンターを使用している場合、コピー数の制限を超えたときも表示されます。 ファクス送信時、送信停止により送信がキャンセルされたことを示します。
NG (異常終了)	コピー実施中にコピーが強制停止されたことを示します。 コピーカードを使用している場合、コピー実施中にコピーカードが抜かれたときも表示されます。 回線が抜けていてファクスが使用できない状態でファクスを送信したことを示します。

## ☎ お知らせ

- 複数のジョブ完了通知情報がある場合、 (▼) または  (▲) でジョブ完了通知情報画面を切り替えて表示することができます。
- 任意の漢字表示付電話機のFFボタンに複合機ジョブ完了通知を設定して、ランプで複合機のコピーやファクス送信の終了を確認したり、液晶表示部でジョブ完了通知情報を確認したりすることができます。
- 複合機のジョブ完了通知を、通知音でも確認できる電話機は1台だけです。 取付け時設定
- 数字表示付電話機は、ジョブ完了通知情報を表示できないため、ジョブ完了通知をFFボタンに設定した場合はジョブ完了通知のランプを消灯することができなくなります。

### 複合機のファクス受信通知

複合機でファクスを受信したとき、あらかじめ設定しておいた電話機のFFボタン（⇒97ページ）のランプを緑色点滅させて、ファクスの受信があったことを知らせることができます。また、該当するFFボタンを押すことにより、受信通知情報を液晶表示部に表示することもできます（最新1件）。受信通知情報を液晶表示部で確認すると、FFボタンのランプは消えます。受信通知情報の内容は、右表の通りです。

#### <ファクス受信通知例>

** F A X 受 信 **	
TIME:10/17 8:35	← ファクス受信開始時刻
No. :0450001234	← 発信元電話番号
NAME:XXXXXX	← 発信者名

サービス種別	ファクス受信完了「**FAX受信**」
ファクス受信開始時刻	ファクス受信を開始した時刻 (月/日 時:分)
発信元電話番号	ファクス発信元の電話番号(最大12ケタ) ※非通知着信は、非通知理由(ヒツウチ/ヒョウジケンガイ/コウシュウデンワ)を表示。 ナンバー・ディスプレイ契約無しのアナログ回線の場合、空白表示。
発信者名	受信した発信者名、短縮ダイヤルに登録された名前 ※網から受信した発信者番号が共通短縮ダイヤルと一致した場合、短縮ダイヤルに登録された名前を表示。共通短縮ダイヤルと不一致の場合、網通知の発信者名を表示。記述以外は空白表示。

#### お知らせ

- 数字表示付電話機は、FFボタンにファクス受信通知を設定することはできますが、FFボタンを押してファクス受信通知情報を表示することはできません。  
FFボタンにファクス受信通知を設定した電話機が全て数字表示付電話機の場合、ファクス受信通知のランプを消すことができなくなります。
- 内線ファクスの場合、受信通知はされません。

### 複合機の使用状態表示

複合機の使用状態を、あらかじめ設定しておいた電話機のFFボタン（⇒97ページ）のランプ表示で確認することができます。

ランプ表示	内容
赤点灯時	本システム_複合機間の接続断
赤点滅	トナー不足など複合機異常*1
緑点滅	複合機初期化中
消灯	複合機待機中
緑点灯	コピーやファクス受信中

※1：赤点滅しているときに、FFボタンを押すと、複合機の異常状態（トナー不足、紙詰まりなど）を液晶表示部に表示することもできます。

#### <異常状態の内容>

液晶表示部の異常状態表示内容	内容説明
機器障害発生	機器に障害が発生していることを示します。
紙詰まり発生	紙詰まりが発生していることを示します。
トナー無し	トナーが無いことを示します。
機器ドアオープン	機器のドアが開いていることを示します。
用紙なし	用紙が無いことを示します。
トレイエラー発生	トレイカセットが開いているなどの異常が発生していることを示します。*2
フィニッシャーエラー	排紙口のオーバーフローが発生していることを示します。*2
機器エラー発生	機器にユーザーが復旧可能なエラーが発生していることを示します。
メンテナンス必要です	メンテナンスが必要な状態であることを示します。
トナー残量が少いです	トナーの残量が少ないことを示します。

※2：モノクロ複合機の場合のみ表示されます。

#### お知らせ

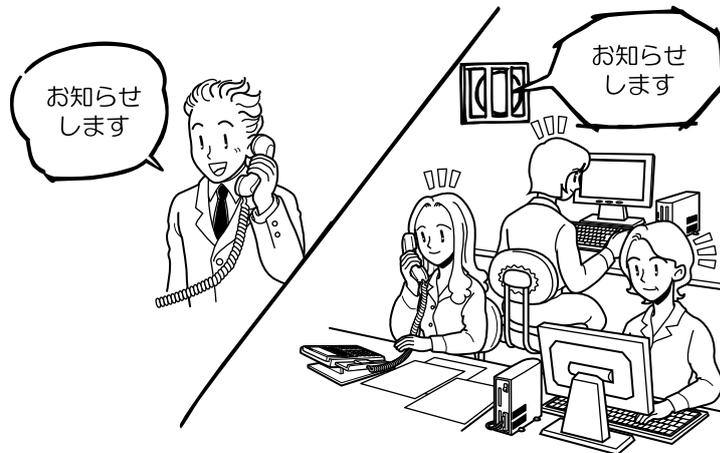
- 複合機の状態は、取付け時設定で設定された間隔  で監視し、FFボタンにその状態を表示させるため、複合機の動作とFFボタンの表示のタイミングがずれることがあります。

## オプションや他の機器と接続して利用できる機能一覧

オプションや他の機器と接続して利用できる機能の一覧を以下に示します。

機能	オプション機器 外部機器	内 容	参照ページ
構内放送をする	構内放送ユニット、 アンプ、スピーカー	すべての電話機から構内放送をすることができます。	239
玄関子機に応答する	ドアホンユニット、 玄関子機	玄関子機（ドアホン）からの呼び出しに各電話機で応答することができます。	240
電気錠を解錠する	ドアホンユニット、 電気錠	電話機から電気錠を解錠することができます。	241
外部スイッチを制御する	ドアホンユニット、 外部スイッチ	電話機から外部スイッチを動かし、電灯などをつけることができます。	242
センサーを使う	ドアホンユニット、 センサー	センサーからの着信を外線に転送し、メッセージを送出したり、ルーム音声をモニターすることができます。	243
ヘッドセットを使う	ヘッドセット	受話器の代わりに市販のヘッドセットを使うと、受話器を置いたままで通話できます。	244
FFボタンを増やす	24キー増設ユニット	24キー増設ユニット（VB-F331）を接続すると、電話機のFFボタンをさらに24個まで増やすことができます。	245
状態表示盤を使って外線状態を知る	状態表示盤	状態表示盤のランプに外線を割り付け、その外線の状態をランプ表示することができます。	246
その他	その他のオプション	その他にもいろいろなオプション機器をご利用になれます。	249

すべての電話機から構内放送をすることができます。外部機器としてアンプ、構内放送用スピーカーが必要です。構内放送にトークバック用ドアホンで応答する場合、オプションの構内放送ユニット（VB-F261）とトークバック用ドアホン子機が必要です。



## 1 受話器を取る

## 2 **■** を押す

## 3 **9** を押す

## 4 送話口に向かって話す

- 構内放送されます。

### 構内放送に電話機で応答するには

## 1 受話器を取る

## 2 **■** **■** を押す

- 構内放送をした方と通話ができます。

### ドアホンで応答するには

## 1 ドアホンに向かって話す

- 構内放送した方の声をスピーカーで聞きながらお話しできます。
- ドアホンで応答した音声は、構内放送をしている方にだけ聞こえます。

### お知らせ

- 構内放送の前に予告音（ピンポーン）を流すこともできます。（➡333 ページ）予告音を出すまでの時間を変えることができます。  取付け時設定

玄関子機（ドアホン）からの呼び出しに各電話機で应答することができます。

玄関子機とドアホンユニット（VB-F260）が必要です。玄関子機はシステムに4台まで接続することができます。

## 1 着信音が鳴る

- 着信ランプが点滅し、内線ランプが点灯します。

## 2 受話器を取る

- 玄関子機の方とお話してください。

## 玄関子機の着信音が鳴らない電話機※1で应答するには

### 1 他の電話機から着信音が鳴る

### 2 受話器を取る

### 3 ⑨ ① と ① ~ ④ を押す

- ① : 玄関子機1
- ② : 玄関子機2
- ③ : 玄関子機3
- ④ : 玄関子機4

- 他の電話機で鳴っている着信音に対応した玄関子機の番号を選択します。

※1：取り付け時設定で、玄関子機からの呼び出しに鳴動しないように設定されている電話機。

#### 操作のヒント

- 玄関子機呼出が同一グループの他の電話機に設定されている場合、手順3で   を押しても应答できません。
- 着信音が鳴ってから約15秒後に内線ランプが消えます。内線ランプが消えたら、手順2のあとに番号 (⑨ ① ① ~ ⑨ ① ④) を押して应答してください。

#### 操作のヒント

- 玄関子機からの呼び出しがあった場合、漢字表示付電話機の液晶表示部に玄関子機番号が表示されます。
- 玄関子機からの着信音（呼び出し音）は、4種類（下表参照）です。

着信音（呼び出し音）	
1	ピーン・ポーン
2	ピンポーンピンポーン
3	ピンボンパンポーン
4	ピッポッピッポッ・ピッポッピッポッ

- 玄関子機と通話中に別の玄関子機から呼び出しがあると、受話器から小さく着信音が聞こえる、または話中時着信音が鳴ります。受話器を戻してから番号 (⑨ ① ① ~ ⑨ ① ④) を押して应答してください。

#### お知らせ

- 玄関子機との通話は保留、転送することができません。
- 玄関子機との同時通話は、2台までです。  
玄関子機1と玄関子機3、玄関子機2と玄関子機4は同時に通話できません。

電話機から電気錠を解錠することができます。  
オプションのドアホンユニット (VB-F260) が必要です。

### 玄関子機と通話中に解錠

- 1 玄関子機と通話中に **3** を押す

### 電気錠を指定して解錠

- 1 **モニター** を押す

- 2 電気錠解錠ボタンを押す

電気錠1 : \* 6 7 1

電気錠2 : \* 6 7 2

電気錠3 : \* 6 7 3

電気錠4 : \* 6 7 4

●電気錠が解錠されます。

- 3 **モニター** を押す

### お知らせ

- 電気錠1～電気錠4の解錠ボタンをFFボタンに設定すると (→97ページ)、FFボタンを押すことにより解錠ができます。FFボタンのランプは通常は消灯していますが、解錠操作により電気錠が開いたとき、FFボタンが一時的に赤点灯して解錠したことが確認できます。
- 施錠する場合、電気錠によっては解錠する操作と同じ操作をしてください。

電話機から外部スイッチを動かし、電灯などをつけることができます。4つのリレーを制御することができます。オプションのドアホンユニット(VB-F260)が必要です。

### 1 を押す

### 2 以下のボタンを押す

外部スイッチ1:    

外部スイッチ2:    

外部スイッチ3:    

外部スイッチ4:    

•外部スイッチが動作します。

### 3 を押す

## センサー着信を外線に転送し、ルームモニターする



センサーからの着信を、あらかじめ指定した外線の電話番号へ転送し、センサー発報メッセージを送出したあと、室内の音を聞いて室内の様子をモニター（ルーム音声モニター）することができます。オプションのマルチボイス拡張ユニット（VB-F263）が必要です。電話（アナログ）回線をお使いの場合、この機能はご利用できません。

転送先の設定は、指定電話機で行います。（➡304ページ）



### お願い

- ルームモニターをご利用になる場合は、ご利用になるお客様の責任でプライバシーを考慮のうえ、室内の様子をモニターしてください。

### お知らせ

- ルームモニター中に同じセンサーからの発信があった場合、ルームモニター中の電話機には着信しません。他の電話機へのセンサー着信となります。ルームモニターは継続して行えます。
- センサーの発報メッセージの設定は、取付け時に設定します。

〈発報メッセージの種類〉

センサー 1 発報メッセージ：「センサー 1 を検知しました。」

センサー 2 発報メッセージ：「センサー 2 を検知しました。」

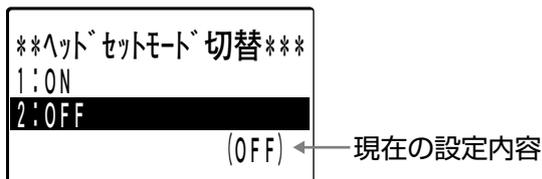
センサー 3 発報メッセージ：「センサー 3 を検知しました。」

センサー 4 発報メッセージ：「センサー 4 を検知しました。」

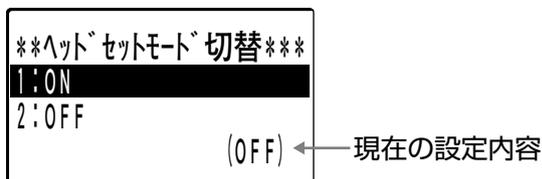
受話器の代わりに市販のヘッドセットを使うと、受話器を置いたままで通話できます。ヘッドセットを使う前に、電話機をヘッドセットモードに切り替えてください。

### ナビ操作

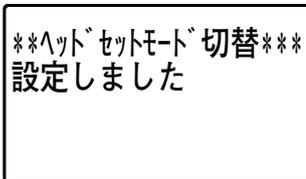
- 1 (▲) を押し、 (◀) を操作して「ヘッドセットモード切替画面」を表示する (→30ページ)



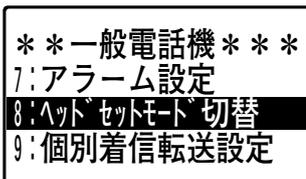
- 2 (▼) で「1:ON」を選択する



- 3 (決定) を押す



↓ 約2秒後



- ヘッドセットモードが設定されます。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 操作のヒント

- ヘッドセットモードの設定を解除する場合、手順2で「2:OFF」を選択し (決定) を押ししてください。
- ヘッドセットを使うときは、電話機本体から受話器コードを抜き、ヘッドセットを接続します。
- 受話器は元の位置に置いたままにします。
- 外線から電話がかかってきたときは、 を押して応答してください。
- 使用可能なヘッドセットにつきましては、販売店にご相談ください。

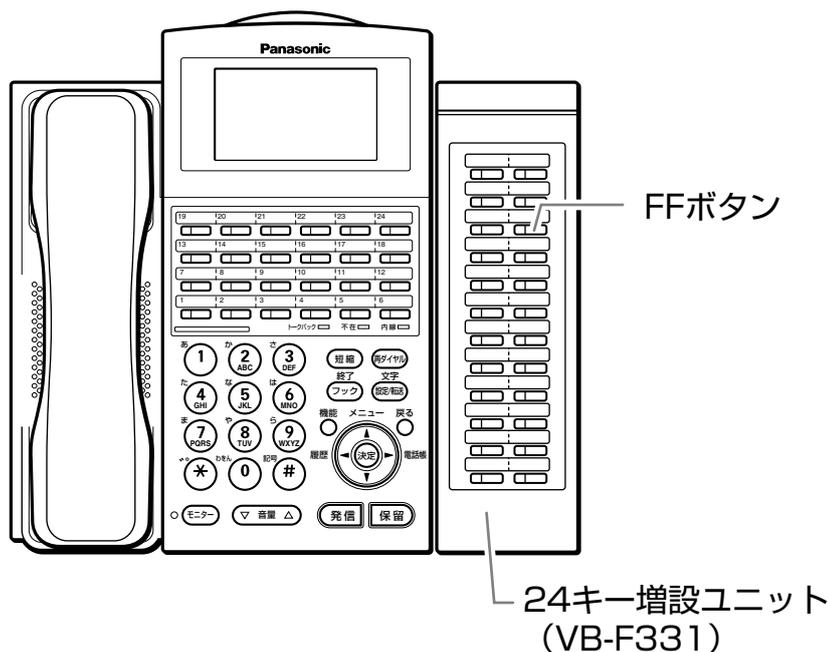
### ボタン操作

- 1 → 2 → 3 → 4

### ボタン操作のヒント

- ヘッドセットモードを解除するときも、同じ操作を行います。

24キー増設ユニット (VB-F331) を接続すると、電話機のFFボタンをさらに24個まで増やすことができます。

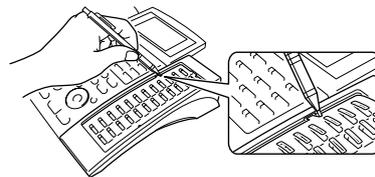


## 記入シートの使いかた

記入シートに、電話番号や短縮ダイヤルに登録した名前、設定した機能などを書き込んでお使いいただくと便利です。

### 1 記入シートを取り外す

- カバー横の穴にシャープペンなどの先を軽く差し込み、カバーと記入シートを取り外します。



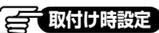
### 2 書き込む

- FFボタン、ワンタッチボタンの上のスペースに、登録した名前や機能を書き込みます。

### 3 取り付ける

- 記入シートを元の位置に置き、カバーをはめ込みます。

#### お知らせ

- 24キー増設ユニット (VB-F331) は、数字表示付電話機には接続できません。
  - ボタンの設定位置は自由に選ぶことができます。
  - 24キー増設ユニット (VB-F331) のFFボタンを機能ボタンとして利用することができます。(→96ページ)
- <機能ボタン例> ⑨⑧ 内線番号、⑨⑨ 内線番号をFFボタンに設定する。
- ⑨⑧ 内線番号をFFボタンに設定した場合、外線または内線通話中に設定したFFボタンを押すと、通話を自動保留し登録した内線呼び出して、相手が応答すると同時に保留した通話を転送することができます。
  - ⑨⑨ 内線番号をFFボタンに設定した場合、設定したFFボタンを押して登録した内線呼び出すことができます。
  - ⑨⑧ 内線番号、⑨⑨ 内線番号をFFボタンに設定した場合、登録した内線の状態をFFボタンのランプで表示することができます。

使用中／着信中：赤色で点灯    不在／不在転送設定中：緑色で点灯    空き：消灯

# 状態表示盤を外線表示盤として使う

状態表示盤のランプに外線を割り付け、その外線の状態をランプ表示することができます。

外線の状態とランプ表示の関係は、次のようになります。

外線の状態	ランプ表示
空き	消灯
使用中	赤色で点灯
着信中	赤色で点滅
保留中	赤色で点滅

## 〈外線表示盤として利用する場合〉



VB-F081

ランプ

収容外線数分の外線は、必ず下のランプから割り付けられています。設定により、割り付け順を変更することもできます。 **取付け時設定**

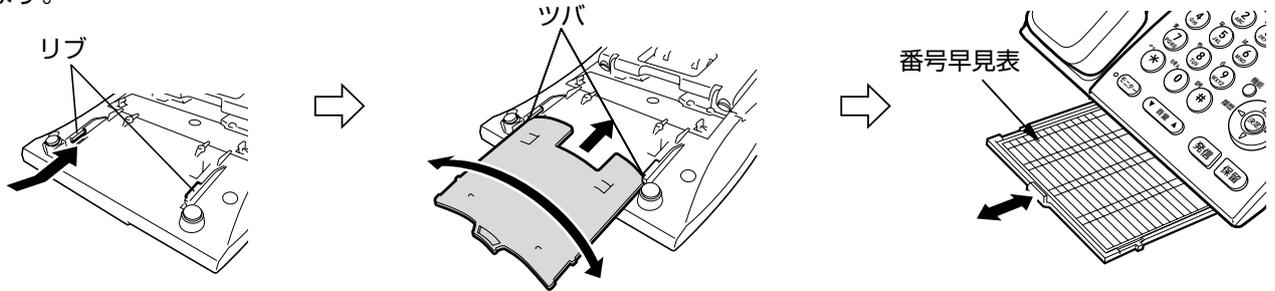


## 番号表ホルダー（オプション）の取り付け方

### 〈漢字表示付電話機〉

#### 《取り付け方》

番号早見表を番号表ホルダーに取り付けたら、番号表ホルダーをたわませて両脇のツバをリブの下に入れて押し込みます。



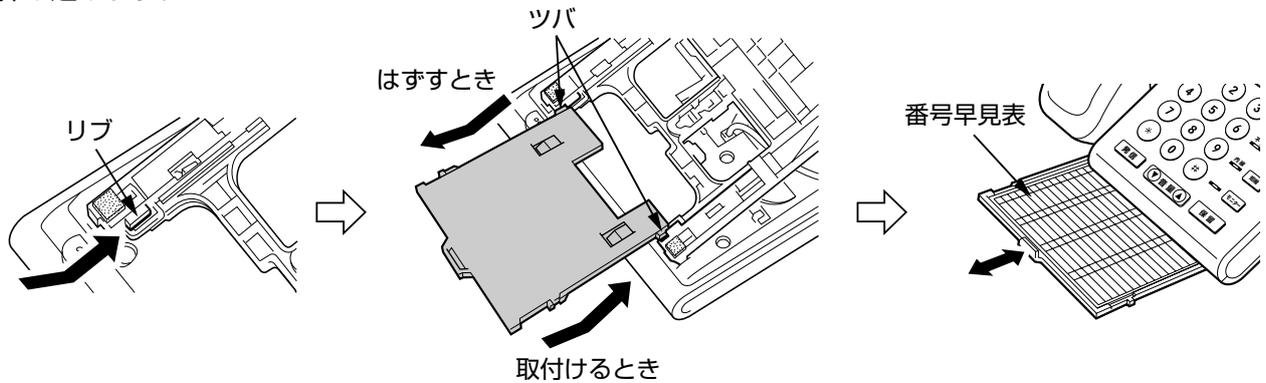
#### 《はずし方》

番号表ホルダーをたわませて引き出し、はずします。

### 〈数字表示付電話機〉

#### 《取り付け方》

番号早見表を番号表ホルダーに取り付けたら、番号表ホルダーの両脇のツバを角度アダプターのリブの下に入れて押し込みます。



#### 《はずし方》

番号表ホルダーをいっぱいまで引き出し、番号表ホルダーの先端を持ち上げながらはずします。

## 電話機を壁掛けにする

オプションの壁掛け用品を壁に取り付けると、電話機を壁に掛けてお使いになれます。

## 通話録音 取付け時設定

通話内容を市販のテープレコーダーで録音することができます。オプションの通話録音用端子アダプタが必要です。

- 単独電話機には接続できません

## 雑防ハンドセット

電話機の受話器をオプションの雑防ハンドセットに取り替えると、騒音の大きい場所でも、より明瞭に通話できます。

### お知らせ

- 上記のオプションをお使いになりたい場合、販売店にご相談ください。

# 14 パソコンから各種設定をする(一般用)

お使いになるなどなでもWWWブラウザを使用して、各種設定をパソコンから行うことができます。ここでは、パソコンから電話機ごとに設定を行う操作を説明します。

## パソコンの動作条件

- CPU : Intel® Pentium® 233MHz以上  
RAM : 64MB以上  
ハードディスクドライブの空き容量 : 26MB以上  
基本OS : Microsoft® Windows® 98  
Microsoft® Windows® Me  
Microsoft® Windows® 2000 Professional  
Microsoft® Windows® XP Professional SP2/Home Edition SP2  
WWWブラウザ : Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP1 (最新のパッチを適用してください)  
Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP2

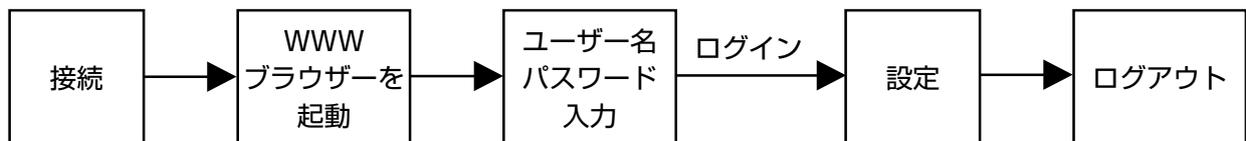
### お願い

- WWWブラウザのcookie機能およびJavaScript機能はONに設定してください。
- WWWブラウザで、画面の表示形式を変更するような設定がされている場合、画面が正しく表示されないことがあります。  
その場合、例えば、以下の設定を確認してください。

例：Microsoft® Windows® XP の場合

- ① 基本OSの画面のプロパティから「設定」タブを選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。  
表示される画面内の「全般」タブを選択し、「DPI設定」が「通常のサイズ(96DPI)」となっていることを確認してください。
- ② WWWブラウザの「ツール」－「インターネットオプション」メニューから「全般」タブを選択してから、「ユーザー補助」ボタンをクリックしてください。  
表示されるユーザー補助画面内の書式設定の各項目にチェックが入っていないことを確認してください。  
ご使用の環境によって項目名の表現が異なります。

## 設定の流れ



## パソコンから設定できる項目一覧

項目	設定内容	参照ページ
個人電話帳	個人電話帳ヘデータの登録、変更、削除をします。	254
パスワード変更	WWWブラウザから主装置にログインするときのパスワードを変更します。	255
2.4GコードレスFFキー名登録	2.4Gカラーデジタルコードレス電話機のFFキー名を登録します。	255

## WWWブラウザを起動してログインする

### 1 パソコンでWWWブラウザを起動する

### 2 アドレスバーの入力欄に「http://主装置IPアドレス/」を入力し、主装置にアクセスする

- ログイン画面が表示されます。



### 3 ユーザー名（内線電話）、パスワード（初期値：無し）を入力し、

**ログイン** をクリックする

- メインメニュー画面が表示されます。

#### お知らせ

- ユーザー名（内線番号）にはデジタル多機能電話機、または2.4Gカラーデジタルコードレス電話機の内線番号を入力してください。
- 主装置には、あらかじめIPアドレスの設定が必要です。  **取付け時設定**
- システム管理者がすでにログインしている場合、一般用の方はログインしてデータを参照することはできますが、データを編集して設定することはできません。システム管理者がログアウトした後に設定を行ってください。
- 操作開始前に起動中のWWWブラウザを終了してから操作手順に沿ってログインしてください。

# パソコンから各種設定をする（一般用）

## メインメニュー画面

メインメニュー画面は、トップフレーム、ツリーメニューフレーム、メインフレームの3つのフレームで構成されています。



### ① トップフレーム

バージョン情報の表示とログアウトの制御を行うことができます。

バージョン情報は、「ソフトウェア品番」と「バージョン」を表示します。

ツリーメニューフレームおよびメインフレームでの操作に関係なく、常に

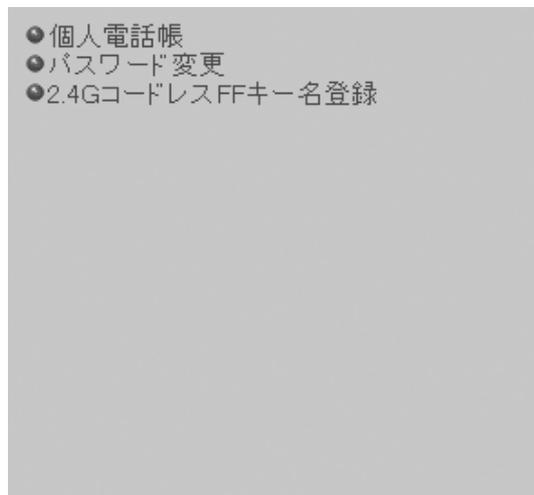


### ② ツリーメニューフレーム

設定できるメニューを表示します。

●のついたメニューをクリックすると、右側のメインフレームに、そのメニューの設定画面が表示されます。メニュー選択時に選択したメニューの画面がメインフレームに表示されず、新たにウィンドウが開いて表示された場合、一度、ログアウトしてから再度操作してください。

メニュー選択時にメインフレームにエラー画面が表示された場合、再度、メニューを選択してください。



### ③ メインフレーム

ツリーメニューフレームで選択したメニューの設定画面を表示します。

メインフレームに表示される設定画面には、送信、再表示、デフォルト値表示が表示されます。

各ボタンの役割を以下に説明します。



- ① **送信** : 設定画面の各項目に設定した値を主装置に送信し、データが更新されます。  
**送信** をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されますので、メッセージを確認し、**OK** をクリックします。



- ② **再表示** : 最新の値を反映した設定画面が再表示されます。
- ③ **デフォルト値表示** : 設定画面の各項目の初期値が表示されます。  
 デフォルト値を表示した状態で **再表示** をクリックすると、現在設定されている値に表示が戻ります。  
 デフォルト値を表示した状態で **送信** をクリックすると、デフォルト値で更新されます。

## お知らせ

- WWWブラウザから入力可能な文字は以下のとおりです。  
 対応している文字以外の文字を入力しないでください。

全角ひらがな	カタカナ		英字		数字	
	全角	半角	全角	半角	全角	半角
あいうえお	アイウエオ	アイウイオ	—	—	1	1
かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	ABC abc	ABC abc	2	2
さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	DEF def	DEF def	3	3
たちつてと っ	タチツテト ッ	タチツテト ッ	GHI ghi	GHI ghi	4	4
なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	JKL jkl	JKL jkl	5	5
はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフヘホ	MNO mno	MNO mno	6	6
まみむめも	マミムメモ	マミムメモ	PQRS pqrs	PQRS pqrs	7	7
やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ヤユヨ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV tuv	TUV tuv	8	8
らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	WXYZ wxyz	9	9
わをん	ワヲン	ワヲン	—	—	0	0
”	”	”	. - @ _ / : ~	. - @ _ / : ~	*	*
、。－ ! ? 空白	、。－ ! ? 空白	、。－ ! ? 空白	, ! ? ¥ & ( ) * # " ' = ^ + ;	, ! ? ¥ & ( ) * # " ' = ^ + ;	#	#

漢字はJIS第1水準および第2水準に対応しています。

# パソコンから各種設定をする（一般用）

## 各種設定を行う

ツリーメニューフレームから各設定項目をクリックして選択し、必要事項を入力、または、選択します。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。

**送信** をクリックし、表示されるダイアログボックス（➡253ページ）で **OK** をクリックしたあと「実行結果」画面が表示されます。

結果の「成功」または「失敗」に関わらず、「実行結果」画面の [戻る] をクリックすると **送信** をクリックした画面に戻ります。

**送信** をクリックした画面に戻ったとき、現在設定されている値を表示するには **再表示** をクリックしてください。

## 個人電話帳

個人電話帳にデータの登録、変更、削除をします。

削除	登録/変更	短縮番号	名前	フリガナ	電話番号
削除	登録/変更	30	山田太郎	ヤマダタロウ	0501112222
-	登録/変更	31	-	-	-
-	登録/変更	32	-	-	-
-	登録/変更	33	-	-	-
-	登録/変更	34	-	-	-
-	登録/変更	35	-	-	-
-	登録/変更	36	-	-	-
-	登録/変更	37	-	-	-
-	登録/変更	38	-	-	-
-	登録/変更	39	-	-	-
-	登録/変更	30	-	-	-
-	登録/変更	31	-	-	-
-	登録/変更	32	-	-	-

- ① 削除  
「削除」リンクをクリックすると、その行の電話帳データが削除されます。
- ② 登録/変更  
「登録/変更」リンクをクリックすると、その行の電話帳データを登録および変更する画面が表示されます。
- ③ 全件削除  
**全件削除** をクリックすると、確認画面が表示されます。**OK** をクリックするとすべての電話帳データが削除されます。  
**全件削除** をクリックし、「実行結果」画面で [戻る] をクリックすると、削除前の「個人電話帳」画面に戻ります。  
全件削除が反映されたことを確認するには、**再表示** をクリックしてください。

個人電話帳画面で「登録/変更」リンクをクリックすると、以下の個人電話帳登録/変更画面が表示されます。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。

個人電話帳登録/変更

内線番号: 10

短縮番号 80

名前 (\*1) 山田太郎 ①

フリガナ (\*2) ヤマダタロウ ②

電話番号 (\*3) 0501112222 ③

\*1: 全角で7文字(半角で14文字)以内  
\*2: 半角で10文字以内  
\*3: 半角の数字、#, \*, R, Aで24文字以内

送信 再表示 デフォルト値表示

- ① 名前  
登録または変更する名前を設定します。  
名前には全角で7文字（半角で14文字）以内の文字を入力してください。
- ② フリガナ  
登録または変更する名前のフリガナを設定します。フリガナには半角で10文字以内の文字を入力してください。
- ③ 電話番号  
登録または変更する電話番号を設定します。  
電話番号には半角の数字、#(＃)、\*(＊)、R(再ダイヤル)およびA(短縮)で24文字以内の文字を入力してください。再ダイヤル、短縮を利用して258ページの内容を入力することもできます。

### 操作のヒント

- **送信** をクリックし、「実行結果」画面が表示されている状態で、ツリーメニューフレームの「個人電話帳」をクリックすると、最新の「個人電話帳」画面を表示します。連続して設定/変更を行う場合に便利です。

### お知らせ

- WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大14文字まで入力可能ですが、7文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大7文字までの制限を超えないようにしてください。

## パスワード変更

WWWブラウザから主装置にログインするときのパスワードを変更します。お買い上げ時は、パスワードが設定されていませんので設定することをお勧めします。また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。
- パスワードの初期値は、「無し」です。
- パスワードの設定は、半角英数字16文字以内で、大小文字を区別して入力してください。

- ① 現在のパスワード  
現在のパスワードを入力します。
- ② 新しいパスワード  
新しいパスワードを入力します。
- ③ 新しいパスワード（確認用）  
②で入力した新しいパスワードを確認のため再度入力します。

## 2.4GコードレスFFキー名登録

2.4Gカラーデジタルコードレス電話機で使用するFFキーに名称を設定します。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。

- ① FFキー名  
各FFキーに名称を設定します。  
FFキー名には全角で8文字（半角で16文字）以内の文字を入力してください。

### お知らせ

- WWWブラウザ上では全角、半角にかかわらず最大16文字まで入力可能ですが、8文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大8文字までの制限を超えないようにしてください。

## ログアウトする

すべての設定が終了したら、**ログアウト** をクリックして、操作を終了します。

### お願い

- ログアウトした時に設定したデータがSDメモリーカードに保存されます。ログアウトをせずに主装置をリセットまたは電源を切った場合、次回の起動時に設定したデータが反映されません。操作を終了するときは、ウィンドウの **X** を押して終了したりせず、必ずログアウトをして終了してください。  
**X** を押して終了してしまった場合、WWWブラウザを起動し、再度ログインを行ったあとログアウトしてください。
- ログアウトに失敗した場合、登録したデータがSDメモリーカードに保存されていない可能性があります。その場合、WWWブラウザの **[更新]** ボタンをクリックし、画面の再表示を行った後に、再度 **ログアウト** をクリックしてください。

指定電話機から登録や設定ができる内容を以下に示します。

項目	電話機種類		内容	参照ページ
	漢字	数字		
外線電話帳の登録	●	—	共通短縮ダイヤルに、電話番号や名前などを登録できます。	259
共通短縮ダイヤルの登録	●	●	共通短縮ダイヤルに、電話番号を登録できます。	266
内線電話帳の登録	●	—	内線の電話番号に名前を登録できます。	274
特殊内線の登録	●	—	他のシステムの内線などに、名前などを登録できます。	279
日付・時刻の変更	●	●	日付や時刻を変更できます。	285
FFボタンの機能の登録※ <sup>1</sup>	●	●	FFボタンに機能を登録できます。	96
手動夜間切替設定	●	●	手動で夜間切替を設定できます。	287
自動夜間切替設定	●	●	自動で夜間切替を設定できます。	289
メロディー着信設定	●	—	着信音にメロディーを登録できます。	302
センサー外線転送設定	●	—	センサーからの着信を外線へ転送できます。	304
外線名称設定	●	—	回線の名称を登録できます。	306
非通知着信先設定	●	—	非通知着信時の着信先を登録できます。	305
通話料金の集計確認	●	●	電話機ごとの通話料金の合計を確認できます。	307
障害などの内容の確認※ <sup>1</sup>	●	●	障害、警告などのアラーム（カレントアラーム）の内容を確認できます。	308
自動転送（一般着信）設定	●	●	一般着信の自動転送を設定／解除できます。	167
一般着信転送先設定	●	●	一般着信の転送先の電話番号を設定できます。	167
自動転送（個別着信）設定※ <sup>1</sup>	●	●	個別着信の自動転送を設定／解除できます。	170
個別着信転送先設定	●	●	個別着信の転送先の電話番号を設定できます。	170
スライド転送	●	●	転送するまでの時間を設定できます。	177
ネクスト転送先設定	●	●	ネクスト着信の2か所目の転送先の電話番号を設定できます。	179
留守録設定時の応答動作の設定	●	—	留守録設定時の応答動作の詳細条件を、各テナントのモードごとに設定することができます。	107
留守応答モニターの設定	●	●	外線からの留守録メッセージ録音中に、モニター設定された電話機のスピーカーからメッセージを聞くことができます。	112
お待たせ応答（自動）の設定	●	●	自動お待たせ応答を設定できます。	118
ボックス名称の設定	●	—	録音用ボックスの名称をつけることができます。	138

●：登録・設定可能

※<sup>1</sup>：指定電話機でなくても、各電話機で登録・設定が可能です。

## 電話帳と短縮ダイヤルについて

よくかける電話番号は、電話帳や短縮ダイヤルに登録しておくことにより、簡単に電話をかけることができます。

ここでは、短縮ダイヤルと電話帳の違いや、登録できる電話機などについて説明します。

	登録電話機	内 容
共通短縮ダイヤル	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">数字</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">漢字</div>	<p>共通短縮ダイヤルは、システムで共通して利用できる短縮ダイヤルです。</p> <p>共通短縮ダイヤルの登録は、指定電話機から行います。                      電話番号を最大800件（短縮番号000～799）まで登録できます。                      取付け時の設定により、短縮番号のケタ数を2ケタまたは4ケタに変更することができます。  <b>取付け時設定</b></p> <p>その場合の最大登録数は、2ケタ：80件（短縮番号00～79）、4ケタ：1500件（短縮番号0000～1499）となります。</p>
外線電話帳	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">漢字</div>	<p>外線電話帳は、共通短縮ダイヤルに名前などを登録した電話帳です。                      外線電話帳で登録した共通短縮番号は、システムで共通して利用できます。</p> <p>外線電話帳の登録は、指定電話機から行います。                      電話番号や名前などを最大800件（短縮番号000～799）まで登録できます。                      取付け時の設定により、短縮番号のケタ数を2ケタまたは4ケタに変更することができます。  <b>取付け時設定</b></p> <p>その場合の最大登録数は、2ケタ：80件（短縮番号00～79）、4ケタ：1500件（短縮番号0000～1499）となります。</p>
個人短縮ダイヤル	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">数字</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">漢字</div>	<p>個人短縮ダイヤルは、各電話機ごとに利用できる短縮ダイヤルです。</p> <p>個人短縮ダイヤルの登録は、各電話機から行い、個人短縮番号ごとに電話番号を最大20件（短縮番号80～99）まで登録できます。</p>
個人電話帳	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">漢字</div>	<p>個人電話帳は、個人短縮ダイヤルに名前などを登録した電話帳です。</p> <p>個人短縮ダイヤルの登録は、各電話機から行い、個人短縮番号ごとに電話番号や名前などを最大20件（短縮番号80～99）まで登録できます。</p>
内線電話帳	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">漢字</div>	<p>内線電話帳は、収容している内線番号に名前などを登録した電話帳です。</p> <p>内線電話帳の登録は、指定電話機から行い、収容している内線電話を指定して名前などを登録できます。</p>

## 短縮ダイヤルの電話番号に登録できる内容

短縮ダイヤルには、電話番号の中、または電話番号の代わりに次のものも登録することができます。

項目	登録操作※1	内容
ポーズ	再ダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NTT以外の通信事業者回線、国際電話番号など、ポーズが必要な電話番号を登録するときに使います。</li> </ul> <p>&lt;電話（アナログ）回線でお使いの場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話番号の中に再ダイヤルを登録すると、電話をかけるときに再ダイヤルのところで約3.2秒間のポーズが挿入されます。</li> </ul>
ビーンダイヤル  (短縮ダイヤルの中に短縮ダイヤルを登録)	短縮 + 短縮番号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 短縮ダイヤルを登録するときに、電話番号の代わりに短縮ダイヤルを登録することができます。長い電話番号を登録したい場合に使います。</li> <li>● 短縮ダイヤルの電話番号は、1件につき2つまで登録することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1件あたりの短縮ダイヤルには最大24ケタ（#含む）まで登録できます。短縮ダイヤルの中に2つの短縮ダイヤルを登録すると、最大66ケタまでの電話番号が登録できます。</li> <li>・ 短縮ダイヤルが含まれている短縮ダイヤルは、さらに他の短縮ダイヤルに登録することはできません。例えば、短縮ダイヤル00を短縮ダイヤル20に登録した場合、短縮ダイヤル20は他の短縮ダイヤルに登録できません。</li> </ul> </li> <li>● 共通短縮ダイヤルに個人短縮ダイヤルを登録することはできません。</li> </ul>
プッシュ信号 転換 アナログ	短縮 * *	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プッシュ信号を送りたい場合には、電話番号の中に短縮 * * を登録すると短縮 * * 以降の電話番号をプッシュ信号に変換して送ります。</li> </ul>
短縮ダイヤル 表示制御※2	短縮 * 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暗証番号などを登録しておいて、発信時に表示したくない場合に使います。電話番号を登録中に、短縮 * 2 → 表示したくない番号 → 短縮 * 2 と登録すると、短縮 * 2 にはさまれた番号を発信時に表示しません。</li> </ul>
内線発信/ 機能アクセス	短縮 * #	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話番号の前に短縮 * # を登録すると、内線電話機を呼び出すことができます。</li> </ul>
外線自動選局 発信	短縮 * 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話番号の前に短縮 * 0 を登録すると、0発信の外線が使えます。</li> </ul>
	短縮 * 9 4 ~ 9 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話番号の前に短縮 * 9 4 ~ 9 6 を登録すると、9 4 ~ 9 6 に指定された外線が使えます。</li> </ul>
自動保留 ISDN IP	短縮 # 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話番号の前に短縮 # 4 を登録すると、通話中の外線を自動的に保留にして、登録した本電話番号に発信します。電話番号が登録されていない場合、この機能は使えません。</li> </ul>

※1：コマンドナビキーによる外線電話帳登録時（→261ページ）は、電話番号入力画面で機能ボタンを押すことにより、上記の項目を入力できる画面（右図参照）が表示されます。入力する項目を選択し（決定）を押してください。

※2：相手電話番号の一部を表示規制すると、ネームトーク・付加情報の表示・着信ランプ識別の機能が効かなくなります。ネームトーク・付加情報の表示・着信ランプ識別の機能を有効にしたい場合は、電話番号の一部を表示規制しないでください。

- 1: ポーズ
- 2: ビーンダイヤル
- 3: プッシュ信号転換
- 4: 短縮ダイヤル表示制御

## 電話帳に登録できる内容について

よくかける電話番号を電話帳に登録しておく、簡単な操作で電話をかけることができます。また、電話がかかってきたとき（発番号通知時）や着信履歴などには、登録した名前（個人電話帳の場合は電話番号）が液晶表示部に表示されます。

電話帳には、外線電話帳（共通短縮）、個人電話帳（個人短縮）と内線電話帳の3種類があり、外線電話帳には最大800件（取付け時設定により最大80件、最大1500件）、個人電話帳には最大20件の電話番号や名前などを登録することができます。 取付け時設定

なお内線電話帳は、収容している内線すべてに名前などを登録することができます。

各電話帳に登録できる内容を以下に示します。

登録項目	電話帳		
	外線電話帳（共通短縮）	個人電話帳（個人短縮）	内線電話帳
短縮番号※1	00～79  取付け時設定	80～99	—
	000～799		
	0000～1499  取付け時設定		
名前	全角10文字／半角20文字	全角7文字／半角14文字	
フリガナ	半角10文字以下		
電話番号※1	24ケタ（#含む）以下		—
グループ番号	0～9	—	—
付加情報	全角40文字／半角80文字		
着信音	着信音の設定	セレクト着信の転送	—
個別着信先	内線番号の設定		—
転送	セレクト転送有無の設定		—
ネームトーク	ネームトーク有無の設定		—
着ランプ識別	着信ランプ識別有無の設定		—

※1：外線電話帳（共通短縮）と個人電話帳（個人短縮）の短縮番号と電話番号の登録は必須項目です。それ以外の項目は任意で登録してください。

 お知らせ

- 外線電話帳（共通短縮ダイヤル）、個人電話帳（個人短縮ダイヤル）、内線電話帳は、パソコンから登録・編集することもできます。（⇒318ページ、319ページ、321ページ）  
ただし、電話機とパソコンで同時に登録・編集を行わないでください。

## 入力項目の内容と選択について

外線電話帳（共通短縮ダイヤル）には、以下（下表）の項目が入力できます。項目の中で、電話番号と短縮番号は入力必須です。他の項目は、下表の内容を参考に目的によって選択し入力してください。

入力項目名(表示順)	登録の目的による入力項目の選択内容
名前	登録する電話番号の相手の名前を登録するとき。
フリガナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリガナを修正するとき。</li> <li>・電話帳から名前を検索するとき。</li> <li>・音声で読み上げて着信をお知らせする「ネームトーク」を使用するとき。</li> </ul> <p><b>関連入力項目</b> 下記の「ネームトーク着信」も入力してください。</p>
電話番号 <sup>※1</sup>	外線電話帳（共通短縮ダイヤル）に登録する電話番号を入力します。
グループ	電話番号をグループ分けして管理するとき。
付加情報	電話の着信時や通話時に、任意の文字（相手先の会社コードなどの付加情報）を液晶表示部に表示するとき。
着信音（番号）	<p>電話をかけてきた相手によって着信音を変えるとき。</p> <p><b>関連入力項目</b> 下記の「個別着信先（内線番号）」、「セレクト転送」も入力してください。</p>
個別着信先（内線番号）	<p>発信者によって転送を行ったりするとき。また、電話がかかってきたとき、通知される相手の電話番号によって鳴る電話機と着信音や着信ランプを変えるとき。</p> <p><b>関連入力項目</b> 上記の「着信音（番号）」、下記の「セレクト転送」、「着信ランプ識別」も入力してください。 ※セレクト着信を設定する場合、「着信音（番号）」も必ず入力してください。</p>
セレクト転送	<p>外から電話がかかってきたとき、発信者番号の通知により特定の相手からの電話だけを、あらかじめ設定しておいた転送先に転送するときや、特定の相手からの電話だけを転送しないようにするとき。</p> <p><b>関連入力項目</b> 上記の「着信音（番号）」、「個別着信先（内線番号）」も入力してください。</p>
ネームトーク着信	<p>外から電話がかかってきたとき、着信音の代わりに相手の名前を音声で読み上げて着信をお知らせするときや外線転送（⇒163ページ）した転送先に、発信者の名前を音声で読み上げてかけてきた相手をお知らせするとき。</p> <p><b>関連入力項目</b> 上記の「フリガナ」も入力（修正）してください。</p>
着信ランプ識別	<p>漢字表示付電話機の場合、発信者によって着信ランプ（赤または緑点滅）を変えるとき。</p> <p><b>関連入力項目</b> 上記の「着信音（番号）」、「個別着信先（内線番号）」、「セレクト転送」も入力してください。</p>
短縮番号 <sup>※1</sup>	外線電話帳（共通短縮ダイヤル）に登録するため、短縮番号を入力します。

※1：必須入力項目です。入力しないと共通短縮ダイヤルに登録できません。

外線電話帳（共通短縮ダイヤル）を登録する **指定** **漢字**

本書では、全ての項目を入力する手順（①～③①）で説明していますが、必要な項目のみを選択し入力することもできます。（「電話番号」以降の項目を入力後に  を押すか、または設定変更を行わない手順を （▲▼）で送り、②⑨の操作手順に飛びます）

例えば、名前（青木建設）、電話番号（045-123-4567）、グループ（2）の項目のみ選択し登録する場合は、以下の操作手順の①～①⑥を行い、続いて②⑨、③①を行います。

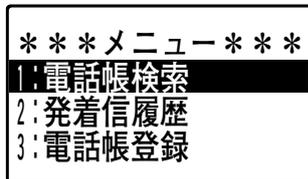
①などの表記は、上記事例の操作する手順を表しています）

項目は、「入力項目の内容と選択について」（➡260ページ）を参照し、登録の目的によって選択してください。

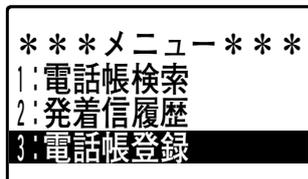
ナビ操作

待ち受け中に

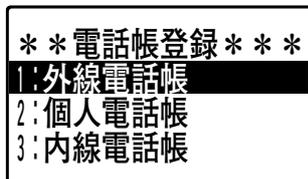
① （▲）または （決定）を押す



② （▲▼）で「3：電話帳登録」を選択し （決定）を押す

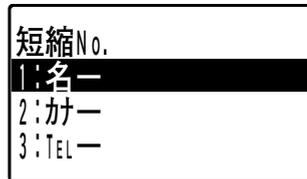


③ （▲▼）で「1：外線電話帳」を選択し （決定）を押す



- 外線電話帳の登録画面が表示されます。
- 他の指定電話機から電話帳登録中、またはパソコンから電話帳データを送信中は、「他登録操作中です登録できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。

④ （▲▼）で「1：名ー」を選択し （決定）を押す

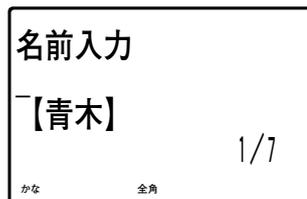


⑤ 名前（あおき）を入力する  
（文字入力方法は➡80ページ）



- 名前の入力は、ひらがな・漢字は全角10文字まで、カタカナ・英数字は半角20文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、（◀▶）で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押し続けます。

⑥ （▲▼）で漢字変換する



- 目的の漢字が表示されるまで （▲▼）を繰り返し押し続けてください。

## 7 (決定)を押す

名前入力  
青木\_

かな 全角

- 漢字が決定されます。

## 8 名前（けんせつ）を入力する （文字入力方法は➡80ページ）

名前入力  
青木\_  
けんせつ

かな 全角

## 9 (▲▼)で漢字変換する

名前入力  
青木  
【建設】

1/4

かな 全角

- 目的の漢字が表示されるまで  (▲▼)を繰り返し押してください。

## 10 (決定)を押す

名前入力  
青木建設\_

かな 全角

- 漢字が決定されます。

## 11 (▲▼)を押す

短縮No.  
1:名-青木建設  
2:カーアオキケンセツ  
3:TEL-

- 入力した名前が登録され、フリガナが自動的に設定されます。
- 表示されたフリガナが違う場合、 (▲▼)で「2:カー」を選択し  (決定)を押し、 を押して

フリガナを削除してから、正しいフリガナを入力して  (決定)を押してください。全ての文字を消去する場合  を約1秒以上押します。

- フリガナは、電話をかけるときに名前を検索するために使われます。また、音声で読み上げて着信をお知らせする「ネームトーク」にも使われます。
- フリガナは、カナ・英字・数字および記号で半角10文字までです。10文字を超える入力はできません。濁点、半濁点も1文字として数えます。
- 「ネームトーク」を利用する場合、半角カナで入力してください。半角カナ以外は音声読み上げできません。

## 12 (▲▼)で「3:TEL-」を選択し (決定)を押す

短縮No.  
1:名-青木建設  
2:カーアオキケンセツ  
3:TEL-

## 13 電話番号（例：0451234567）を押す

電話番号を  
入力してください  
0451234567

- 電話番号の入力は、24ケタ(☎含む)までです。24ケタを超える入力はできません。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。
- 電話番号以外の内容（ポーズなど）を入力することもできます。(➡258ページ)

## 14 (決定)を押す

短縮No.  
2:カーアオキケンセツ  
3:TEL-0451234567  
4:Gr-グループ0

15 (▲▼)で「4:Gr-」を選択し (決定)を押す

短縮No.  
2:カーアオキケンセツ  
3:TEL-0451234567  
4:Gr-グループ0

16 (▲▼)で登録したいグループ番号を選択し (決定)を押す

0:グループ0  
1:グループ1  
2:グループ2  
3:グループ3

- グループ名称を登録することができます。(→272ページ)

17 (▲▼)で「5:付加情報設定」を選択し (決定)を押す

短縮No.  
3:TEL-0451234567  
4:Gr-グループ2  
5:付加情報設定

18 登録したい付加情報を入力し (決定)を押す

会社コード  
12345678

- 会社コードなどの付加情報を入力できます。付加情報は、着信時や通話時に液晶表示部に表示することができます。
- 文字入力方法は→80ページ。
- 付加情報の入力は、ひらがな・漢字は全角40文字まで、カタカナ・英数字は半角80文字までです。1行に全角10文字（半角20文字）で4行まで入力できます。入力は1行ずつ行います。行の入力を完了または改行するには (決定)を押します。4行にすべて入力する必要はありません。入力しない行は (決定)を押してとばします。

- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

19 (▲▼)で「6:着信音」を選択し (決定)を押す

短縮No.  
4:Gr-グループ2  
5:付加情報設定  
6:着信音

20 登録したい着信音番号を2ケタ入力し (決定)を押す

着信音番号を入力してください  
00

- 手順22で個別着信先を設定したとき、ここで登録した着信音で着信します。(セレクト着信→145ページ)
- 着信音は、周波数と着信パターンの組み合わせおよびメロディーの合計は35種類あります。(→332ページ) 着信番号33、34は、オプションのメロディートークユニット(VB-F262)を使用して、着信音としてメロディー10種類の中から2種類を選択(→302ページ)した場合に使用します。メロディートークユニットを使用していない場合、「設定できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。
- 着信音番号を入力したあとに を押すと、試験確認画面が表示されます。「1:はい」を選択すると入力した着信番号の着信音が流れ設定の確認画面が表示されます。「2:いいえ」を選択すると着信音番号の入力画面(手順20の着信音番号入力画面)が表示されます。
- 設定の確認画面で「1:はい」を選択し (決定)を押すと、試験した着信音番号が登録されます。「2:いいえ」を選択し (決定)を押すと着信音番号の入力画面(手順20の着信音番号入力画面)が表示されます。
- 着信音番号に着信メロディーを指定し、試験確認画面にて「1:はい」を選択したとき、選択したメロディーの使用状態により、試験できない場合もあります。試験できない場合、「使用中です 試験できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。

試験しますか?  
1:はい  
2:いいえ

次ページへ続く⇨

# 外線電話帳（共通短縮ダイヤル）を登録する 指定

21  (▲▼)で「7：個別着信先」を選択し  (決定)を押す

短縮No.  
5:付加情報設定  
6:着信音-00  
**7:個別着信先-**

22 個別に着信させたい内線番号（例：38）2ケタ（または3ケタ）を入力し  (決定)を押す（セレクト着信→145ページ）

個別着信先内線番号を入力してください  
38

23  (▲▼)で「8：転送」を選択し  (決定)を押す

短縮No.  
6:着信音-00  
7:個別着信先- 38  
**8:転送-転送しない**

24  (▲▼)でセレクト転送の有無を選択し  (決定)を押す

**1:セレクト転送する**  
2:セレクト転送しない

25  (▲▼)で「9：ネームトーク」を選択し  (決定)を押す

短縮No.  
7:個別着信先- 38  
8:転送-転送しない  
**9:ネームトーク-しない**

26  (▲▼)でネームトーク着信の有無を選択し  (決定)を押す

**1:ネームトーク着信する**  
2:ネームトーク着信しない

27  (▲▼)で「0：着ランプ識別」を選択し  (決定)を押す

短縮No.  
8:転送-転送しない  
9:ネームトーク-しない  
**0:着ランプ識別-しない**

28  (▲▼)で着信ランプ識別の有無、または設定したい着信ランプを選択し  (決定)を押す

**1:識別しない**  
2:赤点滅  
3:緑点滅

29 機能  を押す

\*電話帳登録します\*  
短縮番号を  
指定してください  
0035

- 空いている短縮ダイヤルの番号が表示されます。番号を変更したいときは、 で1文字ずつ消去します。
- 短縮番号は、お使いの短縮番号のケタ数によらず4ケタで入力してください。  
例：短縮番号12（2ケタ）の場合  
→ **0 0 1 2**  
短縮番号123（3ケタ）の場合  
→ **0 1 2 3**

## 30 (決定)を押す

電話帳データを登録しました

↓ 約2秒後

短縮No. ※1  
 1: 名—  
 2: カー  
 3: TEL—

- 登録した内容が外線電話帳に登録されます。
- すでに登録されている短縮番号がある場合、「上書きしますか?」というメッセージが表示されます。上書きする場合、「1: はい」を、上書きしたくない場合、「2: いいえ」を選択し  (決定)を押してください。

※1: 発信履歴または着信履歴から登録した場合、約2秒後には上記の画面ではなく、待ち受け画面に戻ります。右記の手順31に進むことはできません。

## 31 続けて外線電話帳の登録をする場合、手順④～③①を繰り返す

-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

### お願い

- 800件（短縮番号のケタ数を変更している場合、80件、または1500件）を超える新規登録はできません。必要のないデータを削除する作業（⇒270ページ）を行ってから新規登録をしてください。
- 電話番号の設定と共通短縮ダイヤル番号の設定は必須項目です。必ず設定してください。

### お知らせ

- 外線電話帳に登録した、登録件数を確認できます。（⇒273ページ）
- 外線電話帳（共通短縮ダイヤル）に登録するときに、電話番号のあとに  を入れるか入れないかにより、ISDN回線またはIP回線でかけるとき、下記のような違いがあります。電話（アナログ）回線でお使いの場合、電話番号のあとに  を入れて登録する必要はありません。

#### 電話番号のあとに を入れて登録すると

外線電話帳（共通短縮ダイヤル）を使って電話をかけるとき、相手を選んだあとにすぐ呼び出しが始まります。

#### 電話番号のあとに を入れないで登録すると

外線電話帳（共通短縮ダイヤル）を使って電話をかけるとき、相手を選んだあとに  を押さないと、設定した時間（お買い上げ時の設定は2秒）経過後に呼び出しが始まります。

- ネームトーク、メロディー着信機能を利用するには、オプションのメロディートークユニット（VB-F262）が必要です。
- 発信／着信履歴から外線電話帳に登録することもできます。（⇒88ページ）

## 共通短縮ダイヤルを登録する

ダイヤルボタン操作で共通短縮ダイヤルを登録できます。  
漢字表示付電話機または数字表示付電話機で操作できます。  
下記の操作方法は、漢字表示付電話機で説明しています。  
共通短縮ダイヤルは、短縮番号 000～799（00～79、0000～1499 ）に登録できます。  
電話番号は1件につき24ケタ（**#**含む）まで入力できます。  
共通短縮ダイヤルは、指定電話機（**➡**18ページ）のみ登録できます。

共通短縮登録メニューを選ぶ	1	待ち受け中に <b>モニター</b> を押す ●モニターランプが点灯します。
	2	<b>設定/転送</b> を押す（数字表示付電話機の場合、 <b>設定/転送</b> を押す）
	3	<b>短縮</b> を押す
	4	登録したい短縮番号を押す <b>0 0 0 ~ 7 9 9</b> （または <b>0 0 ~ 7 9</b> 、 <b>0 0 0 0 ~ 1 4 9 9</b>  ） ●共通短縮ダイヤルのケタ数を変更した場合、入力する短縮番号のケタ数は、変更したケタ数に合わせて入力します。
電話番号を入力する	5	登録したい電話番号と <b>#</b> を押す ●電話番号と <b>#</b> の合計を24ケタ以内で入力してください。 ● <b>#</b> を入れないで登録することもできます。（ <b>➡</b> 265ページ） ●電話番号以外の内容を挿入することもできます。（ <b>➡</b> 258ページ）
	6	<b>保留</b> を押す ●続けて登録するには、手順2～6を行います。
終了	7	登録を終了する場合、 <b>モニター</b> を押す

### 修正するには

上記の操作で上書き修正できます。

### 消去するには

上記の操作の手順5を抜いて操作します。

### 確認するには

1 **モニター** → 2 **確認/会議** → 3 **短縮** → 4 短縮番号 → 5 確認したら **モニター**

- 指定電話機以外の電話機（漢字表示付電話機または数字表示付電話機）からも、同じ方法で確認できます。
- 漢字表示付電話機の場合、**確認/会議** はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。（**➡**98ページ）

## 外線電話帳のデータを修正する

外線電話帳に登録してあるデータを検索して修正ができます。

例：以下の操作は、名前：鈴木一郎と電話番号：045-000-4321を、鈴木太郎、045-000-4323に修正する場合で説明しています。

## ナビ操作

## 1 鈴木一郎を検索する

(検索の方法は⇒56ページ)

鈴木一郎
鈴木次郎
須田次郎
瀬川三郎

2  を押す

1: 電話帳修正
2: 電話帳 1 件削除

3  (▲▼) で「1: 電話帳修正」を選択し  (決定) を押す

1: 電話帳修正
2: 電話帳 1 件削除

- 選択した外線電話帳の内容が表示されます。
- 他の指定電話機から電話帳登録中、またはパソコンから電話帳データを送信中は、「他登録操作中です登録できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。

4  (▲▼) で「1: 名-」を選択し  (決定) を押す

短縮No. 0081
1: 名-鈴木一郎
2: カナ-ス キイロウ
3: TEL-0450004321

5  を2回押し「一郎」を消去する

名前入力
鈴木_
かな
全角

6 名前 (たろう) を入力する  
(文字入力方法は⇒80ページ)

名前入力
鈴木 たろう
かな
全角

- 名前の入力は、ひらがな・漢字は全角10文字まで、カタカナ・英数字は半角20文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶) で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

7  (▲▼) で漢字変換する

名前入力
鈴木 【太郎】
かな
全角
1/5

- 目的の漢字が表示されるまで  (▲▼) を繰り返し押ししてください。

8 (決定)を押す



- 漢字が決定されます。

9 (決定)を押す



- フリガナは、カナ・英字・数字および記号で半角10文字までです。10文字を超える入力できません。濁点、半濁点も1文字として数えます。入力されなかった文字は再入力する必要があります。
- フリガナは、電話をかけるときに名前を検索するために使われます。また、音声で読み上げて着信をお知らせする「ネームトーク」にも使われます。
- 「ネームトーク」を利用する場合、半角カナで入力してください。半角カナ以外は音声読み上げできません。

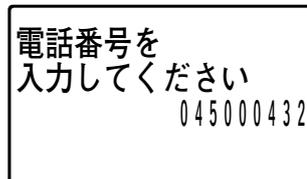
<フリガナを修正する>

- (▲▼)で「2:カーズ」を選択し (決定)を押す、 (◀▶)で消去したい文字にカーソルを移動し (戻る) を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、「イチロウ」を消去するとともに、入力されなかった「ウ」を再入力し (決定)を押してください。全ての文字を消去し入力し直す場合、 (戻る) を1秒以上押して全ての文字を消去したあと、入力し直して (決定)を押してください。

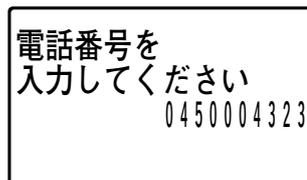
10 (▲▼)で「3:TEL-」を選択し (決定)を押す



11 (戻る) を1回押し、電話番号の末尾 [1] を消去する

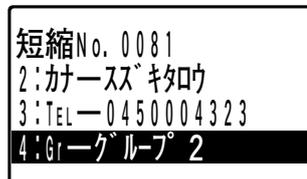


12 (3) を押す

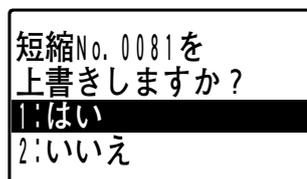


- 入力を間違えた場合、 (戻る) を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 (戻る) で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 (戻る) を約1秒以上押します。

13 (決定)を押す



14 (機能) を押し、 (▲▼)で「1:はい」を選択する



- 修正した内容を新たに外線電話帳に登録する場合、「2:いいえ」を選択し (決定)を押して、空いている共通短縮番号を入力し (決定)を押してください。新規に外線電話帳へ登録されます。

15  (決定)を押す

電話帳データを  
登録しました

↓ 約2秒後

鈴木太郎  
須田次郎  
瀬川三郎  
瀬田志郎

- 修正した内容が外線電話帳に登録されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

 操作のヒント

- 操作を途中で中止する場合、手順4の画面で  を押すと手順1の画面に戻ります。また、手順9、手順10、手順13の画面で  を押して「2:いいえ」を選択すると手順1の画面に戻ります。
- 電話番号など登録内容を確認してから編集することもできます。  
手順1で  (決定) を押し、電話番号など登録内容の詳細画面を表示させて内容を確認したあと、手順2から手順15を行ってください。  
手順15で  (決定) を押し、電話帳データを編集後の画面は、電話番号など登録内容の詳細画面に戻ります。

## 外線電話帳データを削除する

外線電話帳に登録してあるデータを検索して1件削除、または全件削除できます。

### 1 件削除する

例：以下の操作は、名前：鈴木太郎 を削除する場合で説明しています。

#### ◀ナビ操作

- 1** 鈴木太郎を検索する  
(検索の方法は➡56ページ)

鈴木太郎
須田次郎
瀬川三郎
瀬田志郎

- 2** 機能 ○ を押す

1: 電話帳修正
2: 電話帳 1 件削除

- 3** 方向キー (▲▼) で「2: 電話帳1件削除」を選択し 決定キー (決定) を押す

1: 電話帳修正
2: 電話帳 1 件削除

- 4** 方向キー (▲▼) で「1: はい」を選択する

電話帳データを削除しますか?
1: はい
2: いいえ

- 「2: いいえ」を選択すると手順2の画面に戻ります。

- 5** 決定キー (決定) を押す

電話帳データを削除しました
---------------

↓ 約2秒後

須田次郎
瀬川三郎
瀬田志郎
田中一郎

- 指定した内容が外線電話帳から削除されます。
- フック を押すと待ち受け画面に戻ります。

#### 📖 操作のヒント

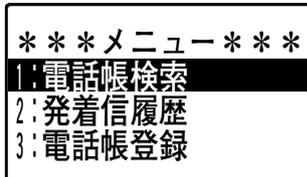
- 電話番号など登録内容を確認してから削除することもできます。  
手順1で 決定キー (決定) を押し、電話番号など登録内容の詳細画面を表示させて内容を確認したあと、手順2から手順5を行ってください。
- 手順5で 決定キー (決定) を押し、電話帳データを削除後の画面は、電話番号など登録内容の詳細画面に戻ります。

## 全件削除する

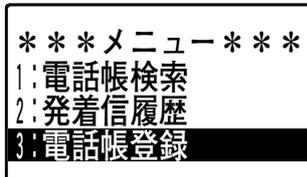
### ナビ操作

待ち受け中に

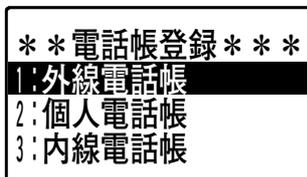
- 1  (▲)または  (決定)を押す



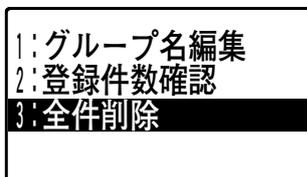
- 2  (▲▼)で「3：電話帳登録」を選択し  (決定)を押す



- 3  (▲▼)で「1：外線電話帳」を選択し  を押す

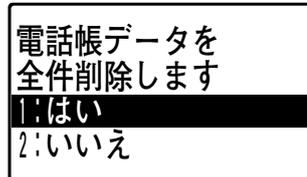


- 4  (▲▼)で「3：全件削除」を選択し  (決定)を押す



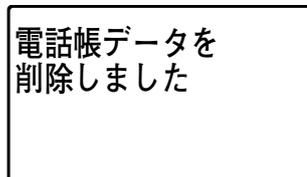
- 他の指定電話機から電話帳登録中、またはパソコンから電話帳データを送信中は、「他登録操作中です登録できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。

- 5  (▲▼)で「1：はい」を選択する



- 「2：いいえ」を選択すると手順4の画面に戻ります。

- 6  (決定)を押す



約2秒後



- 外線電話帳が全件削除され、待ち受け画面に戻ります。

## 外線電話帳のグループ名を編集する

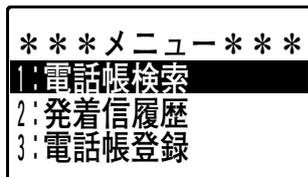
外線電話帳には10個のグループ(0~9)分けができ、自由に名前を付けることができます。

例：以下の操作は、グループ0を「営業」にする場合で説明しています。

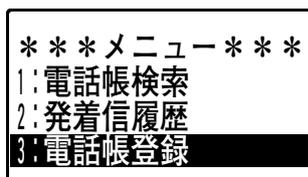
### ◀ナビ操作

待ち受け中に

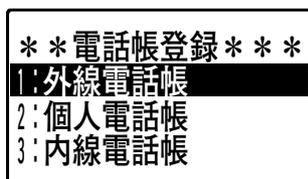
- 1  (▲)または  (決定)を押す



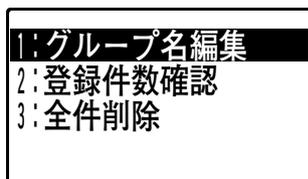
- 2  (▲▼)で「3:電話帳登録」を選択し  (決定)を押す



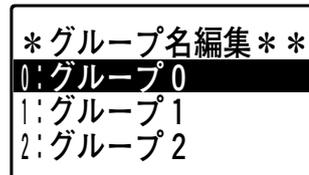
- 3  (▲▼)で「1:外線電話帳」を選択し  を押す



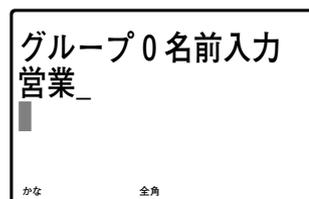
- 4  (▲▼)で「1:グループ名編集」を選択し  (決定)を押す



- 5  (▲▼)で名前を登録したいグループを選択し  (決定)を押す

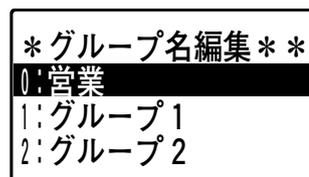


- 6 グループ名(営業)を入力する  
(文字入力方法は➡80ページ)



- お買い上げ時にすでに設定されているグループ名(例:「グループ0」など)を消去してから、設定したいグループ名を入力してください。(消去方法は下記をご覧ください)
- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

- 7  (決定)を押す



- グループ名称が登録されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

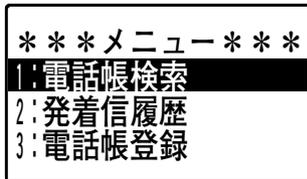
## 外線電話帳の登録件数を確認する

外線電話帳に登録してある登録件数や残りの件数を確認できます。

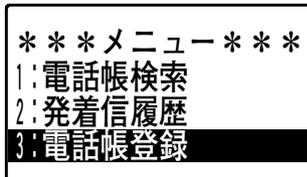
### ◀ナビ操作

待ち受け中に

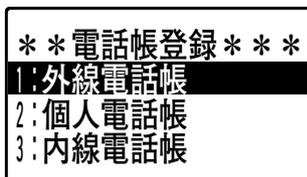
- 1 (▲)または (決定)を押す



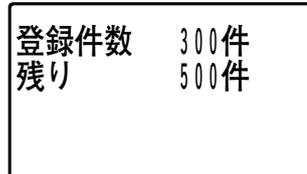
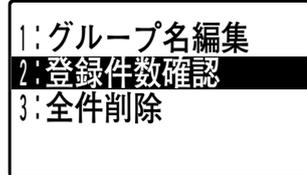
- 2 (▲▼)で「3:電話帳登録」を選択し (決定)を押す



- 3 (▲▼)で「1:外線電話帳」を選択し を押す



- 4 (▲▼)で「2:登録件数確認」を選択し (決定)を押す



- 現在の登録件数(××件)と残りの登録件数(××件)が表示されます。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 📄お知らせ

- 電話番号か名前のどちらか一方が登録されていると、登録件数としてカウントされます。

システムに収容している内線すべてに名前などを登録して内線の電話帳を作成することができます。

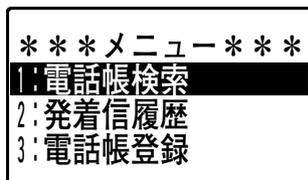
内線電話帳は、指定電話機 (→18ページ) のみ登録できます。

例：以下の操作は、内線番号10に、名前：青木、グループ2に登録する場合で説明しています。

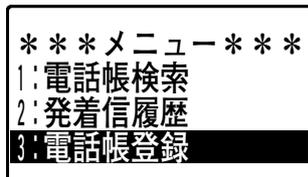
### ナビ操作

待ち受け中に

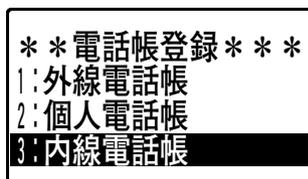
- 1  (▲) または  (決定) を押す



- 2  (▲▼) で「3:電話帳登録」を選択し  (決定) を押す

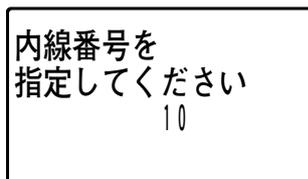


- 3  (▲▼) で「3:内線電話帳」を選択し  (決定) を押す



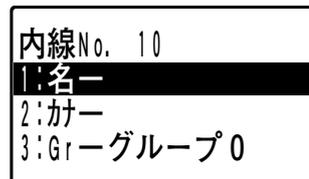
- 他の指定電話機から電話帳登録中、またはパソコンから電話帳データを送信中は、「他登録操作中です登録できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。

- 4 内線番号 (10) を押し  (決定) を押す

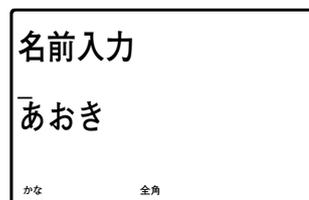


- すでに登録されている内線番号を入力すると「Noxxは登録済みです 上書きしますか?」というメッセージが表示されます。登録した内容を修正する場合、「1:はい」を、修正したくない場合、「2:いいえ」を選択してください。「2:いいえ」を選択すると手順4の画面に戻ります。

- 5  (▲▼) で「1:名一」を選択し  (決定) を押す

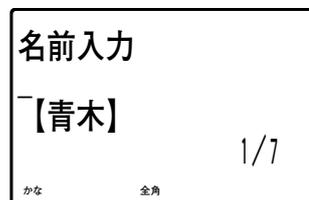


- 6 名前 (あおき) を入力する  
(文字入力方法は→80ページ)



- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶) で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

- 7  (▲▼) で漢字変換する



- 目的の漢字が表示されるまで  (▲▼) を繰り返し押ししてください。

8  (決定)を押す

名前入力  
青木\_

かな 全角

- 漢字が決定されます。

9  (決定)を押す

内線No. 10  
1:名-青木  
2:カーアキ  
3:Gr-グループ0

- 入力した名前が登録され、フリガナが自動的に設定されます。
- 表示されたフリガナが違う場合、 (▲▼)で「2:カー」を選択し  (決定)を押し、 を押してフリガナを削除してから、正しいフリガナを入力して  (決定)を押してください。全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。
- フリガナは、カナ・英字・数字および記号で半角10文字までです。10文字を超える入力はできません。濁点、半濁点も1文字として数えます。

10  (▲▼)で「3:Gr-」を選択し  (決定)を押す

内線No. 10  
1:名-青木  
2:カーアキ  
3:Gr-グループ0

11  (▲▼)で登録したいグループ番号(グループ2)を選択し  (決定)を押す

0:グループ0  
1:グループ1  
2:グループ2  
3:グループ3

- グループ名称を登録することができます (→278ページ)。

12 <sup>機能</sup> を押し、 (▲▼)で「1:はい」を選択する

\*電話帳登録します\*

1:はい  
2:いいえ

13  (決定)を押す

電話帳データを登録しました

↓ 約2秒後

内線No. 11  
1:名-  
2:カー  
3:Gr-グループ0

- 登録した内容が内線電話帳に登録されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

 お知らせ

- 手順9の画面ですでにフリガナ入力が表示されている場合に文字を入力すると、表示されているフリガナのあとに追加します。
- 操作を間違えた場合、 で1つ前の手順に戻って入力し直してください。
- 電話帳は、パソコンから登録することもできます。(→319ページ)ただし、電話機とパソコンで同時に登録・編集を行わないでください。
- 内線電話帳を修正する場合、手順4で修正したい内線番号を入力し、「1:はい」を選択し  (決定)を押して修正してください。
- 内線電話帳に名前を登録、または変更すると、該当する電話機に登録/変更した名前が表示されます。ただし、登録/変更した名前が表示されるのは、その電話機の手話器を上げたり、着信した後になります。

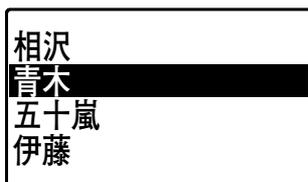
## 内線電話帳のデータを修正する

内線電話帳に登録してあるデータを検索して修正ができます。

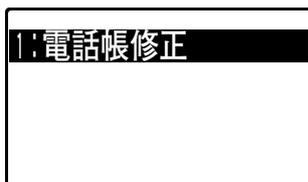
例：以下の操作は、内線番号10番の名前：青木、グループ2を、山田、グループ1に修正する場合で説明しています。

## ナビ操作

- 1 「青木」を検索する  
(検索の方法は⇒56ページ)

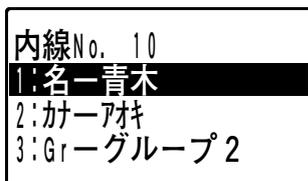


- 2 機能 を押し、 (決定)を押す



- 他の指定電話機から電話帳登録中、またはパソコンから電話帳データを送信中は、「他登録操作中です登録できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。

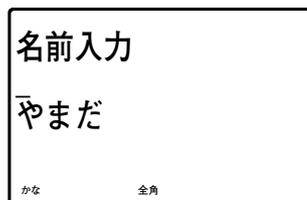
- 3 (▲▼)で「1:名ー」を選択し (決定)を押す



- 4 を2回押し「青木」を消去する

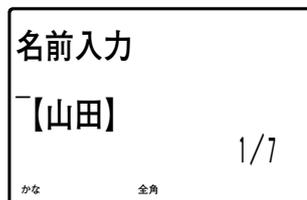


- 5 「山田 (やまだ)」を入力する  
(文字入力方法は⇒80ページ)



- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押しして1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押しします。

- 6 (▲▼)で漢字変換する



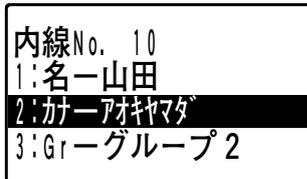
- 目的の漢字が表示されるまで (▲▼)を繰り返し押ししてください。

7  (決定)を押す



- 漢字が決定されます。

8  (決定)を押す



- フリガナは、カナ・英字・数字および記号で半角10文字までです。10文字を超える入力はできません。濁点、半濁点も1文字として数えます。

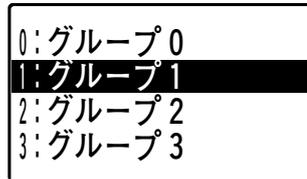
〈フリガナを修正する〉

-  (▲▼)で「2:カー」を選択し  (決定)を押し、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、「アオキ」を消去して  (決定)を押してください。全ての文字を消去し入力し直す場合、 を1秒以上押して全ての文字を消去したあと、入力し直して  (決定)を押してください。

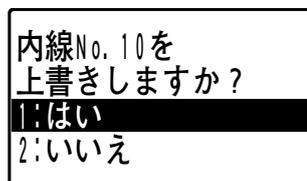
9  (▲▼)で「3:Gr-」を選択し  (決定)を押す



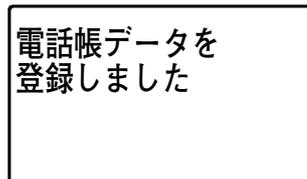
10  (▲▼)で「1:グループ1」を選択し  (決定)を押す



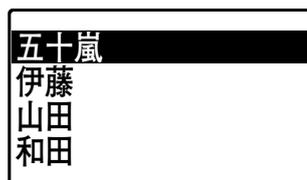
11 <sup>機能</sup> を押し、 (▲▼)で「1:はい」を選択する



12  (決定)を押す



約2秒後



- 修正した内容が内線電話帳に登録されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

 操作のヒント

- 電話番号など登録内容を確認してから編集することもできます。  
手順1で  (決定) を押し、電話番号など登録内容の詳細画面を表示させて内容を確認したあと、手順2から手順12を行ってください。  
手順12で  (決定) を押し、電話帳データを編集後の画面は、電話番号など登録内容の詳細画面に戻ります。

 お知らせ

- 操作を途中で中止する場合、手順3の画面で  を押すと手順1の画面に戻ります。また、手順8、手順9の画面で  を押して「2:いいえ」を選択し  (決定) を押すと手順1の画面に戻ります。

## 内線電話帳のグループ名を登録する

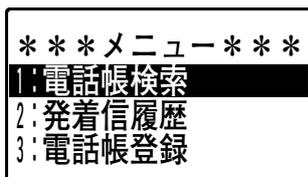
内線電話帳には10個のグループ(0~9)分けができ、自由に名前を付けることができます。

例：以下の操作は、グループ0を「営業」にする場合で説明しています。

### ◀ナビ操作

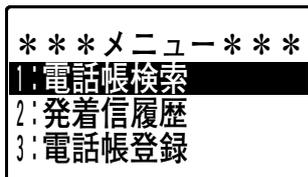
待ち受け中に

- 1 (▲)または (▼) (決定)を押す

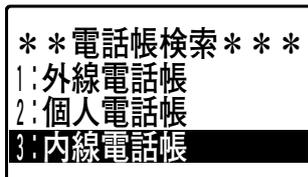


- フリガナ検索画面から検索する方法もあります。(➡33ページ)
- フリガナ検索画面から検索する場合、「電話帳検索」画面を表示したあと、手順3へ進みます。

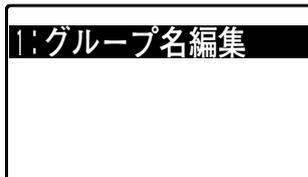
- 2 (▲▼)で「1:電話帳検索」を選択し (決定)を押す



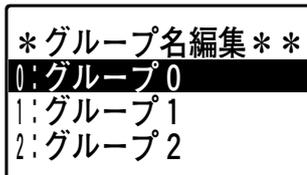
- 3 (▲▼)で「3:内線電話帳」を選択し を押す



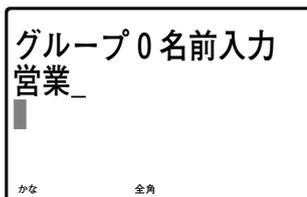
- 4 (決定)を押す



- 5 (▲▼)で名前を登録したいグループを選択し (決定)を押す

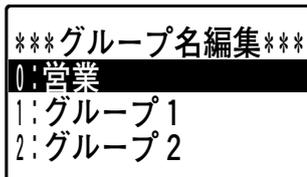


- 6 グループ名(営業)を入力する  
(文字入力方法は➡80ページ)



- お買い上げ時にすでに設定されているグループ名(例:「グループ0」など)を消去してから、設定したいグループ名を入力してください。(消去方法は下記をご覧ください)
- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

- 7 (決定)を押す



- グループ名称が登録されます。
- を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 📌お知らせ

- 内線電話帳のグループ名は、特殊内線(➡283ページ)でも使用します。

クローズドナンバリングを利用して他のシステムの内線番号（→198ページ）などに名前をつけて特殊内線番号として登録しておく、システム内の内線へ電話をかけるのと同じように内線電話帳で電話をかけることができます。

特殊内線は、指定電話機（→18ページ）のみ登録できます。

例：以下の操作は、特殊内線番号10に、名前：大阪支店、グループ2に登録する場合で説明しています。

### ナビ操作

待ち受け中に

- 1 (▲) または (決定) を押す

```

***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
  
```

- 2 (▲▼) で「3：電話帳登録」を選択し (決定) を押す

```

***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
  
```

- 3 (▼) または (▶) で「4：特殊内線」を選択し (決定) を押す

```

**電話帳登録**
4:特殊内線
  
```

- 4 特殊内線番号 (10) を入力し (決定) を押す

```

特殊内線番号を
入力してください
  10
          00~99
  
```

- 特殊内線番号は00～99の範囲で入力できます。
- すでに登録されている特殊内線番号を入力すると「Noxxは登録済みです 上書きしますか?」というメッセージが表示されます。登録した内容を修正する場合、「1：はい」を、修正したくない場合、「2：いいえ」を選択してください。「2：いいえ」を選択すると手順4の画面に戻ります。

- 特殊内線番号を入力しないで、 (決定) の代わりに (▼) を押しても、手順5に移ります。その場合、特殊内線番号には特殊内線番号の空き番号が割り当てられます。

- 5 (▲▼) で「1：名-」を選択し (決定) を押す

```

特殊内線No. 10
1:名-
2:か-
3:TEL-
  
```

- 何も入力せず、 を押すと、手順4の画面に戻ります。入力しているときに を押すと、「保存しますか?」というメッセージが表示されます。保存する場合、「1：はい」を、保存したくない場合、「2：いいえ」を選択すると手順4の画面に戻ります。

- 6 名前 (大阪支店) を入力する  
(文字入力方法は→80ページ)

```

名前入力
大阪支店_
|
かな          全角
  
```

- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀) で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

7  (決定)を押す

特殊内線No. 10  
1:名—大阪支店  
2:カーオサカテン  
3:TEL—

- 入力した名前が登録され、フリガナが自動的に設定されます。英字の場合、半角英字で設定されます。
- 表示されたフリガナが違う場合、 (▲▼)で「2:カー」を選択し  (決定)を押し、 を押してフリガナを削除してから、正しいフリガナを入力して  (決定)を押してください。全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。
- フリガナは、カナ・英字・数字および記号で半角10文字までです。10文字を超える入力はできません。濁点、半濁点も1文字として数えます。
- 何も入力せず、 を押すと、手順4の画面に戻ります。入力しているときに  を押すと、「保存しますか？」というメッセージが表示されます。保存する場合、「1:はい」を、保存したくない場合、「2:いいえ」を選択すると手順4の画面に戻ります。

8  (▲▼)で「3:TEL—」を選択し  
 (決定)を押す

特殊内線No. 10  
1:名—大阪支店  
2:カーオサカテン  
3:TEL—

- 何も入力せず、 を押すと、手順4の画面に戻ります。入力しているときに  を押すと、「保存しますか？」というメッセージが表示されます。保存する場合、「1:はい」を、保存したくない場合、「2:いいえ」を選択すると手順4の画面に戻ります。

9 他のシステムの内線番号などを入力し

 (決定)を押す

電話番号を  
入力してください  
300

- 電話番号（他のシステムの内線番号など）は3ケタまで入力できます。
- 電話番号として登録できるダイヤルは、**0**、**1**～**9**、**\***、**#** です。ただし、他システムの内線番号として使用する場合、電話番号の先頭（1ケタ目）には、**0**、**9**、**\***、**#** を使用しないでください。

10  (▲▼)で「4:Gr—」を選択し

 (決定)を押す

特殊内線No. 10  
2:カーオサカテン  
3:TEL—300  
4:Gr—グループ0

- グループ名は、内線電話帳のグループ名（→278ページ）を使用します。
- 何も入力せず、 を押すと、手順4の画面に戻ります。入力しているときに  を押すと、「保存しますか？」というメッセージが表示されます。保存する場合、「1:はい」を、保存したくない場合、「2:いいえ」を選択すると手順4の画面に戻ります。

11  (▲▼)で登録したいグループ番号  
(グループ2)を選択し  (決定)を  
押す

0:グループ0  
1:グループ1  
2:グループ2  
3:グループ3

- グループ名称を登録することができます。（→283ページ）

- 12 <sup>機能</sup>  を押し、 (▲▼)で「1：はい」を選択する

\* 電話帳登録します \*

1: はい  
2: いいえ

- 13  (決定)を押す

特殊内線  
登録しました

↓ 約2秒後

特殊内線番号を  
入力してください

-- 00~99

- 登録した内容が登録されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

#### お願い

- 手順9の電話番号の設定(入力)は必須項目です。必ず設定してください。

#### お知らせ

- 操作を間違えた場合、 で1つ前の手順に戻って入力し直してください。
- 電話帳は、パソコンから登録することもできます。(➡320ページ)  
ただし、電話機とパソコンで同時に登録・編集を行わないでください。
- 特殊内線を修正する場合、手順4で修正したい内線番号を入力し、「1：はい」を選択して  (決定) を押し  
て修正してください。  
内線電話帳の編集(➡276ページ)と同じ手順でも修正できます。
- 手順9で、よく使う機能の機能番号(設定番号)に名前をつけて特殊内線番号として登録しておくこと、内線電話帳から機能を利用することができます。

## 特殊内線データを削除する

特殊内線に登録してあるデータを削除できます。

## 1件削除する

「内線電話帳を編集する」の「内線電話帳のデータを修正する」(⇒276ページ)の手順1と同じ操作で、削除したい特殊内線データを検索し、手順2で  を押して、「2：電話帳1件削除」を選択して  (決定)を押し、次に「1：はい」を選択し  (決定)を押すことで1件削除できます。

## 全件削除する

## ナビ操作

待ち受け中に

1  (▲)または  (決定)を押す

```
***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
```

2  (▲▼)で「3：電話帳登録」を選択し  (決定)を押す

```
***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
```

3  (▼)または  (▶)で「4：特殊内線」を選択し  (機能)を押す

```
**電話帳登録**
4:特殊内線
```

4  (▲▼)で「3：全件削除」を選択し  (決定)を押す

```
1:グループ名編集
2:登録件数確認
3:全件削除
```

5  (▲▼)で「1：はい」を選択する

```
電話帳データを
全件削除します
1:はい
2:いいえ
```

- 「2：いいえ」を選択して  (決定)を押すと手順4の画面に戻ります。

6  (決定)を押す

```
電話帳データを
削除しました
```

↓ 約2秒後

```
11月17日 SAT 12:34
松下次郎 10
```

- 登録した特殊内線が全件削除され、待ち受け画面に戻ります。

## 特殊内線のグループ名を登録する

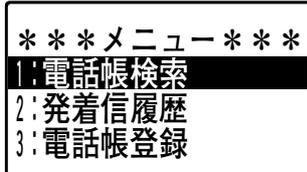
特殊内線には10個のグループ（0～9）分けができ、自由に名前を付けることができます。

例：以下の操作は、グループ0を「営業」にする場合で説明しています。

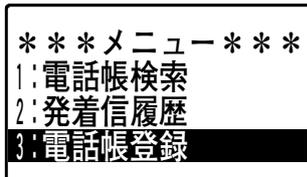
### ◀ナビ操作

待ち受け中に

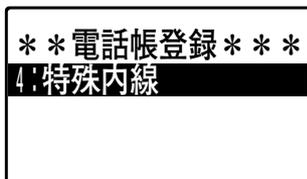
- 1  (▲)または  (決定)を押す



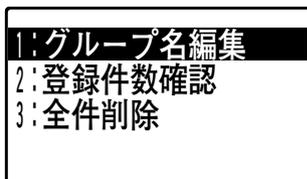
- 2  (▲▼)で「3：電話帳登録」を選択し  (決定)を押す



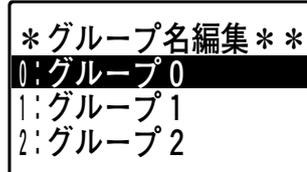
- 3  (▼)または  (▶)で「4：特殊内線」を選択し  を押す



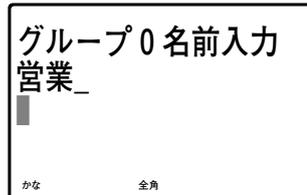
- 4  (▲▼)で「1：グループ名編集」を選択し  (決定)を押す



- 5  (▲▼)で名前を登録したいグループを選択し  (決定)を押す

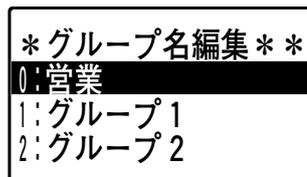


- 6 グループ名（営業）を入力する  
（文字入力方法は⇒80ページ）



- お買い上げ時にすでに設定されているグループ名（例：「グループ0」など）を消去してから、設定したいグループ名を入力してください。（消去方法は下記をご覧ください）
- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

- 7  (決定)を押す



- グループ名称が登録されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 特殊内線の登録件数を確認する

特殊内線に登録してある登録件数や残りの件数を確認できます。

### ◀ナビ操作

待ち受け中に

- 1  (▲)または  (決定)を押す

```

***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
    
```

- 2  (▲▼)で「3:電話帳登録」を選択し  (決定)を押す

```

***メニュー***
1:電話帳検索
2:発着信履歴
3:電話帳登録
    
```

- 3  (▼)または  (▶)で「4:特殊内線」を選択し  を押す

```

**電話帳登録***
4:特殊内線
    
```

- 4  (▲▼)で「2:登録件数確認」を選択し  (決定)を押す

```

1:グループ名編集
2:登録件数確認
3:全件削除
    
```



```

登録件数  18件
残り      82件
    
```

- 現在の登録件数(××件)と残りの登録件数(××件)が表示されます。
- フック を押すと待ち受け画面に戻ります。

#### お知らせ

- 電話番号か名前のどちらか一方が登録されていると、登録件数としてカウントされます。

電話機の液晶表示部に表示される年月日、時刻（お買い上げ時は「2005年1月1日 00時00分」）を変更することができます。指定電話機のみで操作できます。

## 年月日と時刻を変更する

### ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「7：日付時刻設定」を選択して「日付時刻設定画面」を表示する（→32ページ）

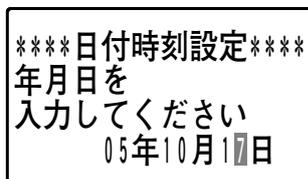


- 日付時刻の設定画面が表示されます。

- 2  (▲▼) で「年月日」を選択し  (決定) を押す



- 3 年（西暦下2ケタ）月日（各2ケタ）を入力し  (決定) を押す



- 年は、西暦の下2ケタを入力します。  
例：2005年の場合 **0** **5**  
2099年まで設定できます。
- 月日は、各2ケタ入力します。  
例：10月17日の場合 **1** **0** **1** **7**

- 4 現在の時刻（4ケタ）を入力します

\*\*\*\*日付時刻設定\*\*\*\*  
時間を  
入力してください  
19時30分

- 24時間制で4ケタの数字を入力します。  
例：午後7時30分の場合 **1** **9** **3** **0**

- 5  (決定) を押す

\*\*\*\*日付時刻設定\*\*\*\*  
設定しました

↓ 約2秒後

\*\*\*指定電話機\*\*\*  
7：日付時刻設定

- 日付と時刻が設定されます。
- フック** を押すと待ち受け画面に戻ります。

## ボタン操作

### 年月日を変更する

1 モニター → 2 \* → 3 5 1 → 4 年を入力する →

- 西暦の下2ケタを入力します。  
例：2005年の場合 0 5  
2099年まで設定できます。

5 月日を入力する → 6 保留 → 7 モニター

- 月日は、各2ケタ入力します。  
例：10月17日の場合 1 0 1 7
- 「ブー」という音が聞こえたら、設定が完了します。

### 時刻を変更する

1 モニター → 2 \* → 3 5 0 → 4 現在の時刻（4ケタ）を入力する →

- 24時間制で4ケタの数字を入力します。  
例：午後7時30分の場合 1 9 3 0

5 保留 → 6 モニター

- 保留 を押した時点で00秒となります。
- 「ブー」という音が聞こえたら、設定が完了します。

外線からの電話を受けるとき、夜間や休日は宿直室の電話機で受けるなど、昼間と夜間で着信させる電話機を切り替えることができます。また、ファクスへの着信も昼間と夜間で切り替えることができます。 **取付け時設定**  
取り付け時に設定した各モードへの切り替えは、指定電話機で行います。このページでは手動で切り替える方法を説明しています。自動的に切り替えたい場合、289ページの設定を行ってください。

## 手動で昼間／夜間切替する

### ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「1：手動夜間切替設定」を選択して「手動夜間切替設定画面」を表示する (→31ページ)

**\*\*手動夜間切替設定\*\***  
1: 昼間／夜間モード切替  
2: 夜間1モード切替  
3: 夜間2モード切替

- 2  (▲▼) で切り替えたいモード (昼間／夜間、夜間1、夜間2) を選択する

**\*\*手動夜間切替設定\*\***  
1: 昼間／夜間モード切替  
2: 夜間1モード切替  
3: 夜間2モード切替

- 現在の設定が夜間、夜間1、夜間2の場合に「1：昼間／夜間モード切替」を選択して  (決定) を押し、昼間モードに切り替わります。

- 3  (決定) を押し

**\*\*手動夜間切替設定\*\***  
夜間モード  
設定しました

約2秒後

**\*\*指定電話機\*\***  
1: 手動夜間切替設定  
2: 自動夜間切替設定  
3: メロディー着信設定

-  を押しと待ち受け画面に戻ります。

### お知らせ

- 自動夜間切替を設定中に、上記の方法で手動で夜間切替の設定を行うと、手動で切り替えた設定に切り替わりますが、自動夜間切替を設定していた時刻になると、自動設定してあるモードに切り替わります。

# 手動で夜間切替を設定する 指定

## ボタン操作

1 モニター

2 ✖

3 夜間切替番号

夜間モード : 8 0

夜間1モード : 8 1

夜間2モード : 8 2

昼間モード : 8 0 (夜間、夜間1、夜間2のいずれかに設定している場合)

4 モニター

## 📖 ボタン操作のヒント .....

- 手順3で、夜間、夜間1、夜間2に切り替えたときは、以下のように液晶表示部に表示されます。

モード	漢字表示タイプ	数字表示タイプ
夜間	夜間	夜間
夜間1	夜間1	夜間1
夜間2	夜間2	夜間2

昼間と夜間で、外線からの電話を受ける電話機を変える場合、各曜日ごとの昼間モードと夜間モードの切替時間を設定し、自動的に切り替えることができます。

一般的な1週間の自動切替時間をこのページの操作で設定します。特別の休日や連続した休暇などのために、この設定とは別の夜間切替を行ったり、自動夜間切替しない期間を設定することもできます。(→294ページ~300ページ)

## 自動切替時刻を設定する

### 曜日ごとの切替時間を設定する

#### ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「2：自動夜間切替設定」を選択して「自動夜間切替設定画面」を表示する (→31ページ)

\*\*\*自動夜間切替設定\*\*\*  
 1: 曜日別時刻  
 2: 例外月日時刻  
 3: 例外年月日時刻

- 2  (▲▼) で「1：曜日別時刻」を選択し  (決定) を押す

\*\*\*自動夜間切替設定\*\*\*  
 1: 曜日別時刻  
 2: 例外月日時刻  
 3: 例外年月日時刻

- 前の画面（「指定電話機」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 3  (▲▼) で設定する曜日を選択し  (決定) を押す

例：日曜日を選択した場合

\*\*\*曜日別切替設定\*\*\*  
 1: 日曜日  
 2: 月曜日  
 3: 火曜日

- 前の画面（「自動夜間切替設定」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 4  (▲▼) で「1：昼間切替時刻」を選択し  (決定) を押す

\*\*\*曜日別切替設定\*\*\*  
 日曜日  
 1: 昼間切替時刻  
 2: 夜間切替時刻

- 切替時刻設定を中止し、手順3に戻るときは、 を押してください。

- 5 昼間モードに切り替える時刻を入力し  (決定) を押す

\*\*\*曜日別切替設定\*\*\*  
 日曜日  
 07時30分  
 昼間 時刻

- 時刻は、24時間制で4ケタの数字を入力してください。  
例：午前7時30分の場合    
- 入力を中止し、手順4に戻るときは、 を押してください。

- 6 夜間モードに切り替える時刻を入力し  (決定) を押す

\*\*\*曜日別切替設定\*\*\*  
 日曜日  
 17時00分 夜間 ←  
 夜間 時刻

現在設定されている  
夜間モードを表示

- 時刻は、24時間制で4ケタの数字を入力してください。  
例：午後5時00分の場合    
- 入力を中止し、手順4に戻るときは、 を押してください。

## 7 (▲▼) で「1：夜間」を選択し (決定)を押す

\*\*\*夜間モード選択\*\*\*

1:夜間

2:夜間1

3:夜間2

- 日曜日の夜間モードが夜間に設定され、月曜日の切替時刻設定画面が表示されます。
- 夜間1、夜間2を設定する場合、 (▲▼) で「2：夜間1」、「3：夜間2」を選択してください。

## 8 手順5～7を繰り返し、月曜日から土曜日を設定する

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 操作のヒント

- 各曜日の設定において前回のモードを継続する場合、何も入力せず、 (▼) または  (決定) を押して次の設定手順に移ります。
- 手順5、6で  (▲) を押して、前の設定手順に戻ることができます。
- 昼間／夜間モードに切り替える時刻は、1日につき1回のみ設定できます。
- 自動夜間切替を設定中に、287ページ～288ページの方法で手動で夜間切替の設定を行うと、手動で切り替えた設定に切り替わりますが、自動夜間切替を設定していた時刻になると、自動設定してあるモードに切り替わります。

### お知らせ

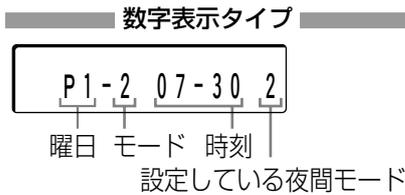
- 手順5～手順7で設定できない値を入力した場合、その値は無視されますので入力をやり直してください。

**ボタン操作**

**1** **モニター** **設定/転送** **0** **2**

- 日曜日の昼間モードの設定画面が表示されます。
- 日・月・火・水・木・金・土の順番で、各曜日ごとの切替時間を設定します。
- 数字表示付電話機の液晶表示部は以下のようになります。

例：日曜日の夜間を「夜間2」のモードに設定



	数字	
	昼間	夜間
日曜日	P1-1	P1-2
月曜日	P2-1	P2-2
火曜日	P3-1	P3-2
水曜日	P4-1	P4-2
木曜日	P5-1	P5-2
金曜日	P6-1	P6-2
土曜日	P7-1	P7-2

<設定している夜間モードの表示>

夜間モード	表示
夜間	空白
夜間1	1
夜間2	2

**2** 昼間モードに切り替える時刻を入力して **保留**

例：午前7時30分の場合 **0** **7** **3** **0**

- 日曜日の設定から始まります。
- 時刻は、24時間制で4ケタの数字を入力してください。
- モードを切り替える必要のない場合、時刻と **保留** を入力する代わりに、**#** を押してください。

**3** 夜間モードに切り替える時刻を入力して **保留**

例：午後5時00分の場合 **1** **7** **0** **0**

- モードを切り替える必要のない場合、時刻と **保留** を入力する代わりに、**#** を押してください。

**4** 手順2と3を繰り返し、月曜日から土曜日を設定する

- すべての曜日の設定を終了したら、手順5へ進んでください。

**5** **モニター**

**ボタン操作のヒント** .....

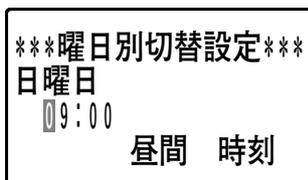
- 上記の各設定手順で、入力を中止し前の手順に戻るときは、**\***（前へ）を押してください。入力内容がそのままよい場合、**#**（次へ）を押して次の設定手順に移ってください。
- 夜間1に切り替える場合、手順3で時刻を入力したら、**保留** を押す前に **1**、夜間2の場合は **2** を押します。

# 自動夜間切替を設定する 指定

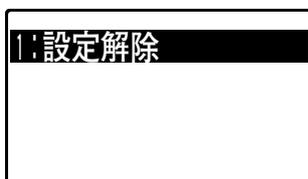
## 自動夜間切替設定を解除する

### ◀ナビ操作

- 1 解除したい昼間／夜間／夜間1／夜間2の時刻設定画面を表示する  
(→289ページ)



- 2 機能  を押す



- 3  (決定)を押す

\*\*\*曜日別切替設定\*\*\*  
解除しました

約2秒後

\*\*\*曜日別切替設定\*\*\*  
日曜日  
07:00 夜間  
夜間 時刻

●設定が解除され、次の時刻設定画面が表示されます。

### ▶ボタン操作

- 1    
- 2  または  を押して解除したい項目を選ぶ

- 3 確認/会議  


●漢字表示付電話機の場合、確認/会議 はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(→98ページ)

- 4 

●解除を続ける場合、手順2～4の操作を行います。

- 5 

## 自動夜間切替設定を確認する

### ▶ボタン操作

- 1     → 2  または  を数回押す ●登録されている内容が表示されます。 →
- 3 

### 📖 操作のヒント

● ナビ操作で設定内容を確認する場合、設定時と同じ操作で確認します。

## 自動切替時刻の設定操作例

例：営業時間が月曜日～金曜日は午前9時～午後5時、土曜日、日曜日は休みの会社の場合  
昼間／夜間モードを次のように設定します。



例：ボタン操作の場合

1 モニター 設定/転送 0 2 を押す

### 日曜日の設定

金曜日の午後5時以降の夜間モードを継続するため、モード切替時刻を設定する必要はありません。

日曜日昼間モードへの切替時刻設定

2 井 (次の設定へ) を押す

日曜日夜間モードへの切替時刻設定

3 井 (次の設定へ) を押す

### 月曜日～金曜日の設定

午前9:00に昼間モードに切り替え、午後5:00に夜間モードに切り替えるように時刻を設定します。

昼間モードへの切替時刻設定

4 0 9 0 0 保留 を押す

夜間モードへの切替時刻設定

5 1 7 0 0 保留 を押す

6 手順4、5を繰り返す

### 土曜日の設定

金曜日の午後5時以降の夜間モードを継続するため、モード切替時刻を設定する必要はありません。土曜日の設定が最後なので、井 を押して次の設定に移る必要もありません。

切替時刻の設定が終了したら

7 モニター を押す

## 自動夜間切替の例外日時を設定する

祝祭日や臨時の休日など、通常の昼間／夜間切替とは異なる設定をすることができます。例外日時設定は、月日設定と年月日設定の2種類があり、それぞれ20日分設定できます。ここでは、月日設定を例に説明しています。

### ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「2：自動夜間切替設定」を選択して「自動夜間切替設定画面」を表示する (→31ページ)

\*\*\*自動夜間切替設定\*\*\*  
 1: 曜日別時刻  
 2: 例外月日時刻  
 3: 例外年月日時刻

- 2  (▲▼) で「2：例外月日時刻」を選択し  (決定) を押す

\*\*\*自動夜間切替設定\*\*\*  
 1: 曜日別時刻  
 2: 例外月日時刻  
 3: 例外年月日時刻

- 年月日の時刻を設定する場合、 (▲▼) で「3：例外年月日時刻」を選択し  (決定) を押します。
- 例外日は最大20日分設定できます。
- 前の画面（「指定電話機」画面）に戻るときは、 を押ししてください。

- 3  (▲▼) で設定する例外日を選択し  (決定) を押す

例：例外日1を選択した場合

\*\*\*例外月日設定\*\*\*  
 例外日1  
 例外日2  
 例外日3

- 前の画面（「自動夜間切替設定」画面）に戻るときは、 を押ししてください。

- 4  (▲▼) で「1：日付」を選択し  (決定) を押す

\*\*\*例外日1設定\*\*\*  
 1: 日付  
 2: 昼間切替時刻  
 3: 夜間切替時刻

- 例外日1設定を中止し、手順3に戻るときは、 を押ししてください。

- 5 例外の設定をしたい月日を入力し  (決定) を押す

\*\*\*例外月日設定\*\*\*  
 例外日1  
 05月05日  
 日付

- 4ケタの数字で入力してください。  
 例：5月5日の場合    
- 年月日の時刻を設定する場合、年月日を入力します。  
 例：2005年12月23日の場合  
     
- 入力を中止し、手順4に戻るときは、 を押ししてください。

- 6 昼間モードに切り替える時刻を入力し  (決定) を押す

\*\*\*例外月日設定\*\*\*  
 例外日1  
 07時30分  
 昼間 時刻

- 時刻は、24時間制で4ケタの数字を入力してください。  
 例：午前7時30分の場合    
- 入力を中止し、手順4に戻るときは、 を押ししてください。

**7** 夜間モードに切り替える時刻を入力し

 (決定)を押す

\*\*\*\*例外月日設定\*\*\*\*  
 例外日1  
 17時00分 夜間  
 夜間 時刻

- 時刻は、24時間制で4ケタの数字を入力してください。  
 例：午後5時00分の場合 **① ⑦ ⑦ ⑦**
- 入力を中止し、手順4に戻るときは、 を押してください。

**8**  (▲▼)で「1：夜間」を選択し  (決定)を押す

\*\*\*夜間モード選択\*\*\*  
**1:夜間**  
 2:夜間1  
 3:夜間2

- 例外日2の設定画面が表示されます。
- 夜間1、夜間2を設定する場合、 (▲▼)で「2：夜間1」、「3：夜間2」を選択してください。
- 設定を中止し、手順7に戻るときは、 を押してください。

**9** 手順5～8を繰り返し、例外日2から例外日20を設定する

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

**お知らせ**

- 手順5～手順7で設定できない値を入力した場合、その値は無視されますので入力をやり直してください。

# 自動夜間切替を設定する **指定**

## ボタン操作

- 1 **モニター** **設定/転送** **0** **3** **0**
- 例外月日時刻設定画面が表示されます。
  - 年月日設定は **モニター** **設定/転送** **0** **3** **1** を押します。

### 数字表示タイプ



日付設定表示  
01~20  
(例外日時設定のできる20日分)

すでに設定されているときは  
設定済みの内容が表示されます。  
(以降の表示も同様です)

- 2 例外の設定をしたい月日を入力して **保留**

### 数字表示タイプ



昼間モード切替時刻設定表示

- 4ケタの数字で入力してください。  
例：5月5日の場合 **0** **5** **0** **5**
- 年月日設定は、年月日を入力して **保留** を押します。  
例：2005年9月5日の場合 **0** **5** **0** **9** **0** **5**

- 3 昼間モードに切り替える時刻を入力して **保留**

### 数字表示タイプ

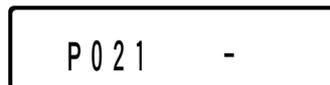


夜間モード切替時刻設定表示

- 24時間制で4ケタの数字を入力してください。  
例：午前7時30分の場合 **0** **7** **3** **0**
- モードを切り替える必要のない場合、時刻と **保留** を入力する代わりに、**#** を押してください。

- 4 夜間モードに切り替える時刻を入力して **保留**

### 数字表示タイプ



- 24時間制で4ケタの数字を入力してください。  
例：午後5時の場合 **1** **7** **0** **0**
- 指定した日の昼間/夜間モードの設定が完了し、次の例外月日の設定画面に変わります。
- モードを切り替える必要のない場合、時刻と **保留** を入力する代わりに、**#** を押してください。

- 5 手順2から手順4を繰り返して、日数分の月日の昼間/夜間モードを設定する

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
- 必要な日数分の設定を終了したら手順6へ進んでください。

- 6 **モニター** ●待ち受け画面に戻ります。

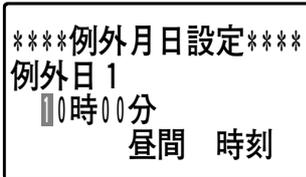
## ボタン操作のヒント

- 上記の各設定手順で、入力を中止し前の手順に戻るときは、**※** (前へ) を押してください。入力内容がそのままでもよい場合、**#** (次へ) を押して次の設定手順に移ってください。
- 夜間1に切り替える場合、手順4で時刻を入力したら、**保留** を押す前に **1**、夜間2の場合は **2** を押します。

**設定を解除するには**

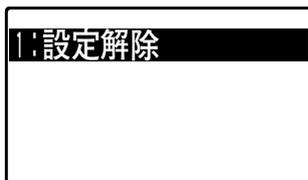
**ナビ操作**

- 解除したい昼間/夜間/夜間1/夜間2の時刻設定画面を表示する (→294ページ)



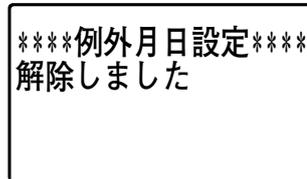
- 前の画面(「例外日1設定」画面)に戻るときは、戻るを押してください。

- 機能を押す

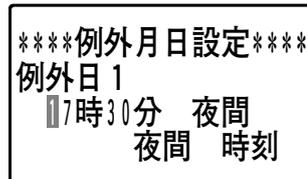


- 設定解除を中止し、手順1に戻るときは、戻るを押してください。

- (決定)を押す



約2秒後



- 設定が解除され、次の時刻設定画面が表示されます。
- フックを押すと待ち受け画面に戻ります。

**ボタン操作**

- モニター 設定/転送 0 3 0 • 年月日設定は モニター 設定/転送 0 3 1 を押します。
- 井 または 保留 を押して解除したい項目を選ぶ
- 確認/会議  
漢字表示付電話機の場合、確認/会議 はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(→98ページ)
- 保留  
解除を続ける場合、手順2から手順4の操作を行います。
- モニター

**設定を確認するには**

**ボタン操作**

- モニター 設定/転送 0 3 0 • 年月日設定は モニター 設定/転送 0 3 1 を押します。
- 井 または 保留 を数回押して確認したい項目を選ぶ • 登録されている内容が表示されます。
- モニター

**操作のヒント**

- ナビ操作で設定内容を確認する場合、設定時と同じ操作で確認します。

## 自動夜間切替をしない期間を設定する

年末年始やお盆休みなど、連続して休暇になる場合、自動夜間切替しない期間を最大6期間分設定できます。

### ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「2：自動夜間切替設定」を選択して「自動夜間切替設定画面」を表示する (→31ページ)

\*\*\*自動夜間切替設定\*\*\*  
 1: 曜日別時刻  
 2: 例外月日時刻  
 3: 例外年月日時刻

- 2  (▲▼) で「4：解除期間設定」を選択し  (決定) を押す

\*\*\*自動夜間切替設定\*\*\*  
 4: 解除期間設定  
 5: モード表示名称設定

- 前の画面（「指定電話機」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 3  (▲▼) で設定する解除期間を選択し  (決定) を押す

例：解除期間 1 を選択した場合

\*\*\*解除期間設定\*\*\*  
 1: 解除期間 1  
 2: 解除期間 2  
 3: 解除期間 3

- 解除期間は最大6期間分設定できます。
- 解除期間開始日または解除期間終了日の片方のみを設定した時は、エラー設定となり機能しません。
- 前の画面（「自動夜間切替設定」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 4  (▲▼) で「1：開始日」を選択し  (決定) を押す

\*\*\*解除期間設定\*\*\*  
 解除期間 1  
 1: 開始日  
 2: 終了日

- すでに解除されている解除期間を修正する場合、以下のように選択します。  
 解除期間開始日から修正する場合、  
 「1：開始日」を選択してください。  
 解除期間終了日を修正する場合、  
 「2：終了日」を選択してください。
- 解除期間設定を中止し、手順3に戻るときは、 を押してください。

- 5 解除期間を開始する月日を入力し  (決定) を押す

\*\*\*解除期間設定\*\*\*  
 解除期間 1  
 12月29日  
 開始

- 4ケタの数字で入力してください。  
 例：12月29日の場合 ① ② ② ⑨
- 入力を中止し、手順4に戻るときは、 を押してください。

- 6 解除期間を終了する月日を入力し  (決定) を押す

\*\*\*解除期間設定\*\*\*  
 解除期間 1  
 01月04日  
 終了

- 4ケタの数字で入力してください。  
 例：1月4日の場合 ① ① ① ④

## 7 続けて解除期間2から解除期間6を設定する場合、手順5～6を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
- **フック** を押すと待ち受け画面に戻ります。

### 📖 操作のヒント

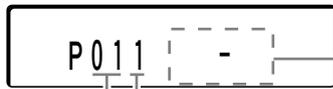
- 自動夜間切替しない期間中に、手動で切り替えることができます。

### 🔘 ボタン操作

1 **モニター** **設定/転送** **0** **4**

- 解除期間設定の画面が表示されます。

#### 数字表示タイプ



開始日設定表示  
01～06  
(6期間分)

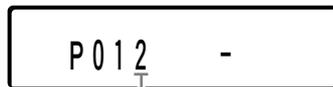
すでに設定されているときは  
設定済みの内容が表示されます。  
(以降の表示も同様です)

2 自動夜間切替しない期間の最初の月日を入力して **保留**

- 4ケタの数字で入力してください。

例：12月29日の場合 **1** **2** **2** **9**

#### 数字表示タイプ



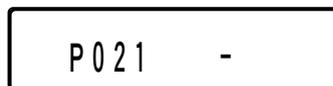
終了日設定表示

3 自動夜間切替しない期間の最後の月日を入力して **保留**

- 4ケタの数字で入力してください。

例：1月4日の場合 **0** **1** **0** **4**

#### 数字表示タイプ



4 手順2～3を繰り返して、その他の期間の開始日／終了日を設定する

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
- 設定が終了したら手順5へ進んでください。

5 **モニター** ● 待ち受け画面に戻ります。

### 📖 ボタン操作のヒント

- 上記の各設定手順で、入力を中止し前の手順に戻るときは、**⏪** (前へ) を押してください。入力内容がそのままよい場合、**⏩** (次へ) を押して次の設定手順に移ってください。
- 自動夜間切替しない期間中に、手動で切り替えることができます。

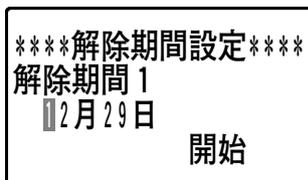
# 自動夜間切替を設定する 指定

## 設定を解除するには

### ◀ナビ操作

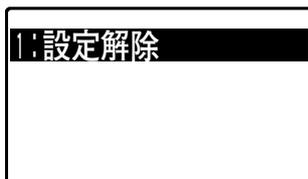
1 解除したい開始/終了の開始月日設定画面を表示する (➡298ページ)

例: 解除期間1を選択した場合



- 前の画面 (「解除期間1設定」画面) に戻るときは、 を押してください。

2  を押す



- 設定解除を中止し、手順1に戻るときは、 を押してください。

3  (決定) を押す

\*\*\*\*解除期間設定\*\*\*\*  
解除しました

約2秒後

\*\*\*\*解除期間設定\*\*\*\*  
解除期間1  
1月04日  
終了

- 設定が解除され、終了月日設定画面が表示されます。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

### ●ボタン操作

1    

2  または  を押して解除したい項目を選ぶ

3 

- 漢字表示付電話機の場合、 はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。(➡98ページ)

4 

- 解除を続ける場合、手順2~4の操作を行います。

5 

## 設定を確認するには

### ●ボタン操作

1    

2  または  を数回押す

- 登録されている内容が表示されます。

3 

### 📖 操作のヒント

- ナビ操作で設定内容を確認する場合、設定時と同じ操作で確認します。

## 動作モードの名称を変更する

漢字

液晶表示部に表示させる夜間切替の動作モード（夜間、夜間1、夜間2）の名称を変更できます。

## ナビ操作

- 1 (▲)を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「2：自動夜間切替設定」を選択して「自動夜間切替設定画面」を表示する（⇒31ページ）

\*\*自動夜間切替設定\*\*  
1: 曜日別時刻  
2: 例外月日時刻  
3: 例外年月日時刻

- 2 (▲▼)で「5：モード表示名称設定」を選択し (決定)を押す

\*\*自動夜間切替設定\*\*  
4: 解除期間設定  
5: モード表示名称設定

- モード表示名称設定画面が表示されます。
- 前の画面（「指定電話機」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 3 (▲▼)で変更する動作モードを選択し (決定)を押す

例：夜間を選択した場合

\*\*モード表示名称設定\*\*  
夜間：  
夜間1：  
夜間2：

- 前の画面（「自動夜間切替設定」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 4 変更する名称を入力する

名称入力

- 文字入力方法は⇒80ページ。
- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角7文字まで、カタカナ・英数字は半角14文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶)で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押しします。
- 入力を中止し、手順3に戻るときは、 を1秒以上押し文字を消してから を押してください。

- 5 (決定)を押す

\*\*モード表示名称設定\*\*  
営業時間  
登録しました

約2秒後

\*\*モード表示名称設定\*\*  
夜間：営業時間  
夜間1：  
夜間2：

- 6 続けて動作モードの名称を設定する場合、手順3～5を繰り返す

- を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 操作のヒント

- お買い上げ時の設定（夜間、夜間1、夜間2）の名称に戻す場合、手順4で を約1秒以上押しして全ての文字を消去してから (決定) を押ししてください。

外線から着信があった場合、着信音としてメロディー（10種類の中から選択）を流すことができます。

### 取付け時設定

メロディー着信は2つまで設定でき、着信別や回線別にメロディーを変えて着信を区別することができます。メロディー着信を設定するためには、オプションのメロディートークユニット（VB-F262）が必要です。

### ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「3：メロディー着信設定」を選択して「メロディー着信設定画面」を表示する（⇒31ページ）

\*メロディー着信設定\*  
1:メロディー1選択  
2:メロディー2選択

- 2 (▲▼) で「1：メロディー1選択」を選択し (決定) を押す

\*メロディー着信設定\*  
1:メロディー1選択  
2:メロディー2選択

- 前の画面（「指定電話機」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 3 (▲▼) で設定するメロディーを選択し (決定) を押す

\*\*メロディー1設定\*\*  
1:地上の星  
2:Born to love you  
3:M

- メロディーは10種類の中から選択できます。

<着信番号とメロディーについて>

- |   |            |
|---|------------|
| 1. 地上の星   | 6. クリスマスイブ |
| 2. Born to love you<br>(I was born to love you) | 7. ポレロ     |
| 3. M  | 8. 見つめていたい |
| 4. Africa                                       | 9. 花のワルツ   |
| 5. 涙そうそう  | 0. 木星～惑星   |

- メロディー着信を設定しない場合、「\*：設定無し」を選択してください。

- 前の画面（「メロディー着信設定」画面）に戻るときは、 を押してください。

### 選択したメロディーを試聴してから設定する場合

- を押して手順4に進みます。

### 選択したメロディーをそのまま設定する場合

- 手順6に進みます。

- 4 試聴する場合、 (▲▼) で「1：はい」を、しない場合、 (▲▼) で「2：いいえ」を選択し (決定) を押す

\*\*メロディー1設定\*\*  
試聴しますか？  
1:はい  
2:いいえ

- 「1：はい」を選択した場合、選択したメロディーが流れます。
- 選択したメロディーを試聴しようとしたときに、選択したメロディーの使用状態により、試聴できない場合もあります。試聴できない場合、「使用中です試聴できません」というメッセージが表示され、約2秒後に元の画面に戻ります。

- 5 メロディー着信として設定する場合、  
 (▲▼)で「1：はい」を、しない  
 場合、 (▲▼)で「2：いいえ」を  
 選択する

**\*\*メロディー1設定\*\***  
 設定しますか？  
 1:はい  
 2:いいえ

- 「2：いいえ」を選択した場合、手順3の画面が表示されます。

- 6  (決定)を押す

**\*\*メロディー1設定\*\***  
 設定しました

↓ 約2秒後

**\*メロディー着信設定\***  
 1:メロディー1選択  
 2:メロディー2選択

- 7 続けてメロディー2を設定する場合、手  
 順2～6を繰り返す

-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

 操作のヒント

- 取付け時の設定でメロディー着信が設定されていない場合、設定できません。 

センサーからの着信を、あらかじめ設定しておいた外線の電話機に転送することができます。ここでは、転送先の電話番号を設定します。

## ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「4：転送設定」を選択して「転送設定画面」を表示する (⇒31ページ)

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 2 (▲▼) で「2：センサー外線転送」を選択し (決定) を押す

```
*****転送設定*****
1:外線転送
2:センサー外線転送
```

- 前の画面（「指定電話機」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 3 (▲▼) で設定したいセンサー転送先を選択し (決定) を押す  
例：センサー1転送先を選択した場合

```
***センサー外線転送先***
1:センサー1転送先
2:センサー2転送先
3:センサー3転送先
```

- 前の画面（「転送設定」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 4 転送先の電話番号を入力する

```
**センサー1転送先設定**
電話番号を
入力してください
0450004321
```

- 電話番号の入力は、24ケタ（# 含む）までです。24ケタを超える入力はできません。
- 転送先電話番号には、0～9、\*、# が入力できます。
- 入力を中止し、手順3に戻るときは、 を1秒以上押し文字を消してから を押してください。

- 5 (決定) を押す

```
**センサー1転送先設定**
設定しました
```

約2秒後

```
***センサー外線転送先***
1:センサー1転送先
2:センサー2転送先
3:センサー3転送先
```

- 6 手順3～5の操作を繰り返し、センサーごとに転送先を設定する

- を押すと待ち受け画面に戻ります。

## 操作のヒント

- 転送先設定を解除する場合、手順4で を押して電話番号を消去してください。

## お知らせ

- センサーからの外線自動転送をする／しないは、取付け時に設定します。 取付け時設定



かかってきた電話において、発信者番号通知が非通知の場合に、非通知着信理由（ユーザー拒否、公衆電話、サービス提供不可）ごとに着信先（セレクト着信→145ページ）を設定できます。

「ユーザー拒否」：発信者が番号を通知しない場合。

「公衆電話」：公衆電話からかけてきた場合。

「サービス提供不可」：海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由した着信などで発信者番号通知が不可能な場合。

### ナビ操作

- 1 (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「5：非通知着信先設定」を選択して「非通知着信先設定画面」を表示する (→31ページ)

※非通知着信先設定※  
1: ユーザー拒否  
2: 公衆電話  
3: サービス提供不可

- 2 (▲▼) で「1：ユーザー拒否」を選択し (決定) を押す

※非通知着信先設定※  
1: ユーザー拒否  
2: 公衆電話  
3: サービス提供不可

- 前の画面（「指定電話機」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 3 着信先の内線番号を入力し、 (決定) を押す

※ユーザー拒否着信※  
着信先内線番号を  
入力してください  
10

- 入力を中止し、手順2に戻るときは、 を押して文字を消してから を押してください。

- 4 着信音番号を2ケタ入力する

※ユーザー拒否着信※  
着信音番号を  
入力してください  
30

- 着信音は、周波数と着信パターンの組み合わせおよびメロディーの合計35種類あります。(→332ページ) さらに、オプションのメロディートークユニット (VB-F262) を使用して、着信音としてメロディー10種類を追加できます。

- 5 (決定) を押す

※ユーザー拒否着信※  
設定しました

約2秒後

※非通知着信先設定※  
1: ユーザー拒否  
2: 公衆電話  
3: サービス提供不可

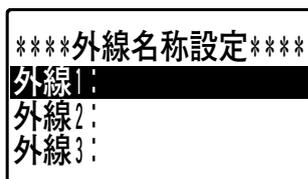
- 6 続けて公衆電話、サービス提供不可の着信先を設定する場合、手順2～5を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
- (フック) を押すと待ち受け画面に戻ります。

使用する電話回線に名称を設定することができます。  
部署ごとに利用できる外線を管理する場合など、部署名を設定しておくとう便利です。  
設定した名称は、外線に電話をかけるときに液晶表示部に表示させることができます。

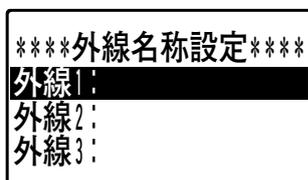
### ◀ナビ操作

- 1  (▲) を押し、各選択画面で「5：システム設定」→「2：指定電話機」→「6：外線名称設定」を選択して「外線名称設定画面」を表示する (⇒31ページ)



- 2  (▲▼) で設定したい外線を選択し  (決定) を押す

例：外線1を選択した場合



- 前の画面（「指定電話機」画面）に戻るときは、 を押してください。

- 3 外線1の名前を入力する



- 文字入力方法は⇒80ページ。
- 名前の入力、ひらがな・漢字は全角8文字まで、カタカナ・英数字は半角16文字までです。
- 入力を間違えた場合、 を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。または、 (◀▶) で削除したい文字にカーソルを移動し、 で不要な文字を削除し、再入力します。
- 全ての文字を消去する場合、 を約1秒以上押します。

- 4  (決定) を押す

\*\*\*\*外線名称設定\*\*\*\*  
営業1課  
登録しました

↓ 約2秒後

\*\*\*\*外線名称設定\*\*\*\*  
外線1 営業1課  
外線2:  
外線3:

- 5 続けて他の外線名称を設定する場合、手順2～4を繰り返す

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。
-  を押すと待ち受け画面に戻ります。

# 15 通話料金を集計する

指定

各電話機の通話料の合計、またはすべての電話機の通話料の合計を確認できます。

## 各電話機の合計通話料金を確認する

- 1 **モニター** を押す
- 2 **✖** を押す
- 3 **4** を押す
- 4 通話料金の合計を確認したい電話機の内線番号を押す
  - 内線番号と通話料金の合計が表示されます。
- 5 **モニター** を押す

### 📖 操作のヒント

- 次の内線番号の電話機の通話料金の合計を確認するには、手順4のあと **⊕** を押します。
- 各電話機の通話料金の合計をクリアするには、手順4のあとで **0** **✖** を押します。

### 📌 お知らせ

- 各電話機の合計の通話料金は、500,000円まで表示されます。500,000円を超えると、表示は500,000円のままとなります。

### 📌 お知らせ

- 通話料金は、通信事業者（電話会社）のものとは限りません。目安としてお使いください。
- 国際電話の通話料金は、通話料金集計には含まれません。
- 携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、列車電話、キャッチホン、INSキャッチホン、電報、コレクトコール、フリーダイヤル、伝言ダイヤルなどは料金集計されません。
- 通話料金の合計は、各電話会社の合計料金（NTTの料金に換算）を表示します。
- 外線ごとに、課金種別を設定する必要があります。📞 **取付け時設定**
- 外線転送機能、オフィス留守番機能（マルチボイス）、ルームモニター機能などの通話料金（各機能で使用する内線番号が対象）も確認できます。

## すべての電話機の合計通話料金を確認する

- 1 **モニター** を押す
- 2 **✖** を押す
- 3 **4** **9** を押す
  - 通話料金の合計が表示されます。
- 4 **モニター** を押す

### 📖 操作のヒント

- すべての電話機の通話料金の合計をクリアするには、手順3のあとで **0** **✖** を押します。

### 📌 お知らせ

- オプションのIP外線ユニットをお使いの場合、ISDN、電話（アナログ）回線での通話料金と、IP外線ユニット経由で発信した通話料金を合わせて集計されます。

主装置が障害、警告などのアラーム(カレントアラーム)を検出したときに、あらかじめFFボタンに設定(➡97ページ)したカレントアラームボタンが赤色に点灯し、障害が発生したことを知ることができます。カレントアラームボタンを押すと液晶表示部にはカレントアラームコードが表示されます。パソコンからも、アラーム(カレントアラーム一覧)を確認(➡323ページ)することができます。

## 電話機の液晶表示部で確認する

アラームが発生し、<sup>カレントアラーム</sup>  が赤色に点灯したら

### 1 <sup>カレントアラーム</sup> を押す

漢字表示タイプ

2107

数字表示タイプ

2107

- カレントアラームコードが液晶表示部に表示されます。
- <sup>カレントアラーム</sup>  はあらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。

#### 操作のヒント

- アラームが発生した場合、FFボタンに <sup>カレントアラーム</sup>  を設定(➡97ページ)したすべての電話機が赤色に点灯します。アラームが解除されると消灯します。
- カレントアラームコードが複数ある場合、 (▲▼) または  を押して、発生しているカレントアラームコードをすべて表示することができます。

#### お願い

- バッテリー駆動(AC電源断)時のカレントアラームコード「1307」が表示された場合、停電、またはコンセントから電源プラグ・ACアダプターが抜けている可能性があります。ご確認ください。その他の表示が出ている場合、液晶表示部に表示されるカレントアラームのコードを確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

システムの管理者がWWWブラウザを使用して、保守・運用・登録などの各種設定をパソコンから行うことができます。

ここでは、パソコンからシステム全体に関する設定を行う操作を説明します。

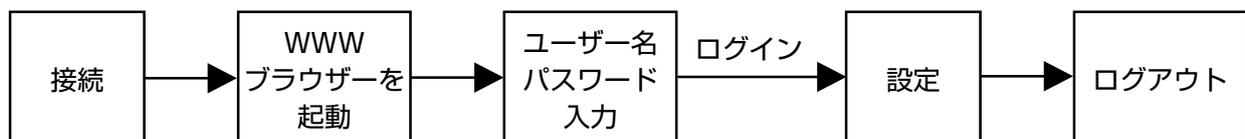
## パソコンの動作条件

CPU	: Intel® Pentium® 233MHz以上
RAM	: 64MB以上
ハードディスクドライブの空き容量	: 26MB以上
基本OS	: Microsoft® Windows® 98 Microsoft® Windows® Me Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® XP Professional SP2/Home Edition SP2
WWWブラウザ	: Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP1 (最新のパッチを適用してください) Microsoft® Internet Explorer 6.0 SP2

### お願い

- WWWブラウザのcookie機能およびJavaScript機能はONに設定してください。
- WWWブラウザで、画面の表示形式を変更するような設定がされている場合、画面が正しく表示されないことがあります。  
その場合、例えば、以下の設定を確認してください。  
例：Microsoft® Windows® XP の場合
  - ① 基本OSの画面のプロパティから「設定」タブを選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。  
表示される画面内の「全般」タブを選択し、「DPI設定」が「通常のサイズ(96DPI)」となっていることを確認してください。
  - ② WWWブラウザの「ツール」－「インターネットオプション」メニューから「全般」タブを選択してから、「ユーザー補助」ボタンをクリックしてください。  
表示されるユーザー補助画面内の書式設定の各項目にチェックが入っていないことを確認してください。  
ご使用の環境によって項目名の表現が異なります。

## 設定の流れ



## パソコンから設定できる項目一覧

項目		設定内容	参照ページ
ナビキー設定	外線名称設定	電話回線に名称を設定します。	314
	モード表示名称設定	夜間切替の動作モード（夜間、夜間1、夜間2）の名称を設定します。	315
	MLVボックス名称設定	オフィス留守番機能（マルチボイス）で使用するボックスに名称を設定します。	316
ダイヤル設定	2.4Gコードレス FFキー名登録	2.4Gカラーデジタルコードレス電話機のFFキー名を登録します。	317
電話帳設定	外線電話帳	外線電話帳へデータの登録、変更、削除をします。	318
	内線電話帳	内線電話帳へデータの登録、変更、削除をします。	319
	特殊内線電話帳	特殊内線電話帳へデータの登録、変更、削除をします。	320
	個人電話帳	個人電話帳へデータの登録、変更、削除をします。	321
	グループ名登録		—
	外線電話帳グループ名登録	外線電話帳のグループ名を登録します。	322
	内線電話帳グループ名登録	内線電話帳のグループ名を登録します。	322
表示状態	カレントアラーム一覧表示	障害、警告などのアラーム（カレントアラーム）の一覧を表示します。	323
保守管理	保守ユーザー管理		—
	パスワード変更	WWWブラウザから主装置にログインするときのパスワードを変更します。	324
	ファイル管理		—
	ファイルアップロード	電話帳データをアップロードします。	324
	ファイルダウンロード	電話帳データや履歴データをダウンロードします。	325

### 📄 お知らせ

- 外線電話帳（共通短縮ダイヤル）、個人電話帳（個人短縮ダイヤル）、内線電話帳は、指定電話機から登録、編集することもできます。個人電話帳（個人短縮ダイヤル）は指定電話機以外の電話機からも登録、編集することができます。ただし、電話機とパソコンで同時に登録・編集を行わないでください。

## WWWブラウザを起動してログインする

### 1 パソコンでWWWブラウザを起動する

### 2 アドレスバーの入力欄に「http://主装置IPアドレス/」を入力し、主装置にアクセスする

- ログイン画面が表示されます。



### 3 ユーザー名 (admin)、パスワード (初期値: administrator) を入力し、

**ログイン** をクリックする

- メインメニュー画面が表示されます。

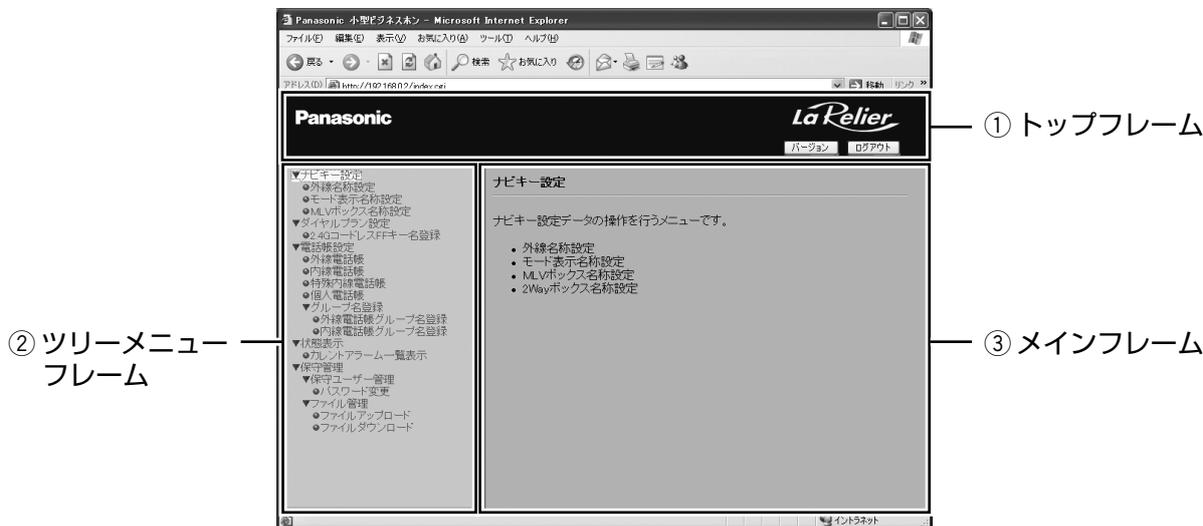
#### お知らせ

- 主装置には、あらかじめ IP アドレスの設定が必要です。  **取付け時設定**
- ログインした順番に関係なく、システム管理者がログイン中は一般用の方はデータの参照はすることができませんが、設定はできません。  
一般用の方がログインするときはご注意ください。
- 操作開始前に起動中の WWW ブラウザーを終了してから操作手順に沿ってログインしてください。

# パソコンから各種設定をする (システム管理者用)

## メインメニュー画面

メインメニュー画面は、トップフレーム、ツリーメニューフレーム、メインフレームの3つのフレームで構成されています。



### ① トップフレーム

バージョン情報の表示とログアウトの制御を行うことができます。

バージョン情報は、「ソフトウェア品番」と「バージョン」を表示します。

ツリーメニューフレームおよびメインフレームでの操作に関係なく、常に



### ② ツリーメニューフレーム

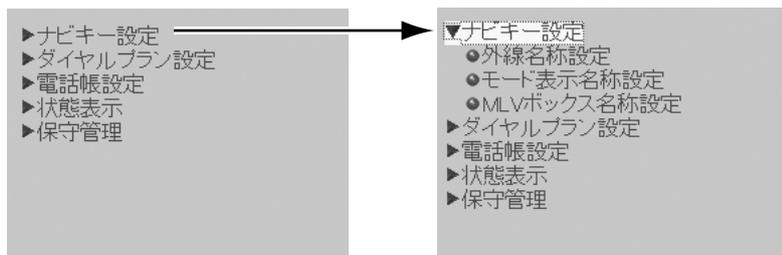
設定画面を分類したメニューを階層構造に表示します。

▶ のついたメニューをクリックすると、ツリー状に下位層の各メニューが表示され、右側のメインフレームにはメニューの説明と下位層のメニューが表示されます。

▼ のついたメニューをクリックすると、表示されていた下位層の各メニューのツリーが閉じて、右側のメインフレームにはメニューの説明と下位層のメニューが表示されます。

● のついたメニューをクリックすると、右側のメインフレームに、そのメニューの設定画面が表示されます。メニュー選択時に選択したメニューの画面がメインフレームに表示されず、新たにウィンドウが開いて表示された場合、一度、ログアウトしてから再度操作してください。

メニュー選択時にメインフレームにエラー画面が表示された場合、再度、メニューを選択してください。



### ③ メインフレーム

ツリーメニューフレームで選択したメニューの設定画面を表示します。

メインフレームに表示される設定画面には、



が表示されます。

# パソコンから各種設定をする (システム管理者用)

各ボタンの役割を以下に説明します。



- ① **送信** : 設定画面の各項目に設定した値を主装置に送信し、データが更新されます。  
**送信** をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されますので、メッセージを確認し、**OK** をクリックします。



- ② **再表示** : 最新の値を反映した設定画面が再表示されます。
- ③ **デフォルト値表示** : 設定画面の各項目の初期値が表示されます。  
 デフォルト値を表示した状態で **再表示** をクリックすると、現在設定されている値に表示が戻ります。  
 デフォルト値を表示した状態で **送信** をクリックすると、デフォルト値で更新されます。

## お知らせ

- WWWブラウザから入力可能な文字は以下のとおりです。  
 対応している文字以外の文字を入力しないでください。

全角ひらがな	カタカナ		英字		数字	
	全角	半角	全角	半角	全角	半角
あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウエオ アイウエオ	—	—	1	1
かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	ABC abc	ABC abc	2	2
さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	DEF def	DEF def	3	3
たちつてと っ	タチツテト ッ	タチツテト ッ	GHI ghi	GHI ghi	4	4
なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	JKL jkl	JKL jkl	5	5
はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフヘホ	MNO mno	MNO mno	6	6
まみむめも	マミムメモ	マミムメモ	PQRS pqrs	PQRS pqrs	7	7
やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV tuv	TUV tuv	8	8
らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	WXYZ wxyz	9	9
わをん	ワヲン	ワヲン	—	—	0	0
。。	。。	。。	. - @ - / : ~ -	. - @ - / : ~ -	*	*
、。ー・ ! ? 空白	、。ー・ ! ? 空白	、。ー・ ! ? 空白	, ! ? ¥ & ( ) * # " ' = ^ + ;	, ! ? ¥ & ( ) * # " ' = ^ + ;	#	#

漢字はJIS第1水準および第2水準に対応しています。

# パソコンから各種設定をする（システム管理者用）

## 各種設定を行う

ツリーメニューフレームから各設定項目をクリックして選択し、必要事項を入力、または、選択します。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。

**送信** をクリックし、表示されるダイアログボックス（➡313ページ）で **OK** をクリックしたあと「実行結果」画面が表示されます。

結果の「成功」または「失敗」に関わらず、「実行結果」画面の [戻る] をクリックすると **送信** をクリックした画面に戻ります。

**送信** をクリックした画面に戻ったとき、現在設定されている値を表示するには **再表示** をクリックしてください。

## 外線名称設定

使用する電話回線に名称を設定します。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。

- ① 外線名称  
各外線に名称を設定します。  
外線名称には全角で8文字（半角で16文字）  
以内の文字を入力してください。

### お知らせ

- WWW ブラウザー上では全角、半角にかかわらず最大16文字まで入力可能ですが、8文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大8文字までの制限を超えないようにしてください。

## モード表示名称設定

夜間切替の動作モード（夜間、夜間1、夜間2）に名称を設定します。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。

モード表示名称	夜間
モード表示名称 <small>(*)</small>	夜間1
	夜間2

※1: 全角で7文字(半角で14文字)以内

送信 再表示 デフォルト値表示

- ① モード表示名称  
各モードに表示名称を設定します。  
モード表示名称には全角で7文字（半角で14文字）以内の文字を入力してください。

### 📌 お知らせ

- WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大14文字まで入力可能ですが、7文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大7文字までの制限を超えないようにしてください。

# パソコンから各種設定をする (システム管理者用)

## MLVボックス名称設定

オフィス留守番機能 (マルチボイス) で「留守録・通話録音・メッセージ録音」の録音メッセージを保存するボックスに名称を設定します。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。

ボックス名	ボックスID
ボックス1	ボックス10
ボックス2	ボックス11
ボックス3	ボックス12
ボックス4	ボックス13
...	...
ボックス23	ボックス32
ボックス24	ボックス33
ボックス25	ボックス34
ボックス26	ボックス35
ボックス27	ボックス36
ボックス28	ボックス37
...	...
ボックス47	ボックス56
ボックス48	ボックス57
ボックス49	ボックス58
ボックス50	ボックス59

- ① ボックス名称  
各ボックスに名称を設定します。  
ボックス名称には全角で7文字 (半角で14文字) 以内の文字を入力してください。

### お知らせ

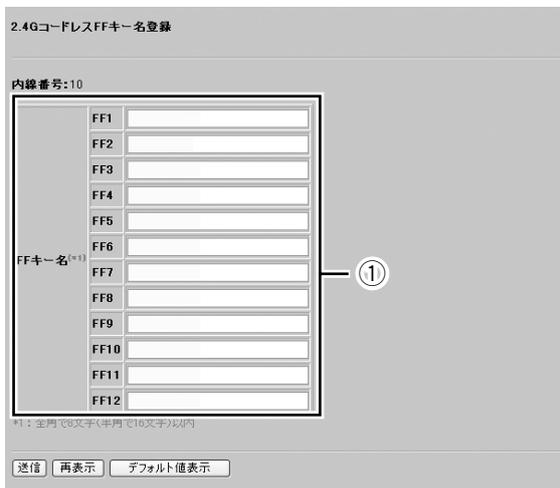
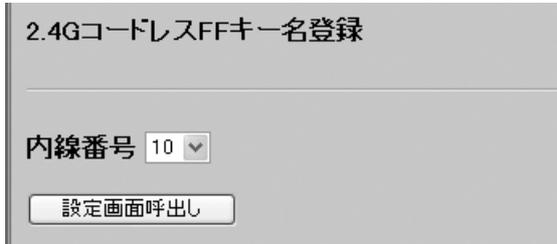
- WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大14文字まで入力可能ですが、7文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大7文字までの制限を超えないようにしてください。

## 2.4GコードレスFFキー名登録

2.4Gカラーデジタルコードレス電話機で使用するFFキーに名称を設定します。

FFキー名登録画面の内線番号選択画面で内線番号を選択し、「設定画面呼出し」をクリックすると、以下のFFキー名登録画面が表示されます。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。



- ① FFキー名  
各FFキーに名称を設定します。  
FFキー名には全角で8文字(半角で16文字)  
以内の文字を入力してください。

### 📖 操作のヒント

- **送信** をクリックし、「実行結果」画面が表示されている状態で、ツリーメニューフレームの「2.4GコードレスFFキー名登録」をクリックすると、内線番号を選択する画面を表示します。複数の内線番号に対し、連続して設定/変更を行う場合に便利です。

### 📌 お知らせ

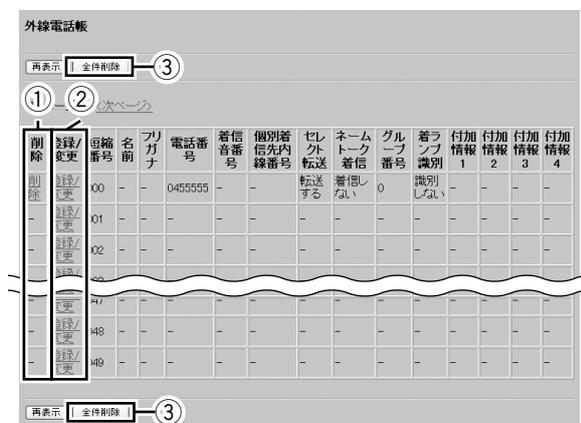
- WWWブラウザ上では全角、半角にかかわらず最大16文字まで入力可能ですが、8文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大8文字までの制限を超えないようにしてください。

# パソコンから各種設定をする (システム管理者用)

## 外線電話帳

外線電話帳にデータの登録、変更、削除をします。

- ページを移動する場合、「前ページ」または「次ページ」リンクをクリックしてください。



- ① 削除  
「削除」リンクをクリックすると、確認画面が表示されます。 をクリックすると、その行の電話データが削除されます。

- ② 登録/変更  
「登録/変更」リンクをクリックすると、その行の電話帳データを登録および変更する画面が表示されます。

- ③ 全件削除  
 をクリックすると、確認画面が表示されます。 をクリックするとすべての電話帳データが削除されます。

をクリックし、「実行結果」画面から [戻る] をクリックすると、削除前の画面が表示されます。削除が反映されたことを確認するには、 をクリックしてください。

外線電話帳画面で「登録/変更」リンクをクリックすると、以下の外線電話帳登録/変更画面が表示されます。

- 設定項目の入力後、 をクリックして、設定内容を更新してください。

- ⑤ 個別着信先内線番号  
個別着信先内線番号を設定します。個別着信先内線番号には2ケタまたは3ケタの半角数字を入力してください。

- ⑥ セレクト転送  
「転送しない/転送する」から選択します。初期値は、「転送しない」です。

- ⑦ ネームトーク着信  
「着信しない/着信する」から選択します。初期値は、「着信しない」です。

- ⑧ グループ番号  
外線電話帳の登録データを10個のグループ(0~9)に分けて管理することができ、選択したグループ内で検索をすることができます。

電話帳を登録するとき、グループ番号を指定して、登録する外線番号のグループ分けをします。

- ⑨ 着ランプ識別  
「識別しない/赤点滅/緑点滅」から選択します。初期値は、「識別しない」です。

- ⑩ 付加情報 1 ~ 付加情報 4  
付加情報を全角で40文字(半角で80文字)以内の文字で設定します。ただし、付加情報 1 ~ 付加情報 4 には全角で10文字(半角で20文字)以内の文字で分けて入力してください。付加情報 1 ~ 付加情報 4 のすべての入力欄に入力する必要はありません。

- ① 名前  
登録または変更する名前を設定します。名前には全角で10文字(半角で20文字)以内の文字を入力してください。
- ② フリガナ  
登録または変更する名前のフリガナを設定します。フリガナには半角で10文字以内の文字を入力してください。
- ③ 電話番号  
登録または変更する電話番号を設定します。電話番号には半角の数字、# (井)、\* (星)、R (再ダイヤル) および A (短縮) で24文字以内の文字を入力してください。(再ダイヤル)、(短縮) を利用して258ページの内容を入力することもできます。
- ④ 着信音番号  
「0~34」から選択します。着信音は、周波数と着信パターンの組み合わせおよびメロディーの合計は35種類あります。(➡332ページ)

### 操作のヒント

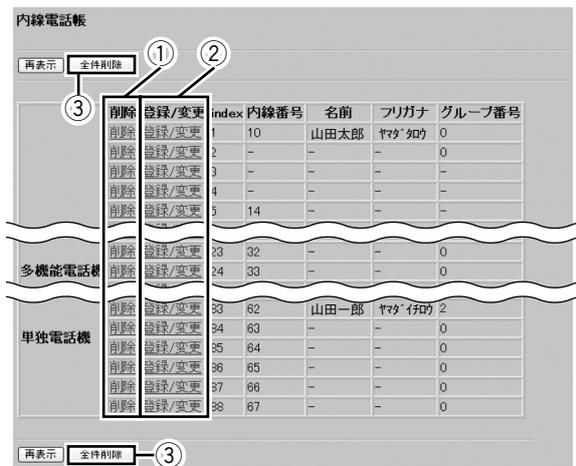
- をクリックし、「実行結果」画面が表示されている状態で、ツリーメニューフレームの「外線電話帳」をクリックすると、最新の外線電話帳画面を表示します。連続して設定/変更を行う場合に便利です。

## お知らせ

- 名前、付加情報 1～付加情報 4 を入力する場合、WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大 20 文字までの入力が可能です。10 文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって全角文字を入力する際は、最大 10 文字までの制限を超えないようにしてください。
- 外線電話帳に登録した名前を発信者名として、ネーム・ディスプレイ対応の単独電話機（内線）に着信通知することができます。

## 内線電話帳

内線電話帳にデータの登録、変更、削除をします。



- ① 削除  
「削除」リンクをクリックすると、その行の電話帳データが削除されます。
- ② 登録/変更  
「登録/変更」リンクをクリックすると、その行の電話帳データを登録および変更する画面が表示されます。
- ③ 全件削除  
「全件削除」をクリックすると、確認画面が表示されます。「OK」をクリックするとすべての電話帳データが削除されます。「全件削除」をクリックし、「実行結果」画面から「戻る」をクリックすると、削除前の画面が表示されます。削除が反映されたことを確認するには、「再表示」をクリックしてください。

内線電話帳画面で「登録/変更」リンクをクリックすると、以下の内線電話帳登録/変更画面が表示されます。

- 設定項目の入力後、「送信」をクリックして、設定内容を更新してください。

- ① 名前  
登録または変更する名前を設定します。名前には全角で 7 文字（半角で 14 文字）以内の文字を入力してください。

- ② フリガナ  
登録または変更する名前のフリガナを設定します。フリガナには半角で 10 文字以内の文字を入力してください。
- ③ グループ番号  
内線電話帳の登録データを 10 個のグループ (0～9) に分けて管理することができます。選択したグループ内で検索をすることができます。電話帳を登録するとき、グループ番号を指定して、登録する内線のグループ分けをします。

## 操作のヒント

- 「送信」をクリックし、「実行結果」画面が表示されている状態で、ツリーメニューフレームの「内線電話帳」をクリックすると、最新の内線電話帳画面を表示します。連続して設定/変更を行う場合に便利です。

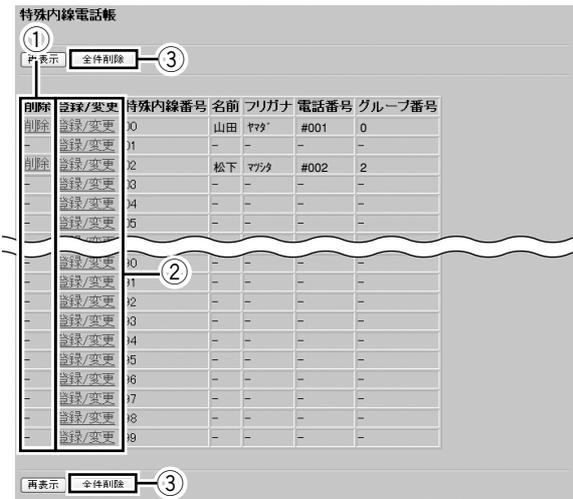
# パソコンから各種設定をする (システム管理者用)

## お知らせ

- WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大 14 文字まで入力可能ですが、7 文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大 7 文字までの制限を超えないようにしてください。
- 内線電話帳に登録した名前を発信者名として、ネーム・ディスプレイ対応の単独電話機（内線）に着信通知することができます。

## 特殊内線電話帳

特殊内線電話帳にデータの登録、変更、削除をします。



- ① 削除  
「削除」リンクをクリックすると、その行の電話帳データが削除されます。
- ② 登録/変更  
「登録/変更」リンクをクリックすると、その行の電話帳データを登録および変更する画面が表示されます。
- ③ 全件削除  
「全件削除」をクリックすると、確認画面が表示されます。「OK」をクリックするとすべての電話帳データが削除されます。「全件削除」をクリックし、「実行結果」画面から「戻る」をクリックすると、削除前の画面が表示されます。削除が反映されたことを確認するには、「再表示」をクリックしてください。

特殊内線電話帳画面で「登録/変更」リンクをクリックすると、以下の特殊内線電話帳登録/変更画面が表示されます。

- 設定項目の入力後、「送信」をクリックして、設定内容を更新してください。

- ① 名前  
登録または変更する名前を設定します。名前には全角で 7 文字（半角で 14 文字）以内の文字を入力してください。
- ② フリガナ  
登録または変更する名前のフリガナを設定します。フリガナには半角で 10 文字以内の文字を入力してください。
- ③ 電話番号  
登録または変更する電話番号を設定します。電話番号には半角の数字、# (＃)、\* (＊) で 4 文字以内の文字を入力してください。
- ④ グループ番号  
内線電話帳の登録データを 10 個のグループ (0 ~ 9) に分けて管理することができます。選択したグループ内で検索をすることができます。電話帳を登録するとき、グループ番号を指定して、登録する内線のグループ分けをします。

## 操作のヒント

- 「送信」をクリックし、「実行結果」画面が表示されている状態で、ツリーメニューフレームの「特殊内線電話帳」をクリックすると、最新の特殊内線電話帳画面を表示します。連続して設定/変更を行う場合に便利です。

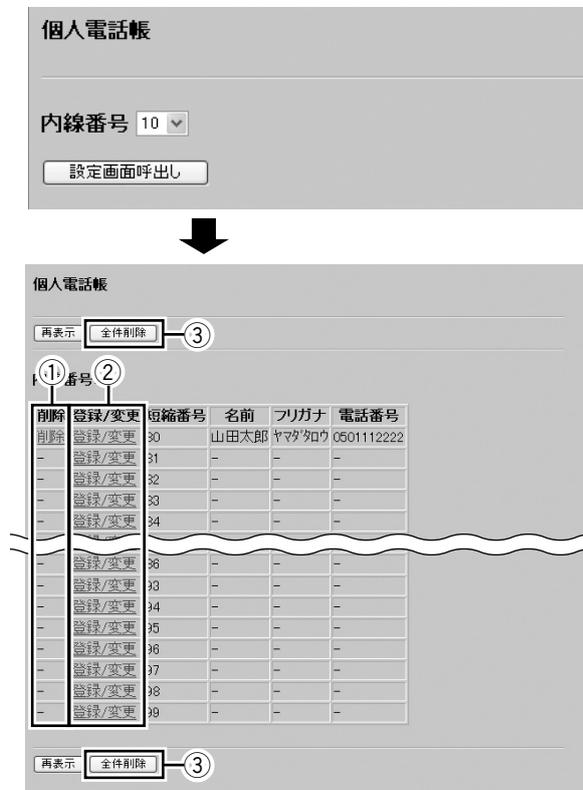
## お知らせ

- WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大 14 文字まで入力可能ですが、7 文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大 7 文字までの制限を超えないようにしてください。

## 個人電話帳

個人電話帳にデータの登録、変更、削除をします。

個人電話帳画面の内線番号選択画面で内線番号を選択し、「設定画面呼出し」をクリックすると、以下の個人電話帳画面が表示されます。



- ① 削除  
「削除」リンクをクリックすると、その行の電話帳データが削除されます。
- ② 登録/変更  
「登録/変更」リンクをクリックすると、その行の電話帳データを登録および変更する画面が表示されます。
- ③ 全件削除  
「全件削除」をクリックすると、確認画面が表示されます。「OK」をクリックするとすべての電話帳データが削除されます。「全件削除」をクリックし、「実行結果」画面から「戻る」をクリックすると、削除前の画面が表示されます。削除が反映されたことを確認するには、「再表示」をクリックしてください。

個人電話帳画面で「登録/変更」リンクをクリックすると、以下の個人電話帳登録/変更画面が表示されます。

- 設定項目の入力後、「送信」をクリックして、設定内容を更新してください。

- ① 名前  
登録または変更する名前を設定します。名前には全角で7文字(半角で14文字)以内の文字を入力してください。
- ② フリガナ  
登録または変更する名前のフリガナを設定します。フリガナには半角で10文字以内の文字を入力してください。
- ③ 電話番号  
登録または変更する電話番号を設定します。電話番号には半角の数字、# (井)、\* (星)、R (再ダイヤル) および A (短縮) で24文字以内の文字を入力してください。再ダイヤル、短縮を利用して258ページの内容を入力することもできます。

### 操作のヒント

- 「送信」をクリックし、「実行結果」画面が表示されている状態で、ツリーメニューフレームの「個人電話帳」をクリックすると、内線番号を選択する画面を表示します。複数の内線番号に対し、連続して設定/変更を行う場合に便利です。

# パソコンから各種設定をする (システム管理者用)

## お知らせ

- WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大 14 文字まで入力可能ですが、7 文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信をクリックした時点で入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大 7 文字までの制限を超えないようにしてください。

## 外線電話帳グループ名登録

外線電話帳のグループ名を登録します。

- 設定項目の入力後、送信をクリックして、設定内容を更新してください。

グループ番号	グループ名 (※1)
0	グループ0
1	グループ1
2	グループ2
3	グループ3
4	グループ4
5	グループ5
6	グループ6
7	グループ7
8	グループ8
9	グループ9

※1 全角で7文字(半角で14文字以内)

送信 再表示 デフォルト値表示

- ① グループ名  
10 個のグループ (0～9) 分けができ、自由にグループ名を設定できます。  
グループ名には全角で 7 文字 (半角で 14 文字) 以内の文字を入力してください。

## お知らせ

- WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大 14 文字まで入力可能ですが、7 文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大 7 文字までの制限を超えないようにしてください。

## 内線電話帳グループ名登録

内線電話帳のグループ名を登録します。

- 設定項目の入力後、送信をクリックして、設定内容を更新してください。

グループ番号	グループ名 (※1)
0	グループ0
1	グループ1
2	グループ2
3	グループ3
4	グループ4
5	グループ5
6	グループ6
7	グループ7
8	グループ8
9	グループ9

※1 全角で7文字(半角で14文字以内)

送信 再表示 デフォルト値表示

- ① グループ名  
10 個のグループ (0～9) 分けができ、自由にグループ名を設定できます。  
グループ名には全角で 7 文字 (半角で 14 文字) 以内の文字を入力してください。

## お知らせ

- WWW ブラウザー上は全角、半角にかかわらず最大 14 文字まで入力可能ですが、7 文字を超える全角文字を入力した場合は、文字入力時はエラーとならず、送信すると入力エラーとなります。したがって、全角文字を入力する際は、最大 7 文字までの制限を超えないようにしてください。

## カレントアラーム一覧

システムが検出したアラーム情報を表示します。

感知重要度	アラームコード	アラーム名称	付加情報
Warning	0002	Flash, ブートプログラム領域, チェック異常	00 00 00 00 00 00
Minor	0003	SDRAM READ/WRITE チェック異常	00 00 00 00 00 00
Major	1001	ISDN外線ユニット プレームアクセス チェック異常(YTD438)	00 00 00 00 00 00
Critical	1002	マルチボイスユニット DSP チェック異常	00 00 00 00 00 00

- ① 取得日時  
アラームの発生・復旧を主装置が検出した時間で、「年/月/日 時:分:秒」で表示します。
- ② 感知重要度  
下記の5つの分類で表示します。

Critical	システムにて提供するサービスが、すべて完全に停止するようなアラーム。CPUエラー、メモリエラーなどの装置故障アラーム。
Major	主装置の自己リセットで自動復旧します。リセット中（一時的な時間）は、全サービス停止するようなアラーム。
Minor	主装置の一部でのみサービスが完全停止するようなアラーム。 例：ユニット自己リセット
Warning	主装置にてサービスレベルが低下あるいは将来停止する可能性があるアラーム。

- ③ アラーム名称  
具体的なアラームの内容を表示します。
- ④ 付加情報  
アラームに関するより詳細な情報を表示します。

# パソコンから各種設定をする（システム管理者用）

## パスワード変更

WWWブラウザから主装置にログインするときのパスワードを変更します。お買い上げ時は、一般用のパスワードが設定されていませんので、設定することをお勧めします。パスワードは定期的に変更することをお勧めします。一般用のパスワード／システム管理者用のパスワードを変更することができます。

- 設定項目の入力後、**送信** をクリックして、設定内容を更新してください。
- システム管理者用のパスワードは、半角英数字8文字以上16文字以内で、大小文字を区別して入力してください。
- 一般用のパスワードは半角英数字16文字以内で、大小文字を区別して入力してください。

- ① ユーザー名  
パスワードを変更するユーザー名を入力します。
- ② 現在のパスワード  
現在のパスワードを入力します。  
一般用のパスワードを変更する場合、入力する必要はありません。
- ③ 新しいパスワード  
新しいパスワードを入力します。
- ④ 新しいパスワード(確認用)  
③で入力した新しいパスワードを確認のため再度入力します。

### お知らせ

- 一般用のユーザー名は内線番号、パスワードは無し(初期値)です。ユーザー名に内線番号を入力し、その他の項目に何も入力せずに **送信** を押すと、その内線番号のパスワードが初期化されます。
- システム管理者のユーザー名は「admin」、パスワードは「administrator」(初期値)です。

## ファイルアップロード

ファイルダウンロード (→325ページ) でダウンロードした電話帳データのアップロードを行います。

- ① カスタマイズ形式ファイル  
「システム電話帳」または「個人電話帳」からアップロード対象のデータ種別を選択します。
- ② アップロード対象ファイル  
アップロードの対象となるファイルを指定します。
- ③ **アップロード**  
アップロードを実行します。

### お願い

- **アップロード** をクリックしてファイルのアップロードを実行中に、**アップロード** を再度クリックしないでください。

### お知らせ

- システム電話帳は「外線電話帳」、「内線電話帳」、「特殊内線電話帳」の3つの電話帳を意味します。
- アップロードが終了すると、完了画面が表示されます。

# パソコンから各種設定をする（システム管理者用）

## ファイルダウンロード

電話帳データや履歴データのダウンロードを行います。



- ① ダウンロード対象データ  
ダウンロードの対象となるデータを選択します。
- ② **ダウンロード**  
ダウンロードを実行します。

### お願い

- **ダウンロード** をクリックしてファイルのダウンロードを実行中に、**ダウンロード** を再度クリックしないでください。
- ダウンロードした電話帳ファイルを編集しないでください。アップロードに失敗してデータが消去される場合があります。
- ダウンロード実行確定画面表示後、30 秒以上無操作状態となった場合ダウンロードに失敗する場合があります。失敗した場合には、再度ダウンロードを実行してください。
- 再度ダウンロードに失敗した場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

### お知らせ

- システム電話帳は「外線電話帳」、「内線電話帳」、「特殊内線電話帳」の3つの電話帳を意味します。
- 履歴データ（全履歴）には発生したアラーム情報、操作・運用の履歴が保存されます。

## ログアウトする

すべての設定が終了したら、**ログアウト** をクリックして、操作を終了します。

### お願い

- ログアウトした時に設定したデータがSDメモリーカードに保存されます。ログアウトをせずに主装置をリセットまたは電源を切った場合、次回の起動時に設定したデータが反映されません。操作を終了するときは、ウィンドウの **X** を押して終了したりせず、必ずログアウトをして終了してください。**X** を押して終了してしまった場合、WWW ブラウザーを起動し、再度ログインを行ったあとログアウトしてください。
- ログアウトに失敗した場合、登録したデータがSDメモリーカードに保存されていない可能性があります。その場合、WWW ブラウザーの [更新] ボタンをクリックし、画面の再表示を行った後に、再度 **ログアウト** をクリックしてください。

# 取付け時に設定する事項

詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 長時間通話警報

外線へ電話をかけたとき、相手が応答してから最初は2分30秒後、以降は3分ごとに警告音（ピー）を鳴らすことができます。

設定により、着信ランプを点滅させることもできます。

## 外線着信警報

着信警報への切替時間を0秒～60秒まで、10秒ごとに設定することができます。設定すると、設定した時間内に電話に出ないと、着信音がメロディー着信音に変わり、早く出るように警告します。

## 外線スライド着信

スライド着信時間を0秒～60秒まで、10秒ごとに設定することができます。設定すると、設定した時間内に電話に出ないと、指定した電話機にも着信音が鳴ります。夜間／昼間別、外線別に設定できます。

## 保留再呼出

保留再呼び出し時間を0、20、30、40、60、90、120、150、180秒の中から設定できます（単独電話機は0秒固定）。設定すると、外線を保留したあとに一定時間を過ぎると、保留再呼出音（プルル）が聞こえ、着信ランプが点滅します。

受話器を取っていたり、通話中のときには保留再呼出音は鳴りません。

## 話中時着信

外線または内線通話中のデジタル多機能電話機に対して、外線、内線、玄関子機、センサーから呼び出しがあった場合、話中時着信音が鳴ります。着信音の種類については、下の表をご覧ください。設定により話中時着信を適用外にすることもできます。モニター音量調節に連動して話中時着信音量も調節されますので、スピーカー受話での使用が多い電話機では、話中時着信を適用しない運用もできます。

呼び出しの種類	話中時着信音
外線	ブーブー
内線	
玄関子機	プッププッ、プッププッ
センサー	プッププッ

## 0 発信グループ

電話機から ① をダイヤルしたとき、または **発信**、発信プリファレンス（⇒70ページ）で捕捉できる外線の指定です。

## 保留音

外線保留時に流す保留音を、6種類<sup>\*1</sup>の曲の中から選んで設定することができます。

- 瞳がほほえむから ● HERE COMES THE SUN (お買い上げ時) ● ハイ・ホー
- 未来予想図Ⅱ ● I NEED TO BE IN LOVE ● パッヘルベルのカノン

※1：オプションのメロディートークユニット (VB-F262) を使用した場合、メロディー10種類を追加し、合計16種類の中から選択できます。(音源提供：© 2005 M-Zone Co., Ltd.)

- 地上の星 ● Born to love you (I was born to love you) ● M ● Africa
  - 涙そうそう ● クリスマスイブ ● ボレロ ● 見つめていたい ● 花のワルツ
  - 木星～惑星
- 許諾番号：T-0620179 

## 外線別保留音源の選択

外線ごとに、保留時に流す保留音を6種類<sup>\*1</sup>の曲の中から選択することができます。

ただし、ISDN回線、IP回線の同一回線で、チャンネルごとに保留音源を選択することはできません。

※1：オプションのメロディートークユニット (VB-F262) を使用した場合、メロディー10種類を追加し、合計16種類の中から選択できます。

## サービスクラスと各種規制 (発信規制)

各電話機ごとに優先順位 (超特甲、特甲、準特甲、甲、準甲) をつけ、市内や市外などへの発信を規制するように設定できます。

クラス	国際	特定ダイヤル	市外	特定市外	市内	PBX内線
クラス5 (超特甲)	○	○	○	○	○	○
クラス4 (特甲)	○	□	○	○	○	○
クラス3 (準特甲)	×	□	○	□	○	○
クラス2 (甲)	×	□	×	×	○	○
クラス1 (準甲)	×	×	×	×	×	○

○：発信可

□：取付け時の設定により発信不可

×：発信不可

### 〈特定ダイヤル規制〉

最大6ケタのダイヤルに対する発信規制が20種類設定できます。

構内交換機に接続されている場合、外線発信番号を除いたダイヤルに適用されます。お買い上げ時は **Ⓜ** と **Ⓝ** が設定されています。この設定を特甲以下のサービスクラスで適用するか、準特甲以下に適用するかを設定できます。

### 〈特定市外発信規制〉

先頭の **①** を含む最初の2ケタを規制します。発信規制解除市外局番とNTT以外の通信事業者のアクセスダイヤルを除く、準特甲に適用されます。

### 〈10規制〉

先頭の2ケタが **① ①** で始まるダイヤルを規制します。

甲、準特甲に適用します。

PBX発信ダイヤルを除いたダイヤルを規制します。また、短縮ダイヤル発信時に短縮ダイヤル中の局線捕捉ダイヤルを除いたダイヤルを規制します。

### 〈外線発信規制〉

電話機ごとに発信可能な外線を設定できます。

### 〈共通短縮ダイヤル発信規制解除〉

共通短縮ダイヤルで電話をかけるときは、規制が解除されます。

## 取付け時に設定する事項

### 夜間着信切替

夜間または休日などに、外線からの電話を宿直室や守衛室などの特定の場所で受信したいときなど、外線を指定した電話機に集中することができます。

### 外線別着信音切替

外線別に次のどちらかの着信音を設定することができます。

- 着信音(1) トレモロ音 (音源4種類×周期8種類の組み合わせから選択可能) (→332ページ)
- 着信音(2) メロディー保留音

### 外線個別着信

外線が着信した場合に、着信音が鳴る電話機を電話機および外線ごとに設定できます。

### 内線番号のケタ数

各電話機に対して1ケタ、2ケタ、または3ケタの内線番号を任意に設定できます。1ケタでは1～8、2ケタでは10～89、3ケタでは100～899までの番号を設定できます。ただし、設定できるケタ数は1種類です。電話機の設定台数が9台以上の場合、2ケタまたは3ケタで設定してください。

### 無鳴動着信自動応答

着信音が鳴らないように設定されている電話機でも、外線着信に受話器を取って応答できます。

### 保留中着信ランプ表示

外線を保留にしている間、着信ランプを点滅させることができます。

### 内線留守番電話機接続

内線のデジタル多機能電話機から内線の留守番電話機にプッシュ信号を送り、留守番電話機のリモコン操作などができます。

### 指定電話機フリー設定

共通短縮ダイヤルの設定、日付時刻の設定などができる指定電話機を自由に設定することができます。ただし、単独電話機は指定電話機として設定できません。

### ワンキーダイヤル

①～⑧のうち1つのボタンを押すだけで、内線呼び出ししたり、外線を捕捉することができます。

### 単独電話機ポート極性反転

外部機器などを接続する際に、単独電話機ポートの極性を反転することができます。極性反転信号を利用する外部機器を接続することができます。

### 迷惑電話拒否

非通知着信時の「公衆電話」や「表示圏外」を、迷惑電話拒否の対象に設定したり、オフィス留守番機能（マルチボイス）のチャンネルを迷惑電話拒否メッセージに設定することができます。

### マルチライン内線

内線をFFボタンに割り付けることができます（仮想内線）。

FFボタンに割り付けることにより、内線も外線と同様に、FFボタンを押すことで保留応答や着信応答などの操作が可能になります。

### 外線ダブル転送

外線にかかってきた電話をあらかじめ設定しておいた2か所の外線転送先に自動的に転送することができます。

### ACR

外線へ電話をかけたとき、市内発信、市外発信、発信日時により通話料金が異なる複数の電話回線の中から、自動的に特定の電話会社を選択して発信することができます。

## 電話（アナログ）回線でお使いの場合の設定事項

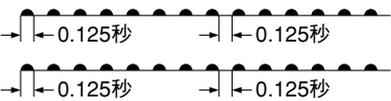
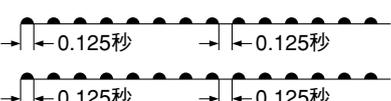
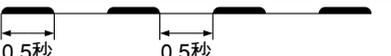
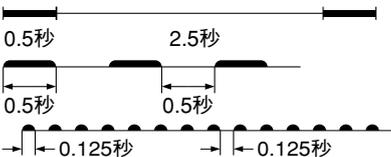
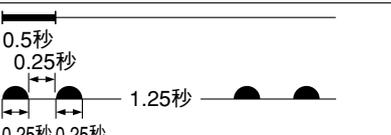
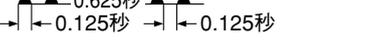
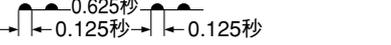
### 自動ポーズ

ビル電話、構内交換機の端末に接続した場合、ビル電話・構内交換機の外線発信番号、または特番のあとにポーズを入れることができます。1ケタ目、2ケタ目、3ケタ目、4ケタ目のあとに自動的にポーズを入れることができます。

## デジタル多機能電話機の場合

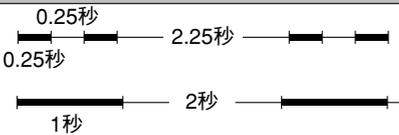
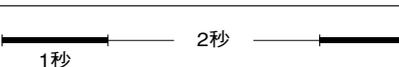
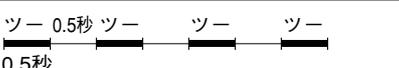
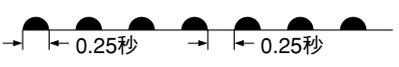
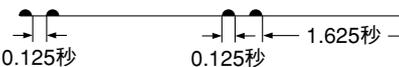
### 外線

★印は  取付け時設定 が必要です。

項 目		時 間 幅		備 考
着信中	通常	音 ランプ ランプ	着信周期/設定周期 	設定着信音★ (⇒332ページ) 着信ランプ 外線ランプ (赤色)
	DDI着信 i・ナンバー着信 サブアドレス着信 転送されてきた着信	音 ランプ ランプ	着信周期/設定周期 	設定着信音★ (⇒332ページ) 着信ランプ 外線ランプ (緑色)
通話中	自分が使っているとき	ランプ		外線ランプ (緑色)
	他人が使っているとき	ランプ		外線ランプ (赤色)
保 留	保留した電話機	ランプ		外線ランプ (緑色)
	他の電話機	ランプ		外線ランプ (赤色)
	保留再呼出 (保留した電話機)	音 ランプ ランプ	0.5秒 2.5秒 	着信ランプ 外線ランプ (緑色)
話中時着信	音 ランプ	1秒 2秒 	着信ランプ	
長時間通話警報	音 ランプ	0.5秒 0.25秒 0.25秒 0.25秒 1.25秒 	1 kHz 着信ランプ	
外線着信警報	音 ランプ	メロディー パターン(⇒332ページ) 0.1秒 0.1秒 	・瞳がほほえむから★ ・HERE COMES THE SUN★ ・ハイ・ホー★ ・未来予想図Ⅱ★ ・I NEED TO BE IN LOVE ・パッヘルベルのカノン★	
保留中着信ランプ表示	ランプ	0.5秒 0.5秒 	着信ランプ★	
網保留終話	音	0.5秒 		
通話中転送失敗	音	0.25秒 0.25秒 		
通話中着信通知	音	0.25秒 4.25秒 0.25秒 		
着信数制限 (回線数コント ロール) 中	設定した電話機	ランプ	0.625秒 0.125秒 0.125秒 	外線ランプ (緑色)
	他の電話機	ランプ	0.625秒 0.125秒 0.125秒 	外線ランプ (赤色)

## 内線・共通

★印は  取付け時設定 が必要です。

項 目		時 間 幅		備 考
内線着信中	信号音呼出	音	 <p>0.25秒 0.25秒 1秒 2.25秒 2秒</p>	(トレモロ音 メロディー着信 I-TONE (500 Hz))★
		ランプ	 <p>0.125秒 0.125秒</p>	着信ランプ
		ランプ	 <p>0.125秒 0.125秒</p>	内線ランプ
	音声呼出	音	 <p>プー 0.5秒</p>	I-TONE (500 Hz)
		※着信ランプは信号音呼出と同じ。内線ランプは点灯。		
内線通話中		ランプ		内線ランプ
内線保留		ランプ	 <p>0.5秒 0.5秒</p>	内線ランプ
内線発信音(DT)		音	 <p>プー</p>	連続音 (425 Hz/500 Hz)★
内線呼出確認音(RBT)		音	 <p>1秒 2秒</p>	トレモロ音
内線話中音(BT)		音	 <p>ツー 0.5秒 ツー ツー ツー 0.5秒</p>	425 Hz/500 Hz★
内線話中時外線着信		音	 <p>1秒 2秒</p>	I-TONE (500Hz)
		ランプ	 <p>0.125秒 0.125秒</p>	着信ランプ
トークバック	マイク設定 ON	ランプ		トークバックランプ
	マイク作動中	ランプ	 <p>0.25秒 0.25秒</p>	トークバックランプ
モニターランプ	プリセット中※1	ランプ	 <p>0.125秒 0.125秒 1.625秒</p>	モニターランプ
	プリセット以外	ランプ		モニターランプ
不在転送・不在設定		ランプ		不在ランプ
着信ランプオフフック点灯		ランプ		(オフフックおよび モニター受話中)★

※1：待ち受け中のコマンドナビキー操作を含みます。

# 音とランプ表示

## オフィス留守番機能（マルチボイス）

項 目		ランプ表示	ランプ種別
オフィス留守番機能 (マルチボイス)	録音中通知音		・プログラム設定によって開始時に1回、または周期的に鳴らすことができます。
	録音終了 1分前通知音		
	録音終了通知音 (録音時間終了)		
留守ボタン	留守録設定中		FFボタン (赤色)
	留守録設定中 未読メッセージ有り		FFボタン (赤色)
	留守録設定無し 未読メッセージ有り		FFボタン (緑色)
ボックスボタン	未読メッセージ有り		FFボタン (赤色)
自動お待たせ 応答ボタン	自動お待たせ 応答設定有り		FFボタン (赤色)

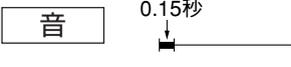
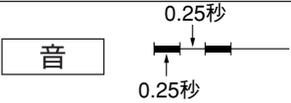
## 設定着信音の種類

メロディーと、周波数（4種類）×着信音パターン（8種類）の組み合わせ（合計35種類）

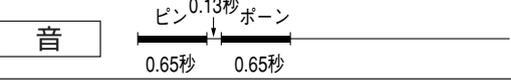
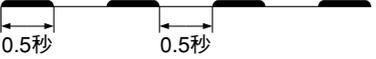
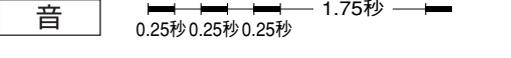
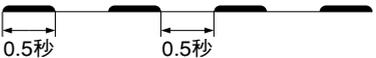
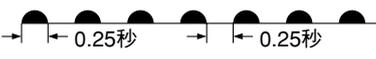
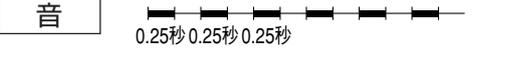
着信音パターン	時 間 幅	設定値 (00~32は着信音番号を示します。)			
		400/ 562Hz	720/ 900Hz	800/ 1040Hz	1000/ 1340Hz
0		00			
1		01	09	17	25
2		02	10	18	26
3		03	11	19	27
4		04	12	20	28
5		05	13	21	29
6		06	14	22	30
7		07	15	23	31
8		08	16	24	32

※ オプションのメロディートークユニット (VB-F262) を使用して、メロディー10種類の中から2種類を着信音として設定 (➡302ページ) できます。この場合の着信音番号は、それぞれ33、34となります。

## コマンドナビキーの操作音

項目	時間幅	備考
確認音	音  0.15秒	
警告音	音  0.25秒 0.25秒 0.25秒	

## オプション使用時

項目	時間幅	備考
構内放送予告音	音  ピン0.13秒 ポーン 0.65秒 0.65秒	
玄関子機着信	音  0.5秒 0.5秒 ランプ  0.5秒 0.5秒	着信ランプ
玄関子機話中着信	音  0.25秒 0.25秒 0.25秒 1.75秒 ランプ  0.5秒 0.5秒	着信ランプ
センサー着信	音  ピーポー、ピーポー ランプ  0.25秒 0.25秒	・条件によってはセンサー話中着信と同じ音になることがあります。 着信ランプ
センサー話中着信	音  0.25秒 0.25秒 0.25秒 ランプ  0.25秒 0.25秒	着信ランプ

## 単独電話機の場合

項目	時間幅	備考
電話がかかってきたとき (外線)	音  1秒 2秒	・ナンバー・ディスプレイ対応の単独電話機の場合、左記とは異なる時間幅になります。
保留再呼出 (外線)	音  0.25秒 2.25秒 0.25秒	
内線着信、ドアホン着信	音  0.25秒 2.25秒 0.25秒	
保留再呼出 (内線)	音  0.25秒 2.25秒 0.25秒	

# 17 停電のときは

## 停電時は

専用電池により数分～数十分、オプションの外付けバッテリーにより数時間のバッテリーバックアップによる運用が可能です。

バックアップ時間の目安は、システム構成により変わりますので、詳しくは、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。

専用電池、外付けバッテリーをお使いいただく場合、以下の通りです。

製品名 (品番)	備考
● 専用電池 (VB-F195)	専用電池を使用する場合、外付けバッテリーは不要です。
● 外付けバッテリー (VB-F196) ● 外付けバッテリーケース (VB-F297)	外付けバッテリーを使用する場合、主装置の専用電池は不要です。

## 停電時の動作

停電時	停電用の電話機以外	停電用の電話機 (停電用電話機・単独電話機)
バッテリーバックアップ中 ● 専用電池で約15分間 ● 外付けバッテリーをお使いの場合、約5時間	・すべての電話機で通常通りの使用が可能です。 ・通話中などの操作は継続します。	
バッテリーバックアップ動作が終了後	・使用できません。 ・バッテリーバックアップ中での通話は切れます。	<電話 (アナログ) 回線の場合> ・外線にかける、受けるのみできます。 ・バッテリーバックアップ中での通話は切れます。 ・停電時に対応した外線で、発信/着信応答ができます。 ・通話中に停電が復旧すると、通話が切れます。  <電話 (アナログ) 回線以外の場合> ・使用できません。 ・バッテリーバックアップ中での通話は切れます。

## 停電用の電話機の使いかた

- 電話をかけるときは、受話器を取ってからダイヤルしてください。
- 電話を受けるときは、受話器を取るとお話しできます。
- DP/PB切替スイッチが「DP」のとき、受話器を取ってから **Ⓜ** を押すとPB送出モードとなり、それ以降ダイヤルキーを押すとPBが送出されます。受話器を戻すとDP送出モードに戻ります。

### お知らせ

- ISDN 回線および IP 電話回線は、停電時はお使いになれません。
- 停電用の電話機として単独電話機をお使いになる場合、本システムの外線回線種別と電話機の回線種別が合わないと通話できないことがあります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 蓄電池（専用電池、外付けバッテリー）は、主装置周囲の環境温度が 25℃ 以下の場合、約 3 年に 1 度、40℃ 以下の場合、約 2 年に 1 度の交換が必要です。（有償）  
交換につきましては、お買い上げの販売店にご相談ください。次回交換時期については、取り付ける方が本書の表紙および主装置のラベルに記載するようになっています。

修理をご依頼される前に次の点を確認してください。  
それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは	ここを確認してください	操 作	参照 ページ	
電話をかけられない 電話を受けられない	各機器間の接続ケーブルが外れていませんか？	モジュージャックを正しく接続してください。	23 25	
	不在設定や、不在転送、フレックスホン(着信転送)、外線着信の自動転送を設定していませんか？	設定を解除すれば、電話を受けられません。	不在設定	100
			不在転送	102
			自動転送 (一般着信)	168 175
			自動転送 (個別着信)	171 174
表示が出ない	表示のコントラストの調節が適当ですか？	コントラストの調節をしてください。	41	
着信音が鳴らない	電話機の着信音量が最小になっていませんか？	音量調節をしてください。	45	
転送できない	転送先がトークバックの設定をしていませんか？ トークバックランプが点いていませんか？	転送先が内線トークバック通話中は転送できません。転送先の人に受話器を取ってもらってから <b>設定/転送</b> を押してください。	73 74	
再ダイヤルボタンを押しても再ダイヤルできない	外線がすべて通話中になっていませんか？	外線が空きしだい、再度操作し直してください。	—	
保留できない	トークバック通話中です。	受話器を取って保留してください。	73 74	
一斉・グループ呼出ができない	通話中ですか？	通話を終えてから操作し直してください。	55	
トークバックランプが点灯している	トークバックが設定されている状態です。	設定が不要であれば解除してください。	73 74	
不在ランプが点灯している	不在設定、不在転送や自動転送(個別着信)が設定されている状態です。	不在設定	100	
		不在転送	102	
		自動転送 (個別着信)	171 174	
マルチラインボタンが緑色に点灯している	マルチライン内線に自動転送(個別着信)の設定がされている状態です。	設定が不要であれば解除してください。	173	
電話機に表示されている日付、時刻がずれている	お使いいただいている間に少しずつ誤差が大きくなります。	指定電話機で訂正してください。	285	

こんなときは	ここを確認してください	操 作	参照ページ
共通短縮ダイヤルなどを登録できない	外線電話帳（共通短縮ダイヤル）、内線電話帳などは、指定電話機で操作していますか？	指定電話機以外では登録することができません。	18 256 257
電話帳で名前が登録できない	登録可能な文字数を超えていますか？	それぞれの登録可能な文字数を超えると入力できません。 新規に名前を登録するときや、名前を変更するときは、  を押して、文字を消去してから入力してください。	個人電話帳 85
			外線電話帳 261 267 272
			内線電話帳 274 276 278
電話帳で電話番号が登録できない	登録可能なケタ数を超えていますか？	それぞれの登録可能なケタ数以内で登録してください。  を押して番号を消去してから入力してください。	個人電話帳 85
			外線電話帳 262 266
共通短縮ダイヤルに名前を登録しているのに電話がかかってきても名前表示されない	電話番号が市外局番なしで登録されていませんか？	市外局番から電話番号を登録してください。	37
外線電話帳（共通短縮ダイヤル）や内線電話帳に名前を登録したのに、電話帳で名前を検索できない	名前の前にスペースが入っていませんか？	スペースを入れないで登録してください。	82
 を押しても内線発信音（プー）が出ない	ヘッドセットモードになっていませんか？	ヘッドセットモードを解除してください。	244
主装置のALARMランプが点灯している	システムに障害または故障が発生した可能性があります。	お買い上げの販売店にご相談ください。	—
主装置のALARMランプが点滅している	システムに障害が発生した可能性があります。	障害の内容は、電話機の液晶表示部で確認することができます。 FFボタンに設定したカレントアラームボタン、または     を押して表示を確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。	160 308
FFボタンに設定したカレントアラームボタンが赤色に点灯している	システムに障害が発生した可能性があります。	障害の内容は、電話機の液晶表示部で確認することができます。 赤色に点灯したカレントアラームボタンを押して表示を確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。	160 308
システムが使えない	落雷などにより、システムを保護するために電源の保護機能が動作した可能性があります。 主装置内の電源が、電源供給を止めている状態であり、故障ではありません。	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	—

# 18 仕様

外線収容数	INSネット64	: 最大2回線 (4Bチャンネル/DSU内蔵)
	電話 (アナログ) 回線	: 最大4回線
	IP回線	: 最大4チャンネル
	合計	: 最大10チャンネル (ただし、INSネット64と電話 (アナログ) 回線の合計は最大5チャンネル (INSネット64 1回線は電話 (アナログ) 回線の2回線に相当))
電話機数 (最大)	デジタル多機能電話機 : 16台 単独電話機 : 8台	
通話路方式	PCM時分割多重方式	
配線方式	2線スター (無極性)	
寸法	主装置	(幅) 310 mm × (奥行) 152 mm × (高さ) 386 mm
	外付けバッテリーケース	(幅) 310 mm × (奥行) 152 mm × (高さ) 199 mm
	ACアダプター	(幅) 65 mm × (奥行) 45 mm × (高さ) 156 mm
	漢字表示付電話機	(幅) 188 mm × (奥行) 249 mm × (高さ) 97 mm 高角度アダプターの角度最大時 : (幅) 188 mm × (奥行) 230 mm × (高さ) 169 mm
	数字表示付電話機	(幅) 186 mm × (奥行) 232 mm × (高さ) 101 mm 高角度アダプターの角度最大時 : (幅) 186 mm × (奥行) 232 mm × (高さ) 161 mm
質量	主装置	約 2.5 kg (初実装)、約 5.5 kg (フル実装)
	漢字表示付電話機	約 980 g
	数字表示付電話機	約 820 g
電源	AC 100 V ± 10 V 50/60 Hz	
消費電力 (最大)	約 70 W	
環境条件	周囲温度 : 0°C ~ 40°C 相対湿度 : 90 %以下 (ただし結露しないこと)	

## あ

アフターサービス	343
アラームの設定	140
安全上のご注意	10
一斉・グループの呼出	55,78
一斉呼出	55,78
液晶表示部	22,24,36,41
角度を調節する	41
コントラストを調節する	41
バックライトを設定する	42
応答ガイダンス	134,136
オートリピートダイヤル	53,64
オーバー・ライド	143
お助け転送	3,166
お手入れについて	15
音（着信音、呼出音、保留音）	
音とランプ表示	330
音量調節	43
着信音量（呼出音量）調節	45
着信音を変える	302
保留音を変える	327
音とランプ表示	330
オプション使用時	333
コマンドナビキー	333
単独電話機	333
デジタル多機能電話機	330
オフィス留守番機能（マルチボイス）	103
折り返し自動発信する	125
音声で内線呼び出す	54,55,217
音声呼出	54,217
オンフック転送	76,78,79
音量の調節	43
音量ボタン	22,24,43

## か

会議通話	144
回線数コントロール	146
外線スライド着信	326
外線ダブル転送	3,167,170,184,329
外線別着信音切替	328
外線別保留音源の選択	327
外線捕捉特番	52,97
外線ボタン	22,24
外線ランプ	23,25,71,330
外線リモート	
外出先から留守録の内容（用件）を 再生する	117
外出先から留守録を設定する	113
外線個別着信	328

外線着信警報	326
外線通話に割り込む	143
外線電話帳（共通短縮ダイヤル）	
グループ名の編集	272
検索して電話をかける	56
新規に登録する	261
データの1件削除	270
データの修正	267
データの全件削除	271
登録件数を確認する	273
発信履歴／着信履歴から登録する	88
文字の入力方法	80
外線表示盤	246
外部スイッチ（多目的リレー）を制御する	242
角度の調節	41,49
確認／会議ボタン	24,98
各部のなまえとはたらき	22
壁掛け用品	249
カレンダー設定	285
カレントアラーム	160,308,323
漢字表示付電話機	22
短縮ダイヤルでかける	69
着信履歴から電話をかける	65
着信履歴を削除	67
電話帳を検索して電話をかける	56
発信履歴から電話をかける	64
発信履歴を削除	67
記入シートの使いかた	49,245
キャッチホンサービス	190,199
共通短縮ダイヤルの登録	266
組み合わせダイヤル	69
グループ	55,78
クローズドナンバリング	198
玄関子機	240
構内放送ユニット	239
構内放送をする	239
個人電話帳（個人短縮ダイヤル）	
検索して電話をかける	56
新規に登録する	84
データの1件削除	92
データの修正	89
データの全件削除	93
登録件数を確認する	94
発信履歴／着信履歴から登録する	88
文字の入力方法	80
個人短縮ダイヤルの登録（漢字）	84,95
個人短縮ダイヤルの登録（数字）	95
個別着信	170,259
コマンドナビキー	26
ご使用にあたってのお願いとお知らせ	14
ご利用になれる回線サービス	188

## さ

サービスクラスと各種規制	327
再ダイヤル	53
再ダイヤルボタン	22,24
雑防ハンドセット	249
サブアドレス通知	197
サブアドレス発信	197
時刻変更	285
自己保留	75
システム着信履歴	65
指定電話機	18,256
指定の外線	52
自動選局発信	52,214,258
自動転送（一般着信）	167
自動転送（個別着信）	170
自動転送時の発信者番号通知	164
自動転送設定中の表示	164
自動転送中ガイダンス	185
自動ポーズ	329
自動保留	258
自動夜間切替	289
切替しない期間の設定	298
切替時刻の設定	289
例外日時の設定	294
自分の電話機の内線番号	47
手動転送	165
手動夜間切替	287
受話音量の調節	43
主装置	23
仕様	338
状態表示盤を外線表示盤として使う	246
使用上のお願い	14
信号音呼出	54
数字表示付電話機	24,200
機能一覧	203
最後に応答した電話番号にかけ直す	200
ワンタッチボタンでかける	202
スライド転送	3,177
接続できる機器	16
設定／転送ボタン	22,24
セレクト着信	145
セレクト転送	3,184
外付けバッテリー	334
ソフトウェアのバージョン	40

## た

第1～第4グループ	55,78
ダイヤルイン	191
ダイヤルイン契約番号	191
ダイヤル表示	36
代理応答	72
多重機能（フレックスホン）	189,199
短縮ダイヤルでかける	69
短縮ダイヤルの登録	
共通短縮ダイヤル＜外線電話帳＞の登録	261
個人短縮ダイヤル＜個人電話帳＞の登録	84
登録できる内容	258
文字の入力方法	80
短縮ダイヤル表示制御	258
短縮ボタン	22,24
単独電話機	229
ダイヤル式回線の操作	229
プッシュ回線の操作	231
ポート極性反転	328
着信音を設定する	302
着信音量の調節	45
着信数制限（回線数コントロール）	146
着信通話履歴	65
着信不応答履歴	65
着信ランプ	23,25,330
通信中転送機能（フレックスホン）	187
通話料金の集計	307
通話を録音／再生する	121,122
停電のときは	334
停電用電話機	17,334
デジタル多機能電話機	17
デュアル着信	3,183
電気錠を解錠する	241
転送	75,161,221
お助け転送	166
外線ダブル転送	184
自動転送（一般着信）	167
自動転送（個別着信）	170
自動転送設定の設定／解除	
（転送リモート設定）	175
自動転送中ガイダンス	185
手動転送（着信中転送）	166
手動転送（通話中転送）	165
スライド転送	177
セレクト転送	184
デュアル着信	183
ネクスト転送	179
フレックスホン 着信転送	186
転送中ガイダンス	185
電話機の角度を調節する	49

電話帳	
外線電話帳	2,56,259,267
個人電話帳	2,56,84,89
内線電話帳	2,56,274,276
電話を受ける	
外線を受ける	71,218
内線を受ける	72,219
電話をかける	
外線へ電話をかける	50,213
内線へ電話をかける	54,215
トークバック	73
トークバックランプ	23,25,331
特殊内線	
グループ名の登録	283
新規に登録する	279
データの1件削除	282
データの全件削除	282
登録件数を確認する	284
文字の入力方法	80
特定のグループへ転送	78
時計機能	39,140,285
取扱説明書について	16,20
取付け時に設定する事項	326

## な

内線代理応答	72
内線電話帳	
グループ名の登録	278
検索して電話をかける	56
新規に登録する	274
データの修正	276
文字の入力方法	80
内線トークバック	73
内線番号の確認	47
内線番号のケタ数	328
内線ランプ	23,25
内線留守番電話機接続	328
ナンバー・ディスプレイ	188,194
ネーム・ディスプレイ	188,195
ネームトーク	2,48
ネクスト転送	3,163,179
年月日を変更	285

## は

パソコンから設定	250,309
発信者の電話番号表示	37
発信者番号通知	164,193
発信プリファレンス	70
発信ボタン	22,24
発信履歴	64,67,88
番号早見表	247,345
ビーンダイヤル	258
日付・時刻の変更	285
日付・時刻表示	39
表示（液晶表示部）	
表示部について	22,24,36
表示部の濃度（コントラスト）調節	41
表示部のバックライト設定	42
ファクスを使う	233
複合機と連動する	236
不在設定	99
不在転送	101
不在ランプ	23,25,331
付属品／添付品	9
フックボタン	22,24
プッシュ信号転換	258
プッシュ信号を送る	142
プライバシー・リリース	143
プリセットダイヤル	51,54,214,216
フレックスホン	189
フレックスホン 着信転送	186
自動転送	186
通信中転送	187
フローティング保留	77
ヘッドセット	238,244
ヘッドセットモード	244
保証とアフターサービス	343
保留	75
外線を保留	75,220
内線を保留	79,221
フローティング保留	77
保留再呼出	326
保留中着信ランプ表示	328,330
保留ボタン	22,24

## ま

マジックボックス	189
マルチボイス	2,3,103
応答ガイダンスを録音する	134,136
外線リモート	
(外出先から留守録の設定/再生)	113,117
通話を録音/再生する	121,122
マルチボイスでできること	2,3,103
留守録応答動作の設定	107
留守録の用件を再生する	114,117
留守録を設定する	105,113
マルチライン	19,74
マルチライン着信	74
マルチライン発信	74
マルチライン内線	72,329
無鳴動着信自動応答	328
迷惑電話拒否	3,139,147,329
メロディー着信	2,48,302
もくじ	4
モジュラージャック	23,25
モニターボタン	22,24
モニターランプ	23,25,331

## や

夜間切替	287
自動切替時刻設定	289
自動夜間切替しない期間設定	298
自動夜間切替時刻の例外日時設定	294
手動昼間/夜間切替	287
夜間切替番号	288
夜間着信切替	328
呼出音(着信音)の音量	45
呼出番号	55,78

## ら

ランプ	
FFランプ	23,25
音とランプ表示	330
外線ランプ	23,25,71,330
着信ランプ	23,25,330
トークバックランプ	23,25,331
内線ランプ	23,25,72
不在ランプ	23,25,99
モニターランプ	23,25,331
ランプのなまえとはたらき	23,25

## 録音する

マルチボイス	2,103
応答ガイダンスの録音	134,136
外線リモート	
(外出先から留守録の設定/再生)	113,117
通話を録音/再生する	121,122

## わ

話中時着信	326,330
話中時着信音	326
ワンキーダイヤル	328
ワンタッチボタン	24
ワンタッチボタンでかける	202

## 英数字

0 発信グループ	326
2.4G カラーコードレス電話機	210
24 キー増設ユニット	238,245
ACR	139,158,329
DXDP 接続	17
FF キー	228
FF ボタン	22,24
FF ボタンに機能を設定する	96
FF ランプ	23,25
i・ナンバー	192
INS キャッチホン	189,199
INS ナンバー・リクエスト	189
INS ネット	188
INS ボイスワープ	189
INS マジックボックス	189
IP	16,19,20
ISDN クローズドナンバリング	189,198
NTT 以外の通信事業者回線	38
WWW ブラウザーを起動してログインする	251,311

## ■ 保守契約について

販売店とご相談のうえ、保守契約をお結びください。

## 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## 修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

お買い上げの販売店、または販売会社へお申し付けください。

## 移転の際のご相談は…

お買い上げの販売店、または販売会社へお申し付けください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルビジネスホン La Relier (ラ・ルリエ)
品番	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

## ■ 保証書（別添付）本システム主装置に添付

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

主装置とは別に後から購入されたユニットなどは、お買い上げ日から1年間を保証期間とさせていただきます。ただし、充電式電池は消耗品ですので、保証の対象外とさせていただきます。

## ■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルビジネスホンLa Relier（ラ・ルリエ）の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ 修理を依頼される時

「困ったときの確認事項」（➡336 ページ～337 ページ）に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は  
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。  
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

- 修理料金の仕組み  
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## ■ ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理をさせていただきます。ただし、落雷や停電などの外部要因、または本装置の故障、誤動作等で、本装置が使えなかったことによる付随的損害（料金管理など）の補償については、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 説明書に記載されている内容は、製品のバージョンアップなどに伴い、将来予告なしに変更することがあります。

※ システムの通話料金表示機能で表示される料金は、2007年4月現在のNTTの料金設定に基づき表示されます。料金改定に対応するためのプログラム設定は別途有償になります。





この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

### ご使用にあたってのお願い

本品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって「機器使用料」は不要となります。  
詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。

この取扱説明書は  
再生紙を使用しています。

## 便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お 買 い 上 げ 日	年 月 日	品 番	VB-F050他
販 売 店 名		電 話 ( )	—
お 近 く の 販 売 会 社		電 話 ( )	—

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店へお申し付けください。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社  
オフィスネットワークカンパニー

01205-4047  
PSQX3911WA

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 (045) 532-0496  
© 2007 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.